

テハ本會ハ評議員會ノ決議ヲ以テ本會會員トノ取引ヲ停止ス

一 取引上ヨリ生シタル債務ヲ履行セサルニ因リ之カ處分ヲ請求セラレタル者

二 發行定日三箇月ヲ經過セサル雜誌ノ買戻シ、買取リヲ爲シタル者

三 前號ノ期間内ニ貸覽、回覽ヲ爲シタル者及一旦賣渡シタル雜誌ヲ引取り他ノ雜誌ト交換ヲ爲シタル者其他不正賣買ヲ爲シタル者若クハ不正返品ヲ爲シタル者

四 古雜誌ノ賣買ヲ兼業スル者ト雖モ前第二號第三號ノ行爲アリタル者其古雜誌賣買ノ爲メ別ニ營業所ヲ設ケタル者モ亦同シ

第四十八條 前條ノ取引停止ニ付シタル者ニシテ改悛ノ實アリト認めタルトキハ請求ニ因リ評議員會ノ決議ヲ以テ取引ノ復活ヲ爲スコトヲ得 但前條第一號ノ場合ハ請求者ノ申請アリ

ルコトヲ要ス

第四十九條 第四十三條ノ各地方ニ於ケル雜誌販賣業組合ハ其規約及組合員名簿ヲ本會ニ提出スルコトヲ要ス 尙規約ノ變更及組合員ニ異動アリタルトキハ其都度本會ニ通告スルコトヲ要ス

第五十條 各地方ノ雜誌販賣業組合ニ於テ其組合員ニ對シ取引停止若クハ除名處分ヲ爲サントスルトキハ内地ハ二週間其他ハ三週間前ニ本會ニ申告シ本會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第五十一條 各地方ノ雜誌販賣業組合ハ第四十三條乃至第四十七條所定ノ外其組合員ノ加入金又ハ營業場所ノ距離制限等其他ニ關シ雜誌ノ普及ヲ妨クルカ如キ不當ノ規定ヲ其規約中ニ設クルコトヲ得ス

第五十二條 各地方ノ雜誌販賣業組合ニ於テ本會ノ規約又ハ本會ノ決議事項ニ背キ本會ノ目的ニ悖戻スル行動

アリタルトキハ評議員會ニ於テ適當ナル處置ヲ爲スコシ

第七章 會計

第五十三條 本會ノ經費ハ會費、入金、登錄料其他ノ收入ヲ以テ之ニ充ツ

第五十四條 會計年度ハ十二月一日ヨリ翌年十一月三十日ニ至ル期間トス

第五十五條 毎年度ノ收支決算ハ總會ニ報告スルコトヲ要ス

第五十六條 毎年度ノ收支豫算ハ總會ニ於テ之ヲ決定ス

第五十七條 臨時緊急ノ必要アルトキハ評議員會ノ決議ヲ經テ豫算外ノ支出ヲ爲スコトヲ得 此場合ニ於テハ次ノ總會ニ報告シテ其承認ヲ求ムルコトヲ要ス

第五十八條 本會所有財産ノ保管方法ハ評議員會ノ決議ヲ以テ之ヲ定メ會計監督其任ニ當ル

第八章 制裁

一日ヨリ之ヲ施行ス

日本雜誌協會評議員

會長 講談社
副會長 主婦之友社
東京 堂 東海堂
北隆館 大東館

博文館 實業之日本社
新潮社 婦人之友社
文教社 料理之友社
小學館 研究社
中央公論社 改造社
ボケット講談社 文藝春秋社
婦女界社 誠文堂新光社

東京雜誌販賣業組合

所在地 神田區駿河臺四ノ二ノ八
電話 神田 六六七番

東京雜誌販賣業組合規約(昭和十一年一月二十四日修正)

第一章 總則

第一條 本組合ハ東京市内ニ營業所ヲ有スル雜誌販賣業者ヲ以テ組織ス
第二條 本組合ハ東京雜誌販賣業組合ト稱シ事務所ヲ東京市ニ置ク

第二章 目的

第三條 本組合ハ組合員間ノ利益増進ト共濟親睦ヲ旨トシ無益ノ競争ヲ避ケ斯業ノ發達ヲ圖リ營業上ノ弊害ヲ矯正スルヲ以テ目的トス

第五十九條 會員ニシテ本規約若クハ本會ノ決議事項ニ違背シタル者又ハ本會ノ體面ヲ汚損シタル者アル時ハ事憲ノ輕重ヲ裁量シテ左ノ處分ヲ爲ス

一 戒告
二 千圓以下ノ違背課金
三 三箇月以下ノ取引停止
四 除名

本號ハ第二號第三號ノ處分ニ服從セサル者ニモ適用ス

第六十條 除名處分ヲ受ケタル者改悛ノ實アリト認めタルトキハ請求ニ因リ更ニ入會ヲ許可スルコトヲ得
第六十一條 前二條ノ適用ニ付キテハ評議員會ノ決議ヲ經ルコトヲ要ス

附則

第六十二條 本規約ハ總會ノ決議ニ依ルニ非サレハ之ヲ變更スルコトヲ得ス
第六十三條 本規約ハ昭和九年二月十

第四條 本組合ハ組合員間ノ一方若クハ双方ノ請求ニヨリ營業上ヨリ起ル紛議ノ調停ヲナスコトヲ得此場合ハ幹事會ノ互選ヲ以テ調停委員若干人ヲ舉ケ之ヲ調停セシム

第五條 本組合ノ目的ヲ達センカ爲メ組合員ハ左ノ事項ヲ嚴守スヘキモノトス

一 組合員外ノ營業者ト取引ヲ爲スコトヲ得ス

二 雜誌ハ凡テ定價ヲ以テ販賣スルモノトス但前金拂込ノ購讀者ニ對シテハ各雜誌與附記載ノ價格ヲ以テ販賣スルコトヲ得尙與附記載ノ發行日ヨリ三ヶ月ヲ經タルモノハ除外ス

三 雜誌ヲ販賣スルニ景品ヲ添附シ送料負擔若クハ割引ニ類スル行爲ヲ爲スコトヲ得ス

四 雜誌ハ發行所ト元取次店間ニ於テ協議ノ上定メタル發賣日前ニ販

(賣店賣配達發送)スルコトヲ得ス
五 貨覽及回覽ノ營業ヲ爲スコトヲ得ス

六 貨覽及回覽業ヲ營ムモノニ雜誌ヲ販賣スルコトヲ得ス

七 取引停止中ノ組合員ト取引ヲ爲スコトヲ得ス

八 營業休止中ノ組合員ト取引ヲ爲スコトヲ得ス

第三章 組合員

第六條 本組合ニ加入セントスル者ハ本組合所定ノ加入申込書(第一號書式)ニ一定ノ店舗ヲ有スル營業所及商號、氏名、年齢ヲ記載シ所要地圖(店舗ノ位置及附近組合員ノ位置ヲ明記シタルモノ)誓約證ヲ添付シ紹介者タル組合員二人ノ連署ヲ以テ申込ムヘシ但紹介者ノ一人ハ幹事タルコトヲ要ス

加入金ハ貳百圓トシ加入ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ十日以内ニ本組合ニ納入スヘシ
金額納入ノ日ヨリ組合員タルノ資格ヲ生ス
支店、分店若クハ出張所ノ設置ハ各別ニ加入スヘキモノトス
組合員(加入後滿七ヶ年以上)ノ從業者ニシテ滿七ヶ年以上勤続シ本組合ヨリ表彰ヲ受ケタル者ハ加入金ヲ拾圓トス此場合ハ第二號書式ノ證明書ヲ申込書ニ添付スルコトヲ要ス
但一旦脱退シタル者又退店後滿二ヶ年ヲ經タル者ハ此限ニアラス
第七條 加入申込者ニ對シテハ調査ヲ行ヒタル後幹事會ニ於テ其ノ許否ヲ決ス
第八條 申込者ノ營業所カ組合員ノ營業所ニ接近シ甚敷支障アリト認メタル場合ハ其ノ加入ヲ許可セサルコトアルヘシ
第九條 加入申込者ニシテ組合員營業所ノ讓渡ヲ受ケントスルトキハ第四

號書式ニヨリ讓渡人讓受人連署ノ上届出テ其ノ許可ヲ受クヘシ此場合讓渡人ハ脱退(第六號書式)ノ手續ヲ要シ讓受人ハ加入登録料トシテ金壹百圓ヲ納入スルコトヲ要ス其ノ營業所ニ對シテハ前條ニ依ラスシテ其ノ加入ヲ許可スルコトアルヘシ但讓受人カ勤続者ノ場合ハ登録料金拾圓トス

讓受人カ組合員ノ移轉ニヨル場合ハ登録料ヲ要セズ

第十條 組合員ニシテ其ノ營業所ヲ移轉セントスルトキハ移轉前必ス第五號書式ニ依リ本組合ニ届出テ許可ヲ受クルコトヲ要ス

移轉場所カ第八號ニ該當スル場合ハ其ノ移轉ヲ許可セサルコトアルヘシ

第十一條 組合員ニシテ其ノ營業所移轉ニ際シ第八條ニ該當スル場合ト雖營業休止ノ誓約證ヲ提出スルトキハ其ノ移轉ヲ許可スルコトアルヘシ

第十二條 組合員ハ死亡若クハ隱退ノ場合相續人又ハ法律上ノ家族ニ其ノ營業ヲ繼承セシムルコトヲ得此手續ハ第三號書式ニ依リ戸籍謄本(或ハ抄本)其ノ他ノ證明書相添届出テ許可ヲ受クヘシ此場合ニ於テハ加入金ヲ要セス

第十三條 組合員ハ他ノ組合員ト同一ノ商號ヲ有スルコトヲ得ス但先用者ノ承諾ヲ得タルモノハ此限ニアラス

第十四條 組合員ハ其ノ店頭ニ組合員タルノ標章ヲ提出スルコトヲ要ス

第十五條 組合員ニシテ氏名、商號ヲ變更シ若クハ廢業シタルトキハ一週間以内ニ組合ニ届出ツヘシ但商號變更ノ場合ハ第十三條ニ據ル

第十六條 組合員ハ組合經費負擔ノ義務ヲ負フ

第十七條 組合員間ニ於テ商取引ノ支拂ヲ延滞シタル者アルトキハ被害者

ヨリ其ノ處分ヲ組合ニ請求スルコトヲ得

第十八條 組合ハ前條ノ請求アリタルトキ事實ヲ調査シ其ノ延滞ヲ認メタルトキハ日ヲ限り支拂フヘキ旨通告シ之ニ應セサルトキハ第四十九條ニ據リ處分スヘシ

第十九條 組合員ハ自己ニ關スル件ニ付キ組合ヨリ出頭ヲ求メラレタルトキハ故ナク之ヲ拒ムコトヲ得ス

第二十條 組合員ニシテ組合員タル品位ヲ汚損シ若クハ幹事會ニ於テ不都合ノ行爲アリト認メタルトキハ第四十九條ニ據リ處分スヘシ

第二十一條 組合員ニシテ滿一ヶ年間以上營業ヲ休止シタルトキハ第八條ヲ適用セサルモノトス

營業休止ノ起算日ハ組合員ノ届出若クハ調査ノ上其ノ營業休止ノ事實ヲ幹事會ニ於テ確認シタル上之ヲ決定ス

東京雜誌販賣業組合

第二十二條 組合員ハ左ノ事由ノ發生

- 一 任意ノ脱退
- 二 廢業
- 三 營業所ノ讓渡
- 四 營業ヲ休止スルコト滿二ケ年ニ亙ルモノ
- 五 營業所ノ組合地域外移轉
- 六 許可ヲ得スシテ其ノ營業所ヲ移轉シタルモノ
- 七 死 亡但 第十二條ヲ適用シテ其ノ資格ヲ繼承スルコトヲ得
- 八 法人ノ解散
- 九 破産
- 十 除名

第二十三條 本組合ハ規約第三條ノ目的ヲ達スル爲メ本組合内ニ共濟會ヲ設ケ幹事中心ヨリ委員若干人ヲ置キ特別會計ヲ以テ組合員ノ共濟事務ヲ擔任ス

共濟會細則ハ別ニ之ヲ定ム

第二十四條 組合員ニシテ本組合ニ特

ニ功勞アリタル者ハ之ヲ表彰スルコトアルヘシ

第二十五條 組合員ノ從業者ニシテ滿七ケ年以上勤績シタル者ハ本組合ニテ表彰ス表彰規程ハ別ニ之ヲ定ム

第二十六條 組合員ノ從業者ニシテ規約ニ反スル行爲アリタル場合ト雖組合員ハ其ノ責任ヲ負フモノトス

第二十七條 組合員ニシテ其ノ資格ヲ喪失シタル場合ニ於テハ之ニ對シ加入金ノ返還又ハ組合財産ノ分配ヲ請求スルコトヲ得ス

第四章 役員

第二十八條 組合ハ組合員中四十人ニ對シ一人ノ比率ヲ以テ幹事ヲ選舉ス幹事選舉施行細則ハ別ニ之ヲ定ム

幹事ハ其ノ互選ヲ以テ組長一人副組長二人常任幹事五人會計二人規約勵行委員十人共濟會委員十人ヲ定ム

事務取扱ノ爲メ事務員若干人ヲ置ク

事務員ハ幹事會ノ決議ヲ以テ組長之ヲ任免ス

第二十九條 組長ハ本組合ヲ代表シ會議ノ際議長ノ職ヲ掌ル副組長ハ組長ヲ補助シ組長ヲ代理ス常任幹事ハ緊急ヲ要スル事件ヲ審議シ會計ハ會計事務ヲ掌ル規約勵行委員ハ規約運用ノ事務ヲ掌リ共濟會委員ハ共濟事務ヲ處理シ幹事ハ諸般ノ議案ヲ審議シ事務ヲ分掌ス

第三十條 幹事ノ任期ハ一ケ年トス

第三十一條 幹事ニ當選シタル者ハ正當ノ理由ナクシテ辭任スルコトヲ得ス

第三十二條 幹事ハ無給トス但特ニ費用ヲ要シタルトキハ實費ヲ支辨ス

第三十三條 本組合ハ本組合ニ特ニ功勞アリタルモノニ對シ幹事會ノ決議ヲ經テ總會ニ於テ相談役ニ推薦スルコトヲ得

相談役ハ終身トス

第三十四條 幹事中特ニ功勞アリタル

者若クハ繁劇ノ事務ヲ處理シタル者ニ對シテハ幹事會ノ決議ヲ以テ表彰若クハ報酬ヲ爲スコトヲ得

第五章 會議

第三十五條 會議ヲ分ツテ左ノ六種トス

- 一 一定時總會
- 二 臨時總會
- 三 幹事會
- 四 常任幹事會
- 五 規約勵行委員會
- 六 共濟會委員會

第三十六條 一定時總會ハ毎年一月之ヲ

- 一 前年度ノ事務報告及財産目錄會計收支決算報告
- 二 豫算案審議
- 三 組長ヨリ豫メ提出シタル議案ノ審議
- 四 役員ノ選舉

第三十七條 臨時總會ハ幹事會ニ於テ

必要ト認メタルトキ又ハ組合員十分ノ一以上ノ同意ニヨリ其ノ目的タル事項ヲ明示シテ組長ニ請求アリタルトキ之ヲ開ク

第三十八條 總會ヲ開カントスルトキ

ハ七日前組長ヨリ會議ノ目的タル事項、場所及日時ヲ組合員ニ通知スヘシ 但緊急ヲ要スル場合ハ其ノ通知期間ヲ短縮スルコトヲ得

第三十九條 總會ニ於テハ豫メ組長ヨ

リ通知シタル事項ノ外他ノ事項ヲ議スル事ヲ得ス

第四十條 幹事會ハ毎月一回之ヲ開ク

常任幹事會及規約勵行委員會共濟會委員會ハ隨時之ヲ開キ必要ノ場合ニハ臨時幹事會ヲ招集スルコトアルヘシ

第四十一條 組合員ハ總會ニ於テ幹事

ハ幹事會ニ於テ發言贊否ノ權ヲ有ス但幹事會ニ於テ會議ノ事項ニ利害ノ

關係ヲ有スル者ハ其ノ會議ニ列スルコトヲ得ス

第四十二條 議事ハ出席員ノ過半數ヲ以テ決ス可否同數ナルトキハ議長之ヲ決ス

第六章 會計

第四十三條 組合員ハ組合維持費トシ

テ月額貳拾錢ヲ支出スルモノトス

第四十四條 本組合ノ經費ハ月費、加入金其ノ他ノ收入ヲ以テ之ヲ支辨ス

第四十五條 緊急及非常ノ場合ニ際シ臨時支出ヲ要スルトキハ幹事會ノ決議ヲ以テ之ヲ支辨スルコトヲ得但此場合ハ次期ノ總會ニ之ヲ報告シ承認ヲ得ルコトヲ要ス

第四十六條 組合ノ基金及收入金ハ幹

事會ニテ定メタル銀行又ハ信託會社ニ寄託ス

第四十七條 組合員ハ事務ニ妨ケナキ限リ會計帳簿ノ閱覽ヲ求ムルコトヲ得

第七章 制 裁

第四十八條 組合員ニシテ本規約ニ違背シタル者ハ幹事會ノ決議ヲ以テ左ノ制裁ヲ爲ス

- 一 譴 責
- 二 拾圓以上壹千圓以下ノ違約料
- 三 期限ヲ定メタル取引停止
- 四 期限ヲ定メサル取引停止
- 五 除 名

第四十九條 左ノ條項ノ一ニ該當スル者アルトキハ第四十八條ヲ適用ス

第五條、第六條第四項、第十條第一項、第十八條、第十九條、第二十條、第五十三條

第五十條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ除名ニ處ス

- 一 月費ノ滞納六ヶ月ニ亘ルモノ
- 二 違約料ノ徴收ニ應セサルモノ
- 三 組合員ニシテ貸覽及回覽業ニ類スル行爲アルモノ

第五十一條 期限ヲ定メサル取引停止

ニ處セラレタル者ニシテ悔悛ノ實アリト認メタル場合ハ組合員二人ノ保證ニヨリ幹事會ノ決議ヲ以テ之ヲ解除スルコトアルヘシ

第五十二條 組合員ハ組合員中ニ規約違反者アルコトヲ認知シタルトキハ速ニ組合ニ申告セラルヘシ申告者ノ氏名ハ絶対ニ秘密トス

第五十三條 前條ノ申告者カ故意ニ他ヲ中傷セントスル虚構ニ出タルトキハ申告者ハ第四十九條ノ制裁ヲ受ク

第五十四條 本章ノ制裁ニ對シ組合員ハ異議ノ申立ヲナスコトヲ得ス

第八章 附 則

第五十五條 本規約ハ總會ノ決議ニ依ルニアラサレハ變更スルコトヲ得ス

第五十六條 本規約ハ昭和六年一月一日ヨリ施行ス

東京雜誌販賣業組合 共濟會細則

第一條 本會ハ東京雜誌販賣業組合共濟會ト稱ス

第二條 本會ハ東京雜誌販賣業組合ノ組合員ヲ以テ組織ス

第三條 本會ハ本組合規約第二十三條ニ依リ會員相互ノ共濟ヲ以テ目的トス

第四條 本會ハ前條ノ目的ヲ達成スル第一事業トシテ會員營業所ノ火災ニ際シ見舞金ヲ贈呈スルモノトス

第五條 本會々員ハ毎月拾錢ヲ共濟基金トシテ積立ツルモノトス

第六條 本會ハ會員ノ罹災ニ際シ調査ノ上其ノ程度ヲ審査シ五百圓以内ヲ贈呈スルモノトス

第七條 本會々員ニシテ左ニ該當スル場合ハ第六條ヲ適用セサルモノトス

- 一 無斷移轉場所ニ於ケル出火
- 二 警視廳令所定ノ爆發物取締規則違反ニ依ル出火
- 三 天災地變ニ依ル出火

第八條 本會ハ本組合幹事中心ヨリ互選ヲ以テ委員十名ヲ定メ事務ヲ處理ス

第九條 本會々計ハ特別會計トシテ本組合會計之ヲ擔任ス

第十條 委員ハ會員罹災ノ通知アリタルトキハ直ニ現狀ヲ調査シ委員會ニ於テ見舞金ヲ査定シ本組合幹事會ノ承認ヲ經テ之ヲ實行ス會員ハ之ニ對シ異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得

第十一條 本會ノ事務及會計ノ決算ハ毎年一月本組合定時總會ニ於テ之ヲ報告ス

第十二條 會員ニシテ本組合規約第十二條ニ依リ組合員タル資格ヲ喪失シタルモノハ本會積立金及財産ノ分配ヲ請求スルコトヲ得ス

第十三條 本細則ハ昭和六年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

特別 決議

一、組合員ハ他ノ商品ヲ販賣スル爲メ福引、景品等ニ新刊雜誌ヲ使用スヘ

カラス

一、組合員ハ組合員外ノ者ニシテ新刊雜誌ヲ福引、景品等ニ使用スル目的ヲ以テ購求スル者又ハ其疑アル者ニハ販賣スルコトヲ得ス

東京雜誌販賣業組合幹事

組 長 大野 孫平
副組長 岸 他 丑
副組長 土屋 右近
伊藤 貫一 市川 松之輔
稻川 佐八 石塚 卯三郎
林 五郎 長谷川 留吉

東京圖書雜誌小賣業組合

所在地 神田區神保町一ノ六五(共同書籍内)
電話 神田 一三五 一番

東京圖書雜誌小賣業組合規約

西川 嘉平	本間 龍藏
石塚 隆美	國領 茂藏
大曾根 銈治	大川 義雄
小澤 作次郎	大橋 信一
岡崎 傳五郎	小澤 一男
門坂 吟一郎	芳根 次朗
藤井 誠治郎	高橋 又治
會根 高一郎	塚越 郁四郎
鶴岡 周作	中川 治三郎
中川 謙	中山 軍治
植野 錄夫	福田 滋次郎
福島 孝太郎	越石 保文
相川 治平	赤井 健
酒卷 修三	三井 傳藏

第一章 總 則

第一條 本組合ハ東京圖書雜誌小賣業組合ト稱ス

第二條 本組合ハ東京書籍商組合員又ハ東京雜誌販賣業組合員ノ小賣業者ヲ以テ組織ス

第三條 本組合ハ事務所ヲ東京市ニ置ク

第四條 本組合ハ必要ニ應ジテ各個所ニ支部ヲ設置スルコトヲ得 支部細則ハ別ニ之ヲ定ム

第二章 目的

第五條 本組合ハ組合員間ノ親睦ヲ旨トシ協同一致ヲ以テ斯業ノ發達隆盛ヲ圖リ併セテ營業上ノ弊風ヲ矯正スルヲ以テ目的トス

第六條 本組合ノ目的ヲ達センガ爲メ左ノ事項ヲ執行ス

一、圖書雜誌ノ販賣ニ關スル利害得失ヲ調査研究シ其ノ改善ヲ圖ルコト

二、月報ヲ發行シ必要ト認メタル場合ハ市會ヲ開キ又ハ營業上並ニ日常用度品ノ共同購入ヲナス事ヲ得

三、前各項ノ外本組合ノ目的ヲ達スルニ必要ト認ムル諸事項

第三章 組合員

第七條 本組合ニ加入セントスル者ハ其營業所商號始業年月日及氏名年齢ヲ記シ組合員貳名(一名ハ幹事)連署ノ上本組合ニ申込ムベシ

但シ支部推薦ニヨル加入申込者ハ支部長ノ署名ヲ要ス

第八條 組合員ニシテ其營業所ヲ移轉シタルトキハ直ニ本組合ニ届出ツベシ

第九條 組合員ハ組合經費負擔ノ義務ヲ負フ

第十條 組合員ニシテ廢業、脫退若クハ失格シタル者アルモ組合財産ノ分配ヲ請求スルコトヲ得ズ

第四章 役員

第十一條 本組合ハ組合員中ヨリ左ノ役員ヲ選舉ス

幹事 四十名

幹事ハ其互選ヲ以テ組長一名、副組長二名、常任幹事七名ヲ定ム

常任幹事ノ中常勤幹事一名、會計二名ヲ互選ス

第十二條 役員選舉ハ定期總會ニ於テ組合員ノ無記名連記投票ヲ以テ之ヲ行ヒ有効投票ノ多數ヲ以テ當選トス得票同數ナルトキハ年長者ヲ採リ同年ナルトキハ抽籤ニヨリ之ヲ定ム

選舉人名簿及投票用紙ハ選舉當日其會場ニ於テ交附ス

選舉長ハ組長之レニ當リ選舉委員ハ組長之ヲ定ム

第十三條 幹事ノ任期ハ一ケ年トス但シ再選ヲ妨ゲズ

第十四條 幹事ニ當選シタルモノハ正當ノ理由ナクシテ辭任スルコトヲ得ズ

第十五條 幹事ハ理由ナクシテ引續キ六ヶ月以上幹事會ニ缺席シタルトキハ幹事タル資格ヲ喪失ス

第十六條 本組合役員ノ職務權限左ノ如シ

- 一、組長ハ本組合ヲ代表シ副組長ハ組長ヲ補佐シ組長事故アル時ハ之ヲ代理ス
- 二、會計ハ會計ニ關スル事務ヲ掌理ス
- 三、幹事ハ諸般ノ議案ヲ審議シ且ツ規約第六條各項ノ事務ヲ分掌ス

第十七條 本組合ノ役員ハ總テ名譽職トス 但シ費用ヲ要シタル時ハ支辨ス

幹事中繁劇ノ事務ヲ處理シタル者ニ對シテハ幹事會ノ決議ヲ以テ賞與若クハ報酬ヲ爲スコトヲ得

第十八條 本組合ニ特ニ功勞アリタル者ヲ幹事會ノ決議ヲ經テ總會ニ於テ名譽幹事ニ推薦スルコトヲ得 名譽

幹事ハ終身トシ其職務權限ハ幹事ト同ジ

第五章 會 議

第十九條 會議ハ左ノ四種ニ分ツ

- 一、定期總會
- 二、臨時總會
- 三、幹事會
- 四、常任幹事會

第二十條 定期總會ハ毎年十一月之レヲ開キ左ノ事項ヲ舉行ス

- 一、前年度ノ庶務財産目錄及收支決算報告
- 二、前年度ノ豫算案審議
- 三、組長ヨリ豫メ提出シタル事項
- 四、役員ノ選舉
- 第二十一條 總會ニ於テハ豫メ組長ヨリ通知シタル事項ノ外ハ議スル事ヲ得ズ

第二十二條 臨時總會ハ幹事會ニ於テ必要ト認メタルトキ又ハ組合員十分ノ一以上ノ同意ニヨリ其目的事項ヲ

明示シテ組長ニ請求アリタルトキ之ヲ開ク

第二十三條 總會ヲ開カントスルトキハ七日前組長ヨリ會議ノ目的事項及場所ヲ組合員ニ通知スベシ

但シ緊急ヲ要スル場合ハ通知期間ヲ短縮スル事ヲ得

第二十四條 幹事會ハ毎月一回之ヲ開キ尚必要ノ場合ハ臨時幹事會ヲ召集シ常任幹事會ハ隨時之ヲ開ク

第二十五條 會議ハ出席員ノ過半數ヲ以テ決ス可否同數ナルトキハ組長之ヲ定ム

第六章 會 計

第二十六條 組合員ハ組合維持費トシテ月額金貳拾錢ヲ納入スルモノトス

第二十七條 本組合ノ經費ハ組合員月費寄附金及其他ノ收入ヲ以テ支辨ス

第二十八條 組合ノ積立金及收入金ハ幹事會ニ於テ定メタル銀行ニ預金ス

第二十九條 組合員ハ事務ニ妨ゲナキ

限り帳簿ノ閲覧ヲ求ムル事ヲ得

第七章 雜則

第三十條 本組合員ニテ死亡シタルトキハ弔慰料トシテ金三圓ヲ贈呈ス

第三十一條 本規約ハ總會ノ決議ニ依ルニアラザレバ變更スルコトヲ得ズ
第三十二條 本規約ハ昭和十年十一月十七日ヨリ施行ス

第四條 支部ヲ設置セントスル時ハ支部規約並ニ支部員名簿ヲ添付シ本組合ニ届ケ出デ其ノ承認ヲ受クル事ヲ要ス
第五條 支部ニ於テ規約ヲ變更シ又ハ支部員ニ移動ヲ生ジタル時ハ其ノ都度本組合ヘ届出デ承認ヲ受ク可シ
第六條 支部長ハ支部ヲ代表シ本組合ト聯絡ヲ執リ本組合規約第二章ノ目的ニ依ツテ協調ス
但シ支部長ハ本組合幹事ヲ兼任スル事ヲ得
第七條 支部長ハ必要ニ應ジ組長ヨリノ召集ヲ受ケ其ノ諮問ニ應ズルモノトス
第八條 本組合ハ當分ノ内支部ノ維持費トシテ當該支部員一名ニ付月額金拾錢ノ割合ヲ以テ支給ス
第九條 本組合ハ支部ニ對シ前條ノ支給ヲナス外其ノ會計ニ干渉セザルモノトス

東京圖書雜誌 組合支部細則

第一條 支部ハ本規約第四條ニ基キ是ヲ設置スル事ヲ得

第二條 支部ノ區域ヲ左ノ如ク定ム

第一區 麴町區、神田區、四谷區、牛込區、

第二區、日本橋區、京橋區、芝區、麻布區、赤坂區、

第三區、小石川區、本郷區、下谷區、淺草區、

第四區 本所區、深川區、向島區、城東區、葛飾區、江戸川區、足立區

第五區 品川區、大森區、蒲田區、荏原區、目黒區、世田ヶ谷區、

第六區 澁谷區、澁橋區、中野區、杉並區、

第七區 豊島區、板橋區、王子區、瀧野川區、荒川區、

但シ隣接地ハ當分ノ間是ノ限リニ非ズ
第三條 支部ハ前條ノ區域内ニ於テ常ニ二十五名ヲ減ゼザル組合員ヲ以テ組織スル事ヲ得

本間 龍藏 松原 環
松下 喜作 三井 傳藏

横田 廣吉

東京圖書雜誌小賣業組合幹事

- 組長 塚越 郁四郎
- 副組長 岸 他 丑
- 副組長 山本 芳之助
- 淺井 光之助 淺利 元治
- 相川 治平 青野 友三郎
- 伊藤 貫一 伊藤 今朝吉
- 稻川 佐八 石塚 卯三郎
- 市川 松之輔 植野 録夫
- 大川 義雄 小澤 作次郎
- 大塚 周吉 川合 初太郎
- 風間 彰一 笠原 力之助
- 木村 孝一 榎川 甚藏
- 越石 保文 酒卷 修三
- 清水 米吉 須田 忠輝
- 曾根 高一郎 田村 喜一郎
- 高橋 又治 土屋 右近
- 中川 治三郎 中山 軍治
- 根岸 林造 林 五郎
- 福島 孝太郎 福田 滋次郎

東京書籍卸業組合

所在地 神田區錦町二ノ二

電話神田三一三九

東京書籍卸業組合規約

第一章 總則

第一條 本組合ハ東京市及荏原郡豊多摩郡北豊島郡南足立郡南葛飾郡ノ地域内ニ營業所ヲ有シ圖書ノ卸賣ヲ業トスル者ヲ以テ組織ス
第二條 本組合ハ東京書籍卸業組合ト稱シ事務所ヲ東京市ニ置ク
第三條 本組合ハ組合員間ノ親睦ヲ篤シ無益ノ競争ヲ避ケ斯業ノ發達ヲ圖リ營業上ノ弊害ヲ矯正スルヲ以テ目的トス

第四條 本組合員ノ目的ヲ達センカ爲メ左ノ事項ヲ執行ス

- 一 圖書ノ卸賣ニ關スル利害得失ヲ調査又ハ研究シ其改善ヲ圖ル事
- 二 毎年大市會ヲ開催スルコト
- 但シ損失ヲ生ジタル場合ハ其損害ハ會ノ積立金ヨリ之ヲ支辨ス
- 三 組合員ノ從業者ニシテ七ヶ年以上勤務セル者ヲ表彰スルコト
- 四 組合員間ノ營業上ノ紛議ヲ調停スルコト

五 大市會ノ利益金ノ一部ヲ以テ店員慰安會ヲ開催スルコト
 六 本組合員中死亡又ハ災害ニ係リタル者有ルトキハ金員又ハ物品ヲ贈ルコト有ルヘシ(弔慰金ハ五圓トス)

但シ此場合ハ返禮ヲ要セス
 七 前各號ノ外本組合ノ目的ヲ達スルニ必要ト認ムル事項

第二章 組合員

第五條 本組合ニ加入セントスル者ハ其ノ營業所商號氏名年齢ヲ記シ加入金十圓ヲ添ヘ紹介者タル組合員二人ノ連署ヲ以テ申込ムヘシ但シ紹介者ノ一人ハ幹事タルコトヲ要ス
 本組合從業者ニシテ表彰セラレタル者ハ加入金ヲ要セス
 但シ一旦脱退シタル者再ヒ加入セントスル者ハ幹事會ノ決議ニ依リテ之ヲ定ム
 但シ此ノ場合加入金ヲ要ス

第六條 本組合ハ加入申込者ニ對シ幹事會ニ於テ審査シ其許否ヲ決ス
 第七條 組合員ハ左記各號ノ場合ニ於テハ七日以内ニ之ヲ本組合ニ届出ツヘシ
 一 營業所ノ移轉
 二 氏名若クハ商號ノ變更
 三 商號ノ併用若クハ廢止
 四 廢業

第八條 組合員ハ組合ノ經費トシテ月費三十錢ヲ負擔ス

第九條 組合員間ニアリテハ現ニ組合員ノ使用スル商號ト同一ノ商號ヲ用フルコトヲ得ス其ノ著シク相類似スルカ爲メニ取引上紛雜ヲ來タスノ虞アルモノニツキ亦同シ但シ先用者ノ承諾ヲ得タルトキハ此限リニアラズ
 第十條 組合員ニシテ本組合ニ特ニ功勞アリタル者ハ之ヲ表彰スル事アルヘシ
 第十一條 組合員ハ自己ニ關スル件ニ

付組合ヨリ出頭ヲ求メタルトキハ故ナク之ヲ拒ムコトヲ得ス

第十二條 組合員タル資格ハ其相續人若クハ法律上ノ家族ニ於テ營業ヲ繼續スル場合ニ限り之ヲ承繼スルコトヲ得
 但シ營業ヲ讓渡シ又ハ組織ヲ變更シタルトキハ前營業者名義ノ權利義務ヲ負ヒタル者又承繼スルコトヲ得

第十三條 組合員ハ左ノ事由ニ依リ其資格ヲ喪失ス
 一 任意ノ脱退
 二 廢業及營業ノ全部讓渡
 三 營業所ノ組合地域外移轉
 四 死亡若クハ法人ノ解散
 五 破産
 六 除名

第十四條 組合員ニシテ其資格ヲ喪失シタル場合ニ於テハ之ニ對シ財産ノ分配並ニ加入金ノ返還ヲ爲サス
 第十五條 組合員相互ノ商取引ハ特ニ

圓滑ヲ期シ必ス支拂ヲ延滞スヘカラス

第十六條 組合員ニ對シ商取引ノ支拂ヲ延滞シタル者アルトキハ被害者ヨリ其處分ヲ請求スルコトヲ得
 本組合ハ委員ニ依リ調査シ其事實ナルトキハ本組合員間ノ取引ヲ中止スルハ勿論之ノ旨ヲ東京書籍商組合ヘ申告シ支拂ノ義務ノ取立ヲナサシム但シ此ノ場合ハ金五圓ヲ要ス

第十七條 組合員ノ雇人中重大ナル不正行爲ニ依リ解雇シタルトキハ雇主ハ其者ノ氏名年齢及事由ヲ速カニ本組合ニ届出ツヘシ

本組合ハ此ヲ調査シ正當ト認メタルトキハ一般組合員ニ通知ス但シ急速ヲ要シ特別ノ通知ヲ請求シタル場合ハ其通知ニ要スル費用ハ請求者ノ負擔トス
 前項ノ通知ヲ受ケタルトキハ組合員ハ其ノ者ヲ雇入ルルコトヲ得ズ

第三章 役員

第十八條 本組合ハ組合員中ニリ幹事十人ヲ選出ス
 幹事ハ互選ヲ以テ組長一人副組長一人及會計正副二名ヲ定ム

第十九條 幹事ノ選舉ハ總會ニ於テ無記名連記投票ニ依リテ之ヲ行フ
 有效投票ノ多數ヲ得タル者ヲ以テ當選者トシ得票同數ナル者ノ間ニアリテハ年長者ヲ取り年齢ニ於テ決定シ難キ者ノ間ニアリテハ抽籤ニ依リテ當選者ヲ定ム

第二十條 幹事ノ選舉ハ總會ノ議長ヲ以テ選舉長トス
 第二十一條 幹事ノ選舉ハ代人ヲ以テ投票スルコトヲ得ス
 投票用紙ハ選舉ノ當日會場ニ於テ之ヲ交附ス

第二十二條 本組合ニ特ニ功勞アリタル者ハ幹事會ノ決議ヲ經テ總會ニ於テ名譽幹事ニ推薦スルコトヲ得

名譽幹事ハ終身トシ其職務權限ハ幹事ニ同シ

第二十三條 幹事ノ任期ハ一ヶ年トス
 第二十四條 幹事ニ當選シタル者ハ正當ノ事由ナクシテ辭任スルコトヲ得ス

第二十五條 幹事三人以上ノ缺員ヲ生シタルトキハ臨時總會ヲ開キ補缺選舉ヲ行フ補缺幹事ノ任期ハ前任者ノ殘任期トス
 第二十六條 幹事ハ無報酬トス但シ功勞アリタル者若クハ繁劇ノ事務ヲ處理シタル者ニ對シテハ幹事會ノ決議ヲ經テ表彰若クハ謝禮ヲ爲スコトヲ得

第二十七條 役員ノ職務權限左ノ如シ
 一 組長ハ本組合ヲ代表シ組合全般ノ事務ヲ統轄ス
 二 副組長ハ組長ヲ補佐シ組長事故アルトキハ之ヲ代理ス
 三 會計主任ハ會計ニ關スル事務ヲ掌理ス
 四 幹事ハ諸般ノ議案ヲ審議シ且規

約第四條各號ノ事務ヲ分掌ス

第廿八條 幹事會ハ其決議ニ依リ必要ノ規程又ハ細則ヲ定ムルコトヲ得但シ組合員共通ノ利害ニ重大ナル關係アルモノハ特ニ總會ノ決議ヲ經ルコトヲ要ス

第四章 會議

第廿九條 會議ヲ分チテ左ノ三種トス

- 一 定時總會
- 二 臨時總會
- 三 幹事會

第卅條 定時總會ハ毎年一月之ヲ開ク

- 一 前年度ノ庶務收支決算及財産目錄ノ報告
- 二 幹事ノ選舉
- 三 前各號ノ外豫メ組長ヨリ提出シタル事項

第卅一條 臨時總會ハ幹事會ニ於テ必要ト認メタルトキ又ハ組合員總數三分ノ一以上ノ同意ニ依リ其ノ目的事項ヲ明示シテ組長ニ請求アリタルト

キ之ヲ開ク

第卅二條 總會ヲ招集スルトキハ開會七日以前組長ヨリ會議ノ目的タル事項日時及場所ヲ組合員ニ通知スヘシ但シ急速ヲ要スル場合ニ於テハ通知期間ヲ短縮スル事ヲ得總會ニ於テハ豫メ組長ヨリ通知シタル事項ノ外議スルコトヲ得ス

第卅三條 幹事會ハ毎月一回之ヲ開ク

モノトシ組長之ヲ招集ス組長ニ於テ必要ト認メタルトキハ臨時ニ幹事會ヲ開クコトヲ得幹事會ハ幹事半數以上ノ出席ヲ以テ成立ス

第卅四條 會議ノ議長ハ組長之ニ當ル

組長事故アルトキハ副組長之ヲ代理シ組長副組長事故アルトキハ幹事ノ互選ヲ以テ代理者ヲ定ム

第卅五條 組合員ハ總會ニ於テ發言及表決ノ權ヲ有ス但シ會議ノ事項ニ關シ特別ノ利害關係ヲ有スル者ハ其會議ニ列スルコトヲ得ス

第卅六條 會議ハ本規約ニ特別ノ規定

アル場合ノ外出席員ノ過半數ヲ以テ其可否ヲ決ス可同數ナルトキハ議長之ヲ決ス

第卅七條 會議中議場ノ秩序ヲ紊ス者アルトキハ議長之ヲ制止シ其制止ニ從ハサル者ハ之ニ退場ヲ命スルコトヲ得

第五章 會計

第卅八條 組合ノ經費ハ月費加入金其他ノ收入ヲ以テ之ニ充ツ

第卅九條 緊急ノ場合ニ際シ臨時支出ヲ要スルトキハ幹事會ノ決議ヲ經テ支辨スルコトヲ得

第四十條 組合ノ基金及收入金ハ幹事會ニ於テ定メタル銀行ニ寄託ス

第四十一條 組合ノ會計年度ハ曆年ニ依ル

第六章 制裁

第四十二條 組合員ニシテ本規約ニ違背シタル者ハ幹事會ノ決議ニ依リ左

ノ制裁ヲ加フ

戒告
除名

一 月費滞納一ケ年ニ亙ル者

二 本組合ノ體面ヲ汚損シタル者

第四十三條 除名ニ處セラレタル者改悛ノ實アリト認メタルトキハ幹事會ノ決議ヲ經テ更ニ加入ヲ許スコトアルヘシ

第七章 規約及規程ノ變更

第四十四條 本規約及特ニ總會ノ決議

ヲ經タル規程ハ總會ノ決議ニ依ルニアラサレハ之ヲ變更スルコトヲ得ス
第四十五條 本規約及特ニ總會ノ決議ヲ經タル規程ノ變更ヲ議スヘキ總會ニアリテハ出席者ノ三分ノ二以上ノ多數ヲ以テ可否ヲ決ス

第八章 從業員表彰規程

第四十六條 本組合ハ從業者滿七ケ年以上勤績シ品行方正ニシテ業務ニ勉勵シタル者ヲ表彰ス但シ組合員ニシ

テ其加入後滿五ケ年ヲ經過セサル者ハ本規程ニ依ルコトヲ得ス

届出テハ雇傭主ヨリ届出ツヘシ期間ハ毎年九月一日ヨリ九月三十日迄トス

表彰式ハ毎年一月ノ總會ニ於テ舉行ス

第九章 取引規程

第四十七條 本組合相互ノ商取引ハ東京書籍商組合ノ取引規程ヲ適用ス

附則

東部書籍卸業協會

所在地

東京市日本橋區吳服橋二ノ五
株式會社 林平書店方

東部書籍卸業協會規約

第一章 總則

第一條 本協會ハ東日本ノ地域内ニ營

業所ヲ有スル書籍卸業者ヲ以テ組織ス

第二條 本協會ハ東部書籍卸業協會ト

稱シ、事務所ヲ東京市ニ置ク

第三條 本協會ハ協會員ノ協同一致親睦ヲ篤シ、相互ノ利益ヲ擁護シ斯業ノ發達ヲ圖ルヲ以テ目的トス

第二章 協會員

第四條 本協會ニ加入セントスル者ハ

其營業所、商號、氏名年齢ヲ記シ、

加入金百圓ヲ添へ紹介者タル協會員

二人ノ連署ヲ以テ申込ムベシ

第五條 本協會ハ加入申込者ニ對シ幹

事會ニ於テコレヲ審査シ其許否ヲ決

ス

第六條 協會員ハ左記各號ノ場合ニ於

テハ七日以内ニ之ヲ本協會ニ届出ヅ

ベシ

一、營業所ノ移轉

二、氏名若クハ商號ノ變更

三、商號ノ併用、若クハ廢止

四、廢業

第七條 加入金ハ脱退其他如何ナル事

情アリト雖之ヲ還付セズ

第八條 協會員ハ會費トシテ毎年二十圓ヲ負擔ス

第九條 協會員間ニアリテハ現ニ協會

員ノ使用スル商號ト同一ノ商號ヲ用

フルコトヲ得ス、其ノ著シク相類似

スルガ爲メニ取引上紛雜ヲ來ス虞アル

モノニツキテモ同ジトス

第十條 協會員タル資格ハ其ノ相續人

若クハ法律上ノ家族ニ於テ營業ヲ繼

續スルコトヲ得

但シ營業ヲ讓渡シ、又ハ組織ヲ變更

シタルトキハ前營業名儀者ノ權利義

務ヲ負ヒタル者又承繼スルコトヲ得

第十一條 協會員ハ左ノ事由ニ依リ其

ノ資格ヲ喪失ス

一、任意ノ脱退

二、廢業及營業ノ全部讓渡

三、死亡若クハ法人ノ解散

四、破産

五、除名

第十二條 協會員ハ販賣統制ノ爲メ東

京出版協會員、大阪圖書出版業組合

員、京都出版協會員、中等教科書協

會員ノ發行シタル圖書ニ限リ取扱フ

ヲ原則トス但シ特殊出版物ハ此ノ限

リニ非ズ、

第十三條 協會員ニ對シ商取引上不誠

意ナル行爲ヲナシタル者アルトキハ

被害者ヨリ其ノ處分ヲ請求スルコト

ヲ得、本協會ハ事實ヲ調査シタル後

會員間ノ取引ヲ中止スルハ勿論、コ

レヲ他ノ同業團體全部ニ申告シ支拂

ノ義務ノ取立ヲ爲サシム

第三章 役員

第十四條 本協會ハ協會員中ヨリ幹事

十人ヲ選出シ、互選ヲ以テ會長副會

長各一名ヲ選出ス

第十五條 幹事ノ選舉ハ總會ニ於テ無

記名連記投票ニ依リ之ヲ行フ

第十六條 幹事ノ任期ハ一ヶ年トス

第十七條 役員ノ職務權限ハ左ノ如ク

定ム

一、協會長ハ本協會ヲ代表シ協會全

體ノ事務ヲ統轄ス

二、副會長ハ會長ヲ補佐シ會長事故

アルトキハ會長事務ヲ代行ス

三、幹事ハ諸般ノ議案ヲ審議シ庶務

ヲ實行ス

第十八條 幹事會ハ其決議ニ依リ必要

ノ規程又ハ細則ヲ定ムルコトヲ得

第四章 會議

第十九條 會議ヲ分チテ左ノ三種トス

一、定時總會

二、臨時總會

三、幹事會

第二十條 定時總會ハ毎年一回、十月

ニ之ヲ開ク

一、前年度庶務收支決算及財産目錄

ノ報告

二、幹事ノ選舉

三、其他豫メ協會長ヨリ提出シタル

事項

第二十一條 臨時總會ハ幹事會ニ於テ

必要ト認メタルトキ又ハ組合員總數

三分ノ二以上ノ同意アリタルトキ之

ヲ開クコトヲ得

第二十二條 總會ヲ開催スルトキハ開

會七日以前協會長ヨリ議案日時、場

所ヲ協會員ニ通知スベシ

第二十三條 幹事會ハ隨時コレヲ開催

ス

第五章 會計

第二十四條 協會ノ經費ハ會費、加入

金、其他ノ收入ヲ以テ之ニ充ツ

第二十五條 臨時支出ヲ要スルトキハ

幹事會ノ決議ヲ經テ支辨スルコトヲ

得

第六章 制裁

第二十六條 規約ニ違背シタル者ハ幹

事會ノ決議ニヨリ左記各號ノ制裁ヲ

加フ

一、ホ事情ニ依リ併加シ行フコトアル

ベシ

一、戒告

二、違約金

三、除名

第二十七條 除名處分ヲ受ケタル者悔

悟ノ狀アリト認メタルトキハ總會ノ

決議ヲ經テ更ニ加入ヲ許スコトアル

ベシ

第七章 規約變更

第二十八條 本協會ノ規約ハ總會ノ決

議ニ依リニアラザレハ之ヲ變更スル

コトヲ得ズ

第二十九條 本規約ノ變更ヲ議スベキ

總會ニアリテハ出席者ノ三分ノ二以

上ノ多數ヲ以テ可否ヲ決ス

附則

第三十條 本規約ハ昭和十一年十月七

日ヨリ之ヲ施行ス

東部書籍卸業協會幹事

協會長 株式會社林平書店

副會長 富貴堂

株式會社 淺見 文林堂
 同 上 田 屋
 同 宇都宮 書店
 大阪屋號書店

神原文盛堂
 照 林 堂
 杉本翰香堂
 東都書籍株式會社

全國醫書組合

所在地 本郷區春木町三ノ三二(南江堂内)

全國醫書組合同規約

第一章 總 則

第一條 本組合ハ本邦(但シ臺灣、朝鮮、樺太ヲ除ク)ニ於テ醫書ノ出版又ハ販賣ヲ業トスル者ヲ以テ組織ス
 第二條 本組合ハ全國醫書組合ト稱シ事務所ヲ東京市ニ置ク
 第三條 本組合員ハ常ニ本規約ヲ遵守シ協同一致親睦和待チ取引ハ円滑ニ誠意著實相互ノ利益ヲ擁護シ斯業ノ發達ヲ圖ルヲ以テ目的トス

第四條 此規約ニ醫書ト稱スルハ醫科專屬ノ圖書一般及他科學ニ屬スル圖書ト雖、醫書、藥家並ニ醫、齒、藥學生ニ必要ノモノハ總テ之ヲ包含ス
 第二章 組 合 員
 第五條 本組合員ハ一定ノ組合標札ヲ店頭ノ見易キ場所ニ掲クヘシ
 第六條 本組合員ハ組合ノ維持費トシテ毎月金七拾錢ヲ負擔ス
 第七條 本組合ニ加入セント欲スル者

ハ本組合所定ノ用紙ニ其營業所、商號、氏名、年齢、法人ニアリテハ姓名、代 者氏名ヲ記シ紹介者タル組合員二人ノ連署ヲ以テ加入金壹百圓ヲ添ヘ事務所ニ申込ムヘシ
 個人カ法人ニ變更シタル場合又ハ法人ノ性質ヲ變更シタル場合ハ新ニ加入手續ヲナスモノトス。但シ其實質ニ於テ變更ナキト認メタル場合ハ役員會ノ決議ヲ以テ加入金ヲ免除ス
 支店、分店、出張所ハ各別ニ加入スヘキモノトス。但シ各店各所毎ニ代表者ヲ届出ツヘシ
 第八條 本組合員ノ從業者ニシテ滿十ヶ年以上勤続シタルモノハ加入金ヲ半額トス。但シ舊營業主ノ連署シタル勤続年限證明書ヲ加入申込書ニ添付スヘシ
 第九條 本組合ハ加入申込者ニ對シ役員會ニ於テ可否ヲ決ス
 第十條 加入金ハ脱退其他如何ナル事

情アリト雖之ヲ還付セス

第十一條 組合員ハ左ノ事由ニヨリテ其ノ資格ヲ喪失ス

- 一、任意ノ脱退
- 二、廢業又ハ營業ノ讓渡
- 三、法人ノ解散
- 四、破 産
- 五、除 名
- 六、組合費六ヶ月以上滞納シタル時組合ヲ脱退シタルモノハ一ヶ年ヲ經過スルニ非サレハ再ヒ加入スルヲ得ス

組合員タル資格 其ノ相續人若クハ法律上ノ家族ニ於テ營業スル場合ニ限リ之レヲ繼承スルコトヲ得

第三章 役 員

第十二條 本組合ハ左ノ役員ヲ置ク
 組 合 員 一人
 副組合長 一人
 常務委員 五人
 第十三條 本組合員中ヨリ役員七名ヲ

連記無記名投票ヲ以テ選舉シ役員ノ互選ヲ以テ組合長、副組合長及常務委員ヲ選任ス

第十四條 役員ノ任期ハ二ヶ年トシ定期總會ニ於テ之ヲ選出ス
 第十五條 役員ハ無報酬トス
 第十六條 役員ハ規約上ノ處分權ヲ有ス
 第十七條 役員ハ規約上ニ明文ナキ事項ト雖、役員會ノ決議ヲ以テ之ヲ處分スルコトヲ得
 第十八條 組合長ハ組合ニ關スル業務ヲ擔任シ會計財産及保管ノ任ニ當リ副組合長及常務委員ハ之ヲ補佐ス
 組合長事故アルトキハ副組合長之ニ代リ副組合長事故アルトキハ常任委員ノ一人之レニ代ル

第四章 販賣及取引

第十九條 醫書ハ總テ一定賣價ヲ以テ販賣スヘシ
 第二十條 醫書ハ破損又ハ汚損ヲ生シ

一見新本ノ體裁ヲ保チ難キモノノ外古本ト看做シ販賣スル事ヲ得ス

第二十一條 本組合員ニシテ古本賣買營業者ハ其取扱フ所ノ醫書古本ニハ組合ノ規定シタル記號ヲ捺捺シ新本トノ區別ヲ判然タラシムヘシ
 第二十二條 本組合員ニシテ支拂延滞者アリタルトキハ其被害者ハ左ノ要件ヲ詳記シ處分ヲ本組合ニ請求スルコトヲ得
 延滞ニ關スル前後住復ノ情況
 延滞金額

第二十三條 前條ノ請求アリタル場合ハ役員ハ之レヲ調査シ延滞ノ事實ヲ確メタルトキハ被請求者ニ對シ延滞金額ヲ指定期日間ニ支拂フヘキコトヲ催告スヘシ

第二十四條 既ニ發表シタル一定賣價及正味ハ更ニ改正ノ通知ヲ經サル前其發行者又ハ發賣所ハ任意之レヲ變更スヘカラス

第二十五條 取引シタル書籍ニシテ買受後三週間以内ニ新版發行ノ場合ハ其殘本ハ引換ヲ請求スルコトヲ得但シ汚損無キモノニ限ル

第二十六條 本組合外ノ書店ニ對スル醫書ノ割引率ハ組合員ニ對スル割引ノ半額ヲ超ユルヘカラス

第二十七條 本組合員外ノ書店ニシテ一定賣價ヲ亂シ販賣シタルトキハ其書店ニ對シ一切取引セサルモノトス組合ハ其商號氏名ヲ直ニ組合員ニ通知スヘン

第五章 通知

第二十八條 本組合員ノ醫書ヲ發行シタルトキハ書名、著譯者、定價、正味、送料、發行者(發賣所)ヲ明記シ組合ニ届出ツヘシ

第二十九條 組合ハ前條ノ通報アリタル時ハ之レヲ組合員ニ通知スヘシ但シ發行者ニ於テ他ノ方法ヲ以テ發表スルトキハ此限ニ非ス

第三十條 組合ハ違約處分又組合員ノ異動アリタル時ハ直ハ組合員ニ之レヲ通知スヘシ

第三十一條 組合員ハ組合員中規約違背ノ行爲アル者ヲ發見シタルトキハ速ニ之レヲ事務所ニ通知スヘシ

第三十二條 組合員ハ氏名住所代表者ノ變更、又ハ組合ヲ脱退セントスル時ハ直ニ事務所ニ届出ツヘシ死去ノ場合ハ其遺族ヨリ届出ツルモノトス

第六章 會議

第三十三條 本組合ノ會議ハ左ノ四種トス
役員會、定期總會、臨時總會、仲裁會議

第三十四條 役員會議ハ組合事務ニ關スル諸般ノ件ヲ議ス

第三十五條 定期總會ハ毎年壹回五月之レヲ開キ左ノ事項ヲ附議ス
一、前年度ノ庶務、收支決算等及財

産目錄ノ報告

一、前各項ノ外豫メ組合長ヨリ提案シタル事項

第三十六條 總會及仲裁會議ヲ招集セントスルトキハ開會十日前、組合長ハ會議ノ目的タル事項、日時、場所ヲ通知スヘシ、但急速ヲ要スル場合ハ通知期間ヲ短縮スルコトヲ得總會ニ於テハ豫メ通知シタル事項ノ外議スルヲ得ス

總會ニ出席シ難キ場合ハ委任狀ヲ以テ組合員ニ委任スルコトヲ得

第三十七條 臨時總會ハ組合員拾人以上連名請求アリタル時、又ハ組合長之レヲ必要ト認メタル時開ク

第三十八條 仲裁會議ハ第四十五條、第四十六條ノ場合之レヲ開キ會議ハ公開ス

第三十九條 役員會ハ役員四人以上、總會ハ組合員五分ノ一以上出席スルニアラサレハ之レヲ開クコトヲ得ス

一、證責

二、違約金 貳百圓以下

三、取引停止 三ヶ年以内

四、除名

第五十一條 左ノ各項ニ該當スルモノハ除名ス
一、二同以上違約金若クハ取引停止處分ヲ受ケ尙ホ違背シタルトキ

二、延滞金ヲ皆済スヘキ通告ヲ受ケ其指定日時内ニ皆済セサルトキ

三、仲裁會議ノ決定ニ服從セサルトキ

四、違約金ノ徵集ニ應セサルトキ

五、本組合ノ體面ヲ汚損シタルトキ

第五十二條 除名處分ヲ受ケタル者悔悟ノ狀アリト認メタルトキハ處分後六ヶ月以上ヲ經テ加入ヲ許スコトヲ得

第五十三條 前條ノ加入ヲ許可スル場合ハ本組合員三名ノ連署ヲ要シ更ニ加入金ヲ徵收ス

合ニ向テ仲裁會議ヲ請求スルコトヲ得

第八章 仲裁

第四十六條 組合員間ニ營業上ニ關シ紛議ヲ生シタル場合ハ其ノ一方若クハ双方コリ本組合ニ其仲裁會議ヲ請求スルコトヲ得

第四十七條 仲裁會議ノ請未アリタルトキハ仲裁會議ヲ組織シ左記人員ヲ選出シ調停セシム役員中ヨリ役員ノ選出シタルモノ三人

請求者ヨリ選出シタル組合員二人、被請求者ヨリ選出シタル組合員二人

第四十八條 仲裁會議ノ議長ハ前記會議員中ヨリ互選ヲ以テ之レヲ定ム

第四十九條 仲裁會議ノ決定ニ對シテハ双方服從スヘキモノトス

第九章 制裁

第五十條 規約違背處分ハ左ノ四種トシ事情ニヨリ併如シ行フコトアルヘシ

第四十條 會議ハ出席者半数以上ノ同意ニヨリ決ス可否同數ナルトキハ議長之レヲ決ス

第四十一條 出席者發言セントスルトキハ必ス議長ノ許可ヲ經ヘシ

第四十二條 會議ノ議長ハ組合長之レニ當リ組合長事故アルトキハ副組合長、副組合長事故アルトキハ常務委員ノ壹人之レニ當ル

第四十三條 議長ハ議場ヲ整理シ議場ヲ妨害スル者アルトキハ之ヲ退場セシムルコトヲ得

第七章 專賣

第四十四條 本組合員ノ一人若クハ數人ニ發賣ノ特約アルモノ更ニ他ノ一人若クハ數人ニ依託セントスル場合ハ後者ハ前約者ノ承認ヲ得ヘキモノトス

第四十五條 前條ノ場合正當ノ理由ナク或ハ惡意ヲ以テ之ヲ拒ミ若クハ、強請スルトキハ前約者又ハ後者ノ組

第十章 規約變更

第五十四條 本組合ノ規約ハ總會ノ決議ニ依ルニ非サレハ之レヲ變更スルコトヲ得ス
第五十五條 本規約ノ變更ヲ議スヘキ總會ニアリテハ出席者ノ三分ノ二以上ノ多數ヲ以テ可決ス
附 則
第五十六條 本規約ハ昭和九年三月一

日ヨリ之ヲ施行ス

全國醫書組合常務委員

會長 小立 鉦四郎
副 今井 甚太郎
淺井 光之助 大倉 保五郎
山口 徳太郎 山崎 信興
横山 大槌

東京古書籍商組合

所在地 神田區小川町三ノ二二
電話神田二一六九五

東京古書籍商組合規約

第一章 總 則

第一條 本組合ハ東京古書籍商組合ト稱ス
第二條 本組合ハ古書籍專賣業者ヲ以

テ組織ス

第三條 本組合ハ組合員協力一致シテ斯業ノ發達ヲ計リ併セテ營業上ノ弊害ヲ矯正シ組合員ノ利益ヲ圖リ且ツ

各自德義ヲ重シテ親睦ヲ圖ルヲ以テ目的トス

第四條 本組合ノ地區ハ東京府 一回

トス、但シ島嶼ヲ除ク

第五條 本組合ハ事務所ヲ東京市ニ置ク

第六條 本組合ノ目的、事業左ノ如シ

一、機關誌ノ發行

二、相談部ノ設置

三、斯業ニ關スル諸問題ノ研究

四、從業者ノ保護獎勵

五、修養、共濟、保健、娛樂機關ノ設置

六、功勞者ノ表彰

七、組合員間ノ營業上ニ關スル紛議ノ調停

八、組合員ノ災害死亡ニ對スル慰問

第二章 加入及脱退

第七條 本組合ニ加入セントスル者ハ所定ノ申込書ニ氏名、商號、住所並ニ營業所ノ所在地ト店主ノ外從業者

ノ資格ヲ尖ヒタル者ハ組合財産ノ分配ヲ請求スルコトヲ得ス

第二十條 組合員ハ本組合員ノ雇傭中ノ從業者ヲ其ノ雇主ノ承諾ナクシテ雇入ル、コトヲ得ス雇主ハ正當ノ理由ナクシテ之ヲ拒ムコトヲ得ス

第二十一條 組合員ハ事務ノ妨ケナキ限リ組合備付ノ帳簿ノ閱覽ヲ求ムルコトヲ得

第二十二條 本組合員ハ組合員間ニ於ケル營業上ノ紛議ニ關シ本組合ノ調停ヲ求ムル事ヲ得

第二十三條 組合員相互間ニ於テ取引上ノ義務ヲ履行セサル者アルトキハ別ニ定メタル取引規定ニ依リ之ヲ處理ス

第二十四條 組合員ハ本組合公認市場ノ相場及ヒ其ノ標準相場ヲ公表シ又ハ公表セシムルコトヲ得ス

第二十五條 組合ハ買入廣告ニ價格ヲ

ノ數ヲ明記シ組合員三名(内二名ハ營業所所在地ノ選舉區ヨリ選任セラレタル役員ニ限ル)連署ノ上履歷書、營業許可書寫シヲ添エ組合事務所ニ申込ムヘシ

本組合ハ加入申込ニ對シ役員會ニ於テ審査ノ上認否ヲ決シ加入ヲ承認シタルトキハ組合員名簿ニ登録シ月報ヲ以テ組合員ニ通知ス

第八條 分店並ニ支店ハ各別ニ加入スベシ

第九條 本組合員ニシテ癡業、又ハ脱退セントスルモノハ速ニ組合ニ届出ツヘシ

第三章 組合員

第十條 本組合員ニシテ書籍交換市會ヲ組織セントスルトキハ本組合ノ承認ヲ要ス

第十一條 本組合員ノ經營スル交換市會ニテハ組合員外ノ者ト取引スルコトヲ得ス

第十二條 交換市會ニ關スル規定ハ細則中ニ之ヲ定ム

第十三條 組合員ハ本組合ノ經費ヲ負擔スル義務アルモノニシテ一ケ年以

上繼續シテ之ヲ怠リタルトキハ組合員ノ資格ヲ失フモノトス

第十四條 組合員ハ本組合ノ規約並ニ決議ヲ遵守スル義務アルモノトス

第十五條 本組合員ハ總會ニ於テ議案ヲ審議シ且ツ建議ヲナスコトヲ得

但シ建議ハ總會ノ三日前迄ニ書面ヲ以テ組長ニ差出スベシ

第十六條 組合員ニシテ組合ニ功勞アリタル者ハ役員會ノ決議ヲ經テ表彰スルコトアルベシ

第十七條 組合ニシテ破産ノ宣告ヲ受ケタル者ハ本組合員タルノ資格ヲ失フ、但シ復權シタル者ハ改メテ加入シ得ルモノトス

第十八條 組合員ニシテ破廉罪ニ依リ處刑セラレタル者ハ除名ス

第十九條 脱退又ハ規約ニ依リ組合ノ資格ヲ失ヒタル者ハ組合財産ノ分配ヲ請求スルコトヲ得ス

第二十條 組合員ハ本組合員ノ雇傭中ノ從業者ヲ其ノ雇主ノ承諾ナクシテ雇入ル、コトヲ得ス雇主ハ正當ノ理由ナクシテ之ヲ拒ムコトヲ得ス

第二十一條 組合員ハ事務ノ妨ケナキ限リ組合備付ノ帳簿ノ閱覽ヲ求ムルコトヲ得

第二十二條 本組合員ハ組合員間ニ於ケル營業上ノ紛議ニ關シ本組合ノ調停ヲ求ムル事ヲ得

第二十三條 組合員相互間ニ於テ取引上ノ義務ヲ履行セサル者アルトキハ別ニ定メタル取引規定ニ依リ之ヲ處理ス

第二十四條 組合員ハ本組合公認市場ノ相場及ヒ其ノ標準相場ヲ公表シ又ハ公表セシムルコトヲ得ス

第二十五條 組合ハ買入廣告ニ價格ヲ

記載スルコトヲ得ス但シ組合ノ承認ヲ得タルモノハ此限リニアラス
 本條及ヒ前條ノ細則ハ別ニ之ヲ定ム
 第二十六條 本組合ハ自己ニ關スル件ニツキ組合ヨリ出頭ヲ求メタルトキハ故ナク之ヲ拒ムコトヲ得ス
 第二十七條 組合員ニシテ出征スル者、災害ヲ受ケタル者、死亡シタル者アルトキハ共濟規定ニ從ヒ所定ノ見舞金又ハ弔慰金ヲ交付スルモノトス
 第二十八條 組合員ハ本組合ニテ交付シタル標章ヲ店頭ニ掲出スヘシ
 第二十九條 組合員ニシテ死亡、相續、營業所ノ移轉、又ハ氏名商號ヲ變更シタルモノハ速ニ組合ニ届出ツヘシ
 第四章 役員
 第三十條 本組合ハ本組合員中ヨリ役員三十五名ヲ選出ス、選舉區域及定員ハ左ノ通り定ム
 第一區 麴町區 神田區 日本橋區

京橋區 八名
 第二區 牛込區 四谷區 淀橋區
 中野區 杉並區 八王子市 南多摩郡 北多摩郡 七名
 第三區 麻布區 芝區 赤坂區 荏原區 澁谷區 品川區 目黒區 蒲田區 大森區 世田谷區 七名
 第四區 本郷區 小石川區 豊島區 板橋區 王子區 瀧野川區 荒川區 七名
 第五區 下谷區 淺草區 本所區 深川區 城東區 向島區 足立區 葛飾區 江戸川區 六名
 第三十一條 本組合ニ左ノ役員ヲ置ク
 組長 一名 副組長 二名 庶務 一名 會計 二名 評議員 二十九名
 前項ノ役員ハ前條ニヨリ選出セラレタル役員ノ互選ヲ以テ定ム

組長ハ本組合ヲ代表シ其ノ事務ヲ管理ス
 副組長ハ組長ヲ補佐シ組長故障アルトキ之ヲ代理ス
 評議員ハ組長ノ諮詢ニ應シテ組合事項ヲ議決シ業務施行ノ狀況ヲ監査スルモノトス
 組長、副組長共ニ故障アルトキハ互選ヲ以テ定メタル評議員之ヲ代理ス
 第三十二條 役員選舉ハ任期滿了以前各區ニ於テ無記名連記投票ヲ以テ之ヲ行フ
 得票同數ナルトキハ八年長者ヲ取り年齡ニ依リ難キトキハ抽籤ヲ以テ之ヲ定ム
 選舉長ハ組長之ヲ定メ選舉委員ハ選舉長之ヲ定ム
 第三十三條 投票ハ必ス本人ニ限リ左ノ投票ハ無効トス
 一、一定ノ用紙ヲ用ササルモノ
 二、氏名ノ何人ナルカヲ確認シ難

キモノ
 三、被選舉資格ナキ者ノ氏名ヲ記載シタルモノ
 第三十四條 役員ノ任期ハ二ケ年トシ再選ヲ妨ケス
 第三十五條 役員中缺員ヲ生シタルトキハ次點者ヲ以テ之ニ充ツ、補缺役員ノ任期ハ前任者ノ殘任期間トス但シ任期ノ三分ノ一ヲ經過シタルトキハ補任セサルモノトス
 第三十六條 役員中三ヶ月以上無斷缺席シタルトキハ役員ノ資格ヲ失フ
 第三十七條 一選舉區域ノ役員ニシテ三分ノ一以上ノ缺員ヲ生シタルトキハ其ノ區ニ於テ補缺選舉ヲ行フ
 第三十八條 左記ノ者ハ役員タルコトヲ得ス
 一、未成年者、女子、禁治産者、準禁治産者
 二、違約處分ヲ受ケ二年ヲ經サル者
 三、禁錮以上ノ刑ニ處セラレ滿期又

ハ赦免後二年ヲ經サル者者クハ刑ノ執行猶豫中ノ者
 第三十九條 各區ノ選舉長ハ選舉ノ日時及場所ヲ定メテ之ヲ行ヒ當選決定シタル役員ノ氏名ヲ遲滞ナク組長ニ通知スヘシ 組長ハ直チニ當選者ニ當選ノ旨ヲ通知スルモノトス
 第四十條 組合ノ役員ハ名譽職トス但シ費用ヲ要シタルトキハ其ノ實費ヲ辨價ス
 第四十一條 組合ニ相談役及顧問ヲ置クコトヲ得
 第四十二條 相談役ハ組合ニ功勞アル者ヨリ役員會ノ決議ヲ以テ推薦ス
 第四十三條 相談役ハ役員會ニ出席シテ議事ニ參與ス但シ議決ニ加ハラサルモノトス
 第五章 會議
 第四十四條 會議ヲ分チテ左ノ二種トス
 一、定期總會 及臨時總會

二、役員會
 第四十五條 定期總會ハ毎年一月之ヲ開キ臨時總會ハ組長ニ於テ必要ト認メタルトキ又ハ組合員五分ノ一以上ノ同意ヲ以テ會議ニ付スヘキ事項ヲ示シ請求アリタルトキ之ヲ開ク 前項ノ請求アリタル場合ニ於テ十日以内ニ組長總會召集ノ手續ヲナサ、ルトキハ請求者之ヲ召集スルコトヲ得
 第四十六條 役員會ハ毎月之ヲ開ク但シ組長ニ於テ必要ト認メタルトキハ臨時役員會ヲ開クコトヲ得
 第四十七條 各會議ニ於テ議決スヘキ事項左ノ如シ
 總會
 一、規約變更ニ關スル件
 二、經費豫算並ニ組合費賦課ニ關スル件
 三、其ノ他組合全般ニ亙ル重要事項
 役員會
 一、總會ニ附議スル議案ノ審査

二、總會ニ報告スヘキ組合收支ノ決算及業務成績
 三、規約ヲ施行スルニ必要ナル諸規定ノ制定及變更
 四、官廳ニ對シ營業上ニ關スル建議又ハ諮問ニ關スル件
 五、違約者處分又ハ仲裁調停ニ關スル件
 六、組合員ノ加入ノ承認其ノ他組長ニ於テ必要ト認ムル件
 第四十八條 總テ會議ハ五日以前ニ會議ノ目的タル事項、日時及場所ヲ通知スルモノトス、但シ緊急已ムヲ得サル場合ハ此限ニアラス
 第四十九條 會議ノ議長ハ組長之ニ當ル
 第五十條 會議ノ事項ニ關シ特別ノ利害關係アル者ハ表決ノ數ニ加ハルヲ得ス
 第五十一條 會議ハ本規約ニ別段ノ定アル場合ノ外出席者ノ過半数ヲ以テ

決ス可否同數ナルトキハ議長之ヲ決ス
 第六章 會計
 第五十二條 組合ノ經費ハ會費其他ノ收入ヲ以テ支辨ス
 第五十三條 本組合ノ會計年度ハ毎年十二月一日ニ始マリ翌年十一月三十日ニ終ルモノトス
 第五十四條 緊急ノ場合ニ際シ豫算外ノ支出ヲ要スルトキハ役員會ノ決議ヲ經テ支辨スルコトヲ得
 第五十五條 經費決算ハ年度經過後一ヶ月以内ニ之ヲ完了シ決算報告書ヲ作成シ業務成績ト共ニ監督官廳ニ報告シ且ツ組合員ニ公示ス
 第七章 從業員ノ取締及保護獎勵
 第五十六條 組合員ハ毎月一日ノ休暇ヲ店員ニ與フモノトス
 第五十七條 本組合ハ店員獎勵ノ趣旨ニ依リ滿七ヶ年以上勤續シタル者ニ

對シテハ賞狀ヲ贈與シ其ノ功ヲ表彰ス
 第五十八條 本規定ニ於テ店員ト稱スルハ組合員ノ雇傭スル從業者ヲ云フ
 第五十九條 組合員ノ店員ニ左記ニ該當スル不正行爲アリシ爲之ヲ解雇シタルトキハ其ノ者ノ氏名年齢及ヒ理由ヲ附シ本組合ニ申告スヘシ
 一、詐欺横領、又ハ窃盜的行爲ニ依リ雇主又ハ他人ニ損害ヲ與ヘタル者
 二、禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者
 第六十條 前條ノ場合ニ於テハ組合ハ之ヲ調査ノ上事實ト認メタルトキハ之ヲ組合員ニ通知ス
 組合員ハ通知ヲ受ケタル日ヨリ六ヶ月間其者ヲ雇傭スルコトヲ得ス
 但シ前條ノ申告人ヨリ解除ノ申込アリタルトキハ其ノ旨組合員ニ通知スルモノトス 本條ニ依リ要シタル費用ハ申告人之ヲ負擔スルモノトス

第八章 違約處分

第六十一條 本組合員ニシテ規約ニ違背シタル者アルトキハ役員會ノ決議ヲ經テ左ノ違約處分ヲ行ヒ月報ヲ以テ之ヲ發表ス
 第一項 規約第十條、第十一條、第十四條、第二十條、第二十四條、第二十五條、第六十條ノ規定ニ反シテ本組合ノ譴責ヲ受ケタル者改悛ノ意ヲ表セス譴責ノ原因又ハ理由ヲ除去セラルトキハ拾圓以上百圓以下ノ過怠金ニ處ス
 第二項 規約第十一條、第二十條、第二十四條、第二十五條、第六十條ノ規定ニ反シテ本組合ノ譴責ヲ受ケタル者改悛ノ意ヲ表セス譴責ノ原因又ハ理由ヲ除去セラルトキハ拾圓以上百圓以下ノ過怠金ニ處ス
 第三項 規約第十條、第十四條、第二十四條、第二十五條ノ規定ニ違反シテ譴責ヲ受ケタル者其ノ行爲ヲ改メスシテ違反ヲ重ネタルトキ

及ヒ本條第二項ノ過怠金ヲ組合ニ納入セサル者ハ除名ス
 第六十二條 除名處分ヲ受ケタル者ニシテ改悛ノ實アリト認メタルトキハ處分後一ヶ年ヲ經テ改メテ加入ヲ許スコトアルヘシ
 但シ此場合ハ組合員三名(内一名ハ役員)以上ノ保證アルヲ要ス
 第六十三條 本章ノ處分ハ組長之ヲ行ヒ文書ヲ以テ違約者ニ
 第九章 規約變更
 第一條 本細則ハ組合規約ヲ施行スル爲メ定ムルモノトス
 第一章 加入金及會費
 第二條 本組合規約第七條ニ依リ組合ニ加入セントスル者ハ加入金參拾圓ヲ添ヘ申込ムモノトス

組合規約施行細則

第六十四條 規約ノ變更ハ總會ニ於テ組合員總數ノ四分ノ三以上ノ同意ヲ以テ之ヲ決議シ府知事ノ認可ヲ受ケルモノトス
 但シ定數ニ達セサルトキハ假決議ヲナスコトヲ得此場合ニ於テハ組合員ニ其ノ假決議ノ趣旨ヲ通知シ更ニ第二回ノ總會ヲ召集スルコトヲ要ス
 第二回ノ總會ニ於テハ出席組合員ノ過半数ヲ以テ假決議ノ諾否ヲ決ス
 昭和八年七月一部改正
 昭和十年一月一部改正
 第三條 本組合規約第五十七條ノ受賞者ニハ前條ノ加入金ヲ免除ス 但シ一旦脱退シタル者ハ此限リニアラス
 第四條 新ニ組合員タラントスル者ハ現ニ組合員ノ使用スル同一商號ヲ使用スルコトヲ得ス

但シ先用者ノ承諾ヲ得タルトキハ此限ニアラス

第五條 本組合ノ負擔スヘキ月費ヲ左ノ三種トス

一、店舖ヲ有セサル者又ハ店舖ヲ有

スルモ店主ノ外従業員ヲ有セザ

ル者 金參拾錢

二、店主ノ外従業員二名以内ヲ有ス

ル者 金四拾錢

三、店主ノ外従業員三名以上ヲ有ス

ル者 金六拾錢

四、従業員ノ數ハ年度始メノ現在ニ

依ル

第六條 會費ノ賦課及集金方法ハ役員

會之ヲ定ム

第二章 交換市會

第七條 本章ニ交換市會ト稱スルハ主

トシテ古書籍ヲ賣買取引スル市會ニ

テ定期ニ開催スルモノヲ云フ

第八條 交換市會ハ本組合ノ承認ヲ得

スシテ開催スルコトヲ得ス

第九條 交換市會ハ同區又ハ隣接區ニ

既設市會アル場合ハ同日ニ開催スル

コトヲ得ス

但シ其ノ既設市會ノ承認ヲ得タルト

キハ此限リニ非ス

第十條 交換市會ハ定期、臨時ヲ問ハ

ス組合員ニ非サル者ヲ會員トナスコ

トヲ得ス

第十一條 本組合員ニシテ交換市會ヲ

開設セントスルモノハ所轄署ノ許可

ヲ受クル以前ニ左記條項ニ基キ文書

ヲ以テ本組合ニ承認ノ申請ヲナスモ

ノトス

一、市會ノ名稱、開催ノ場所、日、

時ヲ明記スルコト

二、市會ノ規則並ニ會員全部ノ氏名

及代表者ノ氏名ヲ届出ツルコト

三、施行細則第九條ニ該當スル場合

ハ但シ書キノ承諾書ヲ要ス

四、申請ト同時ニ調査費金拾圓也ヲ

本組合ニ納入スルコト

但シ不承認ノ場合ト雖モ返還セ

ス

第十二條 交換市會承認ノ申請アルト

キハ本組合ハ當該委員ニ於テ之ヲ調

査シ役員會ニ於テ審議ノ上承認スヘ

キヤ否ヤヲ決ス

第十三條 役員會ニ於テ交換市會ヲ承

認ナスモノト決シタルトキハ直チニ

假承認ヲ與フルモノトス

但シ承認書ヲ得ルニ非サレハ市會ヲ

開催スルコトヲ得ス

假承認ヲ受ケタル交換市會ハ所轄署

ノ許可ヲ受クルコトヲ要ス

第十四條 前條ノ交換市會ハ所轄署ノ

許可ヲ得タルトキハ承認料金貳拾圓

也ヲ添ヘ直チニ本組合ニ其ノ旨届出

ツルモノトス本組合ハ之ヲ受理シテ

承認書ヲ交付ス

第十五條 交換市會ニシテ規約第十一

條ニ違反シタル場合ハ其ノ會員全部

ニ規約第六十一條ヲ適用ス

第十六條 交換市會ハ名稱ノ變更規約

ノ改正、代表者並ニ會員ノ變動、休

會又ハ解散シタルトキハ直チニ本組

合ニ届出ツヘシ

第十七條 交換市會ノ場所、日、時ヲ

變更セントスルトキハ本組合ノ承認

ヲ要ス

第十八條 前條ノ變更力第九條ニ牴觸

スル場合ハ但書キノ承諾書アルニ非

サレハ承認セサルモノトス

第十九條 交換市會ニシテ三ヶ月以上

休會シタルトキハ解散シタルモノト

認ム

第二十條 本組合員ハ本組合ノ承認シ

タル交換市會以外ノ定期古書籍市會

ニ於テ賣買ヲ行フコトヲ得ス

但シ本組合ノ地域外ニ於テハ此限リ

ニ非ス

第二十一條 他府縣ノ同業者ニシテ交

換市會ニ於テ賣買ヲ行フモノハ本組

合員ノ紹介ヲ要ス

但シ常ニ交換市會ニ於テ賣買ヲナス

者ハ本組合ノ地域内ニ寄留シテ加入

スヘキモノトス

第二十二條 本組合員ニシテ臨時交換

市會ヲ開催セントスルトキハ三日以

前ニ本組合ニ届出ツルモノトス

但シ第九條ニ牴觸スル場合ハ但シ書

キノ承認ヲ要ス

第三章 表 彰

第二十三條 七ヶ午以上本組合ノ役員

ニ當リタル者ニハ記念品ヲ贈呈シテ

表彰スルモノト定メテ功勞アル者

ハ年限ニ拘ラス役員會ノ決議ヲ以テ

表彰スルコトアルヘシ

第二十四條 組合規約第五十七條ノ資

格ヲ有スル者アルトキハ其ノ雇主ハ

十月一日ヨリ同月末日迄ニ店員ノ原

籍、氏名、年齢、雇備年月日等ヲ所

定ノ用紙ニ記載シ履歷書ヲ添ヘ組合

員二名ノ保證ヲ以テ本組合ニ届出ツ

ルモノトス

第二十五條 同時ニ二人以上ノ受賞資

格者ヲ申告スル場合一人ヲ超ユル人

員ニ對シテハ表彰費一人ニ付金參

圓ヲ雇備者ニ於テ納付スルモノトス

第二十六條 本組合ハ毎年十一月ヲ以

テ前條ノ届出ニ對シ役員會ノ決議ニ

依リ之ヲ決定ス

第二十七條 受賞者ノ氏名ハ組合員一

般ニ通告ス

第二十八條 店員ノ勤続年月此ノ規定

ニ該當スルモ雇主本組合ヘ加入後三

ヶ年ニ滿タサル者ハ表彰ノ規定ヲ適

用セス

第二十九條 褒賞狀ハ毎年定期總會ニ

於テ之ヲ授與ス

第三十條 勤続年限ノ算出ハ左ノ各項

ニ依ル

一、店員勤続中兵役ニ服シタル者ハ

服役年限ヲ通算ス

二、年齢十二歳未滿ニテ雇備セラレ

タル者ハ滿十二歳ヨリ起算ス

三、年限ノ算出ハ其ノ雇傭年月日ヨリ起算シ受賞資格届出年度ノ十月末日迄ヲ通算ス

第四章 共濟部

第三十一條 本組合規約第六條第五項、第八項及第二十七條ニ依リ左ニ該當スルモノヲ申告アル場合ニ限リ慶弔慰問ス

一、組合員ノ死亡 金參拾圓
二、組合員ノ配遇者、父母、十五歳以上ノ相續人ノ死亡 金拾圓

但シ其ノ組合員ノ居室ニ於テ葬儀ヲ營ムモノニ限ル

三、組合員ノ出征 金拾圓
四、組合員ノ水火災ニ罹リタル場合ハ其ノ程度ニ依リ 金五拾圓以內

第三十二條 左ニ該當スルモノハ第一條ヲ適用セス

一、組合月費六ヶ月以上滞納シアルモノ

二、無届移轉場所ニ於ケル水火災
三、事實發生後一ヶ年以上経タルモノ

第三十三條 第一條ニ該當スル事項一時ニ多數發生シ所定ノ金額ヲ交付スル能ハサル場合ニ於テハ共濟部基金全部ヲ提供シ之ヲ按分シテ共濟スルモノトス

第三十四條 共濟部ノ委員ハ組合役員中各選舉區ヨリ二名宛選任シ本章ノ事務ヲ處理スルモノトス

第三十五條 共濟部委員ハ第一條ニ該當スル申告アリタルトキハ速ニ現状ヲ調査シ委員會ノ決議ヲ經テ共濟金ヲ交付スルモノトス

第三十六條 組合員ハ共濟部委員會ノ決議ニ對シ異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得ス

第三十七條 共濟事業ノ會計ハ別途會計トシ本組合會計之ヲ擔任シ毎年一月定期總會ニ於テ決算報告ヲナスモノトス

ノトス

第五章 取引規定

第三十八條 本組合員相互間ニ於テ取引上ノ義務ヲ履行セサル者アルトキハ債權者ヨリ本組合ニ其ノ解決ヲ請求スルコトヲ得

第三十九條 前條ノ請求アリタルトキハ本組合ハ其ノ事實ヲ調査シ不履行者ニ對シ期間ヲ定メテ義務ノ履行ヲ催告ス

第四十條 前條ノ催告ヲ受ケタル者期間内ニ故ナク其ノ履行ヲ爲サ、ルトキハ組合ハ之ヲ組合員ニ通知シ及ヒ各市會ノ入場ヲ拒絶スルコトヲ得

第四十一條 組合ハ前條ノ處分ヲナシタルトキハ之ヲ本人ニ通知スルコトヲ要ス

前條ノ處分ニ對シ不服アル者ハ其ノ通知ヲ受ケタルトキヨリ一週間以內ニ理由ヲ付シテ異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得

第五十三條 調停ニ要シタル費用ハ當事者ノ負擔トス

第八章 組合員徽章佩用規定

第五十四條 組合員ハ同業者ノ集會又ハ市會ハ入場ノ際ハ必ラス徽章ヲ着クルコト

第五十五條 徽章ハ絶對ニ他人ニ貸與又ハ賣買スルコトヲ得ス

第五十六條 徽章紛失ノ際ハ其ノ區ノ役員二名ノ證明ヲ得實費ヲ納メテ再交付ヲ求ムルコトヲ得

第五十七條 退會並ニ廢業ノ際ハ直ニ徽章ハ組合ニ返納スルコト

第九章 細則ノ變更

第五十八條 本細則ノ變更ハ役員會ノ多數ヲ以テ之ヲ定ム 但シ第五條ノ變更ハ總會ノ決議ニ依ルモノトス

東京古書籍商組合役員

組長 三橋 彦次郎

役員會ハ直ニ其ノ異議ノ申立ヲ審議シ其ノ處分ヲ更正スルコトヲ得

前項ノ役員會ノ決定ニ對シテハ異議ヲ申立ツルヲ得ス

第四十二條 第四十條ノ處分ヲ受ケタル者其ノ義務ヲ履行シ又ハ決濟ニ付協調ヲ遂ケタルトキハ各當事者ヨリ組合ニ其ノ處分ノ解除ヲ請求スルコトヲ要ス

第四十三條 本組合ハ前條ノ請求アリタルトキハ調査ノ上直ニ處分ノ解除ヲナシ之ヲ本組合員並ニ市會ニ通知ス

第四十四條 組合員ニ對スル通知ハ月ニ掲載シテ之ニ代フルコトヲ得

第六章 相場公表規定

第四十五條 組合公認市場ノ相場ハ組合ノ刊行物ヲ以テ發表スルモノトス

第四十六條 組合員ニシテ規約第二十五條ノ承認ヲ得ントスルトキハ其ノ全文及ヒ期間方法ヲ記載シタル書類

二通ヲ組合ニ届出スヘシ

第四十七條 前條ノ届出アリタルトキハ之ヲ受理シタル日ヨリ五日以內ニ當該委員之ヲ處理ス

第四十八條 左ニ該當スルモノハ之ヲ承認ス

一、組合員ノ公益ヲ害セサルモノ
二、不純ノ意志ナキコト明白ナルモノ

第七章 相談部

第四十九條 相談部ハ組合員ノ營業上其ノ他難事ニ遭遇セル場合申出ヲ俟ツテ斡旋ノ勞ヲ執ル

第五十條 組合ノ調停ニ對シテハ双方本規約ヲ遵守シ後日異議ヲ申立テサルコト

第五十一條 相談部ノ事務ハ相談部ノ委員之ヲ行フ 相談部委員ハ役員之ニ當ル

第五十二條 事件ニ利害關係ヲ有スル役員ハ委員タルコトヲ得ス

書籍業團體一覽

副組長 高橋 誠一
 同 井上 喜多郎
 野口 治平 荒田 惣太郎
 東條 英治 松崎 義治
 酒井 宇吉 諏訪 久作
 瀧元 靜雄 澤田 長三

鴨志田儀三郎 前野 政雄
 鎌田彦右衛門 水谷 春之輔
 佐藤 專一 河野 俊三
 小幡 瀧藏 若林 福藏
 萩尾 進平 菰池 佐一郎
 三好 茂吉 深澤 一男

染野 松五郎 窪川 精治
 川島 五三郎 森井 信藏
 北川 義雄 杉野 正吉
 石川 光太郎 武内 豊平
 二見 新治郎 林 俊三郎
 白井 常次郎 磯野 捨次

書籍業團體一覽

東京書籍商組合 神田區駿河臺一ノ二
 全國書籍商組合聯合會 神田區駿河臺一ノ二
 東京出版協會 神田區小川町三ノ八
 中等教科書協會 神田區小川町三ノ八
 日本雜誌協會 神田區一ツ橋教育會館內
 東京雜誌販賣業組合 神田區駿河臺四ノ二
 東京圖書雜誌小賣業組合 神田區神保町一ノ五(共同書館內)
 全國醫書組合 本郷區春木町三ノ三(南江堂內)
 七日會 神田區小川町三ノ三(神戶方)

中央雜誌會 麴町區丸ビル三(都河方)
 東京書籍卸業組合 神田區錦町二ノ二(島村方)
 東部書籍卸業協會 日本橋區吳服橋二ノ五(林平書店內)
 益友會 神田區錦町二ノ二(島村方)
 富登美會 下谷區上野町一ノ八(木村方)
 城北交睦會 豐島區池袋二ノ二七(大會根方)
 親交俱樂部 麴町區麴町二ノ二(福田方)
 三區同志會 芝區三田一ノ一六(福島方)
 懇和會 日本橋區馬喰町二ノ二(綱島方)
 清和會 神田區神保町一ノ五(高岡方)
 昭和會 神田區神保町一ノ五(高岡方)
 交和會 本郷區
 東京南部圖書雜誌商組合 蒲田區蒲田町六八五(伊藤方)

城西懇和會 杉並區高圓寺七ノ九四(小澤方)
 城南圖書雜誌同業組合 品川區南品川二ノ八四(土屋方)
 都南組合 世田谷區下馬一ノ五(中川方)
 東會 下谷區坂本町三ノ三(市川方)
 中會 日本橋區兩國四(山本方)
 山の睦會 澁橋區角筈二ノ三七(本間方)
 同志會 目黒區自由ヶ丘五〇(門坂方)
 城東睦會 江戸川區逆井一ノ九四(丸山方)

明治大正會 神田區須田町一ノ二(赤井方)
 同志俱樂部 神田區一ツ橋通三(相賀方)
 東京古書籍商組合 神田區小川町三ノ二二
 東京書圖俱樂部 神田區小川町三ノ二二
 文藝家協會 芝區田村町五ノ二
 全國兵書組合 牛込區市ヶ谷本村町九
 ヤングブックメンズ 神田區神保町一ノ二(學習社內)
 ソサエテイ

梅若堂文具店 向島隅田町一ノ三四六
 梅田康文堂書店 芝西久保廣町三五
 梅原書店 麴町鐵道省內賣店
 梅村書店 蒲田新宿三六〇
 浦井文明堂 淀橋拍木一ノ八〇
 浦島商店 淺草公園仲見世東側四六
 浦田商店 瀧野川中里町二九四
 瓜生濟生館 本郷本郷六ノ五
 雲水閣 世田谷經堂町五五
 芸艸堂支店 本郷湯島一ノ一
 運輸社代理部 芝新橋六ノ三

え・系

エビス出版社 日本橋通一ノ野村ビル内
 エスカ力堂 淺草千束町一ノ一四〇
 エスベラント研究社 麴町九段三ノ二
 エロス堂 淺草千束町二ノ二五四
 エンピツ屋 葛飾本町四
 永昌堂 淀橋下落合一ノ四九一
 永文堂 淺草永住町一二五
 永樂堂 葛飾小谷野町三二〇
 永樂賣店 麻布市兵衛町二ノ三七
 永樂屋 麴町大手町一ノ六六藥ビル内
 榮運商店 杉並上荻窪七〇九
 足立梅田町一九六二

榮久堂 大森入新井一ノ三八
 榮光堂 世田谷玉川等々力町山邊二ノ一六五五
 榮松堂 日本橋人形町二ノ六
 榮昭堂 日本橋蠣殻町四ノ一〇
 榮進堂 小石川竹早一〇八
 榮泉堂 杉並高圓寺六ノ六七四
 榮文堂分店 杉並荻窪三ノ一四
 榮文堂 下谷豊住町三六
 英語俱樂部 芝三田四國町二ノ一
 英語研究會 麴町二番町四二
 英語研究會 本郷動坂町九四
 英語研究會 澁谷榮通二ノ一三
 英山堂 神田錦町三ノ六
 英進社 日本橋大傳馬町一ノ二
 英美社 芝二本榎町二ノ一四
 英文法通論發行所 澁谷千駄ヶ谷一ノ三三三
 英蘭書房 麻布龍土町一八
 益文堂 麴町富士見町三ノ三
 江川三角堂 神田錦町二ノ二
 江戶川書房 足立下沼田九四二
 江戶屋 江戸川東小松川二ノ三三三
 越後屋 淺草千束町三ノ九
 越山堂 目黒上目黒六ノ二五七〇
 豐島日出町一ノ一六

越前屋 大森久ヶ原町三九五
 榎本書店 牛込榎町三〇
 榎本文華堂 杉並堀ノ内二一四
 荏原堂書店 日本橋蠣殻町三ノ八
 荏原中延町四四〇
 海老原商店 麴町竹早町一
 海老原商店 東京外國語學校內賣店
 惠比壽屋 江戸川東小松川四、二五
 繪卷屋 瀧野川西ヶ原町五二九
 演藝畫報社 本郷駒込動坂町一一〇
 園藝書院 世田谷松原町三ノ八六五
 延文堂 淺草石濱町二ノ一五
 遠藤文房具店 葛飾下小松町九一八
 A B C 本所野川二ノ二二
 芝白金今里町五五

を・お

オ・アミ書店 豐島西巢鴨三ノ九三〇
 オートモビル社 京橋京橋一ノ二千代田證券ビル
 オールカス社 神田錦町三ノ三
 シンクニカトライ 本郷湯島三組町五九
 おきつ文具店 城東大島町二ノ四一〇
 をことや 杉並 荻三ノ一五
 おもだかや商店 本所向島須崎町二五〇
 大綱堂 豐島西巢鴨三ノ九三〇

大井商店 淀橋東大久保一ノ四三三
 大井書店 品川南品川三ノ二五五
 大石書店 牛込戸山町九
 大内商店 芝西久保巴町四八
 大岡山書店 赤坂臺町一四
 大岡山堂 目黒宮ヶ丘一八七八
 大木屋書店 淺草藏前三ノ六
 大木書屋 本郷富士前町一二
 大國屋 向島吾嬬町四八ノ五
 大熊商店 淺草菊屋橋三ノ五ノ一五
 大久保昌盛堂 江戸川逆井一ノ二七三
 大倉書店 本郷湯島天神町三ノ一〇
 大雲堂 日本橋通一ノ一九
 大雲堂 神田神保町一ノ九
 大雲堂 本町橋町二ノ一〇
 大雲堂 神田神保町二ノ三
 大阪屋號書店 大森新井宿六ノ六八〇
 大島書店 日本橋吳服橋二ノ五
 大志満屋 淀橋拍木四ノ九五九
 大竹林書店 神田鎌倉町八
 大竹書店 世田谷三軒茶屋町一七六
 大田書店 日本橋芳町一ノ二
 大田書店 本所野川一ノ二四
 大田書店 大森大森三ノ一三四二

太田商店 板橋練馬南町二ノ三七二
 太田屋 淀橋西大久保二ノ二五五
 太田屋 足立本木町二四七三
 大谷書店 中野桃園町一四
 大谷龍文堂 蒲田小林町二二三
 大地屋書店 豐島池袋二ノ一〇七
 大地屋書店支店 豐島池袋二ノ一〇七
 大塚巧藝社 本郷金助町四五
 大塚書屋 日本橋室町四ノ一
 大塚書屋 日本橋兜町二ノ五五
 大塚書屋 赤坂新町二ノ四
 大津光文堂 淺草淺草橋三ノ三三
 大坪書店 神田神保町一ノ七
 大富堂 深川高橋四ノ八
 大富堂 城東南砂町六ノ二〇一
 大友書店 淀橋戸塚町三ノ五
 大庭書店 豐島西巢鴨二ノ三三三
 大野商店 小石川林町八〇
 大野商店 中野鷺宮四ノ一〇二七
 大野書店 神田小川町三ノ六
 大野書店 小石川同心町五
 大橋書店 本郷森川町七一
 大橋支店 淺草北仲町九
 大橋支店 葛飾新宿町三ノ六一八
 大場書店 下谷西町二

大林堂 麻布新堀町二
 大原堂 荏原上神明町一五
 大前書店 江戸川平井町一ノ九七一
 大村書店 小石川武島町一〇
 大向堂 目黒三谷町四〇
 大山書堂 澁谷榮通一ノ二四
 大山書堂 大森大森五ノ二二四六
 大矢書堂 板橋板橋町四ノ二五六
 大屋書房 深川清澄町二ノ一
 小喜多商店 神田神保町一ノ一
 小川弘文堂 下谷御徒町三ノ四
 小川支店 杉並荻窪三ノ二二三
 小川書店 神田神保町一ノ一四
 小川出版社 牛込神樂町二ノ一二
 小川書店 本郷春木町三ノ三七
 小川南郊堂 麻布新堀町一
 小川文具店 淺草茅町二ノ二
 小川文具店 牛込早稲田鶴卷町三八
 小笠原書店 大森新井宿五ノ五七五
 小澤書店 淺草馬道町六ノ五
 小澤書店 小石川諏訪町五九
 小澤書店 芝日本榎西町二
 小澤書店 淺草鳥越町二ノ八
 小澤書店 蒲田御園町三三八
 小澤雄文堂 澁谷上通二ノ一八

小田商店 下谷上車坂町六〇
 小野光文社 荏原戸越町一二四八
 小野澤書店 深川西平井町一五
 小野塚本所堂 本所龜澤町四ノ四
 小野勉強堂 本郷湯島天神町一ノ五
 小倉書店 神田三崎町一ノ一
 歐米市名譽刊行會 澁橋下落合四ノ一九六
 歐米旅行案内社 神田今小路一ノ三
 旺文堂 麴町三番町二二
 近江屋書店 四谷新宿一ノ五
 應來社書房 日本橋兜町三ノ三〇
 王子書店 神田駿河臺二ノ一〇
 王子下十條五七九
 淺草石濱町二ノ一
 櫻雲堂 芝櫻川町二五
 櫻楓會商業部 小石川目白臺
 日本女子大學構内
 下谷入谷町二二六
 櫻林堂 四谷大番町四五
 扇橋屋 豐島西巢鴨二ノ三三
 扇橋書店 澁谷代々木山谷町三五
 岡崎屋書店 深川石島町二八一
 岡澤文信堂 神田神保町一ノ一五
 岡田三角堂 神田多町二ノ二
 瀧野川西ヶ原町八九四

岡田商店 小石川駕籠町五二
 岡田新誠堂 澁谷千駄ヶ谷四ノ六六
 岡田東榮堂 荏原中延町二七六
 岡田日榮堂 神田神保町一ノ六七
 岡田松屋 神田佐久間河原二七號神田川
 岡野商店 深川門前仲町二ノ三
 岡安商店 澁谷伊達町四七
 岡村書店 本郷駒込神明町三八六
 岡野商店 牛込早稲田鶴卷町四四
 岡村書店 淺草柳橋一ノ二一
 岡安商店 本所向島二ノ八岡安方
 奥村書店 澁谷常盤松町六五
 奥澤文雅堂 神田錦町一ノ二
 奥田文昭堂 世田谷玉川與澤町二ノ六三
 奥野書店 荒川三河島町二ノ三六三
 奥村松榮堂 杉並馬橋四ノ四〇
 奥上清文堂 神田神保町一ノ七
 奥村書店 神田神保町三ノ一三
 奧野書店 荏原小山町四五九
 奧村書店 中野大和町一〇一
 奧野書店 大森田圃調布二ノ八六
 奧野書店 小石川小日向水道町六
 奧野書店 大森大森四ノ一八二二
 奧野書店 荒川尾久町六ノ六〇七
 奧野書店 深川白河町四ノ四

尾張屋 京橋月島西仲通九ノ八
 荏原敬文堂 神田神保町一ノ三
 荏原星文館 神田神保町一ノ三五
 織田書店 牛込西五軒町四八
 織田書店 麻布龍土町五九
 音羽出版 淺草北清島町七八
 音羽出版 小石川音羽町四ノ二
 温胡堂書店 神田三崎町三ノ三六
 温胡堂書店 澁谷八幡通一ノ二四

カオリ社 神田錦町一ノ一二
 カナモジカイ 澁橋戸塚町三ノ一二
 カナリヤ書店 芝芝公園六號地協同會館内
 カネメヤ 中野江古田一三二二
 カバメヤ 下谷仲御徒町一ノ一四
 カジマ書店 中野新山通二ノ一四
 カガミ社 深川白河町四ノ四
 カガミ社 小石川雜司ヶ谷一〇〇
 カガミ社 淺草馬道一ノ一伊藤方
 カガミ社 品川北品川二ノ八九
 カガミ社 荏原中延町二七二
 カガミ社 中野江古田一三三八
 カガミ社 向島吾嬬町西二ノ九一
 がま金堂 深川永代町一ノ六

からすや 江戸川東長島町九三七
 開拓社 牛込山吹町二二五
 開文社 神田西神田一ノ二
 開文社 下谷二長町二七
 開文社 澁橋上落合一ノ四七二
 開文社 世田谷赤堤二ノ五三五
 開文社 神田錦町一ノ二
 開文社 神田錦町三ノ一四
 開文社 杉並阿佐ヶ谷一ノ三二
 開文社 小石川小日向臺町二
 改進社 芝新橋七ノ一五
 改進社 四谷新宿町二ノ五四
 改進社 中野沼袋南三ノ三〇九
 改進社 麴町内山下町一ノ東洋ビル内
 改進社 澁橋下落合三ノ一三七
 改進社 麴町内幸町一ノ六商エビル二
 改進社 神田小川町二ノ一ノ二
 改進社 蒲田六郷町二九〇
 改進社 蒲田蒲田町一ノ二八八
 改進社 澁谷千駄ヶ谷町二ノ三二
 改進社 神田神保町三ノ三
 改進社 麴町下六番町一七
 改進社 日本橋茅場町二ノ二
 改進社 神田猿樂町一ノ五
 改進社 小石川雜司ヶ谷町五二

香柏社 豐島堀ノ内町一〇三五
 化學工業時報社 京橋京橋三ノ四精美館内
 科學知識普及會 蒲田御園町二六九
 科學知識普及會 麴町丸ノ内二ノ六
 科學知識普及會 板橋東大泉町五一〇
 科學知識普及會 向島吾嬬町西五ノ九一
 科學知識普及會 麴町麴町六ノ三ノ一
 科學知識普及會 神田昌平河岸四號地
 科學知識普及會 目黒上目黒六ノ一六四
 科學知識普及會 本郷湯島新花町三四
 科學知識普及會 荒川日暮里三ノ一九六
 科學知識普及會 日本橋茅場町二ノ二
 科學知識普及會 荏原戸越町四〇一
 科學知識普及會 向島吾嬬町東三ノ六七
 科學知識普及會 澁橋東大久保二ノ元八
 科學知識普及會 葛飾本町三
 科學知識普及會 神田神保町二ノ一九
 科學知識普及會 王子王子榎町三一〇
 科學知識普及會 本所平川橋四ノ一ノ三
 科學知識普及會 神田同朋町二
 科學知識普及會 小石川大塚仲町二〇
 科學知識普及會 豐島堀ノ内町一二四
 科學知識普及會 江戸川平井三ノ八一八
 科學知識普及會 神田小川町三ノ八ノ三

笠原書店 江戶川小松川三ノ七五
 柏木書店 澁橋柏木町三ノ三二五
 柏木書店 杉並阿佐ヶ谷三ノ四八
 柏木書店 淺草石濱町二ノ八
 堅木書店 神田神保町三ノ四
 片桐書店 神田末廣町二三
 片野書店 神田神保町一ノ三
 片野書店 蒲田蒲田町七〇九
 片山有信堂 神田神保町三番岡田方
 梶川書店 神田金澤町二二
 加島勉強堂 大森田圃調布四ノ五
 加藤玉泉堂 荒川尾久町三ノ三三六
 加瀬書店 下谷金杉上町九三
 加藤書店 京橋銀座西五ノ二
 加藤書店 四谷永住町一
 加藤書店 京橋月島西仲通一ノ二
 加藤書店 豐島池袋一ノ六四二
 加藤書店 荏原戸越町九三九
 加藤書店 京橋銀座西五ノ三對面館内
 加藤書店 城東龜戸町三ノ二四九
 加藤書店 芝芝公園一五號一
 加藤書店 城東龜戸町四ノ四三
 加藤書店 澁橋西落合三ノ九三六
 加藤書店 荒川南千住町一ノ四〇
 加藤書店 神田神保町三ノ六

鹿取豐文堂 牛込神樂町一ノ五
 家事及裁縫社 牛込矢來町二二
 家庭生活改善會 本郷駒込坂町四七
 要書房 深川西平井町一五
 活動社 下谷入谷町三三〇
 夏矢堂 深川富岡町一ノ三三
 金井書堂 杉並西高井戸二ノ三八
 金刺書店 澁橋下落合一ノ五三五
 金子出版部 神田神保町三ノ九
 金子杉商堂 芝南佐久間町二ノ二
 金會木堂 小石川久堅町八三
 金田商屋 日本橋彌敷町四ノ九
 金原商店 下谷下根岸町七一
 金子商店 下谷谷中初音町四ノ九
 金平商店 本郷湯島切通坂町二二
 蒲田文化堂 蒲田麴谷町一ノ二二〇
 蒲田書房 蒲田女塚町五二一
 蒲田屋 荏原小山町五七四
 龜井屋 荏原中延町二八四
 龜井屋 神田淡路町二ノ一三
 龜井屋 杉並高圓寺六ノ七五八
 上方屋書店 瀧野川瀧野川町三〇七五
 神田神保町三ノ二二

上條昭和堂 向島吾嬬町西二ノ九一
 上山書店 澁谷下通二ノ一一
 茅沼書店 神田西神田一ノ三
 畫報社 日本橋濱町二ノ八八
 畫覽堂 赤坂表町三ノ一二
 神谷書店 神田小川町一ノ五
 神山書店 澁谷下通二ノ一三
 神田書屋 本所龜澤町二ノ一九
 神戶書店 足立千住仲町五八
 神田書店 麴町九段一ノ八
 神田書店 城東龜戸町六ノ一二一
 川上盛文堂 王子豐島町二四八三
 川島商店 城東南砂町一ノ〇三三
 川島商店 向島吾嬬町東三ノ六八
 川島商店 品川北品川三ノ二一五
 川津豐文堂 蒲田羽田鈴木町一五八
 川津書店 向島吾嬬町三ノ五四
 川邊書店 神田多町二ノ二
 川原書店 赤坂福吉町一
 川村書房支店 本郷森川町三〇
 川村書房支店 目黒上目黒八ノ五一
 川村書房支店 神田三崎町一ノ二
 川村書房支店 下谷上車坂町六〇
 神田三崎町三ノ一日本大學構内
 本所橋本町二丁目
 日本大學普通部構内

川村拓文堂書店 小石川大塚町六八
 河上書店 芝新橋五ノ一八
 河島書房 中野新井樂師町四七一
 河野明文館 日本橋通三ノ一
 河野書屋 芝愛宕町二ノ八五
 河端書店 神田神保町一ノ六九
 河內書屋 麻布宮下町六
 河鍋書店 日本橋兩國一二
 河本商社 牛込早稲田鶴卷町四三
 河本商社 京橋銀座四丁目交詢ビル内
 唐木屋 日本橋通二ノ四
 唐木屋 淺草淺草橋三ノ三一
 觀流社 淺草馬道町三ノ一四
 觀流社 荏原戸越町一ノ九四
 合弘堂書店 神田神保町三ノ六
 合弘堂書店 神田三崎町一ノ八
 考之方研究社 神田一ツ橋通町二
 貫文堂 芝南佐久間町二ノ四
 貫文堂 澁橋角等日本中學校賣店
 貫文堂 麴町下六番町一七
 干城堂 牛込早稲田鶴卷町四三
 干城堂 神田神保町二ノ二
 干城堂 神田神保町二ノ二
 干城堂 神田神保町一ノ四五
 干城堂 澁橋戸塚町一ノ六二九

巖翠堂書店 神田三崎町二ノ三六

きくくや 淺草田中町九二
 キクヤ文具店 本 龜澤町二ノ一九
 キムラヤ 豊島長崎南町一ノ八三六
 キンクビヤ 下谷中根岸町七三
 キンクビヤ 神田多町二ノ三
 キンクビヤ 中野上町二一
 キンクビヤ 牛込北山伏町一九
 キンクビヤ 本所錦糸町二ノ一一
 キンクビヤ 小石川大塚町三五
 キンクビヤ 澁橋角等一ノ八二六
 紀伊國屋書店 京橋銀座六ノ一
 紀伊國屋書店 神田須田町一ノ二四須田町七
 紀元書房 杉並松庵南町六一
 紀元協會 本所平川橋三ノ六ノ四
 紀元協會 神田錦町三ノ二四
 紀元協會 深川平野町三ノ一一
 紀元協會 小石川西青柳町一
 紀元協會 本郷森川町一
 紀元協會 神田神保町二ノ一七
 紀元協會 小石川小日向水道町三
 紀元協會 澁谷千駄ヶ谷二ノ四六〇
 紀元協會 蒲田蒲田町一〇七四

機械評論社 大森田園調布三ノ三三
 起久屋書店 神田小川町一ノ一
 菊水書肆 本所堅川四ノ八
 菊地商堂 世田谷玉川與澤一ノ三六
 菊地商堂 神田大和町八
 菊地商堂 中野橋場五〇
 菊地商堂 四谷本村町九
 菊地商堂 神田神保町二ノ四八
 菊地商堂 神田淡路町二ノ一九
 菊地商堂 大森田園調布三ノ三五
 菊地商堂 杉並阿佐ヶ谷一ノ八五
 喜久屋 京橋木挽町一ノ一七
 喜久屋 日本橋通三ノ三
 喜久屋 京橋築地二ノ四
 喜久屋 神田三崎町一ノ五
 喜久屋 王子上十條一四一四
 喜久屋 小石川雜司ヶ谷町三二
 喜久屋 深川萬年町二ノ一三
 喜久屋 品川五反田一ノ三八四
 喜久屋 豊島西巢鴨三ノ八八一
 喜久屋 本所横川橋四ノ六
 喜久屋 本郷弓町一ノ一二
 喜久屋 深川西平野町一
 喜久屋 荒川町屋三ノ一三五九
 喜久屋 澁谷幡ヶ谷本町二ノ一七

岸田書店 芝三田同朋町三
 北澤書店 王子岩淵町一ノ八五五
 北澤書店 神田神保町二ノ五
 北澤書店 神田神保町二ノ三
 北澤書店 向島寺島町五ノ八八
 北澤書店 麻布田島町一〇
 北澤書店 豊島高田町三二七
 北澤書店 澁谷代々木上原二四〇
 北澤書店 城東大島町二ノ五〇〇
 北澤書店 世田谷玉川上野町二八一
 北澤書店 赤坂青山南町五ノ六七
 北澤書店 神田小川町一ノ共成社内
 北澤書店 小石川小日向臺町一七
 北澤書店 小石川戸崎町一三
 北澤書店 牛込早稲田鶴卷町四七
 北澤書店 荒川南千住町八ノ四四
 北澤書店 淺草北清島町一ノ一六
 北澤書店 小石川若荷谷町七三
 北澤書店 本郷本富士町二
 北澤書店 神田神保町一ノ一五
 北澤書店 淺草龜岡町一ノ一五
 北澤書店 世田谷代田二八七二〇
 北澤書店 本所向島一ノ四
 北澤書店 淺草公園仲見世西側四
 北澤書店 杉並天沼一ノ一四八

貢文堂	神田神保町一ノ三
厚生閣	麴町下六番町四八
更生社	小石川高田豊川町三〇
更新出版	世田谷上馬町三ノ二〇八
向山堂	麴町丸ノ内三菱二一號
向文堂	麴町九段一ノ一二
校風閣	淀橋柏木一ノ五八
言問堂	本郷駒込千駄木町一六六
見文堂	本所向島須崎町一六一
康文堂	浦田御園町二三三
康文堂	大森調布鶴ノ木町八一
紅梅堂	牛込早稲田鶴卷町二〇七
紅梅堂	世田谷下馬町三ノ七八
紅梅堂	世田谷下馬町三ノ三〇
紅梅堂	牛込矢來町八
航成社	江戸川小岩町四ノ一八元
鴻之集	麴町内幸町一ノ七幸ビル内
鴻之集	麴町飯田町二ノ三
港灣協	芝新橋五ノ四
廣惠堂	内務省土本館海部課内
廣惠堂	澁谷下通四ノ一八
廣惠堂	澁谷中通一ノ二二
廣進堂	荏原小山八八
廣進堂	麴町紀尾井町六

廣文館	神田神保町一ノ九
廣文館	神田神保町一ノ九
廣文館	本郷駒込林町三〇九
廣文館	京橋京橋一ノ八
廣文館	大森新井宿二ノ二七九
廣文館	豊島池袋二ノ九三八
廣文館	神田神保町一ノ九
廣文館	蒲田新宿町六〇〇
廣文館	瀧野川西ヶ原町七四
廣文館	葛飾細田九三一
廣文館	淺草柳橋二ノ一五
廣文館	京橋築地二ノ二ノ六
廣文館	深川新大橋三ノ一六
廣文館	神田三崎町一ノ二
廣文館	麴町有樂町二ノ六
廣文館	神田小川町三ノ五ノ二
廣文館	麴町内幸町二ノ三
廣文館	日本橋通三ノ八
廣文館	澁谷代々木宮ヶ谷一四六
廣文館	麴町富士見町二ノ八
廣文館	京橋京橋三ノ一第一相互館内
廣文館	牛込東五軒町一
廣文館	澁谷八幡通一ノ一八
廣文館	麻布北新門前町三
廣文館	麴町平河町二ノ一一

國民教育新聞社	本郷元町一ノ三
國民出版	澁谷代々木深町五二
國民時論社	神田神保町三ノ六
國民新聞社	麴町元園町二ノ一〇
國民精神社	京橋銀座西七ノ二
國民圖書株式會社	目黒東町五四
國民文化研究會	麴町内幸町一ノ六
國民文庫刊行會	本郷西片町一〇
國民法制學會	神田小川町一ノ六
國民林誠堂	淀橋柏木一ノ一四一
國民誠堂	品川下大崎町三八三
國民誠堂	本郷本富士町二
國民誠堂	神田小川町二ノ一二
國民誠堂	神田駿河臺二ノ一〇
國民誠堂	麴町永田町二ノ八六自由俱樂部内
國民誠堂	城東龜戸町五ノ一四
國民誠堂	向島吾嬬町三六三
國民誠堂	深川毛利町一六
國民誠堂	麴町丸ノ内三ノ八仲六號館
國民誠堂	神田須田町一ノ五
國民誠堂	芝二本榎町二
國民誠堂	下谷龍泉寺町二六
國民誠堂	本郷本富士町二
國民誠堂	瀧野川瀧野川町二四九
國民誠堂	杉並阿佐ヶ谷四ノ四八

子供の日本社	神田神保町一ノ五二
滑稽堂	日本橋室町二ノ二
御殿山堂	品川北品川四ノ七八
梧桐書院	神田東神田一八
近藤出版	牛込赤城下町七一
金春書房	小石川高田豊川町一一
壽春堂	豊島西集鴨二ノ一三
サイタ書林	牛込原町三ノ三四
サキガケ商會	中野多田町六八
サキガケ商會	大森馬込町東四ノ二三
サクラヤ商店	豊島池袋五ノ二五〇
サクラヤ商店	淀橋柏木四ノ九七一
さかえ屋	中野大和町一〇〇
さかえ屋	杉並阿佐ヶ谷一ノ八五
彩華社	芝白金臺町一ノ三九
彩雲堂	小石川關口町一七一
彩雲堂	京橋銀座西二ノ五
彩雲堂	麻布飯倉町四ノ四
彩雲堂	本所石原町一ノ一
佐伯明進堂	豊島西集鴨二ノ三三
佐久間書店	向島吾嬬町東五ノ六五
佐久間書店	神田和泉町一ノ一六

佐久良堂	本所向島須崎町二四五
佐藤商會	本郷駒込千駄木町五〇
佐藤商會	杉並堀ノ内二ノ四四〇
佐藤書店和泉支店	杉並和泉町一〇
佐藤書店	足立本木町二四七二
佐藤書店	足立千住仲町六一
佐野書店	品川大井南濱川町一六六
佐野書店	品川大井南濱川町一六六
佐野書店	深川石島町六一
左門堂書店	四谷西信濃町一
齋藤三信堂書店	豊島池袋二ノ一〇八九
齋藤商會	品川南濱川町一六三四
齋藤商會	京橋木挽町一ノ一四
齋藤商會	江戸川逆井二ノ三六六
西條商會	四谷南伊賀町五六
齊雲堂書店	向島寺島町三ノ四四
齊雲堂書店	小石川戸崎町八八
齊雲堂書店	淀橋柏木町四ノ四五八
齊雲堂書店	荒川町屋二ノ四〇一
齊雲堂書店	豊島集鴨町六ノ三三
齊雲堂書店	麴町有樂町仲通六號館
齊雲堂書店	日本橋江戶橋二ノ八松廣ビル
齊雲堂書店	大森入新井六ノ八二
齊雲堂書店	芝白金三光町三八七
齊雲堂書店	品川大井町四六七

坂井書店	淺草永住町一二五
坂井書店	葛飾新宿町一ノ三六六
坂井書店	日本橋箱崎町二ノ六
坂井書店	向島寺島町八ノ一二二
坂井書店	本郷森川町九〇
坂井書店	麴町丸ノ内一ノ一二
坂井書店	荏原小山町二ノ一
坂井書店	本所橋通三ノ二七
坂井書店	神田神保町一ノ七
坂井書店	品川西大崎三ノ四七七
坂井書店	日本橋本町四ノ二
坂井書店	四谷東信濃町一一
坂井書店	下谷南稻荷町四四
坂井書店	四谷麴町一ノ二四
坂井書店	豊島西集鴨一ノ三三
坂井書店	城東北砂町二ノ二四〇
坂井書店	荏原戸越町四三八
坂井書店	芝新橋七ノ一〇
坂井書店	四谷西信濃町一
坂井書店	芝新橋三ノ一六
坂井書店	小石川大塚町五六
坂井書店	下谷上根岸町一二四
坂井書店	京橋越前堀三ノ九
坂井書店	神田西神田一ノ九ノ二

瑞光堂	荒川南千住町五ノ三九	杉浦書店	芝三田松坂町三六	鈴田光文堂	荏原戸越町一〇五一
翠松堂	大森新井宿三ノ三九八	杉田日進堂	神田錦町三ノ四	鈴屋書店	牛込河田町一七
水月光堂	杉並阿佐ヶ谷二ノ六〇	杉野書店	本所東兩國二ノ五	鈴蘭書院	本郷駒込上富士前町二
水月堂	澁橋戸塚町三ノ八七八	杉原商	足立千住元町三九	砂田東山堂	日本橋兩國四ノ六
水天社	麴町丸ノ内三ノ八	杉本翰香堂	大森大森二ノ一九六	西班牙語學會	赤坂青山北町一ノ八
水明書院	小石川武島町二〇	杉本商店	本所龜澤町一ノ二一	駿河臺書房	芝今入町一五和合俱樂部内
嵩山書房	赤坂丹後町九八	杉本書店東京出張所	本所江東橋四ノ三四		神田駿河臺四ノ五ノ三
崇文堂小賣部	本郷西須賀町一六	杉山書店	神田神保町一ノ三九		世田谷玉川等々力町二ノ四八二
崇文堂書店	麻布新網町二ノ六	助六書店	城東大島町四ノ四九		牛込下宮比町一五
集林書房	神田神保町一ノ四五	壽喜多屋	向島寺島町五ノ三九		京橋入舟町四ノ二
集鴨堂	神田小川町一ノ一〇	鈴木一心堂	深川門前仲町一ノ一		豊島堀ノ内町五三
末廣堂	豊島西巢鴨二ノ二五三	鈴木木商	淺草北松山町七三		正義時報出版部
諏訪書店	瀧野川西ヶ原町六四二	鈴木木商	四谷花園町九〇		正則英語學校出版部
須賀樂器店	牛込山吹町四〇	鈴木木商	豊島西巢鴨七五三		正賞堂
須賀商店	神田神保町一ノ五	鈴木木商	荒川三河島町七ノ七七		正心堂
須藤書店	江戶川長島町二二一一	鈴木木商	日本橋通三ノ二		正雲堂
須藤書店	牛込河田町一	鈴木木商	杉並馬橋二ノ九五		青雲堂
須永書店	淺草淺草橋二ノ三	鈴木木商	足立千住綠町九ノ三七		青華堂
須原書屋	本所登川町四ノ六	鈴木木商	京橋寶町一ノ七		青華堂本店
須原書屋	京橋京橋二ノ二	鈴木木商	荒川日暮里町七ノ六九三		青華堂分店
須原書屋	芝新橋七ノ四	鈴木木商	牛込市ヶ谷砂土原町一ノ二		青々堂書店
須原書屋	品川南品川一ノ二二二	鈴木木商	麻布仲ノ町九		
須原書屋	品川北品川二ノ七六	鈴木木商	王子上十條町一四一七		
須原書屋	板橋板橋町六ノ七七六				
須原書屋	麻布廣尾町三ノ八二				

青南堂	澁橋角筈二ノ八四	清文堂	豊島目白町二ノ六六	成章堂	杉並西高井戸一ノ二五
青年教育普及會	赤坂青山南町六ノ一三	清龍堂	神田鎌倉町五	成象堂	神田錦町三ノ一一
青文堂	神田一ツ橋通町三〇教育會館内	清流堂	澁谷代々木山谷町三五〇	成美堂	日本橋通三ノ一
青林堂	赤坂青山高樹町三	清和書院	麻布竹谷町一ノ七六	成武堂	麴町三番町一四ノ四
青蘭社書房	中野住吉町五八	清觀堂	神田小川町二ノ二天下堂ビル	成雲堂	神田駿河臺三ノ九
青華堂書房	大森新井宿六ノ六一三	清志堂	神田三崎町一ノ三	成光堂	大森馬込町東二ノ二〇四
精華堂法帖店	神田須田町一ノ六	清志堂	神田神保町二ノ一四	成廣堂	小石川表町二八
精華堂書房	神田神保町三ノ二三	清志堂	神田神保町一ノ一二	成交堂	本郷菊坂町七七
精華堂書房	豊島雜司ヶ谷五ノ三九	清志堂	神田神保町二ノ一五	成信堂	澁橋戸塚町三ノ四〇〇
精華堂書房	神田駿河臺三ノ七	清志堂	神田神保町二ノ四	成志堂	小石川辻町二
精華堂書房	神田神保町一ノ三九	清志堂	神田神保町三ノ三	成志堂	麻布六本木町五一
精華堂書房	世田谷北澤三ノ九六八	清志堂	澁谷上通二ノ三三	成志堂	澁谷宮代一日本橋十字路内
精華堂書房	澁谷下通五ノ一七	清志堂	品川西品川三ノ八九六	成志堂	向島吾嬬町西二ノ三九
精華堂書房	品川東大崎三ノ一六八	清志堂	神田錦町三ノ二	成志堂	城東龜戸町三ノ五四
精華堂書房	中野水川二〇	清志堂	澁谷上通三ノ一三	成志堂	神田神保町一ノ四七
精華堂書房	神田神保町二ノ三六	清志堂	澁谷榮通一ノ三六	成志堂	神田神保町一ノ六一
精華堂書房	豊島長崎南町二ノ二〇三	清志堂	中野本通二ノ六	成志堂	澁谷代々木上原町二七
精華堂書房	京橋八丁堀三ノ四	清志堂	豊島池袋八六七	成志堂	澁橋角筈三ノ一五三
精華堂書房	深川清澄町二ノ一	清志堂	板橋成増町一六六	成志堂	日本橋兩國一ノ二
精華堂書房	芝三四町東京高等女學校内	清志堂	下谷徒士町二ノ二四	成志堂	神田紺屋町一六
精華堂書房	下谷谷中初音町四ノ二六	清志堂	芝三田臺町一ノ二四	成志堂	小石川駕籠町二四三
精華堂書房	淺草壽町一ノ九	清志堂	澁橋下落合三ノ四六	成志堂	本所綠町二ノ六
精華堂書房	豊島西巢鴨二ノ三三	清志堂	神田神保町一ノ三	成志堂	澁橋百人町三ノ二六三
精華堂書房	瀧野川中里町一〇	清志堂	芝三田一ノ二	成志堂	
精華堂書房	神田鎌倉町七	清志堂		成志堂	

土井書店	神田錦町一ノ一五	東京基督教青年會賣店	神田美土代町三ノ三	東京造畫館	赤坂臺町七七
土州屋	小石川大塚町九	東京學藝社	豐島西巢鴨四ノ三	東京泰文社	牛込早稻田鶴卷町四六
獨逸語發行所	本郷森川町八〇	東京音樂出版協會	京橋銀座西八ノ五日吉ビル	東京圖書印刷株式會社	神田仲町一ノ一六
獨逸書院	世田谷太子堂町三七一	東京開成館	小石川小日向水道町八四	東京堂株式會社	麴町九段一ノ七
獨逸立閣	日本橋馬喰町三ノ五	東京改善社	神田錦町一ノ一五	東京堂小賣部株式會社	神田神保町一ノ一七
獨逸立堂	淀橋百人町二ノ二五四	東京京開	本郷湯島四ノ一三	東京農業大學書房販賣部	澁谷常盤松御料地内
東亞經濟調查局	京橋京橋二ノ一三	東京興農園	芝西久保櫻川町一〇	東京物理學校同盛會	杉並荻窪四ノ九七
東亞圖書房	麴町内山下町一ノ一東洋ビル三	東京工業會圖書部	澁谷上通二ノ一三	東京保鮮專修學校	杉並高圓寺二ノ一〇三
東亞圖書房	芝三田四國町二六	東京國民書院	小石川駕籠町一七	東京橋留電機株式會社	澁谷上通二ノ五五東橋百貨店內
東亞圖書房	本所菊川町一ノ一三	東京光原社	京橋角三ノ九三工學院構内	東京ラヂオ商組合	京橋橫町一ノ五
東亞圖書房	麴町三年町一	東京光原社	豐島巢鴨五ノ一〇七八	東京光興	四谷新宿町二ノ一八
東亞圖書房	日本橋吳服橋二ノ三	東京滑稽社	赤坂青山南町五ノ六七	東京光興	小石川宮下町三三
東亞圖書房	西村ビル内	東京辭書出版社	神田錦町一ノ一六	東京西醫學社	神田錦町三ノ二二
東亞圖書房	神田神保町三ノ二七	東京修文館	麴町富士見町二ノ八	東西美術社	京橋銀座西七ノ一
東亞圖書房	江戸川西小松川三ノ二〇〇	東京出版文館	神田神保町一ノ二五	東西美術社	神田神保町二ノ一七
東亞圖書房	麴町下六番町三	東京書籍株式會社	牛込細工町六	東山書房	澁谷伊達七六
東亞圖書房	京橋銀座西六ノ二	東京市政調查會	王子堀船町一ノ八五七	東山書房	本所龜澤町四ノ二一
東亞圖書房	京橋銀座西六ノ二	東京實業社	杉並井萩二ノ二七	東山書房	牛込早稻田鶴卷町四三
東亞圖書房	四谷東信濃町二	東京尺八講習會	麴町比谷公園内市政會館	東山書房	芝西久保巴町一二
東亞圖書房	豐島池袋六三一	東京商店	芝南佐久間町二ノ一〇	東山書房	小石川高田老松町一七
東亞圖書房	麴町有樂町二ノ三	東京數理學院	下谷上野櫻木町四四	東山書房	品川北品川三ノ二〇六
東亞圖書房	京橋橫町二ノ五		淀橋東大久保三ノ五〇	東山書房	世田谷北澤九一七
東亞圖書房	深川白河町四ノ一		神田小川町三ノ七	東山書房	神田神保町二ノ五
東亞圖書房	神田三河町一ノ七			東山書房	神田神保町二ノ五

誠堂	神田淡路町二ノ九大東館方	東林書房出版部	芝三田一ノ二二今井方	濤文堂書店	神田一ツ橋通二
盛堂	下谷上根岸町四四	藤榮堂	江戸川小岩町六ノ二五	常盤書房	小石川諏訪町五五
仙堂	城東北砂町七ノ一七三	棟海堂支店	品川北品川三ノ二二五	常盤書房	麴町富士見町一ノ五
川堂	深川住吉町一ノ二二	統一堂支店	目黒東町三	常盤書房	本所石原町三ノ五
卓堂	牛込馬場下町一	統一堂支店	淺草北清島町一四	常盤書房	芝三田一ノ二
卓堂	神田神保町一ノ二三	統一堂支店	大森調布鶴ノ木町三六	常盤書房	江戸川小岩町四ノ三六
卓堂	本郷駒込曙町一	統一堂支店	淀橋戸塚町一ノ五二	常盤書房	神田美土代町二八ノ九
卓堂	本所綠町四ノ一六	統一堂支店	牛込早稻田鶴卷町四四	常盤書房	麴町外櫻田一内務省内
卓堂	澁谷上通三ノ一	統一堂支店	淀橋戸塚町一ノ五六七	常盤書房	下谷豊住町二
卓堂	澁谷代々木初臺町三三	統一堂支店	牛込早稻田鶴卷町四三	常盤書房	日本橋吳服橋二ノ一
卓堂	杉並阿佐ヶ谷六ノ三〇	統一堂支店	牛込辨天町六	常盤書房	品川大井水神町三九
卓堂	豐島巢鴨一三四九	統一堂支店	神田駿河臺三ノ六	常盤書房	大森入新井五ノ三五
卓堂	神田一ツ橋通二	統一堂支店	世田谷池尻町四一三	常盤書房	瀧野川瀧野川町二九
卓堂	麴町有樂町一ノ四	統一堂支店	大森馬込町東二ノ〇七五	常盤書房	本郷龍岡町三六
卓堂	淀橋淀橋六四六	統一堂支店	日本橋馬喰町二ノ一	常盤書房	本郷龍岡町三六
卓堂	荏原戸越町四八二	統一堂支店	淀橋戸塚町一ノ五六八	常盤書房	本郷龍岡町三六
卓堂	麴町内幸町大坂ビル三階	統一堂支店	神田多町二ノ二	常盤書房	本郷龍岡町三六
卓堂	日本橋本石町三ノ二	統一堂支店	中野橋場町五五	常盤書房	本郷龍岡町三六
卓堂	小石川林町一八	統一堂支店	日本橋矢ノ倉一小林方	常盤書房	本郷龍岡町三六
卓堂	芝新橋七ノ一二	統一堂支店	神田錦町二ノ七	常盤書房	本郷龍岡町三六
卓堂	京橋西八丁堀三ノ九	統一堂支店	神田駿河臺二ノ四	常盤書房	本郷龍岡町三六
卓堂	神田神保町一ノ六七	統一堂支店	本郷春木町二ノ一三	常盤書房	本郷龍岡町三六
卓堂	下谷西町三	統一堂支店	板橋板橋町五ノ八八八	常盤書房	本郷龍岡町三六
卓堂	神田神保町一ノ一	統一堂支店	神田神保町一ノ二三	常盤書房	本郷龍岡町三六
卓堂	牛込下宮比町一	統一堂支店	四谷仲町三ノ二一	常盤書房	本郷龍岡町三六

日本温泉協會 麹町丸の内一ノ二 日本外事協會 麹町丸の内一ノ三 日本學藝協會 小石川上富坂町一九 日本學藝社 神田三崎町二ノ一六 日本煤院 麹町永田二ノ一 日本總士協會出版部 京橋築地三ノ八 日本技術協會 神田錦町一ノ六 日本教育學會 本郷駒込蓬萊町六六 日本國際協會 麹町丸の内二ノ一二 日本國防協會 小石川西丸町六〇 日本國防普及會 赤坂丹後町九八 日本公論社 神田一ツ橋通教育會館内 日本古典全集刊行會 豐島長崎町三ノ一三 日本魂社 京橋木挽町一ノ一一 日本書院 麹町麹町二ノ二 日本書店 芝新堀町四一 日本植民通信社 日本橋通三ノ八 日本自動車學校出版部 蒲田新宿町一〇 日本出版社 下谷谷中三崎町四九 日本小學館 神田表神保町二 日本商工通信社 品川上大崎三ノ三三六 日本書籍株式會社 京橋銀座一ノ三 日本堂書店 小石川久堅町一〇八 日本堂書店 神田三崎町一ノ七 日本堂書店 城東龜戸町四ノ七	日本堂支店 下谷入谷町三二二 日本堂支店 本所中之郷業平町一七 日本堂本店 本所江東橋三ノ三 日本堂第三支店 葛飾本田澁江町四七 日本電報通信社 麹町丸の内八重洲町二 日本通信大學出版部 澁谷穩田一ノ四 日本圖書株式會社 四谷鹽町三ノ四九 日本圖書出版社 瀧野川西ヶ原町八三 日本精神醫學會 品川北品川四ノ七一八 日本青年會 四谷霞丘町一 日本禪書刊行會 神田駿河臺二ノ一〇 日本農業社 四谷南寺町一〇石坂方 日本(ト)ト學用品株式會社東京支店 神田小川町三ノ八 日本のローマ字社 麹町有樂町三番ビル内 日本放送出版協會 麹町内幸町一ノ三番ビル内 日本貿易振興會 京橋入舟町四ノ二 日本飛行協會 京橋銀座西五ノ二九 日本美術學院 豐島長崎町南町一ノ二四〇 日本佛教青年會 麹町飯田町五ノ三九 日本文具新聞社 日本橋橋町八 日本評論社 京橋京橋三ノ四 日本(ト)ト(ト)ス 芝中門前町一ノ一 日本藥報社 牛込下宮比町八 日本ラヂオ協會 麹町有樂町一ノ一 日本力行會 板橋小竹町二六四	日本旅行協會 麹町東京驛構内 日蓮主義代理部 芝二本横町一ノ一五 鶏の研究社 麹町丸の内ビルテック六九六區 任康 麹町鐵道省構内	ねらひどころ社 澁谷千駄ヶ谷町二ノ三三 根本商店 芝三田一ノ一	農村民會 芝琴平町二 農口振興會 澁橋柏木町四ノ九二〇 野口八幡堂 澁谷八幡通三ノ一〇 野口成功堂 澁谷南平臺町二七 野崎書房 中野大和町三一六 野澤榮松堂 城東龜戸町三ノ一一 野澤書屋 深川東陽町二ノ一七 野田弘陽堂 澁橋下落合二ノ六一四 野田屋號 荒川南千住一ノ四〇 野中書社 荒川尾久町一ノ二六一 野ばら社 神田西神田一ノ一 野本書店 瀧野川西ヶ原町六八 野勢商店 下谷西黒門町二一 能勢商店 本所石原町二ノ二一 江戶川小岩町三ノ六五
--	---	---	--	--

は

ハイカラ堂支店 下谷入谷町三二六 パイロット社 神田司町二ノ一四 ハトヤ號 本所横川橋四ノ一 パード商會 麹町丸の内ビルテック七七一區 パウー社出版部 神田小川町三ノ七 梅月堂 赤坂新町五ノ八 梅盛堂 澁谷代々木宮ヶ谷町一三六八 梅仙堂 淺草北青島町七八 梅文堂 足立梅田町一〇九 梅林堂 赤坂青山北町三ノ六 配島商 本所向島二ノ三 俳風堂 麹町丸の内三ノ三三三二一四號四 培芳文館 神田錦町三ノ一一 芳賀友文堂 淀橋戸塚町三ノ二〇〇 芳賀友文堂 本郷駒込動坂町一一二 萩尾書店 品川西大崎一ノ三五八 萩原書店 麻布坂下町一五 萩原書店 世田谷太子堂一九六 柏林社 本郷本富士町二 白雲堂 蒲田羽田一ノ一六八九 白山堂 麹町三番町七 白水社 神田小川町三ノ八 白星書院 荒川日暮里町九ノ二〇三	白帝社 神田神保町三ノ一ノ三 白鳥堂 大森大森町一ノ六六 白日社 杉並荻窪一ノ一六五 白鳳社 神田今小路一ノ三 白鳳社 神田錦町三ノ一二 白眉社 目黒下目黒二ノ四六八 白門社 神田小川町二ノ六 白揚社 神田美土代町四 白蘭社 神田小川町一 白蓮社 麹町下六番町四八 白愛社 神田神保町一ノ四四 白榮社 本郷彌生町三 白英社 豐島集鴨一ノ一四 白榮社 神田一ツ橋通町二〇 博雅堂書店 神田神保町二ノ一四 博山房書店 本郷駒込神明町一六一 博進館 神田小川町一〇 博信書房 本所麻橋四ノ三 博信堂出版部 日本橋浪花町二四 博文堂東京支店 神田鍛冶町一ノ一 博文堂 日本橋本町三ノ九 博文堂 目黒鷹番町一三六 博報堂 神田西神田一ノ一二 博報堂 神田神保町一ノ三 博報堂 神田錦町三ノ九	博隆館 本郷元町一ノ一二 薄利堂 王子王子町一〇一五 橋本場屋 世田谷北澤一ノ二五 橋本正文堂 瀧野川上中里町三五二 橋本書店 淺草西鳥越町三 橋爪商店出版部 大森新井宿一三三九 橋本有隣堂 瀧野川田端町一九一九 長谷川書院 小石川大塚町七一 長谷川商店 日本橋兩國四〇ノ六 長谷川商店 神田橋本町二ノ一二 長谷川商店 神田神保町二ノ二六 長谷川商店 淺草福井町一ノ一三 長谷川勉強堂 杉並高圓寺三六九 長谷川雜貨商 本所石原町二ノ二一 羽山一心堂 下谷谷中坂町六三 畠山會 本所東駒形三ノ六 秦商會 神田淡路町二ノ一 發動機研究社 目黒洗足一二九七 服部文具店 神田佐久間町三ノ二九 花岡商店 淺草淺草橋三ノ四一 花岡商店 四谷三光町四九 濱島書店 淺草北清島町一二四 濱田書店 神田錦町三ノ六 濱野書店 中野上高田一ノ二二一 林書店 豐島高田本町一ノ三七
---	---	--

文 陽 堂 神田錦町一ノ八
 文 譽 堂 牛込水道町一一
 文 樂 堂 本郷田町二二
 文 律 堂 京橋南八丁堀二ノ六
 文 錄 堂 京橋銀座西一ノ七
 文 祿 堂 本郷湯島切通坂町二一

ベースボール社 豊町丸ノ内時事新報社ビル内
 ヘラルド社 豊町内幸町一ノ四
 兵器商會 麻布霞町六
 兵器雜誌社 赤坂表町二ノ一
 兵器出版部 赤坂青山南町二ノ五四
 兵器圖書株式會社 豊町永田町一ノ四
 兵用圖書株式會社 神田一ツ橋通教育會館内
 兵和堂出版部 牛込早稲田鶴卷町四四
 兵安堂 豊町富士見町一ノ一三
 兵久堂 深川平久町一ノ八
 兵凡閣 瀧野川瀧野川町三三
 兵凡社 日本橋吳服橋三ノ五
 平和協會出版部 澁谷幡ヶ谷本町二五
 平和出版部 京橋寶町二ノ三
 丙午出版部 神田錦町一ノ一六
 紅谷書店 中野本町通三ノ二二
 紅屋書店 葛飾堀切町五一

勉 強 堂 麴町五番町六
 勉 強 堂 芝三田四國町二
 辨 天 堂 淀橋東大久保二四八
 便 宜 堂 淀橋上落合一ノ一八六
 便 利 堂 大森調布鶴ノ木四六八

ポケット講談社 豊島長崎東町三ノ四六
 ホーリーム社 豊島池袋三ノ一五五五
 ほてい書店 本所横川橋二ノ四
 方 秀 閣 小石川指ヶ谷町四
 方 丈 閣 四谷鹽町三ノ四五
 方 來 社 本郷眞砂町一五
 方 榮 社 品川北品川四ノ七一八
 方 玉 堂 小石川音羽町四ノ二
 方 江 堂 葛飾金町四ノ一六七二
 方 文 堂 板橋中新井町四ノ三四
 方 山 堂 瀧野川白河町四ノ八ノ一
 方 新 堂 向島吾嬬町東一ノ六七
 方 進 堂 京橋銀座西二ノ五
 方 成 堂 神田元岩井町一〇
 芳 文 堂 牛込早稲田南町三二
 芳 堂 牛込山吹町三三
 芳 堂 神田神保町一ノ五九

芳 明 堂 神田神保町一ノ四七
 芳 流 堂 神田神保町三ノ九
 芳 雲 堂 日本橋江戸橋二ノ八松屋ビル内
 芳 永 堂 神田神保町一ノ一二
 寶 山 堂 淺草北三筋町四二
 寶 山 堂 牛込納戸町一〇
 寶 盛 堂 本郷元町二ノ二五
 寶 文 館 日本橋室町四ノ五
 寶 文 館 日本橋室町四ノ五
 寶 文 院 芝三島町九
 寶 來 堂 本郷駒込達來町七
 寶 鈴 堂 本郷追分町九三
 寶 悅 堂 城東北砂町一ノ五二三
 法 華 堂 目黒下目黒三三八
 法 木 堂 淺草石濱町二ノ一五
 法 爾 堂 日本橋人形町三ノ一二
 法 曹 閣 豊町飯田町五ノ三九
 法 文 堂 神田今小路二ノ一七
 法 然 堂 牛込馬場下町二三
 法 然 堂 芝公園五號地明照會館内
 法律辭書刊行會 神田猿樂町一ノ六
 法律新聞社 日本橋本銀町四ノ九
 法律評論社 豊町丸ノ内三ノ一二
 風 生 社 神田小川町三ノ二八
 芝田村町五七三榮ビル内

鳳 文 堂 荒川南千住町五ノ九八
 鳳 文 堂 下谷三橋町一
 邦 光 堂 神田三崎町一ノ五
 邦 公 堂 王子堀舟町一ノ一二四
 報 國 會 杉並馬橋一ノ一七
 報 知 社 麴町有樂町一ノ一三
 報 文 堂 葛飾金町三ノ二一三五
 朋 文 堂 麻布斧町一八〇
 朋 文 堂 蒲田新宿町七九
 紡織雜誌社東京支局 京橋京橋二ノ二
 紡織雜誌社東京支店 神田旭町三一大同ビル内
 北 新 堂 深川清澄町三ノ六
 北 星 堂 神田錦町三ノ一二
 北 斗 堂 目黒中目黒二ノ二五八三
 北 文 堂 中野野方町一ノ七三六
 北 隆 堂 京橋横町三ノ三
 北 隆 堂 京橋西八丁堀三ノ八
 北 隆 堂 豊島西巢鴨四ノ二四五
 保 坂 堂 瀧野川昭和町一ノ一
 星 野 堂 荒川三河島町一ノ三三三
 星 野 堂 中野小瀧町八
 星 野 堂 芝高輪台町四二
 細 野 堂 品川大崎東町一ノ六九
 布 袋 堂 牛込細工町二六
 堀 井 堂 向島隅田町五三四

堀 田 支 店 蒲田新宿町一二六三
 堀 切 堂 葛飾堀切町一二
 堀 書 院 本郷湯島兩門町一五
 本 郷 堂 本郷東片町一〇
 本 昭 堂 中野西町四
 本 和 堂 淺草今戸町二ノ一二
 本 陽 堂 淀橋角管二ノ三七
 本 間 堂 瀧野川田端町一七九
 本 間 堂 王子赤羽町三七一
 齋 屋 號 王子赤羽町三七一
 マツウラ書店 豊島雜司ヶ谷一ノ二九
 マル一書店 杉並天沼三ノ六〇五
 マルキヤ 王子上十條町二一二
 マルキヤ 澁谷代々木西原町九七
 まつや 淺草仲見世東側二六號
 前 田 堂 神田神保町二ノ四
 前 田 堂 神田神保町一ノ三〇
 前 野 堂 牛込早稲田鶴卷町四四
 前 野 堂 京橋新榮町五ノ三
 前 野 堂 荒川尾久町四ノ八三
 牧 野 堂 本郷眞砂町一五
 眞 砂 堂 牛込早稲田南町三二
 眞 美 堂 本所錦糸町一ノ二一
 益 美 堂 本所錦糸町一ノ二一
 増 子 堂 本所錦糸町一ノ二一

增 澤 商 店 王子下十條一五六八
 增 山 商 店 向島寺島町一ノ一一三
 增 田 商 店 荒川日暮里町三ノ一九三
 增 又 書 院 澁谷原宿九三
 樹 又 書 院 中野上高田二ノ三七四
 樹 井 書 院 中野打越町三〇
 樹 井 書 院 城東大島町五ノ四六
 樹 井 書 院 東京府立第一商業學校内販賣部
 樹 井 書 院 東京府立第一商業學校内販賣部
 松 浦 書 店 下谷金杉上町四〇
 松 喜 堂 江戸川東小松川三ノ二二
 松 倉 書 店 下谷入谷町一七六
 松 倉 書 店 城東北砂町七ノ三九
 松 倉 書 店 城東北砂町六ノ二〇五
 松 崎 書 店 城東南砂町六ノ二〇五
 松 崎 書 店 神田神保町一ノ七
 松 崎 書 店 京橋八丁堀三ノ四ノ四
 松 崎 書 店 淺草七軒町一
 松 崎 書 店 深川白河町二ノ七
 松 崎 書 店 芝通新町一六
 松 崎 書 店 下谷金杉町六〇
 松 崎 書 店 本所龜澤町一ノ三一
 松 崎 書 店 蒲田蒲田町五七三
 松 崎 書 店 澁橋柏木一ノ二二八
 松 崎 書 店 世田谷世田谷町五三四元

明正堂支店 下谷上野町二ノ四
 明正堂支店 淺草淺草公園六區二號
 明昭昭館 淀橋西大久保一ノ四八
 明進堂書店 神田多町二ノ四
 明成館 品川下大崎一ノ七八
 明誠館小賣部 品川西巢鴨二ノ二六九
 明世堂書店 本所龜澤町一ノ二一
 明善社 澁谷大和町一
 明窓社 本郷元町一ノ一五
 明治書院 芝南佐久間町二ノ二
 明治書院 神田錦町一ノ一六
 明治書院 神田錦町一ノ一六
 明治書院 神田駿河臺二ノ四
 明治大學出版部 神田駿河臺一ノ一
 明治圖書株式會社 神田小川町三ノ二二
 明治圖書株式會社 京橋入舟町三ノ三
 明治圖書株式會社 神田錦町三ノ二五
 明治圖書株式會社 目黒綠ヶ丘三〇〇八
 明治圖書株式會社 赤坂青山高樹町一三
 明治圖書株式會社 日本橋通三ノ五
 明治圖書株式會社 神田錦町一ノ二
 明治圖書株式會社 芝高輪北町三一
 明治圖書株式會社 麴町九段三ノ一

明雄社書店 神田美土代町三〇ノ五
 明倫館 神田神保町三ノ六
 明倫堂 本郷駒込西片町二〇ホ四
 明隣堂 小石川林町一六
 明曲堂 芝二本榎西町三
 明瀨堂 神田神保町一ノ一四
 明瀨堂 神田駿河臺鈴木町三
 明瀨堂 神田駿河臺三ノ一
 若瀨堂 目黒中目黒一ノ五九
 目黒書房 目黒中目黒一ノ五九
 目黒書房 赤坂一ツ木町三一
 目黒書房 豊島目白町二ノ一七三
 目黒書房 豊島目白町二ノ一七三
 妙法堂書店 杉並和田本町九九一

森江書店 本郷春木町二ノ二一
 森江書店 麻布飯倉町五ノ四四
 森商店 蒲田今泉町一九五
 森新文具店 淺草向柳原町一ノ三九
 森田屋書店 城東龜戸町四ノ四七
 森田屋書店 神田神保町一ノ三
 森田屋書店 芝金杉二ノ一九
 森勉強堂 荒川三河島町三四四七
 森本書店 小石川林町八〇
 森山書店 神田金澤町一〇
 守屋三角堂 小川町三三〇六
 守屋三角堂 大森入新井四ノ七四八
 守屋三角堂 淀橋角筈一ノ七三三

野球界社 牛込若宮町三八
 矢口書店 蒲田道塚町一〇九
 矢作書店 小石川林町一八
 矢島文林堂 本郷駒込林町一四二
 安井泰山堂 本郷本富士町二
 安田書店 品川上大崎三ノ五七九
 柳田書店 芝新堀町一七
 柳澤書店 本所横川橋四ノ六
 柳澤書店 世田谷代田二ノ二二
 柳澤書店 神田神保町一ノ五九
 柳澤支店 神田五軒町六
 大和出版部 芝濱松町二ノ二五
 大和出版部 淺草馬道町四ノ一一
 大和出版部 板橋板橋二ノ六〇
 大和出版部 向島寺島町一ノ一六七
 大和出版部 荒川日暮里町八ノ九二
 大和出版部 葛飾水元小合新町二六三
 大森山王一ノ二六九二
 山口二葉屋 日本橋小傳馬町三ノ二四
 山口二葉屋 麻布飯倉町五ノ四四
 山口二葉屋 深川高橋一ノ六
 山口二葉屋 豊島西巢鴨四ノ二二八
 山口二葉屋 豊島池袋立教大學校内
 山崎書店 足立蒲原町六三六
 山崎書店 世田ヶ谷三宿町二九

山崎屋文具店 蒲田羽田町一ノ一六三
 山下東陽堂 麴町麴町一ノ六
 山城書店 江戶川小岩町二ノ三五九
 山田光文堂 本所厩橋四ノ一
 山田光文堂 深川森下町二ノ三二
 山田支店 芝白金三光町七一
 山田支店 神田神保町一ノ一〇
 山田支店 澁谷下澁谷六一九
 山田支店 本所緑町二ノ六
 山田支店 神田多町二ノ三
 山田支店 本所龜澤町二ノ二一
 山田支店 品川南品川五ノ七二
 山田支店 本所龜澤町四ノ四
 山田支店 瀧野川西ヶ原町八〇
 山田支店 品川大井山中町三三九
 山田支店 澁橋上落合一ノ四二九
 山中支店 麻布森元町二ノ一七
 山中支店 淺草淺草橋三ノ二九
 山中支店 神田錦町一ノ一
 山中西書店 京橋銀座四ノ四
 山野樂器店 大森田園調布二ノ九六八
 山本浩然館 世田谷玉川等々力町三ノ九九
 山本商會 澁谷幡ヶ谷本町一ノ二七
 山本商會 麴町飯田町二ノ五三
 山本書店 日本橋藥研堀町二〇

山本書店 神田旭町三〇
 山本書店 深川住吉町一ノ一八
 湯川弘文社東京支店 神田錦町三ノ二五
 又支社 牛込市ヶ谷左内町一
 又新堂 小石川同心町一九
 悠久堂書店 神田神保町一ノ三
 西元堂本店 江戶川小松川二ノ八〇
 西元堂本店 江戶川逆井一ノ九四
 裕弘堂 板橋板橋五ノ八九二
 裕文堂 下谷竹町二一
 友誠堂 芝北寺町七
 雄松堂 麴町富士見町二ノ八
 雄飛堂 神田神保町二ノ二四
 雄美堂 赤坂中ノ町二二
 雄風館書房 澁谷惠比壽通一ノ一
 雄文堂 本郷元町二ノ三九
 雄鳳堂 豊島巢鴨二ノ九
 雄鳳堂 小石川高田老松町六〇
 優薦堂 日本橋本石町四ノ二
 優薦堂 麻布飯倉町一ノ一二
 優薦堂 芝白金今里町四五

前二項ノ印刷所ニシテ若營業上慣行ノ名稱アルモノハ其ノ名稱ヲモ記載スヘシ

第九條 書簡、通信、報告、社則、塾則、引札、諸藝ノ番附諸種ノ用紙證書ノ類及寫眞ハ第三條第六條第七條第八條ニ據ルヲ要セス但シ第十六條第十七條第十八條第十九條第二十一條

第二十六條第二十七條ニ觸ルル者ハ此ノ法律ニ依テ處分ス

第十條 文書圖畫ノ冊號ヲ遂ヒ順次ニ出版スル者ハ其ノ都度第三條ノ手續ヲ爲スヘシ但シ雜誌類ニ在テハ内務大臣ノ許可ヲ經テ其ノ手續ヲ省略スルコトヲ得

此ノ法律ニ依リ出版スル雜誌ニシテ十二箇月間一回ヲモ發行セサル時ハ廢刊シタルモノト看做スヘシ

第十一條 一タヒ出版届ヲ爲シタル文書圖畫ノ再版ハ出版届ヲ要セスト雖若改正増減シ又ハ註解、附録、繪畫等ヲ加ヘタルトキハ仍第三條ニ依ルヘシ

第十二條 演說若ハ講義ノ筆記ハ演說者若ハ講義者ヲ以テ著作トス
但シ筆記者ニ於テ演說者若ハ講義者ノ承諾ヲ得テ自ラ之ヲ出版スストキハ筆記者ヲ著作ト看做スヘシ此ノ場合ニ於テ記載ノ事項第十六條第十七條第十八條第十九條第二十一條第二十六條第二十七條ニ觸ルルトキハ演說者若ハ講義者筆記ト同ク其ノ罪ヲ論ス

公開ノ席ニ於テ爲シタル演說ヲ新聞紙若ハ雜誌ノ通信者ニ於テ筆記シ其ノ新聞紙若ハ雜誌ニ記載シタルモノ及總テ演說者講義者ノ承諾ヲ經スシテ其ノ筆記ヲ出版シタルモノニ關シテハ演說者若ハ講義者ハ著作ノ責ニ任セス

公開ノ席ニ於テ爲シタル演說ノ外ハ講義者又ハ演說者ノ承諾ヲ經ルニ非サレハ他人ニ於テ其筆記ヲ出版スルコトヲ得ス但シ本項ニ違フ者ハ版權法ニ據リ其ノ責ニ任セシム

第十三條 二種以上ノ著作若ハ演說講義ノ筆記ヲ編纂シテ一部ノ書ト爲ストキハ編纂者ヲ著作ト看做スヘシ

前條第一項ノ末段及第二項第三項ハ本條ニ適用スヘシ

第十四條 翻譯ハ翻譯者ヲ以テ著作ト看做スヘシ

第十五條 學校、會社、協會等ニ於テ著作ノ名義ヲ以テ出版スル文書圖畫ハ其ノ出版届ニ署名シタル代表者ヲ以テ著作ト看做スヘシ

第十六條 犯罪ヲ煽動シ若ハ曲庇シ賞恤シ又ハ刑事裁判シ又ハ刑事裁判中ノ者ヲ救護シ若ハ賞恤スルノ文書ヲ出版スルコトヲ得ス

第十七條 重罪輕罪ノ豫審ニ關スル事項ハ公判ニ付セサル以前ニ於テ之ヲ出版スルコトヲ得ス

第十八條 外交軍事其ノ他官廳ノ機密ニ關シ公ニセサル官ノ文傍聽ヲ禁シタル訴訟ノ事項ハ之ヲ出版スルコトヲ得ス

書及官廳ノ議事ハ當該官廳ノ許可ヲ得ルニ非サレハ之ヲ出版スルコトヲ得ス
法律ニ依リ傍聽ヲ禁シタル公會ノ議事ハ之ヲ出版スルコトヲ得ス

第十九條 安寧秩序ヲ妨害シ又ハ風俗ヲ壞亂スルモノト認ムル文書圖畫ヲ出版シタルトキハ内務大臣ニ於テ其ノ發賣頒布ヲ禁シ其ノ刻版及印本ヲ差押フルコトヲ得

第二十條 外國ニ於テ印刷シタル文書圖畫ニシテ安寧秩序ヲ妨害シ又ハ風俗ヲ壞亂スルモノト認ムルトキハ内務大臣ハ其ノ文書圖畫ノ内國ニ於ケル發賣頒布ヲ禁シ其ノ印本ヲ差押フルコトヲ得

第二十一條 軍事ノ機密ニ關スル文書圖畫ハ當該官廳ノ許可ヲ得ルニ非サレハ之ヲ出版スルコトヲ得ス

第二十二條 第三條ノ届出ヲ爲サスシテ文書圖畫ヲ出版シタル者ハ五圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十三條 第六條ヲ犯ス者ハ十一日以上三月以下ノ輕禁錮又ハ五圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十四條 發行者自己ノ氏名、住所又ハ發行ノ年月日又ハ印刷者ノ氏名、住所又ハ印刷ノ年月日ヲ其ノ發行スル文書圖畫ニ記載セス其ノ之ヲ記載スルモ實ヲ以テセサル者ハ二圓以上三十圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十五條 印刷者自己ノ氏名、住所又ハ印刷ノ年月日ヲ其ノ印刷スル所ノ文書圖畫ニ記載セス若ハ之ヲ記載スルモ實ヲ以テセサル者ハ罰前條ニ同シ

住所ト印刷所ト同シカラサルトキ及印刷所ニシテ營業上慣行ノ名稱アルトキ印刷所及名稱ヲ記載セサル者亦前項ニ同シ

第二十六條 皇室ノ尊嚴ヲ冒瀆シ政體ヲ變壞シ又ハ國憲ヲ紊亂セムトスル文書圖畫ヲ出版シタルトキハ著作、發行者、印刷者ヲ二月以上二年以下ノ輕禁錮ニ處シ二十圓以上二百圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第二十七條 安寧秩序ヲ妨害シ又ハ風俗ヲ壞亂スル文書圖畫ヲ出版シタルトキハ著作發行者ヲ十一日以上六月以下ノ輕禁錮又ハ十圓以上百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十八條 第十六條第十七條第十八條第二十一條ニ觸ルル文書圖畫ヲ出版シタルトキハ著作、發行者ヲ十一日以上一年以下ノ輕禁錮又ハ十圓以上二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十九條 第二十條ニ依リ發賣頒布ヲ禁セラレタル文書圖畫ヲ發賣頒布シタル者罰前項ニ同シ其ノ未タ發賣頒布セサル文書圖畫ハ之ヲ沒收ス

第三十條 前條ノ差押ヲ爲ストキハ製本ノ體裁ニヨリ其ノ差押

フヘキ部分ト他ノ部分ト分割シ得ルニ於テハ之ヲ分割スルコトアルヘシ

第三十一條 文書圖書ヲ出版シ因テ誹毀ノ訴ヲ受ケタル場合ニ其ノ私行ニ渉ルモノヲ除クノ外裁判所ニ於テ専ラ公益ノ爲ニスルモノト認ムルトキハ被告人ニ事實ノ證明ヲ許スコトヲ得若之ヲ證明シタルトキハ其ノ罪ヲ免ス

第三十二條 此ノ法律ヲ犯シタル者ニハ刑法ノ自首輕減、再犯加重、數罪俱發ノ例ヲ用ヒス

第三十三條 此ノ法律ニ關スル公訴ノ時效ハ一年ヲ經過スルニ因テ成就ス

第三十四條 此ノ法律ニ依リ出版スル雜誌ニシテ其ノ記載ノ事項第二條ノ範圍外ニ渉ルトキハ内務大臣ハ此ノ法律ニ依リテ出版スルコトヲ差止ムルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ一箇年ヲ經ルニ非サレハ更ニ此ノ法律ニ依リ出版スルコトヲ得ス

第三十五條 文書圖書ヲ印刷スル時ハ直ニ發賣頒布セスト雖モ其ノ目的發賣頒布ニ在ルモノハ總テ此ノ法律ニ依ル

第三十六條 本法ハ發賣頒布ノ目的ヲ以テ音ヲ機械的ニ複製スルノ用ニ供スル機械ニ音ノ寫調セラレタルモノニ之ヲ準用ス但シ著作者トアルハ吹込者トス

出版法施行規則

(昭和九年七月)

第一條 文書圖書ヲ發行セントスル者ハ出版法第三條ノ規定ニ依リ製本二部ヲ添ヘ左ノ區別ニ從ヒ各列記事項ヲ記載シタル屆書二通ヲ内務大臣ニ差出スヘシ

一 雜誌以外ノ文書圖書ヲ發行スル場合

出版 屆

一 文書圖書ノ題號 全册何 (全何枚)

二 著作ノ種類 (例ハ著述、翻譯、編纂) 又ハ演說若ハ講義ノ筆記

三 著作者ノ氏名及住所

四 翻譯物又ハ編纂物ニ在リテハ原著物又ハ各部署作物ノ題號及著作者ノ氏名、演說若ハ講義ノ筆記ニ在リテハ演說者若ハ講義者ノ氏名

五 發行所ノ名稱及所在地

六 印刷所ノ名稱及所在地

七 發行年月日 (再版屆ノ場合ニ在リテハ發行年月日ノ外仍初版發行ノ年月日ヲモ記載スヘシ)

八 豫約出版物ニ在リテハ豫約出版法第二條ノ規定ニ依リ屆出ヲ爲シタル旨及其ノ屆出年月日

右發行致候間出版法第三條ノ規定ニ準據シ製本二部相添ヘ及屆出候也

年月日

住所	住所
發行者	發行者
氏名	氏名
印	印
住所	住所
著作權者	著作權者
氏名	氏名
印	印

内務大臣殿

本様式中著作權ノ連署ニ代ヘ左ノ様式ニ依ル出版承諾書ヲ添附スルモ差支ナシ

出版承諾書

一 文書圖書ノ題號 全何册(全何枚)

二 著作者ノ氏名

右著作物ヲ何某(何會社)ノ出版スルコトヲ承諾致候也

年月日

住所	住所
著作權者	著作權者
氏名	氏名
印	印

二 雜誌ヲ發行スル場合

雜誌出版 屆

一 雜誌ノ題號 第何卷第何號

出版關係法規

二 掲載記事ノ種類 (例ハ學術、技藝、統計、廣告)

三 發行時期 (例ハ一月一回發行) 又ハ毎月一日發行

四 編輯者ノ氏名及住所

五 發行所ノ名稱及所在地

六 印刷所ノ名稱及所在地

七 發行年月日 (再版屆ノ場合ニ在リテハ發行年月日ノ外仍初版發行ノ年月日ヲモ記載スヘシ)

右ハ專ラ學術(技藝、統計、廣告)ニ關スル記事ノミヲ掲載スルヲ以テ出版法ニ依リ發行致候間同法第三條ノ規定ニ準據シ製本二部相添ヘ及屆出候也

年月日

住所	住所
發行者	發行者
氏名	氏名
印	印
住所	住所
編輯者	編輯者
氏名	氏名
印	印

内務大臣殿

第二條 出版屆ニ添付スヘキ製本及其ノ包裝ニハ表面見易キ場所ニ「納本」ト記載スヘシ

第三條 出版法第十條第一項但書ノ規定ニ依リ雜誌ノ出版手續省略ノ許可ヲ受ケントスル者ハ左ノ様式ニ依ル願書二通ヲ内務大臣ニ差出スヘシ

雜誌出版手續省略願

- 一 雜誌ノ題號
 - 二 發行所ノ名稱及所在地
- 右ハ出版法ニ依リ發行致候處第何卷第何號ヨリ發行ノ都度届出ノ手續ヲ省略シ製本二部ノミ相納候様致度及願出候也
- 年月日

住所	氏	名	印
發行者	氏	名	印
住所	氏	名	印
編輯者	氏	名	印

内務大臣殿

第四條 出版法第十條第一項但書ノ規定ニ依リ雜誌ノ出版手續省略ノ許可ヲ受ケタルトキハ發行ノ都度届書ヲ差出スコトヲ要セスト雖モ第一條第二條ノ届出事項ヲ變更シタルトキハ左ノ區別ニ從ヒ各列記事項ヲ記載シタル届書二通ヲ内務大臣ニ差出スヘシ

- 一 題號ヲ變更スル場合
 - 二 舊題號
 - 三 新題號
 - 三 發行所ノ名稱及所在地
- 雜誌改題届

- 四 出版手續省略ノ許可年月日
- 右年月日(又ハ第何卷第何號)ヨリ改題致候間及届出候也
- 年月日

住所	氏	名	印
發行者	氏	名	印
住所	氏	名	印
編輯者	氏	名	印

内務大臣殿

- 一 雜誌ノ題號
 - 二 發行所ノ名稱及所在地
 - 三 現在ノ掲載記事ノ種類(編輯者、發行時期、發行所印刷所)
 - 四 變更ノ掲載記事ノ種類(編輯者、發行時期、發行所印刷所)
 - 五 出版手續省略ノ許可年月日
- 掲載記事ノ種類、編輯者、發行時期、發行所又ハ印刷所ヲ變更スル場合
- 雜誌掲載記事(編輯者、發行時期、發行所、印刷所)變更届

右年月日(又ハ第何卷第何號)ヨリ變更致候間及届出候也

年月日

住所	氏	名	印
發行者	氏	名	印
住所	氏	名	印
編輯者	氏	名	印

内務大臣殿

第五條 蓄音機「レコード」(蓄音機「レコード」類ノモノヲ含ム以下之ニ同シ)ヲ發行セントスルトキハ製品及内容ノ解記書各二部ヲ添ヘ左ノ様式ニ依ル届書 通ヲ内務大臣ニ差出スヘシ

- 一 蓄音機「レコード」ノ名稱及番號(番號ハ發行ノ順序ヲ表示スルモノタルコトヲ要ス)
 - 二 内容ノ題號及種類
 - 三 發行所ノ名稱及所在地
 - 四 製作所ノ名稱及所在地
 - 五 發行年月日
- 右發行致候間製品及内容ノ解記書二部相添ヘ及届出候也
- 年月日

蓄音機「レコード」發行届

住所	氏	名	印
發行者	氏	名	印
住所	氏	名	印
著作權者	氏	名	印

内務大臣殿

- 一 著作物ノ題號及種類
 - 二 著作物ノ蓄音機「レコード」ヲ何某(何會社)ノ發行スルコトヲ承諾致候也
- 右著作物ノ蓄音機「レコード」ヲ何某(何會社)ノ發行スルコトヲ承諾致候也
- 年月日

住所	氏	名	印
著作權者	氏	名	印

第六條

- 一 蓄音機「レコード」ノ名稱及番號(番號ハ發行ノ順序ヲ表示スルモノタルコトヲ要ス)
- 二 内容ノ題號並ニ原著作者及吹込者(數人ノ原著作者又ハ吹込者アルトキハ其ノ代表者ノ氏名)

- 三 發行所ノ名稱及發行地
- 四 發行所ト製作所ト異ナル場合ニ在リテハ製作所ノ名稱及製作地
- 五 發行所ヲ爲シタル旨ノ表示(例ハ「届出」ニ「納付済」)

附則

本令ハ昭和九年八月一日ヨリ之ヲ施行ス
 本令施行ノ際現ニ發行スルモノニシテ既ニ出版法第十條第一項但書ノ規定ニ基キ出版手續省略ノ許可ヲ受ケタルモノニ付テハ其ノ發行者ハ本令施行後三十日以内ニ第一條第二號ノ様式ニ依ル届書ヲ二通ヲ内務大臣ニ差出スヘシ爾後其ノ届出事項ヲ變更シタル場合ニ在リテハ第四條ノ所定ニ準據スヘシ
 本令施行前既ニ發行シタル著書機「レコード」ニシテ本令施行後引續キ發行スルモノニ付テハ本令施行後三十日以内ニ當該「レコード」ノ内容解説書二部ヲ添へ著書機「レコード」ノ名稱及番號、内容ノ題號及種類竝ニ發行所及製作所ノ名稱及所在地ヲ記載シタル届書二通(總目錄二通ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得)ヲ内務大臣ニ差出スヘシ
 前項ノ著書機「レコード」ノ製品ハ内務大臣必要アリト認メ其ノ納付ヲ命シタル場合ヲ除クノ外之ヲ納付スルコトヲ要セス

明治二十六年四月十四日 法律第十五號出版法抄錄

- 第三條 文書圖畫ヲ出版スルトキハ發行ノ日ヨリ到達スヘキ日數ヲ除キ三日前ニ製本二部ヲ添へ内務省ニ届出ヘシ
- 第十條第一項
 文書圖畫ノ冊號ヲ逐ヒ順次ニ出版スル者ハ其ノ都度第三條ノ手續ヲ爲スヘシ但シ雜誌類ニ在テハ内務大臣ノ許可ヲ經テ其手續ヲ省略スルコトヲ得
 明治四十三年四月十六日 法律第五十五號豫約出版法抄錄
- 第二條 發行者ハ左ノ事項ヲ記載シ内務大臣ニ届出ツヘシ
 - 一 題號
 - 二 發行ノ年月日及順次發行ノ場合ハ其ノ豫定年月日
 - 三 著作者氏名
 - 四 内容、製本及紙數ノ概要
 - 五 豫約定價及代金前收ノ方法
 - 六 發行所
 - 七 發行者ノ氏名、生年月日、法人ナルトキハ其ノ名稱及代表者ノ氏名
- 前項ノ届出ハ書面ヲ以テシ發行者又ハ其ノ法定代理人ヨリ豫約手續ニ著手ノ日ヨリ十日以前ニ管轄地方官廳ニ之ヲ差出スヘシ

朝鮮出版規則(明治四十三年五月二十八日)

統監府令 第二十號

- 第一條 出版ニ關シテハ特別ノ規定アルモノヲ除クノ外出版法及豫約出版法ノ規定ヲ準用ス但シ同法中内務大臣トアルハ「統監」ニ内務省トアルハ「統監府」ニ、地方官廳トアルハ「理事廳理事官」ニ該當ス
- 第二條 出版法ニ依リ内務大臣カ發賣頒布ヲ禁シタル文書圖畫ハ「韓國」ニ於テモ其ノ發賣頒布ヲ禁ス
- 第三條 出版法中罰則ノ規定ニ該當スル者又ハ第二條ノ規定ニ違反スル者ハ一年以下ノ禁錮又ハ二百圓以下ノ罰金ニ、豫約出版法中罰則ノ規定ニ該當スル者ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス
- 附則
 本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
- 臺灣出版規則(明治三十三年二月二十一日)
 臺灣總督府令 第十九號
- 第一條 何等ノ方法ヲ以テスルヲ問ハス文書圖畫ヲ印刷シテ發賣又ハ頒布スルヲ出版ト謂フ
 臺灣新聞紙條例ニ依ルモノヲ除ク外本島ニ於テ文書圖畫ヲ出版スル者ハ總テ此規則ニ依ルヘシ

- 第二條 文書圖畫ノ出版者ハ管轄地方官廳ヲ經テ臺灣總督府ニ届出テ同時ニ製本二部ヲ納付スヘシ
 前項ノ届出ハ發賣又ハ頒布ノ日ヨリ少クモ三日前ニ管轄地方官廳ニ到着スルヲ要ス
- 第三條 官廳ニ於テ文書圖畫ヲ出版スルトキハ發賣又ハ頒布前ニ製本二部ヲ臺灣總督府ニ送付スヘシ
- 第四條 學校會社協會等ニ於テ文書圖畫ヲ出版スルトキハ代表者ヲ定メ届出ツヘシ此場合ニ於テハ其代表者ヲ以テ出版者ト見做ス
- 第五條 文書圖畫ノ出版者ハ其氏名住所印刷者ノ氏名住所若ハ印刷所及發賣頒布ノ年月日ヲ其文書圖畫ノ末尾ニ記載スヘシ
- 第六條 書簡通信報告社則塾則引札諸藝ノ番付諸種ノ用紙證書ノ類及寫眞ハ前四條ノ限ニアラス
- 第七條 文書圖畫ノ一定ノ體裁ニ依リ冊號ヲ逐ヒ順次ニ出版スル者ハ特ニ許可ヲ得テ第二條ノ届出ヲ省略スルコトヲ得但各冊號出版ノ期間六箇月以上ニ涉ルモノハ此限ニアラス
- 第八條 一度出版届ヲ爲シタル文書圖畫ノ再版ハ出版届ヲ爲スヲ要セス但改正増減若ハ補修ヲ加ヘタルトキハ此限ニアラス
- 第九條 左ノ事項ヲ記載スル文書圖畫ハ之ヲ出版スルコトヲ得ス
 - 一 公判ニ付セサル前重罪輕罪ノ豫審ニ關スル事項並傍聽ヲ

禁シタル訴訟ニ關スル事項

二 刑事被告人又ハ犯罪人ヲ救護シ又ハ賞恤シ若ハ犯罪ヲ曲庇スル事項

三 傍聽ヲ禁シタル公會ノ議事

第十條 左ニ記載スルモノハ當該官廳ノ許可ヲ得ルニアラサレハ出版スルコトヲ得ス

一 公ニセサル官ノ文書圖畫及官廳ノ議事

二 外交及軍事ノ機密ニ關スル文書圖畫

第十一條 左ノ事項ノ一ニ觸ルル文書圖畫ハ其發賣頒布ヲ禁シ其刻版及印本ヲ差押フヘシ

一 皇室ノ尊嚴ヲ冒瀆シ政體ヲ變壞シ又ハ國憲ヲ亂紊セントスルモノ

二 安寧秩序ヲ妨害シ又ハ風俗ヲ壞亂スルモノ

三 第九條第十條ニ違背シタルモノ

第十二條 本島以外ノ帝國領土内又ハ外國ニ於テ出版シタル文書圖畫ニシテ前條各號ニ該當スルモノト認メタルトキハ其文書圖畫ノ本島ニ於ケル發賣頒布ヲ禁シ其印本ヲ差押フルコトアルヘシ

第十三條 前二條ノ場合ニ於テ必要ト認ムルトキハ地方長官ハ先其發賣頒布ヲ停止シ刻版印本ヲ假ニ差押フルコトヲ得

第十四條 出版者届出及納本ヲ爲サスシテ文書圖畫ヲ發賣又ハ

頒布シタルトキハ五圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處ス

第十五條 第五條ニ違背シタル者ハ二圓以上三十圓以下ノ罰金ニ處ス

第十六條 第九條及第十條ニ違背シタル者ハ十一日以上一年以下ノ輕禁錮又ハ十圓以上二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第十七條 皇室ノ尊嚴ヲ冒瀆シ政體ヲ變壞シ又ハ國憲ヲ紊亂セントスル文書圖畫ヲ出版シタル者ハ一年以上一年以下ノ輕禁錮又ハ三十圓以上二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第十八條 安寧秩序ヲ妨害シ又ハ風俗ヲ壞亂スル文書圖畫ヲ出版シタル者ハ十一日以上六月以下ノ輕禁錮又ハ十圓以上百圓以下ノ罰金ニ處ス

第十九條 文書圖畫ヲ印刷スルトキハ直ニ發賣頒布セスト雖其目的發賣頒布ニ在ルモノハ總テ此規則ニ依ル

第二十條 此規則ハ頒布ノ日ヨリ施行ス

關東洲普通出版取締規則

(大正十四年五月二十七日 關東廳令第三十號)

第一條 本令ニ於テ普通出版物トハ新聞紙又ハ雜誌ニ非サル出版物ヲ謂フ

第二條 普通出版物ヲ發行セムトスル者ハ發行ノ日ヨリ到達ニ要スヘキ日數ヲ除キ三日日前ニ製本二部ヲ添ヘ著作人又ハ其ノ相續人及發行人連署シ關東長官ニ届出ツヘシ其ノ内容ヲ變更シテ之ヲ再版セムトスルトキ亦同シ

第三條 官廳ニ於テ普通出版物ヲ發行セムトスルトキハ發行前ニ製本二部ヲ關東廳ニ送付スヘシ

第四條 普通出版物ノ發行人ハ其ノ末尾ニ著作人及發行人ノ住所氏名、發行年月日、發行所、印刷人ノ住所氏名、印刷年月日並印刷所ヲ記載スヘシ

第五條 書簡、定款、社則、學則、引札、番付、諸用紙、證書、繪葉書及文書ヲ顯ハササル寫眞ノ類ニハ第二條及第四條ノ規

定ヲ適用セス

第六條 普通出版物ニハ安寧秩序ヲ紊シ又ハ風俗ヲ壞亂スル事項ヲ掲載スルコトヲ得ス

第七條 外交軍事其ノ他官廳ノ機密ニ關シ公ニセサル官ノ文書及官廳ノ議事ハ當該官廳ノ許可ヲ得ルニ非サレハ之ヲ普通出版物ニ掲載スルコトヲ得ス

第八條 關東長官ハ普通出版物ニ掲載シタル事項ニシテ前二條ニ違反スルモノト認ムルトキハ其ノ發賣頒布ヲ禁止シ又ハ其ノ原版ヲ差押フルコトアルヘシ

第九條 左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ發行人及著作人ヲ六月以下ノ禁錮又ハ二百圓以下ノ罰金若ハ科料ニ處ス

附 則

一 第二條、第六條又ハ第七條ニ違反シタルトキ

二 第四條ニ違反シ又ハ虛偽ノ記載ヲ爲シタルトキ

豫約出版法

(明治四十三年四月十日)
(六日法律第五十五號)

第一條 代金ノ全部又ハ一部ヲ前收シ文書圖畫ノ頒布ヲ豫約スル出版ニ對シテハ出版法ニ依ルノ外尙本法ヲ適用ス

第二條 發行者ハ左ノ事項ヲ記載シ內務大臣ニ届出ツヘシ

- 一 題號
- 二 發行ノ年月及順次發行ノ場合ハ其ノ豫定年月日
- 三 著作者ノ氏名
- 四 内容、製本及紙數ノ概要
- 五 豫約定價及代金前收ノ方法
- 六 發行所
- 七 發行者ノ氏名、生年月日、法人ナルトキハ其ノ名稱及代表者ノ氏名

前項ノ届出ハ書面ヲ以テシ發行者又ハ其ノ法定代理人ヨリ豫約手續ニ着手ノ日ヨリ十日以前ニ管轄地方官廳ニ之ヲ差出スヘシ

第三條 豫約出版法ニ付出版法ニ依リテ爲ス出版届書ニハ第二條ニ依リテ届出ヲ爲シタルコト及其ノ年月日ヲ記載スヘシ

第四條 發行者又ハ其ノ法定代理人ハ第二條ノ届出ト同時ニ保證金トシテ管轄地方官廳ニ左ノ金額ヲ納ムヘシ

- 一 豫約定價十圓未滿ハ金五百圓
- 二 豫約定價十圓以上ハ金千圓

保證金ハ命令ヲ以テ定ムル種類ノ有價證券ヲ以テ之ニ充ツルコトヲ得

第五條 發行所、發行者ノ法定代理人、發行者法人ナルトキハ其ノ名稱及代表者ニ變更アリ又ハ發行者能力ヲ失ヒ死亡若ハ解散シ又ハ死亡若ハ解散ニ因リ法律上豫約出版ヲ廢絶スルノ已ムヲ得サルニ至リタルトキハ十日以内ニ內務大臣ニ届出スヘシ

前項ノ届出ハ書面ヲ以テシ發行者又ハ其ノ法定代理人、其ノ死亡ニ係ルトキハ相續人、相續人定マラス又ハ相續人ナキトキハ戸主若ハ同居ノ親族、法人ノ合併ニ因ル解散ニ係ルトキハ其ノ法人ノ權利及義務ヲ承繼シタル法人、破産ニ因ル解散ニ係ルトキハ破産管財人ヨリ管轄地方官廳ニ之ヲ差出ヘシ

第六條 法律上已ムヲ得サルニ非サル豫約出版ノ廢絶又ハ第二條第一項第一號乃至第五號ノ變更及死亡若ハ解散ニ因ラサル發行者ノ新舊發行者又ハ其ノ法定代理人ヨリ其ノ事由ヲ具シタル書面ヲ以テ豫約管轄地方官廳ヲ經由シ內務大臣ノ許可ヲ受クヘシ

參照 法律第五十二號 明治三十三年三月十三日 法人ニ於テ

前項ノ許可ハ豫約當事者ノ解除權行使ヲ妨ケラルルコトナシ

第七條 相續人又ハ法人ノ合併ニ因リ其ノ權利及義務ヲ承繼シタル法人ハ豫約出版ニ關スル權利及義務ヲ承繼ス

第八條 保證金ニ對スル權利及義務ハ發行者變更ノ場合ニ於テ承繼發行者之ヲ承繼ス

第九條 保證金ハ適法ニ豫約出版ヲ廢止シ又ハ完全ニ豫約ヲ履行シタル後ニ非サレハ其ノ還付ヲ請求シ又ハ其ノ債權ヲ讓渡スルコトヲ得ス但シ國稅徵收法及之ヲ準用スル法令ヲ適用シ又ハ豫約解除若ハ豫約不履行ニ因リ代金返還若ハ損害賠償ヲ命スル判決ヲ執行スルハ此ノ限ニ在ラス

第十條 發行者又ハ其ノ法定代理人ハ保證金ノ關額ヲ生シタル第十一條ノ罰金又ハ刑事訴訟費用ヲ完納セサルトキハ檢事ハ保證金ノ全部又ハ一部ヲ之ニ充ツルコトヲ得

第十一條 發行者又ハ其ノ法定代理人ハ保證金ノ關額ヲ生シタル場合ニ於テ之ヲ填補スヘシ

第十二條 發行者又ハ其ノ法定代理人ハ保證金ノ關額ヲ生シタル場合ニ於テ之ヲ填補スヘシ

第十三條 本法ハ新聞紙、出版法第二條但書ニ依ル雜誌及官廳ニ於テ出版スル文書圖書ニ之ヲ適用セス

第十四條 本法ハ新聞紙、出版法第二條但書ニ依ル雜誌及官廳ニ於テ出版スル文書圖書ニ之ヲ適用セス

第十五條 本法ハ新聞紙、出版法第二條但書ニ依ル雜誌及官廳ニ於テ出版スル文書圖書ニ之ヲ適用セス

第十六條 本法ハ新聞紙、出版法第二條但書ニ依ル雜誌及官廳ニ於テ出版スル文書圖書ニ之ヲ適用セス

第十七條 本法ハ新聞紙、出版法第二條但書ニ依ル雜誌及官廳ニ於テ出版スル文書圖書ニ之ヲ適用セス

第十八條 本法ハ新聞紙、出版法第二條但書ニ依ル雜誌及官廳ニ於テ出版スル文書圖書ニ之ヲ適用セス

第十九條 本法ハ新聞紙、出版法第二條但書ニ依ル雜誌及官廳ニ於テ出版スル文書圖書ニ之ヲ適用セス

第二十條 本法ハ新聞紙、出版法第二條但書ニ依ル雜誌及官廳ニ於テ出版スル文書圖書ニ之ヲ適用セス

第二十一條 本法ハ新聞紙、出版法第二條但書ニ依ル雜誌及官廳ニ於テ出版スル文書圖書ニ之ヲ適用セス

第二十二條 本法ハ新聞紙、出版法第二條但書ニ依ル雜誌及官廳ニ於テ出版スル文書圖書ニ之ヲ適用セス

第二十三條 本法ハ新聞紙、出版法第二條但書ニ依ル雜誌及官廳ニ於テ出版スル文書圖書ニ之ヲ適用セス

第二十四條 本法ハ新聞紙、出版法第二條但書ニ依ル雜誌及官廳ニ於テ出版スル文書圖書ニ之ヲ適用セス

第二十五條 本法ハ新聞紙、出版法第二條但書ニ依ル雜誌及官廳ニ於テ出版スル文書圖書ニ之ヲ適用セス

第二十六條 本法ハ新聞紙、出版法第二條但書ニ依ル雜誌及官廳ニ於テ出版スル文書圖書ニ之ヲ適用セス

第二十七條 本法ハ新聞紙、出版法第二條但書ニ依ル雜誌及官廳ニ於テ出版スル文書圖書ニ之ヲ適用セス

第二十八條 本法ハ新聞紙、出版法第二條但書ニ依ル雜誌及官廳ニ於テ出版スル文書圖書ニ之ヲ適用セス

第二十九條 本法ハ新聞紙、出版法第二條但書ニ依ル雜誌及官廳ニ於テ出版スル文書圖書ニ之ヲ適用セス

第三十條 本法ハ新聞紙、出版法第二條但書ニ依ル雜誌及官廳ニ於テ出版スル文書圖書ニ之ヲ適用セス

第三十一條 本法ハ新聞紙、出版法第二條但書ニ依ル雜誌及官廳ニ於テ出版スル文書圖書ニ之ヲ適用セス

第三十二條 本法ハ新聞紙、出版法第二條但書ニ依ル雜誌及官廳ニ於テ出版スル文書圖書ニ之ヲ適用セス

第三十三條 本法ハ新聞紙、出版法第二條但書ニ依ル雜誌及官廳ニ於テ出版スル文書圖書ニ之ヲ適用セス

第三十四條 本法ハ新聞紙、出版法第二條但書ニ依ル雜誌及官廳ニ於テ出版スル文書圖書ニ之ヲ適用セス

第三十五條 本法ハ新聞紙、出版法第二條但書ニ依ル雜誌及官廳ニ於テ出版スル文書圖書ニ之ヲ適用セス

第三十六條 本法ハ新聞紙、出版法第二條但書ニ依ル雜誌及官廳ニ於テ出版スル文書圖書ニ之ヲ適用セス

第三十七條 本法ハ新聞紙、出版法第二條但書ニ依ル雜誌及官廳ニ於テ出版スル文書圖書ニ之ヲ適用セス

第三十八條 本法ハ新聞紙、出版法第二條但書ニ依ル雜誌及官廳ニ於テ出版スル文書圖書ニ之ヲ適用セス

第三十九條 本法ハ新聞紙、出版法第二條但書ニ依ル雜誌及官廳ニ於テ出版スル文書圖書ニ之ヲ適用セス

第四十條 本法ハ新聞紙、出版法第二條但書ニ依ル雜誌及官廳ニ於テ出版スル文書圖書ニ之ヲ適用セス

第四十一條 本法ハ新聞紙、出版法第二條但書ニ依ル雜誌及官廳ニ於テ出版スル文書圖書ニ之ヲ適用セス

第四十二條 本法ハ新聞紙、出版法第二條但書ニ依ル雜誌及官廳ニ於テ出版スル文書圖書ニ之ヲ適用セス

第四十三條 本法ハ新聞紙、出版法第二條但書ニ依ル雜誌及官廳ニ於テ出版スル文書圖書ニ之ヲ適用セス

第四十四條 本法ハ新聞紙、出版法第二條但書ニ依ル雜誌及官廳ニ於テ出版スル文書圖書ニ之ヲ適用セス

第四十五條 本法ハ新聞紙、出版法第二條但書ニ依ル雜誌及官廳ニ於テ出版スル文書圖書ニ之ヲ適用セス

第四十六條 本法ハ新聞紙、出版法第二條但書ニ依ル雜誌及官廳ニ於テ出版スル文書圖書ニ之ヲ適用セス

第四十七條 本法ハ新聞紙、出版法第二條但書ニ依ル雜誌及官廳ニ於テ出版スル文書圖書ニ之ヲ適用セス

第四十八條 本法ハ新聞紙、出版法第二條但書ニ依ル雜誌及官廳ニ於テ出版スル文書圖書ニ之ヲ適用セス

第四十九條 本法ハ新聞紙、出版法第二條但書ニ依ル雜誌及官廳ニ於テ出版スル文書圖書ニ之ヲ適用セス

第五十條 本法ハ新聞紙、出版法第二條但書ニ依ル雜誌及官廳ニ於テ出版スル文書圖書ニ之ヲ適用セス

第五十一條 本法ハ新聞紙、出版法第二條但書ニ依ル雜誌及官廳ニ於テ出版スル文書圖書ニ之ヲ適用セス

第五十二條 本法ハ新聞紙、出版法第二條但書ニ依ル雜誌及官廳ニ於テ出版スル文書圖書ニ之ヲ適用セス

第五十三條 本法ハ新聞紙、出版法第二條但書ニ依ル雜誌及官廳ニ於テ出版スル文書圖書ニ之ヲ適用セス

第五十四條 本法ハ新聞紙、出版法第二條但書ニ依ル雜誌及官廳ニ於テ出版スル文書圖書ニ之ヲ適用セス

第五十五條 本法ハ新聞紙、出版法第二條但書ニ依ル雜誌及官廳ニ於テ出版スル文書圖書ニ之ヲ適用セス

第五十六條 本法ハ新聞紙、出版法第二條但書ニ依ル雜誌及官廳ニ於テ出版スル文書圖書ニ之ヲ適用セス

第五十七條 本法ハ新聞紙、出版法第二條但書ニ依ル雜誌及官廳ニ於テ出版スル文書圖書ニ之ヲ適用セス

第五十八條 本法ハ新聞紙、出版法第二條但書ニ依ル雜誌及官廳ニ於テ出版スル文書圖書ニ之ヲ適用セス

第五十九條 本法ハ新聞紙、出版法第二條但書ニ依ル雜誌及官廳ニ於テ出版スル文書圖書ニ之ヲ適用セス

第六十條 本法ハ新聞紙、出版法第二條但書ニ依ル雜誌及官廳ニ於テ出版スル文書圖書ニ之ヲ適用セス

第六十一條 本法ハ新聞紙、出版法第二條但書ニ依ル雜誌及官廳ニ於テ出版スル文書圖書ニ之ヲ適用セス

第六十二條 本法ハ新聞紙、出版法第二條但書ニ依ル雜誌及官廳ニ於テ出版スル文書圖書ニ之ヲ適用セス

第六十三條 本法ハ新聞紙、出版法第二條但書ニ依ル雜誌及官廳ニ於テ出版スル文書圖書ニ之ヲ適用セス

第六十四條 本法ハ新聞紙、出版法第二條但書ニ依ル雜誌及官廳ニ於テ出版スル文書圖書ニ之ヲ適用セス

第六十五條 本法ハ新聞紙、出版法第二條但書ニ依ル雜誌及官廳ニ於テ出版スル文書圖書ニ之ヲ適用セス

第六十六條 本法ハ新聞紙、出版法第二條但書ニ依ル雜誌及官廳ニ於テ出版スル文書圖書ニ之ヲ適用セス

第六十七條 本法ハ新聞紙、出版法第二條但書ニ依ル雜誌及官廳ニ於テ出版スル文書圖書ニ之ヲ適用セス

第六十八條 本法ハ新聞紙、出版法第二條但書ニ依ル雜誌及官廳ニ於テ出版スル文書圖書ニ之ヲ適用セス

第六十九條 本法ハ新聞紙、出版法第二條但書ニ依ル雜誌及官廳ニ於テ出版スル文書圖書ニ之ヲ適用セス

第七十條 本法ハ新聞紙、出版法第二條但書ニ依ル雜誌及官廳ニ於テ出版スル文書圖書ニ之ヲ適用セス

第七十一條 本法ハ新聞紙、出版法第二條但書ニ依ル雜誌及官廳ニ於テ出版スル文書圖書ニ之ヲ適用セス

第七十二條 本法ハ新聞紙、出版法第二條但書ニ依ル雜誌及官廳ニ於テ出版スル文書圖書ニ之ヲ適用セス

第七十三條 本法ハ新聞紙、出版法第二條但書ニ依ル雜誌及官廳ニ於テ出版スル文書圖書ニ之ヲ適用セス

第七十四條 本法ハ新聞紙、出版法第二條但書ニ依ル雜誌及官廳ニ於テ出版スル文書圖書ニ之ヲ適用セス

第七十五條 本法ハ新聞紙、出版法第二條但書ニ依ル雜誌及官廳ニ於テ出版スル文書圖書ニ之ヲ適用セス

第七十六條 本法ハ新聞紙、出版法第二條但書ニ依ル雜誌及官廳ニ於テ出版スル文書圖書ニ之ヲ適用セス

第七十七條 本法ハ新聞紙、出版法第二條但書ニ依ル雜誌及官廳ニ於テ出版スル文書圖書ニ之ヲ適用セス

第七十八條 本法ハ新聞紙、出版法第二條但書ニ依ル雜誌及官廳ニ於テ出版スル文書圖書ニ之ヲ適用セス

第七十九條 本法ハ新聞紙、出版法第二條但書ニ依ル雜誌及官廳ニ於テ出版スル文書圖書ニ之ヲ適用セス

第八十條 本法ハ新聞紙、出版法第二條但書ニ依ル雜誌及官廳ニ於テ出版スル文書圖書ニ之ヲ適用セス

第八十一條 本法ハ新聞紙、出版法第二條但書ニ依ル雜誌及官廳ニ於テ出版スル文書圖書ニ之ヲ適用セス

第八十二條 本法ハ新聞紙、出版法第二條但書ニ依ル雜誌及官廳ニ於テ出版スル文書圖書ニ之ヲ適用セス

第八十三條 本法ハ新聞紙、出版法第二條但書ニ依ル雜誌及官廳ニ於テ出版スル文書圖書ニ之ヲ適用セス

第八十四條 本法ハ新聞紙、出版法第二條但書ニ依ル雜誌及官廳ニ於テ出版スル文書圖書ニ之ヲ適用セス

第八十五條 本法ハ新聞紙、出版法第二條但書ニ依ル雜誌及官廳ニ於テ出版スル文書圖書ニ之ヲ適用セス

第八十六條 本法ハ新聞紙、出版法第二條但書ニ依ル雜誌及官廳ニ於テ出版スル文書圖書ニ之ヲ適用セス

第八十七條 本法ハ新聞紙、出版法第二條但書ニ依ル雜誌及官廳ニ於テ出版スル文書圖書ニ之ヲ適用セス

第八十八條 本法ハ新聞紙、出版法第二條但書ニ依ル雜誌及官廳ニ於テ出版スル文書圖書ニ之ヲ適用セス

第八十九條 本法ハ新聞紙、出版法第二條但書ニ依ル雜誌及官廳ニ於テ出版スル文書圖書ニ之ヲ適用セス

第九十條 本法ハ新聞紙、出版法第二條但書ニ依ル雜誌及官廳ニ於テ出版スル文書圖書ニ之ヲ適用セス

第九十一條 本法ハ新聞紙、出版法第二條但書ニ依ル雜誌及官廳ニ於テ出版スル文書圖書ニ之ヲ適用セス

第九十二條 本法ハ新聞紙、出版法第二條但書ニ依ル雜誌及官廳ニ於テ出版スル文書圖書ニ之ヲ適用セス

第九十三條 本法ハ新聞紙、出版法第二條但書ニ依ル雜誌及官廳ニ於テ出版スル文書圖書ニ之ヲ適用セス

第九十四條 本法ハ新聞紙、出版法第二條但書ニ依ル雜誌及官廳ニ於テ出版スル文書圖書ニ之ヲ適用セス

第九十五條 本法ハ新聞紙、出版法第二條但書ニ依ル雜誌及官廳ニ於テ出版スル文書圖書ニ之ヲ適用セス

第九十六條 本法ハ新聞紙、出版法第二條但書ニ依ル雜誌及官廳ニ於テ出版スル文書圖書ニ之ヲ適用セス

第九十七條 本法ハ新聞紙、出版法第二條但書ニ依ル雜誌及官廳ニ於テ出版スル文書圖書ニ之ヲ適用セス

第九十八條 本法ハ新聞紙、出版法第二條但書ニ依ル雜誌及官廳ニ於テ出版スル文書圖書ニ之ヲ適用セス

第九十九條 本法ハ新聞紙、出版法第二條但書ニ依ル雜誌及官廳ニ於テ出版スル文書圖書ニ之ヲ適用セス

第一百條 本法ハ新聞紙、出版法第二條但書ニ依ル雜誌及官廳ニ於テ出版スル文書圖書ニ之ヲ適用セス

一、題號
 二、發行ノ年月日(順次發行ノ場合ハ其記點並ニ豫定)
 三、著作者ノ氏名
 四、内容製本紙數ノ概要
 五、豫約定價及代金前收方法
 六、發行所及名稱
 七、發行者ノ氏名生年月日
 右ハ 年 月 日ヨリ豫約手續ニ着手致候ニ付保證金 圓 〆
 視聽ニ納メ置候條此段及御届候也
 年 月 日

住所 發行人 氏 名 〆
 内務大臣 殿

(第二號書式)

豫約出版届出事項變更願
 一、舊事項
 二、新事項
 右ハ何々ノ事由ニ由リ變更致度候ニ付御許可相成度此段及御願候也
 年 月 日

住所

内務大臣 宛 發行人 氏 名 〆

(第三號書式)

一、題號 履行届
 右ハ 年 月 日ヨリ豫約手續ニ着手致 年 月 日豫約者
 何名ニ對シ完全ニ義務ヲ履行仕リ候條此段及御届候也
 年 月 日

住所 發行人 氏 名 〆
 内務大臣 宛

(第四號書式)

廢絶 届 届書(二通)
 一、題號
 右ハ 年 月 日豫約手續ニ着手致候處今何々ノ事由ニ依
 リ廢絶致度候條特別ノ御證議ヲ以テ 御許可相成度別紙何何
 (寫)添付此段及御願候也
 年 月 日

住所 發行人 氏 名 〆
 内務大臣 宛

新聞紙法

(明治四十二年五月六日法律第四一號)

第一條 本法ニ於テ新聞紙ト稱スルハ一定ノ題號ヲ用ヒ時期ヲ定メ又ハ六箇月以内ノ期間ニ於テ時期ヲ定メシテ發行スル著作物及定時期以外ニ本著作物ト同一題號ヲ用ヒテ臨時發行スル著作物ヲ謂フ
 同一題號ノ新聞紙ヲ他ノ地方ニ於テ發行スルトキハ各別種ノ新聞紙ト看做ス

第二條 左ニ掲クル者ハ新聞紙ノ發行人又ハ編輯人タルコトヲ得ス
 一 本法ヲ施行スル帝國領土内ニ居住セザル者
 二 陸海軍軍人ニシテ現役若ハ召集中ノ者
 三 未成年者、禁治産者及準禁治産者
 四 懲役又ハ禁錮ノ刑ノ執行中又ハ執行猶豫中ノ者

第三條 印刷所ハ本法ヲ施行スル帝國領土外ニ之ヲ設クルコトヲ得ス
 第四條 新聞紙ノ發行人ハ左ノ事項ヲ内務大臣ニ届出ツヘシ

- 一 題號
- 二 掲載事項ノ種類

出版關係法規

三 時事ニ關スル事項ノ掲載ノ有無
 四 發行ノ時期、若時期ヲ定メサルトキハ其ノ旨
 五 第一回發行ノ年月日
 六 發行所及印刷所

七 持主ノ氏名、若法人ナルトキハ其ノ名稱及代表者ノ氏名
 八 發行人、編輯人及印刷人ノ氏名年齢但シ編輯人二人以上アルトキハ其ノ主トシテ編輯事務ヲ擔當スル者ノ氏名年齢
 前項ノ届出ハ持主又ハ其ノ法定代理人ノ連署シタル書面ヲ以テシ第一回發行ノ日ヨリ十日以前ニ管轄地方官廳ニ届出ツヘシ

第五條 前條第一項第一號乃至第三號ノ事項ノ變更ハ變更ノ日ヨリ十日以前ニ第四號若ハ第六號ノ事項又ハ持主、編輯人、印刷人ノ變更ハ變更前又ハ變更後七日以内ニ前條ノ手續ニ依リ發行人ヨリ之ヲ内務大臣ニ届出ツヘシ但シ持主變更ノ届出ニハ死亡ニ因ル場合ノ外新舊持主又ハ其ノ法定代理人ノ連署ヲ要ス

第六條 死亡シ又ハ第二條ニ該當スルニ至リタル發行人ノ權利人及義務ヲ承繼シタル發行人ハ其ノ發行人ト爲リタル日ヨリ七日以内ニ前條ノ手續ヲ爲スヘシ
 前項ノ場合ノ外發行人ノ變更ハ變更ノ日ヨリ十日以前ニ前條

ノ手續ヲ爲スヘシ

第七條 新聞紙ハ届出ヲ爲シタル發行時期又ハ發行休止ノ日ヨリ起算シテ百日間、三回發行ノ期間ヲ通シテ百日ヲ超ユル新聞紙ニ在リテハ三回發行ノ期間之ヲ發行セサルトキハ其發行ヲ廢止シタルモノト看做ス

第八條 發行人若ハ編輯人死亡シ又ハ第二條ニ該當スルニ至リ後任ノ發行人若ハ編輯人一箇月以上本法ヲ施行スル帝國領土外ニ施行スル場合ニ於テハ假發行人若ハ假編輯人ヲ設クルニ非サレハ新聞紙ノ發行ヲ爲スコトヲ得ス

發行人及編輯人ニ關スル本法ノ規定ハ假發行人假編輯人ニ之ヲ準用ス

第九條 編輯人ノ責任ニ關スル本法ノ規定ハ左ニ掲クル者ニ之ヲ準用ス

- 一 編輯人以外ニ於テ實際編輯ヲ擔當シタルモノ
- 二 掲載ノ事項ニ署名シタル者
- 三 正誤書、辯駁書ノ事項ニ付テハ其ノ掲載ヲ請求シタル者

第十條 新聞紙ニハ發行人、編輯人、印刷人ノ氏名及發行所ヲ記載スヘシ

第十一條 新聞紙ハ發行ト同時ニ内務省ニ二部管轄地方官廳、地方裁判所檢事局及區裁判所檢事局ニ各一部ヲ納ムヘシ

第十二條 時事ニ關スル事項ヲ掲載スル新聞紙ハ管轄地方官廳

ニ保證トシテ左ノ金額ヲ納ムルニ非サレハ之ヲ發行スルコトヲ得ス

- 一 東京市、大阪市及其ノ市外三里以内ノ地ニ於テハ二千圓
- 二 人口七萬以上ノ市又ハ區及其ノ市又ハ區外一里以内ノ地ニ於テハ一千圓
- 三 其ノ他ノ地方ニ於テハ五百圓

前項ノ金額ハ一箇月三回以下發行スルモノニアリテハ其ノ半額トス

保證金ハ命令ヲ以テ定ムル種類ノ有價證券ヲ以テ之ニ充ツルコトヲ得

第十三條 保證金ニ對スル權利及義務ハ發行人變更ノ場合ニ於テ後任發行人之ヲ承繼スルモノトス

第十四條 保證金ハ發行ヲ發止シタルトキニ非サレハ其ノ還附ヲ請求シ又ハ其ノ債權ヲ讓渡スルコトヲ得ス但シ國稅徵收法及之ヲ準用スル法令ヲ適用シ又ハ名譽ニ對スル罪ニ因ル損害賠償ノ判決ヲ執行スルハ此ノ限ニ在ラス

第十五條 保證金ヲ納ムル新聞紙ニ關シ發行人又ハ編輯人罰金又ハ刑事訴訟費用ノ言渡確定ノ日ヨリ十日以内ニ之ヲ完納セサルトキハ檢事ハ保證金ノ全部又ハ一部ヲ之ニ充ツルコトヲ得

第十六條 保證金ハ其ノ闕額ヲ生シタル場合ニ於テ之ヲ填補ス

ルニ非サレハ其ノ新聞紙ヲ發行スルコトヲ得ス但シ闕額ヲ生シタル日ヨリ七日以内ハ此ノ限リニ在ラス

第十七條 新聞紙ニ掲載シタル事項ノ錯誤ニ付其ノ事項ニ關スル本人又ハ直接關係者ヨリ正誤又ハ正誤書、辯駁書ノ掲載ヲ請求シタルトキハ其ノ請求ヲ受ケタル後次回又ハ第三回ノ發行ニ於テ正誤ヲ爲シ又ハ正誤書、辯駁書ノ全文ヲ掲載スヘシ

正誤、辯駁ハ原文ト同號ノ活字ヲ用フヘシ
正誤、辯駁ノ趣旨法令ニ違反スルトキ又ハ請求者ノ氏名住所ヲ明記セサルトキハ之ヲ掲載スルコトヲ要セス

正誤書、辯駁書ノ字數原文ノ字數ヲ超過シタルトキハ其ノ超過ノ字數ニ付發行人ノ定メタル普通廣告料ト同一ノ料金ヲ要求スルコトヲ得

第十八條 官報又ハ他ノ新聞紙ヨリ抄録セシ事項ニシテ官報又ハ新聞紙ニ於テ正誤シ又ハ正誤書、辯駁書ヲ掲載シタルトキハ本人又ハ直接關係者ノ請求ナシト雖其ノ官報又ハ新聞紙ヲ得タル前後條ノ例ニ依リ正誤シ又ハ正誤書、辯駁ヲ掲載スヘシ但シ料金ヲ要求スルコトヲ得ス

第十九條 新聞紙ハ公判ニ付スル以前ニ於テ豫審ノ内容其ノ他檢事ノ差止メタル捜査又ハ豫審中ノ被告事件ニ關スル事項又ハ公開ヲ停メタル訴訟ノ辯論ヲ掲載スルコトヲ得ス

第二十條 新聞紙ハ官署、公署又ハ法令ヲ以テ組織シタル議會

ニ於テ公ニセサル文書又ハ公開セサル會議ノ議事ヲ許可ヲ受ケスシテ掲載スルコトヲ得ス請願書又ハ訴願書ニシテ公ニセラレサルモノ亦同シ

第二十一條 新聞紙ハ犯罪ヲ煽動若ハ曲庇シ又ハ犯罪人若ハ刑事被告人ヲ賞恤若ハ救護シ又ハ刑事被告人ヲ陷害スルノ事項ヲ掲載セルコトヲ得ス

第二十二條 第四條乃至第六條ノ届出ヲ爲サス若ハ届出ヲ爲スモ實ヲ以テセス又ハ保證金ヲ納メ若ハ之ヲ填補スヘキ場合ニ於テ之ヲ納メ若クハ之ヲ填補セスシテ發行シタルトキハ正當ノ届出ヲ爲シ又ハ保證金ヲ納メ若ハ之ヲ填補スル迄管轄地方官廳ニ於テ新聞紙ノ發行ヲ差止ムヘシ

第二十三條 内務大臣ハ新聞紙掲載ノ事項ニシテ安寧秩序ヲ紊シ又ハ風俗ヲ害スルモノト認ムルトキハ其ノ發賣及頒布ヲ禁止シ必要ノ場合ニ於テ之ヲ差押フルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ内務大臣ハ同一主旨ノ事項ノ掲載ヲ差止ムルコトヲ得

第二十四條 内務大臣ハ外國若ハ本法ヲ施行セサル帝國領土ニ於テ發行シタル新聞紙掲載ノ事項ニシテ安寧秩序ヲ紊シ又ハ風俗ヲ害スルモノト認ムルトキハ其ノ本法施行ノ地域内ニ於ケル發賣及頒布ヲ禁止シ必要アル場合ニ於テ之ヲ差押フルコトヲ得

新聞紙ニ對シ一年以内ニ二回以上前項ノ處分ヲ爲シタルトキハ内務大臣ハ其ノ新聞紙ヲ本法施行ノ地域内ニ輸入又ハ移入スルヲ禁止スルコトヲ得

第二十五條 前項第二項ニ依ル禁止ノ命令ニ違反シテ輸入又ハ移入シタル新聞紙及第四十三條ニ依ル禁止ノ裁判ニ違反シテ發賣又ハ頒布スルノ目的ヲ以テ印刷シタル新聞紙ハ管轄地方官廳ニ於テ之ヲ差押フルコトヲ得

第二十六條 本法ニ依リ差押ヘタル新聞紙ニシテ二年以上其ノ差押ヲ解除セラレサルトキハ差押ヲ執行シタル行政官廳ニ於テ之ヲ處分スルコトヲ得

第二十七條 陸軍大臣、海軍大臣及外務大臣ハ新聞紙ニ對シ命令ヲ以テ軍事若ハ外交ニ關スル事項ノ掲載ヲ禁止シ又ハ制限スルコトヲ得

第二十八條 第二條ニ該當スル者ニシテ事實ヲ詐リ發行人又ハ編輯人ト爲リタルトキハ三月以下ノ懲役又ハ五十圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十九條 第三條ニ違反シタル者ハ三百圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十條 第四條乃至第六條ノ届出ヲ爲サス若ハ届出ヲ爲スモ實ヲ以テセス又ハ第四條第一項第一號第四號乃至第六號ニ關シ届出ノ事項ニ違反シタル行爲ヲ爲シ又ハ第十一條ニ違反シタルトキハ發行人ヲ百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

第三十一條

第四條第一項第二號又ハ第三號ニ關シ届出ノ事項ニ違反シタル行爲ヲ爲シタルトキハ發行人及編輯人ヲ百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

第三十二條 第八條第一項ニ違反シタルトキハ發行人死亡シ又ハ第三條ニ該當スルニ至リタル場合ニ於テハ實際發行ヲ爲シタル者其ノ他ノ場合ニ於テハ發行人ヲ百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

第三十三條 第十條ニ違反シ又ハ掲載ニ實ヲ以テセサルトキハ發行人編輯人ヲ百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

第三十四條 第十二條第一項、第二項、第十六條ニ違反シ又ハ第二十二條ニ依ル差止ノ命令ニ違反シタルトキハ發行人ヲ三百圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十五條 第十七條第一項、第二項、又ハ第十八條ニ違反シタルトキハ編輯人ヲ五十圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

第三十六條 第十九條、第二十條ニ違反シタルトキハ編輯人ヲ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十七條 第二十一條ニ違反シタルトキハ編輯人ヲ三月以下ノ禁錮又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十八條 第二十三條ニ依ル禁止若ハ差止ノ命令、第二十四條ニ依ル禁止命令、第四十三條ニ依ル禁止ノ裁判ニ違反シタルトキハ發行人ヲ百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

ルトキハ發行人、編輯人ヲ六月以下ノ禁錮又ハ三百圓以下ノ罰金ニ處ス情ヲ知リテ其ノ新聞紙ヲ發賣又ハ頒布シタル者ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十九條 第二十三條第一項、第二十四條第一項、第二十五條ニ依ル差押處分ノ執行ヲ妨害シタル者ハ六月以下ノ禁錮又ハ三百圓以下ノ罰金ニ處ス

第四十條 第二十七條ニ依ル禁止又ハ制限ノ命令ニ違反シタルトキハ發行人、編輯人ヲ二年以下ノ禁錮又ハ三百圓以下ノ罰金ニ處ス

第四十一條 安寧秩序ヲ紊シ又ハ風俗ヲ害スル事項ヲ新聞紙ニ掲載シタルトキハ發行人、編輯人ヲ六月以下ノ禁錮又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第四十二條 皇室ノ尊嚴ヲ冒瀆シ政體ヲ變改シ又ハ朝憲ヲ紊亂セムトスルノ事項ヲ新聞紙ニ掲載シタルトキハ發行人、編輯人、印刷人ヲ二年以下ノ禁錮及三百圓以下ノ罰金ニ處ス

第四十三條 第四十條乃至第四十二條ニ依リ處罰スル場合ニ於テ裁判所ハ其ノ新聞紙ノ發行ヲ禁止スルコトヲ得

第四十四條 本法ニ定メタル犯罪ニハ刑法併合罪ノ規定ヲ適用セス

第四十五條

新聞紙ニ掲載シタル事項ニ付名譽ニ對スル罪ノ公訴ヲ提起シタル場合ニ於テ其ノ私行ニ涉ルモノヲ除クノ外裁

判所ニ於テ惡意ニ出テス專ラ公益ノ爲ニスルモノト認ムルトキハ被告人ニ事實ヲ證明スルコトヲ許スコトヲ得若其ノ證明ノ確立ヲ得タルトキハ其ノ行爲ハ之ヲ罰セス公訴ニ關聯スル損害賠償ノ訴ニ對シテハ其ノ義務ヲ免ル

附則

新聞紙條例ハ之ヲ廢止ス
本法施行前ヨリ發行スル新聞紙ニシテ本法ノ規定ニ依リ保證金ニ關額ヲ生ズルニ至リタルトキハ本法施行ノ日ヨリ三年間其ノ填補ヲ猶豫ス

第二十六條ノ規定ハ本法施行前ノ差押ニ係ル新聞紙ニ之ヲ準用ス

新聞紙法ニ關スル願届書式

(第一號書式)

新聞紙發行届 (第一回發行年月日ヨリ十日以前ニ届書ニ通)

- 一 題號 何々
- 二 掲載事項ノ種類 何々
- 三 時事ニ關スル事項掲載ノ有無 (有、無)
- 四 發行時期 日刊又ハ毎月何回 (何日若クハ不定)
- 五 第一回發行年月日 何年何月何日
- 六 發行所所在地及名稱

七 印刷所所在地及名稱
 八 持主氏名、原籍、居住地、生年月日
 九 發行人 同上
 十 編輯人 同上
 十一 印刷人 同上
 右ハ新聞紙法ニ據リ發行致候間(管轄廳ニ保證金何圓納置候條)此段及御届候也
 年 月 日

發行人名
 持主氏名
 印刷人名
 編輯人名
 內務大臣宛

(第二號書式) 新聞紙改題届 (變更十日以前届書二通)

一 現在ノ題號
 二 變更ノ題號
 右ノ通リ年 月 日ヨリ改題致候間此段御届申上候也
 年 月 日

住所
 發行人名
 內務大臣宛

(第三號書式) 何新聞紙記載ノ種類變更届 (變更十日以前届書二通)

一 現在ノ記事ノ種類
 一 變更ノ記事ノ種類
 右ノ通リ年 月 日ヨリ變更致候間此段御届申上候也
 (保證金ヲ納メス發行シタルモノヲ變更シテ保證金ヲ要スルモノト爲サントスル例左ノ如シ)
 右ノ通リ年 月 日ヨリ變更致候ニ付保證金何圓(券ヲ以テ)管轄廳ヘ納置候間此段御届申上候也
 年 月 日

發行人名
 編輯人名
 印刷人名
 內務大臣宛

(第四號書式) 何新聞紙發行人變更届 (變更前又ハ變更後七日以内届書二通)

現在發行人
 原籍及居住ノ地
 新發行人
 右ノ通リ年 月 日ヨリ變更致候間此段御届申上候也
 現在發行人
 新發行人
 內務大臣宛

(第四號 同乙)

何新聞紙發行人變更届 (變更前又ハ變更後七日以内届書二通)

舊發行人
 原籍及居住ノ地
 新發行人
 右舊發行人何誰 年 月 日死亡(法律上資格ヲ失ヒ)候ニ付(何誰假發行人ノ名義ヲ以テ引續發行致候處)年 月 日ヨリ右ノ通リ變更致候間此段御届申上候也
 年 月 日

舊發行人
 假發行人
 原籍及居住ノ地
 新發行人
 內務大臣宛

(第五號書式)

何新聞紙編輯人(印刷人)變更届

舊編輯人(舊印刷人)氏
 原籍及居住ノ地
 新編輯人(新印刷人)氏
 內務大臣宛

出版關係法規

新編輯人(新印刷人)氏
 右ノ通リ年 月 日ヨリ變更致候間此段御届申上候也
 年 月 日

舊編輯人(舊印刷人)氏
 新編輯人(新印刷人)氏
 發行人名
 內務大臣宛

(第六號書式)

何新聞紙發行時期變更届 (變更前又ハ變更後七日以内届書二通)

一 舊發行ノ時期
 一 新發行ノ時期
 右ノ通リ年 月 日ヨリ變更致候間此段御届申上候也
 年 月 日

發行人名
 內務大臣宛

(第七號書式)

何新聞紙發行所(印刷所)變更届

一 舊發行所(舊印刷所)所在及名稱
 一 新發行所(新印刷所)所在及名稱

右之通り年月日ヨリ變更致候間此段御届申上候也
年月日

内務大臣

宛

發行人 氏

名 〇

教科用圖書檢定規則

(明治二十年五月七日文部省令第二號)
大正十五年省令第三十五號改正

第一條 教科用圖書ノ檢定ハ師範教育令中學校令高等女學校令小學校令及教則ノ旨趣ニ合シ教科用ニ適スルコトヲ認定スルモノトス本規則ニ於テ教科用圖書ト稱スルハ師範學校中學校高等女學校ニ關シテハ生徒用圖書トシ小學校ニ關シテハ教師用圖書及兒童用圖書トス

前項ノ教師用圖書トハ教授スヘキ事項教授上ノ注意及應用ニ關スル事項等ヲ記載シタル圖書又ハ該圖書ニ附屬シテ兒童ニ示スヲ目的トスル掛圖類ヲ云フ

第二條 圖書ノ發行者ハ該圖書ノ檢定ヲ文部省ニ講フコトヲ得外國ニ於テ發行シタル圖書ハ左ノ各號ノ一ニ當ルモノニ限り發行者ニ於テ其圖書ノ檢定ヲ文部省ニ請フコトヲ得

一 師範學校中學校又ハ高等女學校ニ於ケル英語獨語佛語ノ教科用ヲ目的トスルモノ

二 小學校ニ於ケル英語ノ教科用ヲ目的トスルモノ

第三條 第二條ニ依リ檢定ヲ請フ者ハ圖書一種ニ付其目的トスル所ノ學校一種毎ニ第一條第二項ノ掛圖類ハ二部ノ定價其ノ他ハ二十部ノ定價ニ等シキ手数料及該圖書二部ヲ檢定願書ニ添ヘ文部省ニ納ムヘシ但檢定ヲ得タル後定價ヲ増加シタルトキハ本文ノ例ニ準シ其差額ヲ追納スヘシ

定價ノ記載セサル圖書ハ檢定セス

第四條 第二條ニ依リ檢定ヲ請ヒタル圖書中瑣少ノ修正ヲ加フレハ檢定ヲ與フルコトヲ得ヘシト認ムルモノアルトキハ其廉ヲ檢定出願者ニ指示スルコトアルヘシ

檢定用與ヘタル圖書中修正ヲ要スルモノアリト認ムルトキハ其ノ廉ヲ發行者ニ指示シテ修正セシムルコトアルヘシ

發行者前項ノ指示ニ從ハサルトキハ其ノ圖書ノ檢定ノ效力ヲ取消スコトアルヘシ

第五條 檢定シタル圖書ハ文部省ヨリ官報ヲ以テ其名稱、冊數定價、目的トスル學校並學科ノ種類發行ノ年月日並該圖書ニ記載スル所ノ著譯者及發行者ノ住所姓名等ヲ廣告スヘシ

第六條 檢定ノ效力ハ檢定ヲ得タル後修正ヲ加ヘタル圖書ニ及ハサルモノトス

第七條 第五條ニ依リ廣告シタル定價、發行ノ年月日並著譯者及發行者ノ住所姓名等ニ異動ヲ生シ圖書中其記載方ヲ變更シ

タルトキ又ハ同條ニ依リ廣告シタル冊數ヲ變更シタルトキハ更ニ官報ヲ以テ其旨ヲ廣告スルニアラサレハ檢定ノ效力該圖書ニ及ハサルモノトス

第八條 檢定出願者ニシテ檢定ヲ得サリシ事由ノ大要ヲ知ラントスルトキハ指令到達ノ日ヨリ六十日以内ニ願出ツヘシ

第九條 檢定出願中ノ圖書若クハ檢定ヲ得タル圖書ニ修正ヲ加ヘ檢定ヲ請フ者ハ更ニ第三條ノ手数料ヲ納ムヘシ但第條ノ指示ヲ受ケテ修正ヲ加フル場合ハ此限ニアラス

第十條 圖書ノ發行者ハ其檢定ヲ得タル圖書ニシテ第七條ノ變更アルニ會スルトキハ其事項ノ廣告ヲ文部省ニ請フヘシ

第十一條 檢定ヲ請ヒタル後ハ其願下ヲナストキ又ハ其他何等ノ事由アリトモ既ニ納メタル手数料ハ之ヲ還附セサルモノトス

第十二條 本規則ニ於テ修正ト稱スルハ圖書ノ名稱ヲ變更シ文章字句圖書ヲ増減若クハ校訂シ又ハ枚數行數字體畫數ヲ變更シ又ハ檢定願書ニ添ヘ差出シタル圖書ニ比シ紙質印刷ヲ粗惡ニシ又ハ註解附録序跋ヲ加除若クハ變更スル場合ヲ包含スルモノトス

第十三條 第四條ニ依リ圖書中修正スヘキ廉ヲ指定シタルトキハ一箇年以内ニ其廉ヲ修正シテ該圖書ノ檢定ヲ追願スヘシ此期限内ニ修正追願セサルトキハ該圖書ハ檢定ヲ與ヘス

第十四條 檢定ヲ得タル圖書ハ每冊表紙又ハ扉ニ年月日文部省檢定濟何學校何學科用ノ文字ヲ記載スヘシ但小學校教科用圖書ニ在リテハ仍兒童教師用ノ別ヲ附記スヘシ

第十五條 檢定ヲ得サル圖書若クハ第六條第七條ニ依リ檢定ノ效力ノ及ハサル圖書ニ文部省檢定濟其他之ニ類スル文字ヲ記載シテ發行シ又ハ情ヲ知リテ其ノ圖書ヲ受託販賣スルコトヲ得ス

第十六條 第十五條ニ違背シタル者ハ二十五圓以内ノ罰金又ハ二十五日以下ノ禁錮ニ處ス

第十七條 圖書ハ其全部揃ヒタルモノニアラサレハ檢定セス

第十八條 第六條第七條ニ依リ檢定ノ效力ノ及ハサル圖書ニ文部省檢定濟其他之ニ類スル文字ヲ記載シテ發行シタルトキハ其檢定ノ效力ヲ取消スコトアルヘシ

第十九條 第二條第二項ニ依リ檢定ヲ請フ者ニシテ帝國內ニ住所ヲ有セサルトキハ檢定ニ關スル一切ノ事項ヲ代理セシメンカ爲ニ帝國內ニ住所ヲ有スル者ニ就キ代理人ヲ定ムヘシ

第二十二條 檢定ヲ得タル圖書ノ發行者ハ次學年ノ始ヨリ起算シ五箇年間其ノ圖書ノ供給ヲ止ムルコトヲ得ス但特別ノ事情アル場合ニ於テ文部省ノ認可ヲ得タルトキハ此ノ限ニ在ラス前項ニ規定セル期間滿了後其ノ圖書ノ供給ヲ止メントスルトキハ發行並ニ檢定濟年月日ヲ具シ其ノ前年九月末日迄ニ文部

省ニ届出ツヘシ

第二十三條 第十四條若クハ第十五條ノ規定ニ違背シタル者又ハ第二十二條ノ規定ニ依ル認可ヲ受ケス若クハ届出ヲ了セスシテ圖書ノ供給ヲ止メタル者ノ發行ニ係ル圖書ニ對シテハ檢定ヲ行ハサルコトアルヘシ

第二十四條 第二條ニ依リ檢定ヲ請フ者ハ甲號書式ニ依リ第十條ニ依リ追願スル者ハ乙號書式ニ依リ又檢定ヲ得タル圖書ニ修正ヲ加ヘ檢定ヲ請フ者ハ丙號書式ニ依リ願出ツヘシ

教科書檢定ニ關スル願届書式

(甲號書式) 檢定願

圖書ノ名稱	卷冊ノ數	著譯者ノ住所	發行者ノ住所	發行ノ年月日	目的トスル學校並種類

右ノ圖書御檢定相成度該圖書……部及手数料金相添此段相願候也

年月日

住所 氏名

名印

文部大臣 宛

(乙號書式) 檢定追願

圖書ノ名稱	卷冊ノ數	著譯者ノ住所	發行者ノ住所	修正發行ノ年月日	目的トスル學校並種類

右ハ年月日附檢定願出候處年月日ノ御旨示ニ基キ今般修正發行致候間尙御檢定相成度該圖書……部相添此段相願候也

年月日

住所 氏名

名印

文部大臣 宛

(丙號書式) 修正檢定願

圖書ノ名稱	卷冊ノ數	著譯者及發行者ノ住所	修正發行ノ年月日	目的トスル學校並種類	修正事項

右ハ年月日檢定済ノ處修正發行致候間御檢定相成度該圖書……部及手数料金……相添ヘ此段相願候也
年月日
住所 氏名
文部大臣 宛
名印

軍隊教育用圖書檢閱規則

(大正七年一月陸軍省令第二號)

第一條 軍隊教育ノ目的ヲ以テ陸軍官憲ニ於テ發行シタル圖書ノ檢閱ハ陸軍官憲ノ檢閱ヲ受ケタルモノニ限リ軍隊ニ使用セシム

第二條 本規則ニ依リ檢閱スヘキ文書圖書ノ名目ハ之ヲ告示ス
第三條 第一條ノ文書圖書ヲ翻刻スル者ハ其ノ翻刻物ノ檢閱ヲ陸軍官憲ニ出願スルコトヲ得

第四條 翻刻物ニハ左ノ各號ノ條件ヲ具備スルコトヲ要ス
一 翻刻物ノ體裁ハ概ネ陸軍官憲ニ於テ發行シタルモノト同一ナルコト

二 翻刻物ハ其ノ色別、梯尺、文字ノ大小字體、圖書(冊數)

出版關係法規

枚數行數及毎行ノ字數ハ陸軍官憲ニ於テ發行ノモノト異ナルヘカラス

三 翻刻物ハ紙質脆弱又ハ粗惡ナルヘカラス且印刷鮮明ニシテ製本鞏固ナルコト

第五條 翻刻物中伸製縮製又ハ數種ヲ合本トスル必要アル場合ニハ見本ヲ添ヘ陸軍大臣ノ認可ヲ受ケヘシ

第六條 檢閱済翻刻物ニハ其ノ表紙アルモノハ題名ノ右肩ニ其ハ出願人ニ檢閱済證ヲ交付ス

第七條 檢閱済翻刻物ヲ改版シタルトハ左ニ交付シタル檢閱済證ハ其ノ效力ヲ失フ

第八條 檢閱ヲ受ケサル文書圖書ノ翻刻物ニ第六條ノ記載ヲ爲シタル者ハ五十圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

附 則
本令施行前ノ規定ニ依ル檢閱済ノ翻刻物ニ限リ本規則第六條及第八條ノ規定ヲ適用セス

二四七

文部省圖書推薦規程

(昭和五年九月一日文部省令第二十二號)

- 第一條 社會教育ニ裨益アリト認めラルル圖書ニシテ特ニ優良ナルモノハ本令ニ依リテ推薦ス
- 第二條 推薦ヲ受ケタル圖書ニハ文部省推薦ノ文字ヲ記入スルコトヲ得之カ記入ヲナス場合ニハ推薦ヲ受ケタル年月日ヲ明記スルコトヲ要ス
- 前項ノ記入ヲナシタル圖書ニ修正ヲ加ヘタルトキハ其ノ發行者ハ遲滞ナク其ノ旨ヲ文部大臣ニ届出ツヘシ
- 第三條 推薦シタル圖書ニシテ修正其ノ他ノ事由ニヨリ必要アリト認めタルトキハ推薦ヲ取消スコトアルヘシ
- 第四條 推薦シタル圖書ノ名稱冊數定價發行ノ年月日並著作者及發行者ノ住所氏名ハ官報ヲ以テ之ヲ公示ス推薦ヲ取消シタルトキ亦同シ

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

文部省圖書認定規程

(大正十五年一月九日文部省令第二號)

- 第一條 社會教育ニ裨益アリト認めラルル圖書ハ本令ニ依リテ認定ス
- 第二條 圖書ノ著作者又ハ發行者ニ於テ圖書ノ認定ヲ受ケントスルトキハ其ノ圖書二部及手數料ヲ添へ別紙様式ノ認定願書ヲ文部大臣ニ差出スヘシ
- 第三條 手數料ハ圖書一部ニ付其ノ圖書三部ノ定價ニ等シキ金額トス出願ノ際文部大臣官房會計課ニ納付スヘシ
- (文部大臣ニ於テ必要ト認めタルトキハ手數料ヲ免除スルコトアルヘシ既納ノ手數料ハ之ヲ還付セス)
- 第四條 認定ヲ受ケタル圖書ニハ文部省認定ノ文字ヲ記入スルコトヲ得
- 第五條 認定ノ效力ハ認定ヲ受ケタル後修正ヲ加ヘタル圖書ニ及ハサルモノトス但シ修正ニ付文部大臣ノ認可ヲ得タルトキハ此ノ限ニアラス
- 第六條 認定ヲ與ヘタル圖書ニシテ修正ヲ要スルモノアリト認めタルトキハ期間ヲ定メ之ヲ修正セシムルコトアルヘシ

第七條

認定ヲ受ケタル者本令ノ規定ニ違背シタルトキ又ハ文部大臣ニ於テ必要ト認めタルトキハ當該圖書ノ認定ヲ取消スコトヲ得

第八條

認定シタル圖書ノ名稱、冊數、定價、發行ノ年月日並著作者及發行者ノ住所、氏名ハ官報ヲ以テ之ヲ公示ス

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

大正二年文部省令第二十二號通俗圖書認定規程ハ之ヲ廢止ス從前ノ規程ニヨリ認定シ又ハ認定ヲ申請シタル圖書ハ本令ニ依リテ認定シ又ハ認定ヲ申請シタルモノト看做ス

(様式) 圖書認定願

圖書ノ名稱	冊數	著作者ノ住所氏名	發行者ノ住所氏名	發行ノ年月日	定價
-------	----	----------	----------	--------	----

右ノ圖書御認定相成度該圖書二部及手數料金……相添此段及御願候也

年 月 日

住 所

氏 名

宛

文部大臣

宛

出版法ニ據リ刻版印本ヲ差押ヘタルトキ取扱處分方

(明治二十九年二月五日) 内務省訓令第二號

廳 府 縣 (東京府ヲ除ク)

新聞紙例第二十條及第十九條ニ據リ新聞紙若クハ刻版及印本ヲ差押ヘタルトキハ當該官廳ニ於テ嚴密ニ封印ヲ施シ發行人若クハ發行者及刻版所有者ヲシテ着守セシムルコトヲ得若シ發行人若クハ發行者及刻版所有者ノ承諾ヲ得タルトキハ警察官立合ノ上其ノ新聞紙若クハ刻版及印本ヲ破棄セシムルモ妨ナシ但明治二十一年一月訓令第四五號訓令第二號中第五及第四項ハ自今消滅シタルモノト心得ヘシ

差押出版物ノ分割還付ニ關スル件

(昭和二年八月十一日示達) 追加昭和四年六月七日示達

- 一、分割還付セラルヘキ出版物及條件
 - (1) 主トシテ學術、文藝、美術等ニ關スル記事ヲ掲載シ且社會ノ文化ニ貢獻スルモノト認メラルル單行本又ハ週刊以上ノ雜誌及其刻板ニ限ルコト
 - (2) 無納本若クハ甚シキ納本遅延ノ事實アリタルモノ又ハ發

行者ニ於テ差押執行ノ妨害ヲ爲シタルモノニ對シテハ原則トシテ之ヲ許ササルコト

(3) 禁止個所少數少量ニシテ容易ニ檢出削除シ得ルモノニ限ルコト

(4) 差押部數カ相當多數ナル場合ニ限ルコト

(5) 還付ハ禁止命令アリタル日ヨリ一ヶ月以内ニ發行者ヨリ請求アリタル場合ニ限ルコト

二、手續

(1) 還付決定ノ請求ハ發行者發行人又ハ其ノ代理人ヨリ書面ヲ以テ直接内務省ニ對シ之ヲ爲スコト

(2) 還付スヘキヤ否ハ内務省ニ於テ之ヲ決定シ請求者並地方長官(東京府ニ在リテハ警視總監以下做之)ニ之ヲ通知スルコト還付ノ實施ハ發行者發行人又ハ其ノ代理人ヨリ還付決定通知書ノ寫ヲ添付シ差押ヲ爲シタル地方長官ニ之ヲ請求スルコト尙削除個所ハ内務省ノ決定ニ依ルコト

三、費用

還付ニ要シタル費用ハ凡テ請求者ノ負擔トスルコト尙差押中ニ生シタル破損等ニ對シテハ責任ヲ負ハサルコト

地方長官ハ必要ト認ムルトキハ還付費用ノ豫定額ヲ前納セシムルコトヲ得

四、注意事項

新聞紙法及豫約出版法ニ依ル保證金ニ充ツルコトヲ得ル有價證券ノ種類

(明治四十三年四月十六日) 内務省令第十五號 改正
(大正十年内務省令第五號)

新聞紙法第十二條第三項及豫約出版法第四條第二項ニ依リ管轄地方官廳ニ納ムヘキ保證金ニ充ツルコトヲ得ル有價證券ノ種類左ノ如シ

一 國債證券

附 則

明治四十二年五月内務省令第十五號ハ之ヲ廢止ス

附 則 (大正十年内務省令第五號)

本令ハ大正十年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行前納付シタル國債以外ノ有價證券ハ本令施行ノ日ヨリ五年ヲ限り本令ノ規定ニ拘ラス仍其效力ヲ有ス

將來本示達ニ依リ分割還付ヲ實施スルニ當リ禁止處分アリタル旨ヲ廣告又ハ宣傳ニ利用シ又ハ利用セシメタルニ於テハ爾後特典ニ與リ得サルコト

五、再出版ノ監督

還付ヲ受ケタル出版物ヲ用ヒ其儘又ハ加工シテ再發行スルトキハ出版法又ハ新聞紙法ニ依リ納本ヲ要スルハ勿論ナリト雖モ題名普通出版物ノ場合ニ限ル)發行日付號數裝表其他ヲ適宜變更シ一見シテ禁止出版物ト之ヲ區別シ易カラシメ再頒布前差押官廳ノ検査ヲ受クルコト、但シ改裝其ノ他ノ爲ニ取經メタル場合ニ於テハ便宜上發行所所管地方長官ノ検査ヲ受クルコトヲ妨ケス

六、参考上必要部數ノ保留

差押出版物ハ原本ノ儘出版警察ノ参考上必要ナル部數ヲ内務省ニ保留スルコト其部數ハ決定書ヲ以テ之ヲ通知ス

七、新聞紙法ニ依ル週刊以上ノ雜誌

新聞紙法ニ依リ發行スル雜誌ト雖モ週刊以上ノモノハ前各項ニ依リ處理スルコト

(備考) 本件に關しては昭和二年九月一日發行の單行本又は月刊以上の雜誌より之を實施中の處、昭和四年六月七日更に週刊以上の出版物に對しても分割還付許可相成旨追加せらる)

納本ニ就テノ注意

○書籍ヲ出版シ雜誌ヲ發行スル毎ニ左ノ如ク納本スルコトヲ要ス

書籍 (出版法ニ依ル雜誌モ同シ)

内務省警保局圖書課 (出版届ト共ニ) 二部

○新聞紙法ニ據リ發行スルモノハ發行ト同時ニ左記ニ納本ヲ要ス

内務省警保局圖書課 二部

警視廳官房 二部

(東京) 地方裁判所檢事局 一部

(東京) 區裁判所 檢事局 一部

差出郵便局 一部

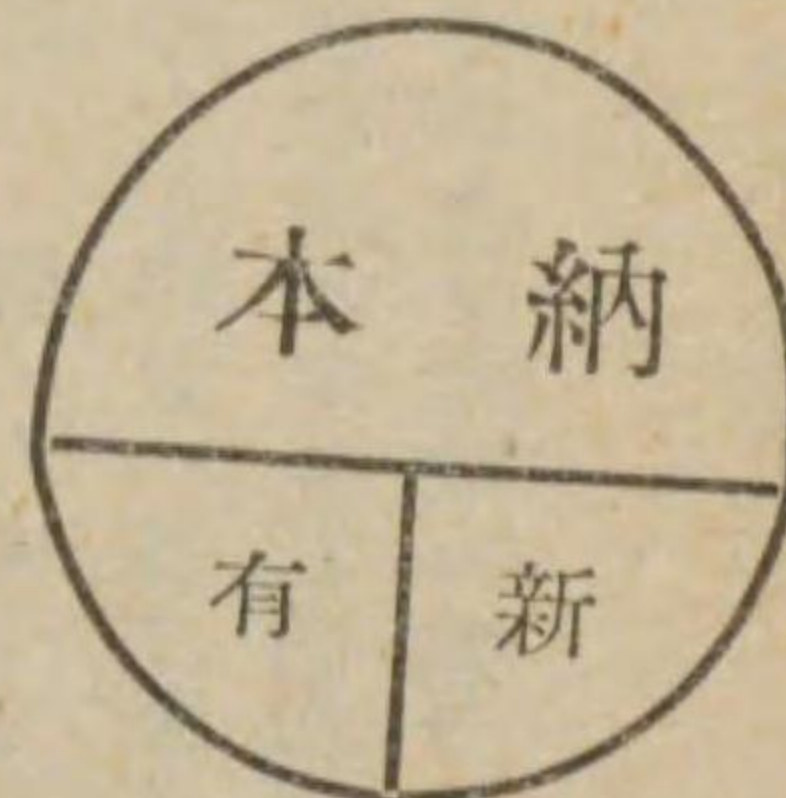
所轄警察署 一部

○本届出及納本ヲ怠リタルトキハ新聞紙法違反ニ據リ處罰サルコトアルヘシ

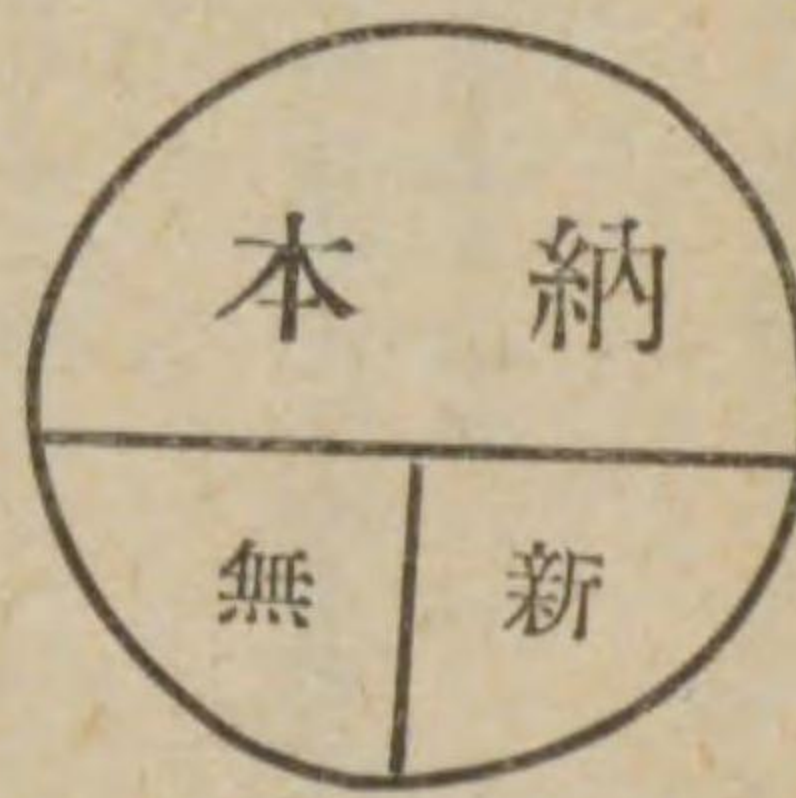
○本屆書ハ警視廳檢閱係ヘ提出ヲ要ス

○納本ニハ表面ニ左記ノ印ヲ (直徑曲尺一寸) 圓形ノ印) 押捺スルコト

(誌雜ノ證保有)



(誌雜ノ證保無)



著作權法

(明治三十二年三月四日) 法律第三十九號

改正
明治四三年法律第六三號
大正九年法律第六〇號
昭和六年法律第六四號
昭和九年法律第四八號

第一章 著作者ノ權利

第一條 文書演述圖畫建築彫刻模型寫眞演奏歌唱其ノ他文藝學術若ハ美術 (音樂ヲ含ム以下之ニ同シ) ノ範圍ニ屬スル著作物ノ著作者ハ其ノ著作物ヲ複製スルノ權利ヲ專有ス (明治四三年法律第六三號、大正九年同第六〇號、昭和六年同第六四號ヲ以テ本項中改正)

文藝學術ノ著作物ノ著作權ハ翻譯權ヲ包含シ各種ノ脚本及樂譜ノ著作權ハ興行權ヲ包含ス

第二條 著作權ハ其ノ全部又ハ一部ヲ讓渡スルコトヲ得 (昭和

九年法律第四八號ヲ以テ本條中改正)

第三條 發行又ハ興行シタル著作物ノ著作權ハ著作者ノ生存間及其ノ死後三十年間繼續ス

數人ノ合著作ニ係ル著作物ノ著作權ハ最終ニ死亡シタル者ノ死後三十年間繼續ス

第四條 著作者ノ死後發行又ハ興行シタル著作物ノ著作權ハ發行又ハ興行ノトキヨリ三十年間繼續ス

第五條 無名又ハ變名著作物ノ著作權ハ發行又ハ興行ノトキヨリ三十年間繼續ス但シ期間内ニ著作者其ノ實名ノ登錄ヲ受ケタルトキハ第三條ノ規定ニ從フ

第六條 官公衙學校社寺協會會社其ノ他團體ニ於テ著作ノ名義ヲ以テ發行又ハ興行シタル著作物ノ著作權ハ發行又ハ興行ノトキヨリ三十年間繼續ス

第七條 著作權者原著物發行ノトキヨリ十年内ニ其ノ翻譯物ヲ發行セサルトキハ其ノ翻譯權ハ消滅ス

前項ノ期間内ニ著作權者其ノ保護ヲ受ケントスル國語ノ翻譯物ヲ發行シタルトキハ其ノ國語ノ翻譯權ハ消滅セス

第八條 冊號ヲ逐ヒ順次ニ發行スル著作物ニ關シテハ前四條ノ期間ハ每冊若ハ每號發行ノトキヨリ起算ス

一部分ツツ漸次ニ發行シ全部完成スル著作物ニ關シテハ前

四條ノ期間ハ最終部分ノ發行ノトキヨリ起算ス但シ三年ヲ經過シ仍繼續ノ部分ヲ發行セサルトキハ既ニ發行シタル部分ヲ以テ最終ノモノト看做ス

第九條 前六條ノ場合ニ於テ著作權ノ期間ヲ計算スルニハ著作ノ者死亡ノ年又ハ著作物ヲ發行又ハ興行シタル年ノ翌年ヨリ起算ス

第十條 相續人ナキ場合ニ於テ著作權ハ消滅ス

第十一條 左ニ記載シタルモノハ著作權ノ目的物ト爲ルコトヲ得ス
一 法律命令及官公文書

二 新聞紙又ハ雜誌ニ掲載シタル雜報及時事ヲ報道スル記事
(明治四三年法律第六三號、昭和六年同第六四號ヲ以テ本號中改正)

三 公開セル裁判所、議會並政談集會ニ於テ爲シタル演述

第十二條 無名又ハ變名著作物ノ發行者又ハ興行者ハ著作權者ニ屬スル權利ヲ保全スルコトヲ得但シ著作權者其ノ實名ノ登錄ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第十三條 數人ノ合著作ニ係ル著作物ノ著作權ハ各著作ノ共有ニ屬ス

各著作ノ分擔シタル部分明瞭ナラサル場合ニ於テ著作者中ニ其ノ發行又ハ興行ヲ拒ム者アルトキハ他ノ著作者ハ其ノ者

ニ賠償シテ其ノ持分ヲ取得スルコトヲ得但シ反對ノ契約アルトキハ此ノ限ニ在ラス

各著作者ノ分擔シタル部分明瞭ナル場合ニ於テ著作者中ニ其ノ發行又ハ興行ヲ拒ム者アルトキハ他ノ著作者ハ自己ノ部分ヲ分離シ單獨ノ著作物トシテ發行又ハ興行スルコトヲ得但シ反對ノ契約アルトキハ此ノ限ニ在ラス

第十四條 數多ノ著作物ヲ適法ニ編輯シタル者ハ著作者ト看做シ其ノ編輯物全部ニ付テノ著作權ヲ有ス但シ各部ノ著作權ハ著作者ニ屬ス

第十五條 著作權ノ相續讓渡及質入ハ其ノ登錄ヲ受クルニ非ザレハ之ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

無名又ハ變名著作物ノ著作者ハ現ニ其ノ著作權ヲ有スルト否トニ拘ラス其ノ實名ノ登錄ヲ受クルコトヲ得(明治四三年法律第六三號ヲ以テ全條改正、昭和六年同第六四號ヲ以テ本號中改正)

第十六條 登錄ハ行政廳之ヲ行フ

登錄ニ關スル規定ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第十七條 未タ發行又ハ興行セサル著作物ノ原本及其ノ著作權ハ債權者ノ爲ニ差押ヲ受クルコトナシ但シ著作權者ニ於テ承諾ヲ爲シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第十八條 他人ノ著作物ヲ發行又ハ興行スル場合ニ於テハ著作者ノ生存中ハ著作者カ現ニ其ノ著作權ヲ有スルト否トニ拘ラス其ノ同意ナクシテ著作者ノ氏名稱號ヲ變更若ハ隱匿シ又ハ其ノ著作物ニ改竄其ノ他ノ變更ヲ加ヘ若ハ其ノ題號ヲ改ムルコトヲ得ス

他人ノ著作物ヲ發行又ハ興行スル場合ニ於テハ著作者ノ死後ハ著作權ノ消滅シタル後ト雖モ其ノ著作物ニ改竄其ノ他ノ變更ヲ加ヘテ著作者ノ意ヲ害シ又ハ其ノ題號ヲ改メ若ハ著作者ノ氏名稱號ヲ變更若ハ隱匿スルコトヲ得ス

*前二項ノ規定ハ第二十條、第二十二條ノ二、第二十二條ノ五第二項、第二十七條第一項第二項及第三十條第一項第二號乃至第九號ノ場合ニ於テモ之ヲ適用ス(昭和六年法律第六四號ヲ以テ全條改正、昭和九年同(第四八號ヲ以テ本號中改正))

第十九條 原著作物ニ調點、傍訓、句讀、批評、註解、附録、圖畫ヲ加ヘ又ハ其ノ他ノ修正増減ヲ爲シ若ハ翻案シタルカ爲新ニ著作權ヲ生スルコトナシ但シ新著作物ト看做サルヘキモノハ此ノ限ニ在ラス

第二十條 新聞紙又ハ雜誌ニ掲載シタル政治上ノ時事問題ヲ論議シタル記事(學術上ノ著作物ヲ除ク)ハ特ニ轉載ヲ禁スル旨ノ明記ナキトキハ其ノ出所ヲ明示シテ之ヲ他ノ新聞紙又ハ雜誌ニ轉載スルコトヲ得(明治四三年法律第六三號ヲ以テ本號中改正、昭和六年同第六四號ヲ以テ全條改正)

第二十一條 時事問題ニ付テノ公開演述ハ著作者ノ氏名、演述ノ時及場所ヲ明示シテ之ヲ新聞紙又ハ雜誌ニ掲載スルコトヲ得但シ同一著作者ノ演述ヲ蒐輯スル場合ハ其ノ著作者ノ許諾ヲ受クルコトヲ要ス(昭和六年法律第六四號ヲ以テ追加)

第二十二條 翻譯者ハ著作者ト看做シ本法ノ保護ヲ享有ス但シ原著作者ノ權利ハ之カ爲ニ妨ケラルルコトナシ(明治四三年法律第六三號ヲ以テ全條改正)

第二十三條 原著作物ト異リタル技術ニ依リ適法ニ美術上ノ著作物ヲ複製シタル者ハ著作者ト看做シ本法ノ保護ヲ享有ス

第二十四條 文藝、學術又ハ美術ノ範圍ニ屬スル著作物ノ著作權ハ其ノ著作物ヲ活動寫眞術又ハ之ト類似ノ方法ニ依リ複製(脚色シテ映畫ト爲ス場合ヲ含ム)シ及興行スルノ權利ヲ包含ス(昭和六年法律第六四號ヲ以テ追加)

第二十五條 活動寫眞術又ハ之ト類似ノ方法ニ依リ製作シタル著作物ノ著作者ハ文藝、學術又ハ美術ノ範圍ニ屬スル著作物ノ著作者トシテ本法ノ保護ヲ享有ス其ノ保護ノ期間ニ付

テハ獨創性ヲ有スルモノニ在リテハ第三條乃至第六條及第九條ノ規定ヲ適用シ之ヲ缺クモノニ在リテハ第二十三條ノ規定ヲ適用ス(同上)

第二十二條ノ四 他人ノ著作物ヲ活動寫眞術又ハ之ト類似ノ方法ニ依リ複製(脚色シテ映畫ト爲ス場合ヲ含ム)シタル者ハ著作者ト看做シ本法ノ保護ヲ享有ス但シ原著作者ノ權利ハ之カ爲ニ妨ケラルルコトナシ(同上)

第二十二條ノ五 文藝、學術又ハ美術ノ範圍ニ屬スル著作物ノ著作權ハ其ノ著作物ノ無線電話ニ依ル放送ヲ許諾スルノ權利ヲ包含ス

無線電信法及之ニ基キ發スル命令ニ依リ主務大臣ノ許可ヲ受ケタル放送無線電話施設者ハ既ニ發行又ハ興行シタル他人ノ著作物ヲ放送セントスルトキハ著作權者ト協議ヲ爲スコトヲ要ス協議調ハサルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ主務大臣ノ定ムル相當ノ償金ヲ支拂ヒ其ノ著作物ヲ放送スルコトヲ得
前項ノ償金ノ額ニ付異議アル者ハ民事裁判所ニ出訴スルコトヲ得(同上)

第二十二條ノ六 文藝、學術又ハ美術ノ範圍ニ屬スル著作物ノ著作權ハ其ノ著作物ヲ音ヲ機械的ニ複製スルノ用ニ供スル機器ニ寫調シ及其ノ機器ニ依リ興行スル權利ヲ包含ス(昭和九年法律第四八號ヲ以テ追加)

著作權者ノ居所不明ナル場合其ノ他命令ノ定ムル事由ニ因リ著作權者ト協議スルコト能ハサルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ主務大臣ノ定ムル相當ノ償金ヲ供託シテ其ノ著作物ヲ發行又ハ興行スルコトヲ得(昭和九年法律第四八號ヲ以テ本項追加)

前項ノ償金ノ額ニ付異議アル者ハ民事裁判所ニ出訴スルコトヲ得(同上)

第二十八條 外國人ノ著作權ニ付テハ條約ニ別段ノ規定アルモノヲ除ク外本法ノ規定ヲ適用ス但シ著作權保護ニ關シ條約ニ規定ナキ場合ニハ帝國ニ於テ始メテ其ノ著作物ヲ發行シタル者ニ限リ本法ノ保護ヲ享有ス

第二章 出版權

(昭和九年法律第四八號ヲ以テ本章追加)

第二十八條ノ二 著作權者ハ其ノ著作物ヲ文書又ハ圖畫トシテ出版スルコトヲ引受クル者ニ對シ出版權ヲ設定スルコトヲ得(昭和九年法律第四八號ヲ以テ追加)

第二十八條ノ三 出版權者ハ設定行爲ノ定ムル所ニ依リ出版權ノ目的タル著作物ヲ原作ノ儘印刷術其ノ他ノ機械的又ハ化學的方法ニ依リ文書又ハ圖畫トシテ複製シ之ヲ發賣頒布スルノ權利ヲ享有ス但シ著作權者タル著作物ノ死亡シタルトキ又ハ設定行爲ニ別段ノ定ナキ場合ニ於テ出版權ノ設定アリタル後

第二十二條ノ七 音ヲ機械的ニ複製スルノ用ニ供スル機器ニ他人ノ著作物ヲ適法ニ寫調シタル者ハ著作權者ト看做シ其ノ機器ニ付テノミ著作權ヲ有ス(同上)

第二十三條 寫眞著作權ハ十年間繼續ス
前項ノ期間ハ其ノ著作物ヲ始メテ發行シタル年ノ翌年ヨリ起算ス若シ發行セサルトキハ種板ヲ製作シタル年ノ翌年ヨリ起算ス

寫眞術ニ依リ適法ニ美術上ノ著作物ヲ複製シタル者ハ原著物ノ著作權ト同一ノ期間内本法ノ保護ヲ享有ス但シ當事者間ニ契約アルトキハ其ノ契約ノ制限ニ從フ

第二十四條 文藝學術ノ著作物中ニ挿入シタル寫眞ニシテ特ニ其ノ著作物ノ爲ニ著作シ又ハ著作セシメタルモノナルトキハ其ノ著作權ハ文藝學術ノ著作物ノ著作權ニ屬シ其ノ著作權ト同一ノ期間内繼續ス

第二十五條 他人ノ囑托ニ依リ著作シタル寫眞肖像ノ著作權ハ其ノ囑托者ニ屬ス

第二十六條 寫眞ニ關スル規定ハ寫眞術ト類似ノ方法ニ依リ製作シタル著作物ニ準用ス

第二十七條 著作權者ノ不明ナル著作物ニシテ未ダ發行又ハ興行セサルモノハ命令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ發行又ハ興行スルコトヲ得

三年ヲ經過シタルトキハ著作權者ハ著作物ヲ全集其ノ他ノ編輯物ニ輯録シ又ハ全集其ノ他ノ編輯物ノ一部ヲ分離シテ別途ニ之ヲ出版スルコトヲ妨ケス(同上)

第二十八條ノ四 出版權ハ設定行爲ニ別段ノ定ナキトキハ其ノ設定アリタルトキヨリ三年間存續ス(同上)

第二十八條ノ五 出版權者ハ出版權ノ設定アリタルトキヨリ三月以内ニ著作物ヲ出版スルノ義務ヲ負フ但シ設定行爲ニ別段ノ定アルトキハ此ノ限ニ在ラス

出版權者カ前項ノ義務ニ違反シタルトキハ著作權者ハ出版權ノ消滅ヲ請求スルコトヲ得(同上)

第二十八條ノ六 出版權者ハ著作物ヲ繼續シテ出版スルノ義務ヲ負フ但シ設定行爲ニ別段ノ定アルトキハ此ノ限ニ在ラス

出版權者カ前項ノ義務ニ違反シタルトキハ著作權者ハ三月以上ノ期間ヲ定メテ其ノ履行ヲ催告シ其ノ期間内ニ履行ナキトキハ出版權ノ消滅ヲ請求スルコトヲ得(同上)

第二十八條ノ七 著作權者ハ出版權者カ著作物ノ各版ノ複製ヲ完了スルニ至ル迄其ノ著作物ニ正當ノ範圍内ニ於テ修正増減ヲ加フルコトヲ得

出版權者カ著作物ヲ再版スル場合ニ於テハ其ノ都度豫メ著作權者ニ其ノ旨ヲ通知スルコトヲ要ス(同上)

第二十八條ノ八 著作權者ハ其ノ著作物ノ出版ヲ廢絶スル爲何

時ニテモ損害ヲ賠償シテ出版權ノ消滅ヲ請求スルコトヲ得
(同上)

第二十八條ノ九 出版權ハ著作權者ノ同意ヲ得テ其ノ讓渡又ハ
質入ヲ爲スコトヲ得(同上)

第二十八條ノ十 出版權ノ得喪變更及質入ハ其ノ登録ヲ受クル
ニ非サレハ之ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

第十六條ノ規定ハ出版權ノ登録ニ付之ヲ準用ス(同上)

第二十八條ノ十一 出版權ノ侵害ニ付テハ本法中第三十四條及
第三十六條ノ二ノ規定ヲ除クノ外僞作ニ關スル規定ヲ準用ス
(同上)

第三章 僞作

(昭和九年法律第四八號ヲ以テ改正)

第二十九條 著作權ヲ侵害シタル者ハ僞作者トシ本法ニ規定シ
タルモノノ外民法第三編第五章ノ規程ニ從ヒ之ニ因リテ生シ
タル損害ヲ賠償スルノ責ニ任ス

第三十條 既ニ發行シタル著作物ヲ左ノ方法ニ依リ複製スルハ
僞作ト看做サス

第一 發行スルノ意思ナク且器械的又ハ化學的方法ニ依ラス
シテ複製スルコト

第二 自己ノ著作物中ニ正當ノ範圍内ニ於テ節録引用スルコ
ト

第三 普通教育上ノ修身書及讀本ノ目的ニ供スル爲ニ正當ノ
範圍内ニ於テ拔萃蒐輯スルコト

第四 文藝學術ノ著作物ノ文句ヲ自己ノ著作シタル脚本ニ挿
入シ又ハ樂譜ニ充用スルコト

第五 文藝學術ノ著作物ヲ説明スルノ材料トシテ美術上ノ著
作物ヲ挿入シ又ハ美術上ノ著作物ヲ説明スルノ材料トシテ
文藝學術ノ著作物ヲ挿入スルコト

第六 圖書ヲ彫刻物模型ニ作り又ハ彫刻物模型ヲ圖畫ニ作ル
コト

第七 脚本又ハ樂譜ヲ收益ヲ目的トセス且出演者カ報酬ヲ受
ケサル興行ノ用ニ供シ又ハ其ノ興行ヲ放送スルコト(昭和
九年法律第四八號ヲ以テ本號追加)

第八 音ヲ機械的ニ複製スルノ用ニ供スル機器ニ著作物ノ適
法ニ寫調セラレタルモノヲ興行又ハ放送ノ用ニ供スルコト
(同上)

第九 専ラ官廳ノ用ニ供スル爲複製スルコト(同上)

本條ノ場合ニ於テハ其ノ出所ヲ明示スルコトヲ要ス

第三十一條 帝國ニ於テ發賣頒布スルノ目的ヲ以テ僞作物ヲ輸
入スル者ハ僞作者ト看做ス

第三十二條 練習用ノ爲ニ著作シタル問題ノ解答書ヲ發行スル
者ハ僞作者ト看做ス

第三十二條ノ二

(明治四三年法律第六三號ヲ以テ追加、昭和

六年同第六四號昭和九年同第四八號ヲ以テ削除)

第三十二條ノ三

(大正九年法律第六〇號ヲ以テ追加、昭和九

年同第四八號ヲ以テ削除)

第三十三條

善意ニシテ且過失ナク僞作ヲ爲シテ利益ヲ受ケ之
カ爲ニ他人ニ損失ヲ及ホシタル者ハ其ノ利益ノ存スル限度ニ
於テ之ヲ返還スル義務ヲ負フ

第三十四條

數人ノ合著作ニ係ル著作物ノ著作權者ハ僞作ニ對
シ他ノ著作權者ノ同意ナクジテ告訴ヲ爲シ及自己ノ持分ニ對
スル損害ノ賠償ヲ請求シ又ハ自己ノ持分ニ應ジテ前條ノ利益
ノ返還ヲ請求スルコトヲ得

第三十五條

僞作ニ對シ民事ノ訴訟ヲ提起スル場合ニ於テハ既
ニ發行シタル著作物ニ於テ其ノ著作權者トシテ氏名ヲ掲ケタル
者ヲ以テ著作權者ト推定ス

無名又ハ變名著作物ニ於テハ其ノ著作權者ニ發行者トシテ氏名
ヲ掲ケタル者ヲ以テ其ノ發行者ト推定ス

未タ發行セサル脚本、樂譜及活動寫眞術又ハ之ト類似ノ方法
ニ依リ製作シタル著作物ノ興行ニ關シテハ其ノ興行ニ著作權者
トシテ氏名ヲ顯ハシタル者ヲ以テ其ノ著作權者ト推定ス(昭和

六年法律第六四號ヲ以テ本項中改正)

著作權者ノ氏名ヲ顯ハササルトキハ其ノ興行者ヲ以テ其ノ著作

者ト推定ス

第十五條第三項ノ規定ニ依リ著作年月日ノ登録ヲ受ケタル著
作物ニ在リテハ其ノ年月日ヲ以テ著作ノ年月日ト推定ス(昭

和九年法律第四八號ヲ以テ本項追加)

第三十六條

僞作ニ關シ民事ノ出訴又ハ刑事ノ起訴アリタルド
キハ裁判所ハ原告又ハ告訴人ノ申請ニ依リ保證ヲ立テシメ又
ハ立テシメスシテ假ニ僞作ノ疑アル著作物ノ發賣頒布ヲ差止
メ若ハ之ヲ差押ヘ又ハ其ノ興行ヲ差止ムルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ僞作ニ非サル旨ノ判決確定シタルトキハ申
請者ハ差止又ハ差押ヨリ生シタル損害ヲ賠償スルノ責ニ任ス

第三十六條ノ二

第十八條ノ規定ニ違反シタル行爲ヲ爲シタル
者ニ對シテハ著作權者ハ著作權者タルコトヲ確保シ又ハ訂正其ノ
他其ノ聲望名譽ヲ回復スルニ適當ナル處分ヲ請求シ及民法第

三編第五章ノ規程ニ從ヒ損害ノ賠償ヲ請求スルコトヲ得

第十八條ノ規定ニ違反シタル行爲ヲ爲シタル者ニ對シテハ著
作者ノ死後ニ於テハ著作權者ノ親族ニ於テ其ノ著作權者タルコト
ヲ確保シ又ハ訂正其ノ他其ノ聲望名譽ヲ回復スルニ適當ナル
處分ヲ請求スルコトヲ得

第三十六條ノ三

本法ノ規定ニ依ル民事ノ訴訟ニ付テハ前二項ノ規定ヲ準用
ス(昭和六年法律第六四號ヲ以テ追加)

第三十六條ノ三

本法ノ規定ニ依ル登錄第二十二條ノ五第二項

若ハ第二十七條第二項ノ規定ニ依ル價金ノ額又ハ著作ニ關スル一般的事項ニ付主務大臣ノ諮問ニ應シ又ハ此等ノ事項ニ付調査審議スル爲著作權審査會ヲ置ク
著作權審査會ノ組織ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム(昭和九年法律第四八號ヲ以テ追加)

第四章 罰 則

(昭和九年法律第四八號ヲ以テ改正)

第三十七條 偽作ヲ爲シタル者及情ヲ知テ偽作物ヲ發賣シ又ハ頒布シタル者ハ五十圓以上五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十八條 第十八條ノ規定ニ違反シタル者ハ三十圓以上三百圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十九條 第二十條、第二十一條ノ二及第三十條第二項ノ規定ニ違反シ出所ヲ明示セスシテ複製シタル者並第十三條第四項ノ規定ニ違反シタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス(明治四三年法律第六三號、昭和六年同第六四號ヲ以テ本條中改正)

第四十條 著作者ニ非サル者ノ氏名稱號ヲ附シテ著作物ヲ發行シタル者ハ三十圓以上五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第四十一條 (明治四三年法律第六三號ヲ以テ全條改正、昭和六年同第六四號ヲ以テ削除)

第四十二條 虛偽ノ登錄ヲ受ケタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス(明治四三年法律第六三號ヲ以テ本條中改正)

第四十三條 偽作物及専ラ偽作ノ用ニ供シタル器械器具ハ偽作者、印刷者、發賣者及頒布者ノ所有ニ在ル場合ニ限り之ヲ沒收ス

第四十四條 本章ニ規定シタル罪ハ被害者ノ告訴ヲ待チ其ノ罪ヲ論ス但シ第三十八條ノ場合ニ於テ著作者ノ死亡シタルトキ並第四十條乃至第四十二條ノ場合ハ此ノ限ニ在ラス

第四十五條 本章ノ罪ニ對スル公訴ノ時効ハ二年ヲ經過スルニ因リテ完成ス

第五章 附 則

(昭和九年法律第四八號ヲ以テ改正)

第四十六條 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム(明治三十二年勅令第三百十三號ヲ以テ同年七月十五日ヨリ施行)

明治二十六年法律第十六號版權法明治二十年勅令第七十八號脚本樂譜條例明治二十年勅令第七十九號寫真版權條例ハ本法施行ノ日ヨリ廢止ス

第四十七條 本法施行前ニ著作權ノ消滅セサル著作物ハ本法施行ノ日ヨリ本法ノ保護ヲ享有ス

第四十八條 本法施行前偽作ト認メラレサリシ複製物ニシテ既ニ複製シタルモノ又ハ複製ニ著手シタルモノハ之ヲ完成シテ發賣頒布スルコトヲ得
前項ノ複製ノ用ニ供シタル器械器具ノ現存スルトキハ本法施

行後五年間仍其ノ複製ノ爲之ヲ使用スルコトヲ得

第四十九條 本法施行前翻譯シ又ハ翻譯ニ著手シ其ノ當時ニ於テ偽作ト認メラレサリシモノハ之ヲ完成シテ發賣頒布スルコトヲ得但シ其ノ翻譯物ハ本法施行後七年内ニ發行スルコトヲ要ス

前項ノ翻譯物ハ發行後五年間仍之ヲ複製スルコトヲ得

第五十條 本法施行前既ニ興行シ若ハ興行ニ著手シ其ノ當時ニ於テ偽作ト認メラレサリシモノハ本法施行後五年間仍之ヲ興行スルコトヲ得

第五十一條 第四十八條乃至第五十條ノ場合ニ於テハ命令ノ定ムル手續ヲ履行スルニ非サレハ其ノ複製物ヲ發賣頒布シ又ハ興行スルコトヲ得ス

附 則 (昭和九年法律第四八號附則)

本法施行ノ期日ハ各規定ニ付勅令ヲ以テ之ヲ定ム(昭和十年勅令第八十九號ヲ以テ同年七月十五日ヨリ施行)

登錄稅法第十條第四號ノ二ノ次ニ左ノ四號ヲ加フ(別掲)
同法ニ左ノ一條ヲ加フ(第十條ノ二別掲)

著作權法施行規則

(昭和六年七月二十八日
內務省令第十八號)

改正 昭和一〇年内務省令第四六號

第一章 著作ニ關スル登錄

(昭和一〇年内務省令第四六號ヲ以テ改正)

第一條 著作ニ關スル登錄ハ左ニ掲グル事項ニ付之ヲ爲ス(昭和一〇年内務省令第四六號ヲ以テ全條改正)

- 一 著作權ノ移轉、變更、處分ノ制限又ハ消滅並ニ著作權ノ目的トスル質權ノ設定、移轉、變更、處分ノ制限又ハ消滅
- 二 無名又ハ變名ヲ以テ發行又ハ興行シタル著作物ニ關シ著作權ノ實名
- 三 著作ノ年月日
- 四 出版權及之ヲ目的トスル質權ノ設定、移轉、變更、處分ノ制限又ハ消滅

第一條ノ二 假登錄ハ左ノ場合ニ於テ之ヲ爲ス(同上)

- 一 登錄ノ申請ニ必要ナル手續上ノ條件カ具備セザルトキ
- 二 前條第一號及第四號ニ掲グル權利ノ設定、移轉、變更又ハ消滅ノ請求權ヲ保全セントスルトキ但シ其ノ請求權ハ始期付又ハ停止條件付ナルコト其ノ他將來ニ於テ確定スヘキ

モノナルコトヲ妨ケス

第一條ノ三 著作登録簿ハ著作權登録簿及出版權登録簿ノ二種トシ著作權登録簿ニハ第一條第一號乃至第三號ノ事項ヲ登録シ出版權登録簿ニハ第一條第四號ノ事項ヲ登録ス登録簿ノ様式並ニ其ノ記載ニ關スル手續ハ別ニ之ヲ定ム(同上)

第二條 登録ノ申請ハ登録權利者及登録義務者之ヲ爲スヘシ但シ申請書ニ登録義務者又ハ登録原因ヲ證スルニ足ルヘキ書面ヲ添附シタルトキハ登録權利者ノミニテ之ヲ爲スコトヲ得(同上)

第二條ノ二 登録ノ申請書ハ一件毎ニ一通ヲ作り之ニ左ニ掲クル事項ヲ記載シ申請人記名捺印スヘシ(同上)

- 一 著作物ノ題號及著作物ヲ組成スル冊、箇、數並ニ登録ノ目的カ著作權以外ノ權利ニ關スル場合ニ在リテハ尙其ノ權利ノ表示
- 二 申請人ノ氏名及住所若シ申請人カ外國人ナルトキハ尙其ノ國籍
- 三 代理人ニ依リ申請スル場合ニ在リテハ其ノ氏名及住所
- 四 登録原因及其ノ日附
- 五 登録ノ目的
- 六 登録税ノ金額並ニ質權設定ノ登録ノ申請ヲ爲ス場合ニ在

リテハ債權金額(若シ一定ノ債權金額ナキトキハ著作權ノ價格)

七 年月日

第二條ノ三 出版權設定ノ登録ノ申請書ニハ前條ニ掲クル事項ノ外尙左ニ掲クル事項ヲ記載スヘシ(同上)

- 一 出版權設定ノ範圍
 - 二 印税及其ノ支拂時期(若シ設定行爲ニ別段ノ定ナキトキハ其ノ旨)
 - 三 出版權ノ存續期間(若シ設定行爲ニ別段ノ定ナキトキハ其ノ旨)
 - 四 著作權法第二十八條ノ三但書ノ特約(若シ設定行爲ニ別段ノ定ナキトキハ其ノ旨)
 - 五 著作權法第二十八條ノ五第一項但書ノ特約(若シ設定行爲ニ別段ノ定ナキトキハ其ノ旨)
 - 六 著作權法第二十八條ノ六第一項但書ノ特約(若シ設定行爲ニ別段ノ定ナキトキハ其ノ旨)
- 第二條ノ四 著作權又ハ出版權ノ一部移轉又ハ制限附移轉ノ登録ヲ申請スル場合ニ在リテハ移轉スヘキ權利ノ部分又ハ制限ヲ登録申請書ニ記載スヘシ著作權若ハ出版權又ハ此等ヲ目的トスル質權ノ承繼人カ多數ナル場合ニ於テ登録原因ニ持分ノ定アルトキ其ノ持分ニ付亦同シ(同上)

第二條ノ五 信託ノ登録ノ申請書ニハ第二條ノ二ニ掲クル事項

ノ外尙左ニ掲クル事項ヲ記載スヘシ(同上)

- 一 委託者、受託者、受益者及信託管理人ノ氏名及住所若シ委託者、受託者、受益者又ハ信託管理人カ外國人ナルトキハ尙其ノ國籍
- 二 信託ノ目的
- 三 信託財産ノ管理方法
- 四 信託終了ノ事由
- 五 其ノ他信託ノ條項

第三條 實名ノ登録ノ申請書ニハ第二條ノ二ニ掲クル事項ノ外尙左ニ掲クル事項ヲ記載スヘシ(同上)

- 一 著作權者ノ氏名(若シ著作權者ナキトキハ其ノ旨)
- 二 著作權者ノ實名及住所若シ著作權者カ外國人ナルトキハ尙其ノ國籍
- 三 發行者又ハ興行者ノ氏名及住所若シ發行者又ハ興行者カ外國人ナルトキハ尙其ノ國籍

第四條 著作年月日ノ登録ノ申請書ニハ第二條ノ二ニ掲クル事項ノ外尙左ニ掲クル事項ヲ記載スヘシ(同上)

- 一 著作ノ年月日
- 二 著作權者ノ氏名及住所(若シ著作權者ナキトキハ其ノ旨)

第五條 登録ノ申請書ニハ左ニ掲クル事項ヲ記載シタル著作物

ノ明細書ヲ添附スヘシ(同上)

- 一 著作物ノ題號
- 二 著作權者ノ氏名若シ著作權者カ外國人ナルトキハ尙其ノ國籍
- 三 既ニ發行又ハ興行シタル著作物ニ關シ登録ノ申請ヲ爲ス場合ニ在リテハ著作物ヲ初テ發行又ハ興行シタル際顯ハシタル著作權者ノ實名又ハ變名(若シ無名著作物ナルトキハ其ノ旨)
- 四 著作ノ年月日若シ外國人ノ著作シタル著作物ニ關シ登録ノ申請ヲ爲ス場合ニ在リテハ尙著作物ヲ初テ發行シタル國名
- 五 著作物ヲ初テ發行又ハ興行シタル年月日(若シ未タ發行又ハ興行ヲ爲ササルモノナルトキハ其ノ旨)
- 六 著作物ノ種別及内容又ハ體様若シ著作物ノ體様ヲ明瞭ナラシムル爲必要ナルトキハ其ノ圖面、寫眞等ヲ添附スヘシ
- 七 著作物ニ付既ニ登録ヲ受ケタルコトアルトキハ前登録ノ年月日及登録番號

第六條 左ノ場合ニ於テハ其ノ事實ヲ證スルニ足ルヘキ戶籍又ハ登記簿ノ謄本又ハ抄本ヲ登録申請書ニ添附スヘシ

- 一 登録原因カ相續其ノ他ノ一般承繼ナル場合
- 二 申請人タルヘキ者ノ相繼人其ノ他ノ一般承繼人ニ於テ登

録ヲ申請スル場合

三 登録名義人ノ表示ノ變更又ハ更正ノ登録ヲ申請スル場合
 第七條 登録税法施行規則第四條第一項ノ場合ニ於テ既ニ登記
 所又ハ登録官廳ニ於テ登記又ハ登録ヲ受ケタルコトアルトキ
 ハ登録申請書ニ其ノ登記所又ハ登録官廳ノ交付シタル登録税
 ノ受領證ヲ添附スヘシ

第八條 登録ノ變更、更正若ハ抹消又ハ抹消シタル登録ノ回復
 ヲ申請スル場合ニ於テ登録上利害關係ヲ有スル者アルトキハ
 登録申請書ニ其ノ承諾書又ハ其ノ者ニ對抗スルコトヲ得ヘキ
 裁判ノ謄本ヲ添附スヘシ

第九條 内務大臣ハ登録ヲ完了シタルトキハ官報ニ公告シ且申
 請人ニ通知ス(昭和一〇年内務省令第四六號ヲ以テ全條改正)

第十條 登録ヲ完了シタル後其ノ登録ニ付錯誤又ハ遺漏アルコ
 トヲ發見シタルトキハ遲滞ナク其ノ旨ヲ登録權利者及登録義
 務者ニ通知ス

前項ノ場合ニ於テ登録ノ錯誤又ハ遺漏カ登録官吏ノ過誤ニ出
 テタルトキハ登録上利害關係ヲ有スル第三者アル場合ヲ除ク
 ノ外遲滞ナク其ノ登録ノ更正ヲ爲シ其ノ旨ヲ登録權利者及登
 録義務者ニ通知ス(同上)

第十一條 登録税法施行規則第四條第一項ノ規定ニ依リ登録税
 ヲ徵收スル場合ニ於テハ後ニ登記又ハ登録ヲ申請スヘキ登記

所又ハ登録官廳ノ數ニ應シ課税價額ヲ記載シタル登録税ノ受
 領證ヲ申請人ニ交付スルモノトス但シ二通以上ノ受領證ヲ交
 付スルトキハ各通ニ番號ヲ附ス

第十二條 何人ト雖モ左ノ區別ニ從ヒ手数料ヲ納付シテ登録簿
 ノ謄本若ハ抄本ノ交付ヲ申請シ又ハ利害ノ關係アル部分ニ限
 リ登録簿若ハ其ノ附屬書類ノ閱覽ヲ申請スルコトヲ得

一 登録簿ノ謄本又ハ抄本ノ交付
 用紙一枚ニ付(一枚ニ滿タザルモノト雖) 金三十錢
 二 登録簿又ハ其ノ附屬書類ノ閱覽 金三十錢

前項ノ手数料ハ申請書ニ收入印紙ヲ貼附シテ之ヲ納付スヘシ
 第十三條 前條ノ申請ヲ爲サントスル者ハ左ノ事項ヲ記載シ且
 記名捺印シタル申請書ヲ内務大臣ニ差出スヘシ

一 著作物ノ題號及著作者ノ氏名
 二 登録ノ年月日及登録番號
 三 手数料ノ金額
 四 申請ノ年月日

第十四條 登録簿ノ抄本ノ交付ヲ申請スル場合ニ於テハ其ノ申
 請書ニ抄本ノ交付ヲ申請スル部分ヲ記載スヘシ

第二章 著作權者トノ協議調ハサル著作物ノ放送
 (昭和一〇年内務省令第四六號ヲ以テ改正)

第十五條 著作權法第二十二條ノ五第二項ノ規定ニ依リ放送無

線電話施設者カ著作權者トノ協議調ハサル著作物ヲ放送セン
 トスルトキハ左ノ事項ヲ記載シタル申請書ヲ内務大臣ニ差出
 シ裁定ヲ求ムヘシ(昭和一〇年内務省令第四六號ヲ以テ本項
 中改正)

一 著作物ノ題號及著作者ノ氏名並ニ外國人ナルトキハ其ノ
 國籍

二 著作物ノ種別及内容

三 著作物ノ發行又ハ興行ノ年月日

四 著作權者ノ氏名及住所若シ著作權者カ外國人ナルトキハ
 尙其ノ國籍(昭和一〇年内務省令第四六號ヲ以テ本號中改
 正)

五 放送ノ日時及場所

六 價金ノ見積金額及其ノ算定基準

七 放送ヲ必要トスル事由

八 著作權者トノ協議調ハサル事由

前項ノ申請書ニハ著作權者ノ意見書ヲ添附スルコトヲ要ス若
 シ之ヲ添附スルコト能ハサルトキハ申請書ニ其ノ事由ヲ附記
 スヘシ

第十六條 内務大臣カ前條ノ申請ヲ認ムル旨ノ裁定ヲ爲ス場合
 ニ於テハ價金ニ付テモ之カ決定ヲ爲スモノトス
 第十六條ノ二 内務大臣カ第十五條第一項ノ裁定ヲ爲ス場合ニ

於テハ著作權審查會ニ諮問ス(昭和一〇年内務省令第四六號
 ヲ以テ追加)

第十七條 内務大臣カ第十五條ノ申請ヲ認ムル旨ノ裁定ヲ爲シ
 タルトキハ其ノ旨ヲ著作權者ニ通知ス

前項ノ通知書ニハ著作物ノ題號及著作者ノ氏名、放送ノ日時
 及場所並ニ決定シタル價金ノ額ヲ記載スルモノトス

第十八條 第十五條ノ申請ヲ認ムル旨ノ裁定ヲ受ケタル後放送
 無線電話施設者カ放送ノ日時又ハ場所ヲ變更セントスルトキ
 ハ豫メ其ノ旨ヲ内務大臣ニ届出テ且著作權者ニ通知スヘシ

第三章 著作權者トノ協議調ハサル著作物
 ノ發行又ハ興行
 (昭和一〇年内務省令第四六號ヲ以テ改正)

第十九條 著作權法第二十七條第一項ノ規定ニ依リ著作物ヲ發
 行又ハ興行セントスル者ハ左ノ事項ヲ記載シタル申請書ヲ内
 務大臣ニ差出シ裁定ヲ求ムヘシ(昭和一〇年内務省令第四六
 號ヲ以テ全條改正)

一 著作物ノ題號及著作者ノ實名又ハ變名(若シ無名著作物
 ナルトキハ其ノ旨)

二 著作物ノ種別及内容

三 著作物ノ發行又ハ興行ノ日時及方法

四 著作權者ノ不明ナル事由

第二十條 左ノ各號ニ掲クル事由ニ因リ著作権者ト協議スルコト能ハサルトキハ内務大臣ノ裁定ヲ受ケ著作権法第二十七條第二項ノ規定ニ依リ其ノ著作物ヲ發行又ハ興行スルコトヲ得
(同上)

- 一 著作権者ノ居所不明ナルトキ
- 二 著作ニ關スル登録ナキニ因リ著作権者ノ何人ナリヤヲ確認シ得サルトキ
- 三 著作権者カ帝國內ニ居所ヲ有セス且帝國內ニ於ケル其ノ代理人不明ナルトキ

第二十一條 前條ノ裁定ヲ受ケントスル者ハ左ノ事項ヲ記載シタル申請書ヲ内務大臣ニ差出シ裁定ヲ求ムヘシ(昭和一〇年内務省令第四六號ヲ以テ追加)

- 一 著作物ノ題號及著作者ノ氏名若シ著作者カ外國人ナルトキハ尙其ノ國籍
- 二 著作物ノ種別及内容
- 三 著作物ノ發行又ハ興行ノ日時及方法
- 四 償金ノ見積金額及其ノ算定基準
- 五 著作権者ト協議スルコト能ハサル事由

前項ノ申請ヲ爲サントスル者ハ著作権者ト協議スルコト能ハサル事由ヲ書面又ハ口頭ヲ以テ説明スヘシ
第二十二條 内務大臣カ前條第一項ノ申請ヲ認ムル旨ノ裁定ヲ

爲ス場合ニ於テハ償金ニ付テモ之カ決定ヲ爲スモノトス(同上)

第二十三條 内務大臣カ第十九條又ハ第二十一條第一項ノ裁定ヲ爲ス場合ニ於テハ著作権審査會ニ諮問ス(同上)

第二十四條 内務大臣カ第二十一條第一項ノ申請ヲ認ムル旨ノ裁定ヲ爲シタルトキハ其ノ旨ヲ官報ニ公告ス

前項ノ公告ニハ著作物ノ題號及著作者ノ氏名、發行又ハ興行ノ日時及方法、發行又ハ興行セントスル者ノ氏名及住所並ニ決定シタル償金ノ額ヲ記載スルモノトス(同上)

第二十五條 第十九條又ハ第二十一條第一項ノ申請ヲ認ムル旨ノ裁定ヲ受ケタル後申請人カ發行又ハ興行ノ日時又ハ方法ヲ變更セントスルトキハ更ニ内務大臣ノ裁定ヲ受クルコトヲ要ス(同上)

附 則

本則ハ昭和十年七月五日ヨリ之ヲ施行ス
左ノ省令ハ之ヲ廢止ス

明治三十二年内務省令第二十七號(著作権者不明ノ著作物ニ關スル件)

明治四十三年内務省令第二十三號(著作権ニ關スル登録手續本則施行ノ際現ニ繫屬スル登録ニ關スル處分及手續ニ關シテハ仍從前ノ規定ニ依ル)

前項ノ規定ニ依リ爲シタル登録ニ關スル處分及手續ハ本則ニ依リ爲シタルモノト看做ス

附 則 (昭和一〇年内省令第四六號附則)

本令ハ昭和十年七月十五日ヨリ之ヲ施行ス
本令施行ノ際現ニ繫屬スル登録ニ關スル處分 手續ニ關シテハ仍從前ノ規定ニ依ル
前項ノ規定ニ依リ爲シタル登録ニ關スル處分 手續ハ本令ニ依リ爲シタルモノト看做ス

著作権法ノ施行ニ關スル件

(昭和十年七月九日 勅令第九十號)

第一條 内務省ニ著作登録簿ヲ備ヘ著作権法及之ニ基キテ發スル命令ニ依ル登録事項ヲ登録ス

第二條 著作権法第二十二條ノ五第二項ノ規定ニ依リ著作権者トノ協議調ハサル著作物ヲ放送セントスル場合ハ内務大臣ノ裁定ヲ受クヘシ同法第二十七條第一項又ハ第二項ノ規定ニ依リ著作物ヲ發行又ハ興行セントスル場合亦同シ

第三條 内務大臣第一條ノ登録ヲ爲シ又ハ前條ノ裁定ヲ爲サントスル場合ニ於テ關係者朝鮮ニ住所ヲ有スルトキハ朝鮮總督

ニ、臺灣ニ住所ヲ有スルトキハ臺灣總督ニ豫メ協議スヘシ
第四條 著作登録簿ノ種類及様式、登録手續其ノ他第一條ノ登録ニ關シ必要ナル事項並ニ第二條ノ裁定ニ關スル手續ハ内務大臣之ヲ定ム

附 則

本令ハ昭和十年七月十五日ヨリ之ヲ施行ス

著作権法ノ施行範圍

國內法令 (明治三十二年法律第三十九號) (改正四回)

朝鮮 (明治四十三年勅令第三百三十八號)

臺灣 (明治三十二年勅令第三百一號)

樺 太 (昭和三年勅令第九十號)

關東州 (昭和四年勅令第三百二十四號)

同法保護ニ關シ第一條中「著作権ノ效力ハ關東州ニ及ブモノトス」又第二條中「著作権法中ノ罪ニ關スル規定ハ關東州ニ在ル者ニ對シ之ヲ適用ス」ト定メ昭和四年十二月一日ヨリ之ヲ施行ス

帝國ガ治外法權ヲ行使スルコトヲ得ル外國

(明治四十四年五月廿六日)改正 昭和四年第三百二十五號 勅令第六十七號 昭和十一年第二百二十六號

同法保護ニ關シ第一條中「帝國臣民カ帝國ニ於テ享有スル著作權ノ效力ハ帝國カ治外法權ヲ行使スルコトヲ得ル外國ニ在ル帝國臣民ニ及フモノトス」第二條中著作權法中ノ罪ニ關スル規定ハ帝國カ治外法權ヲ行使スルコトヲ得ル外國ニ在ル帝國臣民ニ對シ之ヲ適用ス、附則トシテ昭和十一年七月一日ヨリ之ヲ施行ス。本令施行前帝國臣民ノ爲シタル行爲ニ付テハ本令施行後ト雖モ仍從前ノ例ニ依ル

著作權審查會官制

(昭和十年七月九日) 勅令第九十一號

第一條 著作權審查會ハ內務大臣ノ監督ニ屬シ著作權法ノ規定ニ依ル登錄、同法第二十二條ノ五第二項若ハ第二十七條第二

項ノ規定ニ依ル償金ノ額又ハ著作ニ關スル一般的事項ニ付內務大臣ノ諮問ニ應シ又ハ此等ノ事項ニ付調査審議ス

第二條 審查會ハ會長一人及委員二十五人以内ヲ以テ之ヲ組織ス

前項定員ノ外必要アルトキハ臨時委員ヲ置クコトヲ得

第三條 會長ハ內務大臣ヲ以テ之ニ充ツ

第四條 委員及臨時委員ハ內務大臣ノ奏請ニ依リ關係各廳高等官及學識經驗アル者ノ中ヨリ內閣ニ於テ之ヲ命ス

委員ノ任期ハ二年トス但シ特別ノ事由アル場合ニ於テハ任期中之ヲ解任スルコトヲ妨ケス

第五條 會長ハ會務ヲ總理ス

會長事故アルトキハ內務大臣ノ指名スル委員其ノ職務ヲ代理ス

第六條 審查會ニ幹事ヲ置ク內務大臣ノ奏請ニ依リ內閣ニ於テ之ヲ命ス

幹事ハ會長ノ指揮ヲ承ケ庶務ヲ整理ス

第七條 審查會ニ書記ヲ置ク內務大臣之ヲ命ス

書記ハ會長及幹事ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ從事ス

附 則

本令ハ昭和十年七月十五日ヨリ之ヲ施行ス

登録稅法 (抄錄)

第十條 著作權ニ關シ登録ヲ受クルトキハ左ノ區別ニ從ヒ登録稅ヲ納ムヘシ

一 著作權ノ移轉 相續 每一件 金一圓

相續以外ノ原因ニ因ル移轉 每一件 金五圓

二 著作權ヲ目的トスル質權ノ設定 債權金額 千分ノ五・五

三 前號ノ權利ノ移轉 相續 每一件 金五十錢

相續以外ノ原因ニ因ル移轉 每一件 金一圓

四 無名又ハ變名著作物ノ著作者ノ實名登録 每一件 金二圓

四ノ二 信託ノ登録 每一件 金一圓

四ノ三 滯納處分以外ノ原因ニ因ル第一號及第二號ノ權利ノ處分ノ制限 債權金額千分ノ四 (昭和九年法律第四八號ヲ以テ本號追加)

四ノ四 著作年月日ノ登録 每一件 金一圓 (同上)

四ノ五 抹消シタル登録ノ回復 每一件 金五十錢 (同上)

四ノ六 假登録 每一件 金五十錢 (同上)

五 登録ノ更正、變更又ハ抹消 每一件 金二十錢

債權金額ニ因リ課稅額ヲ定ムル場合ニ於テ一定ノ債權金額ナキトキハ債權ノ目的タルモノノ價格ヲ以テ債權金額ト看做ス

第十條ノ二 出版權ニ關シ登録ヲ受クルトキハ左ノ區別ニ從ヒ登録稅ヲ納ムヘシ (昭和九年法律第四八號ヲ以テ追加)

一 出版權ノ設定 每一件 金十圓

二 出版權ノ移轉 相續 每一件 金一圓

相續以外ノ原因ニ因ル移轉 每一件 金五圓

三 出版權ヲ目的トスル質權ノ設定 債權金額 千分ノ五・五

四 前號ノ權利ノ移轉 相續 每一件 金五十錢

相續以外ノ原因ニ因ル移轉 每一件 金一圓

五 信託ノ登録 每一件 金一圓

六 滯納處分以外ノ原因ニ因ル第一號乃至第三號ノ權利ノ處分ノ制限 債權金額 千分ノ四

七 抹消シタル登録ノ回復 每一件 金五十錢

八 假登録 每一件 金五十錢

九 登録ノ更正、變更又ハ抹消 每一件 金二十錢

登録税法施行規則 (抄)

(明治三十二年五月十九日 勅令第 二百五 號)

- 第一條 印紙ヲ以テ納ムル登録税ハ登録ニ關スル書類ニ收入印紙ヲ貼用シテ之ヲ納ムヘシ
 - 第二條 登録税額五百圓以上ナルトキハ稅務署ニ申出テ現金ヲ以テ納ムルコトヲ得
 - 第三條 官廳又ハ公署ヨリ登記若ハ假登記又ハ登録若ハ假登録ヲ登記所又ハ登録官廳ニ囑託スヘキ場合ニ於テハ登録税ヲ納ムヘキ者其ノ官廳又ハ公署ニ相當印紙又ハ現金ノ領收證ヲ提出シ其ノ官廳又ハ公署ハ囑託書ニ其ノ印紙ヲ貼用シ又ハ其ノ證書ヲ添付シテ登記所又ハ登録官廳ニ送付スヘシ
 - 第四條 同一債權ノ爲ニ先取特權、質權又ハ抵當權ニ關シ種類ヲ異ニスル二以上ノ登記又ハ登録ヲ受クル場合ニ於テ登記所又ハ登録官廳ニ於テ受クル登記又ハ登録ニ付テハ債權金額ヨリ既ニ登記又ハ登録ヲ受ケタルモノノ價格ヲ控除シタル殘額ヲ以テ債權金額ト看做シテ登録税ヲ徵收ス
- 前項ノ場合ニ於テ其ノ登記又ハ登録中ニ登録税法第三條ノ五又ハ第三條ノ六ニ該當スルモノト其ノモノトヲ包含スルトキハ先ツ登録税法第三條ノ五又ハ第三條ノ六ニ該當スルモノ

ノ登記又ハ登録ニ付登録税ヲ徵收ス

著作權ニ關スル登録申請書々式

- (1) 著作權相續登録申請書
 - 著作物ノ題號及著作物ヲ組成スル冊(個)數
 - 何々々 全何冊(個、枚)
 - 著作權ノ相續アリタル年月日
 - 何年何月何日相續
 - 被相續人ノ氏名
 - 何 某(外國人ナ
ルトキハ 國籍何國)
 - 住所 何府縣何郡市何町村何番地
 - 何 某(外國人ナ
ルトキハ 國籍何國)
 - 登錄税ノ金額
 - 金何 圓也
- 右著作權相續登録相成度著作權ノ明細書及戶籍謄(抄)本相添此段及申請候也
- 年月日
- 右申請人 某 印

内務大臣宛

(著作權法施行規則第一條第二號ノ書式)

(2) 著作權讓渡(著作權ヲ目的トスル質權設定)

登録申請書

- 著作物ノ題號及著作物ヲ組成スル冊(箇)數
 - 何々々 全何冊(箇、枚)
 - 著作權讓渡(著作權ヲ目的トスル質權設定)アリタル年月日
 - 何年何月何日讓渡(質權設定)
 - 讓渡人(質權設定者) 氏名及住所
 - 何 某(外國人ナ
ルトキハ 國籍何國)
 - 住所 何府縣何郡市何町村何番地
 - 讓受人(質權者) 氏名及住所
 - 何 某(外國人ナ
ルトキハ 國籍何國)
 - 住所 何府縣何郡市何町村何番地
 - 登錄税ノ金額(債權金額)
 - 金何圓也 債權金額ナシ、著作權ノ價格金何圓也)
- 右著作權讓渡、著作權ヲ目的トスル質權設定(登録相成度著作物ノ明細書(讓受人又ハ質權者ノミ)讓渡人(質權設定者)ノ承諾書(裁判ノ謄本、登記簿ノ謄本等)相添此段及申請候也
- 年月日
- 右申請人

内務大臣宛

(著作權法施行規則第一條第三號ノ書式)

(3) 著作權ヲ目的トスル質權相續登録申請書

- 著作物ノ題號及著作物ヲ組成スル冊(箇)數
 - 何々々 全何冊(箇、枚)
 - 著作權ヲ目的トスル質權設定登録ノ年月日及登録番號
 - 何年何月何日第何號
 - 質權ノ相續アリタル年月日
 - 何年何月何日相續
 - 被相續人ノ氏名
 - 何 某(外國人ナ
ルトキハ 國籍何國)
 - 相續人氏名住所
 - 何 某(外國人ナ
ルトキハ 國籍何國)
 - 住所 何府縣何郡市何町村何番地
 - 登錄税ノ金額
 - 金何圓也
- 右著作權ヲ目的トスル質權相續登録相成度戶籍謄(抄)本相添此段及申請候也
- 年月日
- 右申請人

何 某 ㊟

(著作權法施行規則第一條第四號ノ書式)

(4) 著作權ヲ目的トスル質權讓渡登録申請書
著作物ノ題號及著作物ヲ組成スル冊(箇)數

何 々 全何冊(箇、枚)

質權設定登録年月日及登録番號

何年何月何日第何號

質權讓渡アリタル年月日

何年何月何日讓渡

質權讓渡人ノ氏名及住所

何 某(外國人ナ 國籍何國)

住所 何府縣何郡市何町村何番地

質權讓受人氏名及住所

何 某(外國人ナ 國籍何國)

住所 何府縣何郡市何町村何番地

登録稅ノ金額

金何圓也

右著作權ヲ目的トスル質權ノ讓渡登録相成度 (讓渡人ノミノ

トキ 讓渡人ノ承諾書「裁判ノ謄本」「登記簿謄本」相添) 此段及

申請候也
年 月 日

右申請人

讓渡人 何

讓受人 權

某 某 ㊟

(著作權法施行規則第一條第五號ノ書式)

(5) 著作權ノ信託登録申請書

著作物ノ題號及著作物ヲ組成スル冊(箇)數

何 々 全何冊(箇、枚)

著作權ノ信託アリタル年月日

何年何月何日信託

委託者氏名及住所

何 某(外國人ナ 國籍何國)

住所 何府縣何郡市何町村何番地

受託者氏名及住所

何 某(外國人ナ 國籍何國)

住所 何府縣何郡市何町村何番地

受益者氏名及住所

何 某(外國人ナ 國籍何國)

住所 何府縣何郡市何町村何番地

信託管理人氏名及住所

何 某(外國人ナ 國籍何國)

住所 何府縣何郡市何町村何番地

信託ノ目的

何 々

信託財産ノ管理方法

何 々

信託終了ノ事由

何 々

登録稅ノ金額

金何圓也

右著作權ノ信託登録相成度著作物ノ明細書 (受託者ノミノ記

ハ 委託者ノ承諾書) 相添此段及申請候也

何年何月何日

右申請人

委託者 何

受託者 何

某 某 ㊟

内務大臣宛

(著作權法施行規則第一條第六號ノ書式)

(6) 實名登録申請書

出版關係法規

申請候也
年 月 日

右申請人

讓渡人 何

讓受人 權

某 某 ㊟

(著作權法施行規則第五條ノ書式)

(7) 著作ノ明細書

著作物ノ題號及著作物ヲ組成スル冊(箇)數

何 々 全何冊(箇、枚)

著作權ノ信託アリタル年月日

何年何月何日信託

委託者氏名及住所

何 某(外國人ナ 國籍何國)

住所 何府縣何郡市何町村何番地

受託者氏名及住所

何 某(外國人ナ 國籍何國)

住所 何府縣何郡市何町村何番地

受益者氏名及住所

何 某(外國人ナ 國籍何國)

住所 何府縣何郡市何町村何番地

著作物ノ題號及著作物ヲ組成スル冊(箇)數

何 々 全何冊(箇、枚)

無名又ハ變名著作物ヲ初テ發行又興行ハシタル年月日何年何

月何日無名變名(著作)物ヲ發行(興行)

著作權者ノ氏名

何 某(舊作權者ナシ)

著作者ノ實名及住所

何 某(外國人ナ 國籍何國)

住所 何府縣何郡市何町村何番地

發行者(興行者)ノ氏名及住所

何 某(外國人ナ 國籍何國)

住所 何府縣何郡市何町村何番地

登録稅ノ金額

金何圓也

右實名登録相成度著作物ノ明細書相添此段及申請候也

年 月 日

右申請人

著作者 何

某 ㊟

内務大臣宛

(著作權法施行規則第五條ノ書式)

(7) 著作ノ明細書

- 一 著作物ノ題號
何々
- 二 著作者ノ氏名
何 某
- 三 初テ著作物ヲ發行(興行)シタル際顯ハシタル著作者名
何某(變名何々)(無名)(未發行)(未興行)
- 四 著作ノ年月日
何年何月何日(外國人ノ著作ニ依ルモノナルトキハ初テ發行シタル國何國)
- 五 著作物ヲ初テ發行(興行)シタル年月日
何年何月何日發行(興行)(未發行)(未興行)
- 六 著作物ノ種別及内容(體様)
種別(小説)(脚本)(歌詩)(歌曲)
- 七 前登錄ノ年月日及登錄番號
何年何月何日附第何號(ナシ)

備考

「著作物ヲ組成スル冊(箇)數」トハ當該著作物カ何冊(又ハ何箇)ヲ以テ一體ヲ爲セルモノナリヤノ謂ニシス例ヘハ複製シタル出版物ノ總冊數ヲ云フニ非ス、故ニ次ノ如キ例ニ依リ記載スヘシ

著作物カ刊行シタル書籍ノ如キモノナルトキ「全何冊」
同 彫刻、模型ノ如キモノナルトキハ「全何箇」

- 同 脚本ノ如キモノナルナルトキハ「全何幕何場」
 - 同 映畫ノ如キモノナルトキハ「全何卷」
 - 同 繪畫、圖面ノ如キモノナルトキハ「全何枚」 「全何圖」
- 著作權ノ一部又ハ制限附讓渡若ハ著作權ノ一部制限附讓渡ノ場合ニ在リテハ左ノ記載例ニ從ヒ夫々「著作權讓渡アリタル年月日」ノ項ニ但書ヲ附スルコト
- (イ)但シ右ハ何某ヨリ何某ニ著作權ヲ一部讓渡シ兩者共有ト爲シタルモノナリ
- (ロ)但シ右ハ何某ヨリ何某ニ著作權ヲ一部讓渡シ兩者共有ト爲シタルモノニシテ其ノ持分ハ各均等(又ハ何某ハ何分ノ何、何某ハ何分ノ何)トス
- (ハ)但シ右ノ制限ヲ附シテ讓渡アリタルモノナリ 日本國內ニ限ル 讓渡ノ日ヨリ向フ何年限リトス
- (ニ)但シ右ハ著作權ニ包含セラル、權利中興行權(又ハ翻譯權發送權等)ノミヲ左ノ制限ヲ附シテ讓渡シタルモノナリ
- 記
- 興行ノ地域ヲ何府縣トシ且ツ其ノ期間ハ讓渡ノ日ヨリ向フ何年間ニ限ルモノトス
- (翻譯セラルヘキ國語ハ日本語ニ限ル)

出版ニ關スル取締諸法令

關東洲及南滿洲鐵道附屬地ニ輸入若ハ移入スル出版物取締規則

(昭和十年五月十六日 關東局令第三十九號)

- 第一條 滿洲國駐劄特命全權大使ハ本令施行地域外ニ於テ發行スル出版物ニシテ主トシテ本令施行地域内ニ於テ發賣頒布スルヲ目的トスト認ムルモノハ之ヲ告示ス
- 前項ノ規定ニ依リ告示シタル出版物ヲ本令施行地域内ニ輸入若ハ移入セントスルトキハ發行人ハ左ノ事項ヲ具シ大使ノ許可ヲ受クヘシ
- 一 題號
- 二 掲載事項ノ種類
- 三 發行ノ時期
- 四 發行所、印刷所ノ名稱及所在地
- 五 發行人、編輯人、印刷人ノ原籍、住所、氏名及生年月日
- 六 輸入若ハ移入開始ノ時期
- 七 輸入若ハ移入ノ經路及發賣頒布ノ地域
- 八 取次人ノ住所、氏名、生年月日及職業

出版關係法規

- 九 取次所ノ名稱及所在地
- 第二條 發行人前條ノ出版物ヲ輸入シ若ハ移入シタルルトキハ發賣頒布前關東局ニ二部ヲ、關東州廳、發賣頒布地所轄警察署及關東地方院檢察局ニ各一部ヲ納ムヘシ
- 第三條 本令施行地域内ニ輸入シ若ハ移入スル出版物ノ掲載事項ニシテ公安ヲ紊リ若ハ風俗ヲ害スル虞アリト認ムルトキハ前二條ノ規定ニ違反シテ輸入シ、移入シ若ハ發賣頒布シタルトキハ大使ハ其ノ輸入移入、若ハ發賣頒布ヲ禁止シ又ハ之ヲ差押ヘ第一條ノ規定ニ依ル出版物ニ在リテハ其ノ許可ヲ取消スコトアルヘシ
- 第四條 前條ノ規定ニ依リ差押ヘタル出版物ニシテ一年以上其ノ差押ヲ解除セラレザルトキハ差押ヲ執行シタル官廳ニ於テ之ヲ處分スルコトヲ得
- 第五條 第三號ノ規定ニ依リ差押ヘタル出版物ニシテ其ノ差押フヘキ部分ト其ノ他ノ部分トヲ分割シ得ヘキ場合ニ於テ關係者ノ請求アルトキハ之ヲ分割シ差押ヲ要セザル部分ヲ返還スルコトアルヘシ但シ之カ爲必要ナル費用ハ發行人ノ負擔トス
- 第六條 第一條又ハ第二條ノ規定ニ違反シタル者ハ六月以下ノ禁錮又ハ二百圓以下ノ罰金若ハ科料ニ處ス
- 第三條ノ規定ニ基ク處分ニ違反シタル者及情ヲ知リテ其ノ出版物ヲ輸入シ若ハ移入シ又ハ販賣頒布シタル者ハ前項ニ準シ

之ヲ處罰ス
附 則
本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

不穩文書臨時取締法 (昭和十一年六月十五日) 法律第四十五號

第一條 軍秩ヲ紊亂シ、財界ヲ攪亂シ其ノ他人心ヲ惑亂スル目的ヲ以テ治安ヲ妨害スヘキ事項ヲ掲載シタル文書圖書ニシテ發行ノ責任者ノ氏名及住所ノ記載ヲ爲サズ若ハ虛偽ノ記載ヲ爲シ又ハ出版法若ハ新聞紙法ニ依ル納本ヲ爲サザルモノヲ出版シタル者又ハ之ヲ頒布シタル者ハ三年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第二條 前條ノ事項ヲ掲載シタル文書圖書ニシテ發行ノ責任者ノ氏名及住所ノ記載ヲ爲サズ若ハ虛偽ノ記載ヲ爲シ又ハ出版法若ハ新聞紙法ニ依ル納本ヲ爲サザルモノヲ出版シタル者又ハ之ヲ頒布シタル者ハ二年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第三條 前二條ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス但シ印刷者印本引渡前ニ自首シタルトキハ其ノ刑ヲ免除ス

ヲ作製シタル者又ハ之ヲ頒布シタル者

關稅定率法 (抄)

(明治四十三年四月十五日) 法律第五十四號

改正 大正三年法律第八號、第九號、昭和十一年法律第三十八號

第十一條 左ニ掲クル物品ハ輸入ヲ禁ス

(一、二、四號略)

三 公安又ハ風俗ヲ害スヘキ書籍、圖畫、彫刻物其ノ他ノ物品 (參照) 關稅法

第七十四條 輸入禁制品ノ輸入ヲ圖リ又ハ其ノ輸入ヲ爲シタル者ハ犯罪ニ係ル貨物ノ原價ニ相當スル罰金又ハ科料ニ處シ其ノ貨物ヲ沒收ス但シ他ノ法律ニ於テ別ニ刑ヲ定メタルモノハ此ノ限ニ在ラス

第七十五條ノ二 前二條ノ犯罪ニ係ル貨物ノ運搬、寄藏、收受故買又ハ牙保ヲ爲シタル者ハ千圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

刑法 (抄)

第七十五條 猥褻ノ文書、圖畫其ノ他ノ物ヲ頒布若クハ販賣

出版關係法規

前項ノ規定ニ依リ頒布ヲ差止メラレタル文書圖書ヲ頒布シタル者ハ三百圓以下ノ罰金ニ處ス

附 則
本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

軍機保護法 (抄) (明治三十二年七月十五日) 法律第四百四號

第二條 職務ニ因リ軍事上秘密ノ事項又ハ圖書物件ヲ知得領有シタル者其ノ秘密タルコトヲ知テ之ヲ他人ニ漏洩交付シ若ハ之ヲ公示シタルトキハ(有期徒刑)ニ處ス

第三條 偶然ノ原因ニ因リ軍事上秘密ノ事項又ハ圖書物件ヲ知得領有シタル者其ノ秘密タルコトヲ知テ之ヲ他人ニ傳説交付シ若ハ之ヲ公示シタルトキハ(輕禁錮)ニ處ス

取引所法 (抄) (明治二十六年三月四日) 法律第五號

改正 明治三十二年法律第五十八號、大正十三年法律第三十三號、昭和十一年法律第六十號、昭和十四年法律第二十九號

第三十二條ノ三 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ一年以下ノ懲役又ハ三千圓以下ノ罰金ニ處ス (一號省略)

シ又ハ公然之ヲ陳列シタル者ハ五百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス販賣ノ目的ヲ以テ之ヲ所持シタル者亦同シ

第二百三十條 公然事實ヲ摘示シ人ノ名譽ヲ毀損シタル者ハ其ノ事實ノ有無ヲ問ハス一年以下ノ懲役若クハ禁錮又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

死者ノ名譽ヲ毀損シタル者ハ誣罔ニ出ツルニ非サレハ之ヲ罰セス

第二百三十一條 事實ヲ摘示セスト雖モ公然人ヲ侮辱シタル者ハ拘留又ハ科料ニ處ス

第二百三十二條 本章ノ罪ハ告訴ヲ待テ之ヲ論ス

刑法施行法 (抄)

第二十七條 左ニ記載シタル罪ハ刑法第三條ノ例ニ從フ

一、著作權法ニ掲ケタル罪

(參照) 刑法第三條本法ハ帝國外ニ於テ左ニ記載シタル罪ヲ犯シタル帝國臣民ニ之ヲ適用ス (以下略)

治安警察法 (抄)

第十六條 街頭其ノ他公衆ノ自由ニ交通スルコトヲ得ル場所ニ

於テ文書、圖畫、詩歌ノ揭示、頒布、朗讀若ハ放吟又ハ言語形容其ノ他ノ作爲ヲ爲シ其ノ狀況安寧秩序ヲ紊シ若ハ風俗ヲ害スルノ虞アリト認ムルトキハ警察官ニ於テ禁止ヲ命スルコトヲ得

第二十九條 第十六條ノ禁止ノ命ニ違反シタル者ハ一月以下ノ輕禁錮又ハ三十圓以下ノ罰金ニ處ス

警察犯處罰令

(明治四十一年九月二十)(九日內務省令第十六號)(抄)

第二條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ三十日未滿ノ拘留又ハ二十圓未滿ノ科料ニ處ス

六 新聞紙雜誌、其ノ他ノ方法ヲ以テ誇大又ハ虛偽ノ廣告ヲ爲シ不正ノ利ヲ圖リタル者

七 新聞紙、雜誌其ノ他ノ出版物ノ購讀又ハ廣告掲載ニ付強テ其ノ申込ヲ求メタル者

八 申込ナキ新聞紙、雜誌其ノ他ノ出版物ヲ配付シ又ハ申込ナキ廣告ヲ爲シ其ノ代料ヲ請求シタル者

十六 人ヲ誑惑セシムヘキ流言浮説又ハ虛報ヲ爲シタル者

郵便法 (抄)

(明治三十三年三月十三日) 法律第五十四號

改正 明治四十年遞信省令第七號 大正五年遞信省令第十七號

第十六條 郵便官署ハ郵便物引受ケノ際郵便禁制品ヲ封入シ又ハ成規ニ違反シタルモノアリト認ムルトキハ差出人ニ其ノ開示ヲ求ムルコトヲ得

差出人前項ノ開示ヲ拒ミタルトキハ其ノ郵便物ノ取扱ヲ拒絕ス

第十六條ノ二 郵便官署ハ其ノ取扱中ニ係ル郵便物ニシテ郵便禁制品ヲ封入シ又ハ成規ニ違反シタルモノアリト認ムルトキハ差出人又ハ受取人ニ其ノ開示ヲ求ムルコトヲ得

第二十二條 郵便禁制品ノ種類及郵便物ノ容積、重量、包裝等ニ關スル制限ハ命令ノ定ムル所ニ依ル

第四十六條 郵便禁制品ヲ郵便物トシテ差出シタル者ハ五百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處シ其ノ物件ヲ沒收ス

菊御紋竝禁裏御用等ノ文字

濫用ヲ禁ス

(明治元年三月二十) 八日太政官布告

一 禁裏御用或ハ 禁裏御料又ハ 禁裏御内勝杯ト會符示杭標札等ニ書記シ候儀ハ有之間敷事ニ候處往々見受候ニ付以來屹度相改御用御料ト而已書記イタシ候様被仰出候事但標札ハ姓名相記シ又ハ官名役名等記シ候儀不苦候事

一 提燈又ハ陶器其他賣物等ニ御紋ヲ畫キ候事共如何ノ儀ニ候以來右之類 御紋ヲ私ニ附ケ候事屹度可禁止旨被 仰出候事但御用ニ付是迄被免ノ分モ一應伺出可申事

右之通被仰出候條末々迄不洩様可申達事 明治四年六月十七日太政官布告

菊御紋禁止ノ儀ハ兼テ御布告有之候處猶又向後由緒ノ有無ニ不關皇族ノ外總テ被禁止候尤御紋ニ紛敷品相用候儀モ同様不相成候相改可申事

御肖像ニ關スル取締方

(明治三十一年十二月二十八日內務省告諭)

御肖像ハ左ノ各項ニ準據シテ苟モ心得違ノ次第無之様厚ク注意ヲ加フヘシ右諭告ス

第一 天皇皇族ノ御肖像ハ其尊號御稱號ヲ標記シアルト否トヲ問ハス御肖像トシテノ外ハ寫出スヘカラス

第二 御肖像ハ總テ粗造ニ流レ不敬ニ涉ルヘカラス

第三 肖像ハ不敬ニ涉ルヘキ場所ニ掲ケ又ハ陳列スヘカラス

第四 御肖像ハ露店ニ於テ發賣頒布スヘカラス

弘曆者ノ外頒曆取扱ヲ禁ス

(明治三年四月二十) 二日太政官布告

頒曆授時之儀ハ至重ノ典章ニ候處近來種々之類曆世上ニ流布候趣無謂事ニ候自今弘曆者之外取扱候儀一切嚴禁被仰出候事

本曆略本曆頒布及一枚摺略曆

出版方

(明治十五年四月十六日) 太政官布達第八號

本曆並略本曆ハ明治十六年曆ヨリ伊勢神宮ニ於テ頒布セシムヘシ 一枚摺略曆ハ明治十六年曆ヨリ何人ニ限ラス出版條例ニ準據シ出版スルコトヲ得但明治九年十月內務省甲第三十九號布達ハ取

消ス

右布達候事(内務卿連署)

一枚摺曆出版ノ規定

(明治二十三年十月三十一日 文部省令第二號 改正明治四十四年 文部省令第二十九號)

明治十五年四月太政官第八號布達第二項ニ依リ出版スル所ノ一枚摺曆ハ自今左ノ規定ニ依ルヘシ

- 一 一枚摺曆ハ左ニ列記スル事項ニ限リ記載スルモノトス
 - 一 年號及紀元ノ年數千支
 - 一 毎月ノ一日
 - 一 日食並其時間
 - 一 大祭祝日並神社例祭大祓
 - 一 日曜表甲子表庚申表己巳表
 - 一 二十四節氣及雜節
 - 一 新月滿月
 - 一 第二號乃至第七號ニ相當スル陽曆日
- 以上ノ事項ハ東京帝國大學ニ於テ編纂スル所ノ曆ニ依ルヘシ但前各號規定ノ外本曆略本曆ニ掲載セサル事項ヲ記入スルハ此ノ限ニ在ラス

神社寺院ノ守札及神佛號記載ノ畫像出版ニ關スル達

(明治十五年十月内 務省乙第五號達)

神社寺院ノ守札ト可認モノ及神佛號ヲ記載セル畫像ハ其ノ神社寺院ノ外出版不相成儀ト心得此旨相達候事
但從前屆濟ノ分ト雖モ本文ニ抵觸シ不都合ト認ムル場合ニ於テハ更ニ申出ツヘシ

大日本帝國憲法 (抄)

第二章 臣民權利義務

第二十九條 日本臣民ハ法律ノ範圍内ニ於テ言論著作印行集會及結社ノ自由ヲ有ス

未發表ノ著述ノ稿本ニ關スル民事訴訟法

第五百七十條 左ニ掲クル物ハ之ヲ差押フルコトヲ得ス

第十二 債務者又ハ其家族ノ未タ公ニセサル發明ニ關スル物及ヒ債務者又ハ其家族ノ未タ公ニセサル著述ノ稿本然レトモ債務者ノ承諾アルトキハ第三號乃至第八號ニ掲ケタル物ヲ除ク外之ヲ差押フルコトヲ得

新聞紙雜誌販賣届出ニ關スル件

(大正六年十二月二十八日 改正大正八年樺太 樺太廳令第三十號) 廳令第四十號

- 第一條 新聞紙雜誌販賣ノ營業ヲ爲サムトスル者ハ本籍住所氏名生年月日及營業ノ場所並新聞紙雜誌ノ種類ヲ記シ開業三日前ニ營業地所轄警察官署ニ届出ツヘシ
- 第二條 左ノ場合ニ於テハ三日内ニ所轄警察官署ニ届出ツヘシ
 - 一 本籍住所氏名ヲ變更シタルトキ
 - 二 營業ノ場所ヲ變更シタルトキ
 - 三 新聞紙雜誌ノ種類ヲ増減シタルトキ
 - 四 休業シタルトキ
 - 五 廢業シタルトキ
- 前項第二號ノ場合ニ於テ營業ノ場所ヲ他ノ警察官署所轄内ニ移轉シタルトキハ前營業地ノ所轄警察官署ニモ届出ツヘシ
- 第三條 本令ノ届出ヲ爲サス若ハ届出ヲ爲スモ實ヲ以テセサル者ハ拘留又ハ科料ニ處ス

附 則

本令ハ大正七年一月一日ヨリ之ヲ施行ス
本令施行ノ際現ニ新聞紙雜誌販賣營業ヲ爲ス者ハ本令第一條ノ事項ヲ大正七年一月三十一日迄ニ所轄樺太廳支廳ニ届出ツヘシ

出版關係條約

猥褻刊行物ノ流布及取引禁止ニ關スル國際條約

(昭和十一年五月十六日 條約第三號)

猥褻刊行物ノ流布及取引禁止手段ヲ成ルヘク有効ナラシムルコトヲ均シク希望シ千九百十年ニ作成セラレタル條約案ノ審査、各國ニ依リ提出セラレタル意見書ノ審査並ニ條約ノ最終本文ノ完成及署名ノ爲メ國際聯盟ノ主宰ノ下ニ千九百二十三年八月三十一日「ジュネーヴ」ノ國際會議ニ於テ各全權委員ハ其全權委任狀ヲ示シ之レカ良好妥當ナルヲ認メ且ツ本會議ノ最終議定書及千九百十年五月四日ノ協定ヲ了承シタル後左ノ諸規定ヲ協定セリ (各國委員氏名省略)

第一條 締約國ハ左ノ犯行ノ何レカヲ爲シタル者ヲ發見シ、訴追及處罰スル爲一切ノ手段ヲ執ルコトニ同意シ從テ左ノ如ク約ス

左記ハ處罰セラルヘキ犯行タルヘシ
一 營業ノ爲若ハ營業トシテ又ハ頒布若ハ一般ノ展覽ノ爲猥褻ナル文書、素描、版畫、繪畫、印刷物、圖畫、「ポスター」

徽章、寫眞、活動寫眞用「フィルム」又ハ他ノ猥褻ナル物件ヲ作製シ又ハ所持スルコト

二 前記目的ノ爲前記ノ猥褻ナル物件ノ何レカラ輸入シ、輸送シ若ハ輸出シ又ハ輸入セシメ、輸送セシメ若ハ輸出セシメ又ハ如何ナル方法ニ依ルヲ問ハス之ヲ流布スルコト

三 前記ノ猥褻ナル物件ノ何レカニ關スル公然ノ又ハ秘密ノ業務ヲ行ヒ若ハ之ニ參加シ、右物件ヲ如何ナル方法ニ依ルヲ問ハス販賣シ、之ヲ頒布シ、之ヲ一般ニ展覽シ又ハ之カ貸與ヲ業務トスルコト

四 前記ノ處罰セラルヘキ行爲ノ何レカニ從事スル者アルコトヲ前記ノ處罰セラルヘキ流布若ハ取引ヲ幫助スルノ目的ヲ以テ方法ノ如何ヲ問ハス廣告シ若ハ了知セシメ又ハ直接タルト間接タルトヲ問ハス前記ノ猥褻ナル物件カ如何ナル方法ニ依リ若ハ何レノ者ヨリ取得セラレ得ルカヲ廣告シ若ハ了知セシムルコト

第二條 第一條ニ掲ケラルル犯行ヲ爲シタル者ハ該犯行カ又ハ其ノ構成要素ノ何レカカ爲サレタル地域ノ屬スル締約國ノ裁判所ノ管轄ニ屬スヘシ犯行ノ構成要素カ該犯行ヲ爲シタル者ノ屬スル締約國ノ領域外ニ於テ爲サレタル場合ト雖モ右ノ者カ右締約國ノ領域内ニ於テ發見セララルトキハ該國ノ法令カ許ストキハ右ノ者ハ又該國ノ裁判所ノ管轄ニ屬スヘシ

尤モ各締約國ハ其ノ法令ニ定メラルル規則ニ從ヒ一事不再理ノ原則ヲ適用スルノ權利ヲ有スヘシ

第三條 本條約ニ掲ケラルル犯行ニ關スル司法事務囑託ノ送達ハ左ノ方法ノ何レカニ依リ行ハルヘシ

- 一 司法官憲間ノ直接通信
- 二 被請求國ニ於ケル請求國ノ外交官又ハ領事官ノ仲介、右外交官又ハ領事官ハ當該司法官憲ニ又ハ被請求國ノ政府ノ指定スル官憲ニ直接ニ司法事務囑託書ヲ送付スヘク且司法事務囑託ノ施行ヲ示ス書類ヲ右官憲ヨリ直接ニ受領スヘシ
- 三 前記何レノ場合ニ於テモ司法事務囑託書ノ謄本ハ當ニ被請求國ノ最高官憲ニ送付セラレヘシ

三 外交手續

各締約國ハ他ノ各締約國ノ司法事務囑託ニ付自國ノ承認スル前記ノ送達方法ヲ右締約國ニ通告スヘシ
本條(一)及(二)ノ方法ニ依ル送達ニ關聯シ生スルコトアルヘキ一切ノ紛議ハ外交手續ニ依リ處理セララルヘシ
別段ノ協定ナキ限り司法事務囑託書ハ被請求官憲ノ國語又ハ關係兩國ニ依リ協定セラレタル國語ヲ以テ作成セララルカ又ハ右兩國語ノ一ヲ以テセル翻譯文ニシテ請求國ノ外交官若ハ領事官ニ依リ認證セラレタルモノ若ハ被請求國ノ翻譯者ニ依リ宣誓ノ上認證セラレタルモノヲ添附セララルヘシ

司法事務囑託ノ施行ニ付テハ性質ノ如何ヲ問ハス手数料又ハ費用ノ支拂ヲ要スルコトナカルヘシ

本條ハ締約國カ其ノ法令ニ反スル舉證ノ形式又ハ方法ヲ其ノ裁判所ニ於テ採用スルコトヲ約スルモノト解セラレザルヘシ
第四條 締約國ニシテ其ノ法令カ本條約ヲ實施スルニ現ニ充分ナラサルモノハ右目的ニ必要ナル措置ヲ執リ又ハ之ヲ其ノ各自ノ立法機關ニ提案スルコトヲ約ス

第五條 締約國ニシテ其ノ法令カ現ニ充分ナラサルモノハ第一條ニ掲ケラルル猥褻ナル物件又ハ其ノ何レカカ同條ニ明記セラルル目的ノ何レカノ爲ニ又ハ其ノ規定ニ反シテ作製セラレ又ハ藏セラルト信スヘキ理由アル場所ノ搜索ニ付並ニ右物件ノ差押、沒收及破毀ニ付規定ヲ設クルコトヲ約ス

第六條 締約國ハ一締約國ノ領域内ニ於テ第一條ノ規定ノ違反アル場合ニ同條ノ該違反ニ關係アル物件カ他ノ何レカノ締約國ノ領域内ニ於テ作製セラレ又ハ之ヨリ輸入セラレタリト認めラルル場合ニ於テハ千九百十年五月四日ノ協定ニ從ヒ指定セラルル右一締約國ノ官憲カ右物件カ來リ又ハ作製セラレタリト信セララルル右他ノ締約國ノ對常官憲ヲシテ適當ト認めラレルヘキ措置ヲ執ルコトヲ得シムル爲之ニ充分ナル情報ヲ直ニ供給スヘキコトヲ約ス

第七條 本條約ハ佛蘭西語及英吉利語ノ本文ヲ以テ正文トシ本

日ノ日附ヲ有スヘク且會議ニ代表者ヲ出セル國、國際聯盟ノ聯盟國及署名ノ爲國際聯盟理事會ヨリ條約ノ謄本ヲ送付セラレタル國ノ署名ノ爲千九百二十四年三月三十一日迄開キ置カルヘシ

第八條 本條約ハ批准ヲ要ス批准書ハ國際聯盟事務總長ニ寄託セラルヘク事務總長ハ之カ受領ヲ本條約ノ署名國タル聯盟國及他ノ署名國ニ通告スヘシ

國際聯盟事務總長ハ本條約ニ關スル寄託セラレタル各批准書ノ認證謄本ヲ佛蘭西共和國ニ直ニ送付スヘシ
事務總長ハ國際聯盟規約第十八條ノ規定ニ從ヒ本條約ヲ其ノ實施ノ日ニ於テ登錄スヘシ

第九條 千九百二十四年三月三十一日後ニ於テハ會議ニ代表者ヲ出セル國ニシテ本條約ニ署名セザリシモノ、國際聯盟ノ聯盟國又ハ加入ノ爲國際聯盟理事會ヨリ條約ノ謄本ヲ送付セラレタル國ハ何レモ本條約ニ加入スルコトヲ得

加入ハ國際聯盟事務局ノ記錄ニ寄託セララルル爲國際聯盟事務總長ニ送付セララルル文書ニ依リ爲サルヘシ事務總長ハ該寄託ヲ本條約ノ署名國タル國際聯盟ノ一切ノ聯盟國及他ノ署名國ニ直ニ通告スヘシ

第十條 本條約ヲ批准シ又ハ之ニ加入シタルトキハ當然ニ且特別ノ通告ナクシテ千九百十年五月四日ノ協定ニ共ニ且全部加

入シタルコトト爲ルヘル同協定ハ批准シ又ハ加入スル聯盟國又ハ國ノ全領域ニ亙リ本條約ト同日ヲ以テ實施セラルヘシ尤モ右千九百十年五月四日ノ協定ノ第四條ハ前項ノ規定ニ依リ無効ト爲ルコトナカルヘク何レカノ國カ右協定ニノミ加入セント欲スル場合ニハ引續キ適用セラルヘシ

第十一條 本條約ハ國際聯盟事務總長ニ二通ノ批准書カ寄託セラレタル後三十日ヨリ實施セラルヘシ

第十二條 本條約ハ國際聯盟事務總長ニ宛テタル文書ヲ以テ廢棄セララルコトヲ得廢棄ハ事務總長カ廢棄書ヲ受領シタル日ノ後一年ニシテ其ノ効力ヲ生スヘク且廢棄ヲ爲ス國際聯盟ノ聯盟國又ハ國ニ關シテノミ効力ヲ生スヘシ

國際聯盟事務總長ハ本條約ノ署名國又ハ加入國タル國際聯盟ノ一切ノ聯盟國及他ノ署名國又ハ加入國ニ右廢棄書ノ受領ヲ通告スヘシ

本條約ノ廢棄ハ其ノ通告書中ニ明記セラルルニ非サレハ千九百十年五月四日ノ協定ノ廢棄ヲ當然ニ伴フコトナカルヘシ

第十三條 本條約ニ署名シ又ハ加入スル國際聯盟ノ聯盟國又ハ國ハ其ノ署名又ハ加入カ其ノ殖民地、海外屬地、保護領又ハ其ノ主權若ハ權力ノ下ニ在ル地域ノ何レカ又ハ全部ヲ包含セサルコトヲ宣言シ得ヘク且ツ右宣言ニ於テ除外セラレタル右殖民地、海外屬地、保護領又ハ地域ノ何レカノ爲メニ後日各

別ニ加入ヲ爲スコトヲ得廢棄モ亦右殖民地、海外、屬地保護領又ハ右主權若ハ權力ノ下ニ在ル地域ノ何レニ關シテモ各別ニ之ヲ爲スコトヲ得ヘク且第十二條ノ規定ハ右廢棄ニ適用セラルベシ

第十四條 國際聯盟事務總長ハ本條約ニ署名シ、之ヲ批准シ、之ニ加入シ又ハ之ヲ廢棄シタル當事國ヲ示ス特別ノ記録ヲ保存スヘシ右記録ハ本條約ニ署名シ又ハ之ニ加入シタル國際聯盟ノ一切ノ聯盟國又ハ他ノ國ヲシテ何時ニテモ之ヲ閱覽スルコトヲ得シムヘシ右記録ハ成ルヘク屢公報セラルヘシ

第十五條 本條約ノ解釋又ハ適用ニ關スル締約國間ノ紛争ハ該紛争カ直接ノ交渉ニ依リ解決セラレ得サルトキハ決定ノ爲常設國際司法裁判所ニ付託セラルヘシ右紛争ノ當事國ノ一方又ハ雙方カ常設國際司法裁判所ノ署名議定書ノ當事國タラサル場合ニ於テハ紛争ハ當事國ノ選擇ニ依リ常設國際司法裁判所又ハ仲裁裁判ニ付託セラルヘシ

第十六條 本條約ノ署名國又ハ加入國ノ五國ニ依リ本條約ノ改正ノ要求アルトキハ國際聯盟理事會ハ右目的ノ爲會議ヲ召集スヘシ何レノ場合ニ於テモ理事會ハ會議召集ノ望マシキヤ否ヤヲ毎五年ノ期間ノ終ニ於テ審議スヘシ

右證據トシテ前記全權委員ハ本條約ニ署名セリ

千九百二十三年九月十二日「ジュネーヴ」ニ於テ本書二通ヲ作成ス其ノ一通ハ國際聯盟ノ記録ニ寄託保存セラルヘク他ノ一通ハ佛蘭西共和政府ノ記録ニ寄託保存セラルヘシ

文學的及美術的著作物ノ保護

ニ關スル「ベルヌ」條約

獨逸國大統領、奧地利共和國聯邦大統領、白耳義國皇帝陛下、「ブラジル」合衆國大統領、「ブルガリア」國皇帝陛下、丁抹國皇帝陛下、西班牙國皇帝陛下、「エストニア」共和國大統領、「フィンランド」共和國大統領、佛蘭西共和國大統領、「グレートブリテン」及「アイルランド」及「グレートブリテン」海外領土皇帝印度皇帝陛下、希臘共和國大統領、「ハンガリー」國攝政殿下、伊太利國皇帝陛下、日本國皇帝陛下、「ルクセンブルグ」國大公殿下、「モロッコ」國皇帝陛下、「モナコ」國公殿下、諾威國皇帝陛下、和蘭國皇帝陛下、「ポーランド」國及「ダンチツヒ」自由市ノ名ニ於ケル「ポーランド」共和國大統領、「ポルトガル」共和國大統領、「ルーマニア」國皇帝陛下、瑞典國皇帝陛下、瑞西聯邦政府、「シリア」國及「グレートレバノン」國「チエツコスロヴァキア」共和國大統領、「テュニス」國公殿下ハ文學的及美術的著作物ニ關シ著作權ノ權利ヲ能ク限り有效且均等ノ方法ヲ以テ保護センコトヲ均シク希望シ

千九百八年十一月十三日「ベルリン」ニ於テ署名セラレタル條規ヲ改正シ且補足スルコトニ決シ之カ爲各左ノ如ク全權委員ヲ任命セリ

(各國委員氏名省略)

各全權委員ハ之カ正當ナル委任ヲ受ケ左ノ如ク協定セリ

第一條 本條約ノ適用セラルル國ハ文學的及美術的著作物ニ關スル著作權ノ權利ノ保護ヲ爲同盟ヲ組織ス

第二條 (一)「文學的及美術的著作物」ナル用語ハ表現ノ方法又ハ形式ノ如何ヲ問ハス書籍、小冊子及其ノ他ノ文書、講演、演說、說教及其ノ他同性質ノ著作物、演劇脚本、樂譜、入演劇脚本、演出カ文書其ノ他ノ方法ヲ以テ定メラレタル舞譜及無言劇歌詞入り又ハ歌詞ナシノ樂譜、素描、繪畫、建築、彫刻、銅版及石版ノ著作物、圖解及地圖、地理學、地形學、建築學又ハ科學ニ關スル圖面、略圖及模型ノ如キ文藝、學術及美術ノ範圍ニ屬スル一切ノ製作物ヲ包含ス

(二) 翻譯、續案、編曲及其ノ他文學的又ハ美術的著作物ノ變形複製物竝ニ異リタル著作物ノ編輯物ハ原作物ノ著作權ノ權利ヲ害セサル範圍内ニ於テ原著作物トシテ保護セラルヘキモノトス

(三) 同盟國ハ前記著作物ノ保護ヲ確保スヘキ義務ヲ有ス

(四) 工業ニ應用セラレタル美術的著作物ハ各國ノ國內法ノ認ムル限り保護セラルヘキモノトス

第二條ノ二 (一) 政治演說及裁判所ニ於ケル辯論中ニ爲サレタル演述ヲ前條ニ定ムル保護ヨリ一部又ハ全部排除スルノ

權能ハ同盟各國ノ國內法ニ留保セラレ

(一) 講演、演説、説教及其ノ他同性質ノ著作物ヲ新聞紙雜誌ニ複製スルコトヲ得ル條件ヲ規定スルノ權能モ亦同盟各國ノ國內法ニ留保セラレ尤モ前記著作物ヲ編輯物ト爲スノ權利ハ著作者ニ限り之ヲ有スベシ

第三條 本條約ハ寫眞的著作物及寫眞術ト類似ノ方法ヲ以テ作リタル著作物ニ之ヲ適用ス同盟國ハ之カ保護ヲ確保スヘキ義務ヲ有ス

第四條 (一) 同盟ノ一國ニ屬スル著作者ハ公ニセサル又ハ同盟ノ一國ニ於テ初テ公ニシタル著作物ニ關シ著作物ノ本國以外ノ國ニ於テ其ノ國法カ内國民ニ現ニ許與シ又ハ將來許與スヘキ權利及本條約ニ依リ特ニ許與セラレタル權利ヲ享有ス

(二) 右權利ノ享有及行使ハ何等方式ノ履行ヲ要セス其ノ享有及行使ハ著作物ノ本國ニ於ケル保護ノ存在ニ係ルコトナシ從テ本條約ノ規定ノ外保護ノ範圍及著作者ノ權利保全ノ爲右著作者ニ保障セラレタル救済ノ方法ハ保護ノ要求セラレル國ノ法律ニ專ラ依ルヘキモノトス

(三) 公ニセサル著作物ニ關シテハ著作者ノ屬スル國ヲ以テ著作物ノ本國トシ公ニシタル著作物ニ關シテハ第一發行ノ國ヲ以テ本國トシ同盟ノ數國ニ於テ同時ニ公ニシタル著作

物ニ關シテハ右諸國ノ中其ノ國法ノ許與スル保護ノ期間最短期間ヲ以テ其ノ本國トス同盟ニ屬セザル一國ト同盟ノ一國トニ於テ同時ニ公ニシタル著作物ニ關シテハ同盟國ノミヲ以テ本國トス

(四) 「公ニシタル著作物」トハ本條約ノ意義ニ於テハ刊行シタル著作物ヲ謂フ演劇脚本又ハ樂譜ノ演劇脚本ノ上演、音樂的著作物ノ演奏、美術的著作物ノ展覽及建築的著作物ノ建設ハ公ニスルノ意味ニ非サルモノトス

第五條 同盟ノ一國ニ屬スル者ニシテ同盟ノ國ノ一國ニ於テ初テ其ノ著作物ヲ公ニシタルモノハ其ノ國ニ於テ内國著作者ト同一ノ權利ヲ有ス

第六條 (一) 同盟ノ一國ニ屬セサル著作者ニシテ同盟ノ一國ニ於テ初テ其ノ著作物ヲ公ニシタルモノハ其ノ國ニ於テハ内國著作者ト同一ノ權利ヲ享有シ同盟ノ國ノ諸國ニ於テハ本條約ノ許與スル權利ヲ享有ス

(二) 尤モ同盟ニ屬セサル國カ同盟ノ一國ニ屬スル著作者ノ著作物ニ對シ充分ノ保護ヲ與ヘサルトキハ該同盟國ハ著作物ノ第一發行ノ當時該非同盟國ニ屬シ且同盟ノ一國ニ於テ現實ノ住所ヲ有セサル著作者ノ右著作物ノ保護ヲ制限スルコトヲ得ヘシ

(三) 前項ニ基キ規定セラレタル如何ナル制限モ著作者カ右

制限ノ實施前同盟ノ一國ニ於テ公ニシタル著作物ニ關シ既ニ取得シタル權利ヲ妨クルコトナカルヘシ

(四) 本條ニ基キ著作者ノ權利ヲ制限スヘキ同盟國ハ右保護ノ制限ヲ受ケヘキ國及該國ニ屬スル著作者ノ權利ニ加フル制限ヲ示セル宣言書ヲ以テ其ノ旨ヲ瑞西聯邦政府ニ通告スヘシ瑞西聯邦政府ハ直ニ右ノ事實ヲ同盟ノ一切ノ國ニ通知スヘシ

第六條ノ二 (一) 著作者ノ財産的權利ニ係ルコトナク且該權利ノ移轉後ト雖モ著作者ハ著作者タルコトヲ主張スルノ權利及右著作者ノ改竄截除又ハ其ノ他ノ變更ニシテ著作者ノ名譽又ハ聲望ヲ害スルコトアルヘキモノニ對シテ異議ヲ述フルノ權利ヲ保有ス

(二) 右權利行使ノ條件ヲ定ムルコトハ同盟國ノ國內法ニ保留セラレ右權利保全ノ爲ニスル救済ノ方法ハ保護ノ要求セラレル國ノ法律ニ依ルヘキモノトス

第七條 (一) 本條約ニ依リ許與セラレル保護ノ期間ハ著作者ノ生存間及其ノ死後五十年トス
(二) 尤モ前項ノ期間カ同盟ノ一切ノ國ニ依リ等シク採用セラレサル場合ニ於テハ保護ノ期間ハ保護ノ要求セラレル國ノ法律ニ依ルヘク且著作者ノ本國ニ於テ定メラレタル期間ヲ超過スルコトヲ得サルヘシ從テ同盟國ハ其ノ國內法ニ合

致スル範圍内ニ非サレハ前項ノ規定ヲ適用スルヲ要セサルヘシ

(三) 寫眞的著作者及寫眞術ト類似ノ方法ヲ以テ作りタル著作物、遺著、無名又ハ變名著作物ニ關シテハ保護ノ期間ハ保護ノ要求セラレル國ノ法律ニ依ルモノトス但シ著作物ノ本國ニ於テ定メラレタル期間ヲ超過スルコトヲ得ス

第七條ノ二 (一) 著作物ノ合著作者ノ共有ニ屬スル著作者ノ權利ノ期間ハ合著作者中最終ノ生存者ノ死亡ノ日ニ依リテ計算セラレ

(二) 第一項ニ定ムル保護ノ期間ヨリ短キ保護ノ期間ヲ許與スル國ニ屬スル者ハ同盟ノ國ノ諸國ニ於テ之ヨリ長キ期間ノ保護ヲ要求スルコトヲ得ス

(三) 如何ナル場合ニ於テモ保護ノ期間ハ合著作者中最終ノ生存者ノ死亡前ニ滿了スルコトヲ得サルヘシ

第八條 公ニセサル著作物ノ著作者ニシテ同盟ノ一國ニ屬スルモノ及同盟ノ一國ニ於テ初テ公ニシタル著作物ノ著作者ハ原著作物ニ關スル權利ノ全存續期間中同盟ノ他ノ諸國ニ於テ其ノ著作物ノ翻譯ヲ爲シ又ハ之ヲ許諾スルノ特權ヲ享有ス

第九條 (一) 同盟ノ一國ノ新聞紙又ハ定期編輯物中ニ於テ公ニシタル新聞小説、讀物及其ノ他題材ノ如何ヲ問ハス文藝學術又ハ美術ノ一切ノ著作物ハ著作者ノ承諾アルニ非サレ

ハ他國ニ於テ之ヲ複製スルコトヲ得ス

(二) 經濟上、政治上又ハ宗教上ノ時事問題ヲ論議シタル記事ハ其ノ轉載カ明白ニ留保セラレサルトキハ新聞紙雜誌ニ之ヲ轉載スルコトヲ得但シ其ノ出所ハ常ニ之ヲ明瞭ニ示スコトヲ要ス此ノ義務ノ制裁ハ保護ノ要求セララルル國ノ法律ニ依リテ之ヲ定ム

(三) 本條約ノ保護ハ時事ノ記事又ハ單ニ新聞紙雜誌ノ報道ニ過キサル雜報ニハ之ヲ適用セズ

第十條 教科用ニ供シ若ハ學術的ノ性質ヲ有スル刊行物ノ爲又ハ節用編輯ノ爲ニ文學的又ハ美術的著作物ヲ適法ニ引用スルノ權能ニ關シテハ同盟國ノ法律及同盟國間ニ現存シ又ハ將來締結スヘキ特別ノ取極ノ定マル所ニ依ル

第十一條 (一) 本條約ノ規定ハ公ニシタルモノト否ト問ハス演劇脚本又ハ樂譜入演劇脚本ノ公ノ上演及音樂的著作物ノ公ノ演奏ニ之ヲ適用ス

(二) 演劇脚本又ハ樂譜入演劇脚本ノ著作人ハ原著物ニ關スル其ノ權利ノ存續期間内ハ其ノ翻譯物ノ許諾ナキ公ノ上演ニ對シテ保護セララルモノトス

(三) 本條ノ保護ヲ享有スルカ爲ニ著作人ハ其ノ著作物ヲ公ニスルニ際シ其ノ公ノ上演又ハ公ノ演奏ヲ禁止スルコトヲ要セス

第十一條ノ二

(一) 文學的及美術的著作物ノ著作人ハ其ノ著作物ヲ無線放送ニ依リテ公衆ニ傳フルコトヲ許可スルノ特權ヲ享有ス

(二) 前項ニ掲クル權利ヲ行使スルノ條件ハ同盟國ノ國內法ノ規定スル所ニ依ル但シ右條件ハ之ヲ規定セル國ニ於テノミ效力ヲ有スヘシ右條件ハ如何ナル場合ニ於テモ著作人ノ人格權ヲモ又協議調ハサル場合ニ於テ權限アル機關ノ定ムル公正ナル補償ヲ受クル著作人ノ權利ヲモ害スルコトヲ得サルヘシ

第十二條

續案、編曲及小説、讀物又ハ詩歌ト演劇脚本トノ相互ノ變作等ノ如キ文學的又ハ美術的著作物ノ許諾ナキ間接ノ轉用カ同一ノ形態又ハ他ノ形態ニ於ケル右著作物ノ複製ニシテ主要ナラサル變更、増補又ハ省略ヲ爲シ且新ナル原著物タル性質ヲ具有セサルモノニ過キサルトキハ本條約ヲ適用スヘキ不法複製中ニ之ヲ特ニ包含スルモノトス

第十三條

(一) 音樂的著作物ノ著作人ハ左ノ事項ヲ許諾スルノ特權ヲ有ス

一、音樂的著作物ヲ機械的ニ複製スルノ用ニ供スル機器ニ右著作物ヲ寫調スルコト

二、前號ノ機器ヲ以テ右著作物ヲ公ニ演奏スルコト

(二) 本條ノ適用ニ關スル留保及條件ハ各國ニ關スル限リ其

ノ國ノ國內法ヲ以テ之ヲ定ムルコトヲ得ヘシ但シ此ノ種ノ留保及條件ハ之ヲ規定セル國ニ於テノミ效力ヲ有スヘシ

(三) 第一項ノ規定ハ溯及效ヲ有セス從テ同盟ノ一國ニ於テハ千九百八年十一月十三日「ベルリン」ニ於テ署名セラレタル條約ノ實施前又同日以後ニ同盟ニ加盟シ又ハ將來加盟スルコトアルヘキ國ニ付テハ其ノ加盟ノ前日其ノ國ニ於テ適法ニ機械的器具ニ寫調セラレタル著作物ニハ之ヲ適用セズ

(四) 本條第二項及第三項ニ基キ作成セラレタル寫調ニシテ右寫調カ適法ニ非サル國ニ利害關係人ノ許諾ナクシテ輸入セラレタルモノハ其ノ國ニ於テ之ヲ差押フルコトヲ得ヘシ

第十四條

(一) 文學的、學術的又ハ美術的著作物ノ著作人ハ其ノ著作物ノ活動寫眞術ニ依ル複製續案及公ノ上映ヲ許諾スルノ特權ヲ會ス

(二) 活動寫眞的製作物ハ著作人カ著作物ニ獨創的性質ヲ與ヘタルトキハ文學的又ハ美術的著作物トシテ保護セララル若シ此ノ性質ヲ缺クトキハ活動寫眞的製作物ハ寫眞的著作物ノ保護ヲ享有ス

(三) 活動寫眞的著作物ハ複製又ハ翻案セラレタル著作物ノ著作人ノ權利ヲ害セサル範圍内ニ於テ一ノ原著物トシテ保護セララルヘキモノトス

(四) 前諸規定ハ活動寫眞術ト類似ノ他ノ一切ノ方法ヲ以テ作リタル複製物又ハ製作物ニ之ヲ適用ス

第十五條

(一) 本條約ニ依リ保護セララル著作物ノ著作人カ反對ノ證據アル迄眞正ノ著作人ト看做サレ從テ同盟ノ諸國ノ裁判所ニ於テ僞作者ニ對シテ訴訟ノ提起ヲ許容セララルカ爲ニハ其ノ名カ通例ノ方法ニ依リ其ノ著作物ニ表示セララルヲ以テ足ル

(二) 無名又ハ變名著作物ニ關シテハ發行者ニシテ其ノ名カ著作物ニ表示セラレタルモノニ於テ著作人ニ屬スル權利ヲ保全スルノ權能ヲ有ス右發行者ハ他ノ證據ヲ要セシテ無名又ハ變名著作物ノ承繼人ト認メラルヘキモノトス

第十六條

(一) 一切ノ僞作物ハ原著物カ法律上ノ保護ヲ享有スル同盟國ノ權限アル機關ニ於テ之ヲ差押フルコトヲ得

(二) 右同盟國ニ於テハ著作物カ保護セラレサルカ又ハ保護ノ止ミタル區ヨリ來ル複製物ヲモ差押フルコトヲ得

(三) 差押ハ各國ノ國內法ニ從ヒ之ヲ行フ

第十七條

本條約ノ規定ハ一切ノ著作物又ハ製作物ノ頒布、上演、展覽ヲ國內ノ立法又ハ警察上ノ措置ニ依リ許可シ、取締リ、禁止スルノ同盟各國ノ政府ニ屬スル權利ヲ何等害スルコトナシ該權利ハ權限アル機關之ヲ行使スヘシ

第十八條

(一) 本條約ハ本條約實施ノ際其ノ本國ニ於テ保護

ノ期間ノ滿了ニ依リ既ニ公有ニ屬シタルモノニ非サル一切ノ著作物ニ之ヲ適用ス

(二) 尤モ著作物カ從前認メラレタル保護ノ期間ノ滿了ニ依リ保護ノ要求セラルル國ニ於テ公有ニ屬シタルトキハ其ノ著作物ハ其ノ作ニ於テ新ニ保護セラレサルヘシ

(三) 右原則ノ適用ハ之ニ關シ同盟國間ニ現存シ又ハ將來締結スヘキ特別條約ノ規定ニ從フヘキモノトス此ノ種ノ規定ノ存在セサルトキハ各作ハ各自作ニ關シ右原則ノ適用ニ關スル方法ヲ定ムヘシ

(四) 前諸規定ハ同盟ニ新ニ加盟アリタル場合及保護カ第七條ノ適用又ハ留保ノ拋棄ニ依リ擴張セラルヘキ場合ニモ亦之ヲ適用ス

第十九條 本條約ノ規定ハ同盟ノ一國ノ法律ニ依リ一般ニ外國人ノ爲ニ定メラルヘキ一層寬大ナル規定ノ適用ヲ求ムルコトヲ妨ケス

第二十條 同盟國政府ハ特別ノ取極カ同盟ニ依リ付與セラレタル權利ヨリ廣大ナル權利ヲ著作者ニ付與スヘキ限リ又ハ本條約ニ牴觸セサル他ノ規定ヲ包含スヘキ限リ各國相互間ニ右取極ヲ締結スルノ權利ヲ留保ス現存ノ取極ノ規定ニシテ右條件ニ合致スルモノハ引續キ適用アルモノトス

第二十一條 (一) 「文學的及美術的著作物保護國際同盟事務

局」ナル名稱ノ下ニ設立セラレタル國際事務局ハ之ヲ維持ス

(二) 右事務局ハ瑞西聯邦政府ノ管理ノ下ニ之ヲ置ク瑞西聯邦政府ハ其ノ組織ヲ定メ且其ノ事務ヲ監督ス

(三) 事務局ノ公用語ハ佛蘭西語トス

第二十二條 (一) 國際事務局ハ文學的及美術的著作物ニ付テノ著作物ノ權利ノ保護ニ關スル各種ノ報告ヲ蒐集シ之ヲ編纂發行ス事務局ハ同盟共同ノ利益ニ關スル事項ヲ講究シ且諸政府ヨリ受領シタル書類ニ依リ同盟ノ目的ニ關スル諸問題ニ付佛蘭西語ヲ以テ定期刊行物ヲ編纂ス同盟國政府ハ經驗上必要ト認メラルヘキ場合ニ於テハ合意ヲ以テ事務局カ一又ハ二以上ノ他ノ國語ヲ以テ別版ヲ發行スルコトヲ許諾スルノ權利ヲ留保ス

(二) 國際事務局ハ文學的及美術的著作物ノ保護ニ關スル問題ニ付何時ニテモ同盟國ノ請求ニ應ジ其ノ必要トスルコトアルヘキ特殊報告ヲ與フルコトヲ要ス

(三) 國際事務局長ハ其ノ所管事務ニ付年報ヲ作成シ之ヲ一切ノ同盟國ニ送付ス

第二十三條 (一) 國際事務局ノ經費ハ同盟國共同シテ之ヲ負擔ス右經費ハ新ナル議定アル迄ハ年額十二萬瑞西「フラン」ヲ超過スルコトヲ得サルヘシ右額ハ必要ナル場合ニ於テハ

第二十四條ニ掲グル會議ノ一ノ全會一致ノ決議ニ依リ之ヲ增加スルコトヲ得ヘシ

(一) 右經費總額ニ對シ各國ノ釀出割合ヲ定ムル爲同盟國及將來同盟ニ加入スル國ヲ六等ニ區分シ各等ノ釀出スヘキ單位ノ箇數ノ比例ヲ定ムルコト左ノ如シ

- 第一等 二十五單位
- 第二等 二十單位
- 第三等 十五單位
- 第四等 十單位
- 第五等 五單位
- 第六等 三單位

(三) 右系數ニ各等ノ國數ヲ乘シ之ニ依リ得タル積ノ和ヲ單位數トシ之ヲ以テ費用總額ヲ除スヘシ其ノ商ハ一單位ノ費用額ヲ示スモノトス

(四) 各國ハ其ノ加盟ノ際前記等級中其ノ列セラレンコトヲ求ムルモノヲ聲明スヘシ尤モ爾後何時ニテモ他ノ等級ニ列セラレンコトヲ欲スル旨ヲ聲明スルコトヲ得ヘシ

(五) 瑞西國政府ハ事務局ノ豫算ヲ調製シ及其ノ支出ヲ監督シ必要ナル立替ヲ爲シ並ニ他ノ一切ノ同盟國政府ニ送付スヘキ毎年度ノ出納計算書ヲ作成ス

第二十四條 (一) 本條約ハ同盟制度ヲ完全ナラシムヘキ改良

ヲ加ヘンカ爲之ニ改正ヲ加フルコトヲ得

(二) 右ノ如キ問題及其ノ他ノ點ニ付同盟ノ發達ニ關係アル問題ハ同盟國ニ於テ順次開設スヘキ會議ニ於テ該同盟國ノ委員之ヲ審議ス會議ヲ開設スヘキ國ノ政府ハ國際事務局ノ協力ヲ得テ會議ノ準備ヲ爲ス事務局長ハ會議ノ議事ニ列席シ且討論ニ參加スト雖モ議決ニ加ハラズ

(三) 本條約ノ如何ナル變更モ同盟ヲ組成スル各國一致ノ合意ヲ得ルニ非サレハ同盟ニ對シテ效力ナキモノトス

第二十五條 (一) 同盟ニ屬セサル國ニシテ本條約ノ目的トスル權利ノ法律上ノ保護ヲ確保スルモノハ其ノ請求ニ依リ加盟スルコトヲ得

(二) 右加盟ハ書面ヲ以テ瑞西聯邦政府ニ之ヲ通告スヘク該政府ハ之ヲ他ノ同盟國ニ通告スヘシ

(三) 右加盟ハ當然本條約ニ規定セル一切ノ條款ヘノ加入及本條約ニ規定セル一切ノ利益ノ享受ヲ伴ヒ且瑞西聯邦政府カ他ノ同盟國ニ通告シタル後一月ニシテ其ノ效力ヲ生スヘシ但シ加入スル國ニ依リ後ノ日カ指定セラレタルトキハ此ノ限ニ在ラス尤モ右同盟ヘ加入スル國カ少クトモ一時翻譯ニ關シ第八條ニ代フルニ千八百九十六年「パリ」ニ於テ改正セラレタル千八百八十六年ノ同盟條約第五條ノ規定ヲ以テスルコトヲ欲スル旨ノ表示ヲ包含スルコトヲ得ヘシ該規

定ハ當該國ノ一又ハ二以上ノ國語ヲ翻譯スル場合ノミニ關
スルモノト當然了解ス

第二十六條 (一) 同盟各國ハ本條約カ其ノ殖民地保護領委任
統治地域其ノ主權若ハ權力ノ下ニ在ル他ノ一切ノ地域又ハ
宗主權ノ下ニ在ル一切ノ地域ノ全部又ハ一部ニ適用セラル
ル旨ヲ瑞西聯邦政府ニ何時ニテモ書面ヲ以テ通告スルコト
ヲ得ヘク之ニ依リ本條約ハ通告中ニ掲ケラレタル一切ノ地
域ニ適用セラルヘシ右通告ナキトキハ本條約ハ右地域ニ適
用セラレサルヘシ

(二) 同盟各國ハ本條約カ前項ニ定ムル通告ノ目的ト爲リタ
ル地域ノ全部又ハ一部ニ對シ適用セラレサルニ至ル旨ヲ瑞
西聯邦政府ニ何時ニテモ書面ヲ以テ通告スルコトヲ得ヘク
本條約ハ瑞西聯邦政府ニ宛テラレタル通告ノ受領後十二月
ニシテ右通告中ニ掲ケラレタル地域ニ於テ適用セラレサル
ニ至ルヘシ

(三) 本條約第一項及第二項ノ規定ニ從ヒ瑞西聯邦政府ニ對シ
テ爲サレタル一切ノ通告ハ之ヲ該政府ヨリ一切ノ同盟國ニ
通知スヘシ

第二十七條 (一) 本條約ハ同盟國相互ノ關係ニ於テハ千八百
八十六年九月九日ノ「ベルヌ」條約及順次之ヲ改正シタル諸
條規ニ代ルヘシ從前實施セラレタル諸條規ハ本條約ヲ批准

ノミ加入スルコトヲ得ヘシ

第二十九條 (一) 本條約ハ其ノ廢棄ノ通告ヲ爲サレタル日ヨ
リ一年ヲ經過スル迄ハ無期限ニ引續キ實施セララルヘシ

(二) 右廢棄ノ通告ハ瑞西聯邦政府ニ之ヲ爲スヘシ右廢棄ノ
通告ハ之ヲ爲シタル國ニ對シテノミ其ノ效力ヲ生スヘク本
條約ハ同盟ノ國ノ諸國ニ對シテハ其效力ヲ存續スルモノト
ス

第三十條 (一) 本條約第七條第一項ニ定ムル五十年ノ保護ノ
期間ヲ自國ノ法律ニ採用スル國ハ之ヲ瑞西聯邦政府ニ書面
ヲ以テ通告スヘク該政府ハ直ニ之ヲ同盟ノ他ノ一切ノ諸國
ニ通告スヘシ

(二) 第二十五條及第二十七條ニ依リ爲シ又ハ維持シタル留
保ヲ拋棄スル國ニ付亦前項ニ同シ

右證據トシテ各全權委員ハ本條約ニ署名セリ

千九百二十八年六月二日「ローマ」ニ於テ本書一通ヲ作成シ之
ヲ伊太利王國政府ノ記錄ニ記託スヘシ

認證謄本一通ヲ外交上ノ手續ニ依リ同盟各國ニ送付セララルヘシ

(各國委員氏名省略)

セサルヘキ國トノ關係ニ於テハ其ノ適用ヲ保持スヘシ
(二) 本條約ニ署名シタル國ハ從前爲シタル留保ノ利益ヲ引
續キ保持スルコトヲ得ヘシ但シ批准書寄託ノ際其ノ旨ノ宣
言ヲ爲スコトヲ條件トス

(三) 現ニ同盟ニ屬スル國ニシテ本條約ニ署名セサルヘキモ
ノハ何時ニテモ本條約ニ加入スルコトヲ得ヘシ此ノ場合ニ
於テハ該國ハ前項ノ規定ノ利益ヲ享有スルコトヲ得ヘシ
第二十八條 (一) 條約ハ批准セララルヘク其ノ批准書ハ遅ク
モ千九百三十一年七月一日迄ニローマニ於テ寄託セララルヘ
シ

(二) 本條約ハ之ヲ批准シタル同盟國間ニ於テハ右期日後一
月ニシテ實施セララルヘシ
但シ右期日前ニ於テ本條約カ少クトモ同盟ノ六國ニ依リ批
准セラレタルトキハ本條約ハ右同盟國ニ於テハ第六ノ批准
書ノ寄託カ瑞西聯邦政府ニ依リテ右同盟國ニ通告セラレタ
ル後一月ニシテ及爾後批准スヘキ同盟國ニ對シテハ各其ノ
批准ノ通告後一月ニシテ實施セララルヘシ

(三) 同盟ニ屬セサル國ハ千九百三十一年八月一日迄ハ千九
百八十八年十一月十三日「ベルリン」ニ於テ署名セラレタル條約
又ハ本條約ニ加入スルコトニ依リテ同盟ニ加入スルコトヲ
得ヘシ千九百三十一年八月一日後ニ於テハ該國ハ本條約ニ

第三種郵便認可規則

(明治四十年八月十七日、逓信省令第三十五號、大正八年省令第二十五號改正)

第一條 第三種郵便物ノ認可ヲ受ケムトスル者ハ本規則ノ定ム
ル所ニ依リ發行地所轄ノ逓信局ヘ願出ツヘシ

第二條 第三種郵便物ト爲スヘキ定期刊行物ハ左ノ條件ヲ具備
スルモノニ限ル

- 一 毎月一回以上逐號定期ニ發行スルコト
- 二 記載事項ノ性質終期ヲ豫定スヘカラサルコト
- 三 書籍ノ性質ヲ有セサルコト
- 四 政事、時事、農事、工事、商事、學術、技藝、統計等公
共ノ性質ヲ有スル事項ヲ報道論議スルヲ以テ發行ノ目的ト
爲シ且汎ク公衆ニ發賣スルコト

第三條 本規則ニ依リ認可ヲ受ケムトスル定期刊行物ノ發行人
ハ左ノ事項ヲ記載シタル願書ニ見本二部ヲ添ヘ差出スヘシ

- 一 題號
- 二 記載事項ノ種類
- 三 發行人
- 四 發行所
- 五 發行人ノ住所

六 發行ノ定日

第四條ノ一 本規則ニ依ル認可ノ效力ハ認可ヲ受ケタル號ヨリ發生スルモノトス
最後ノ發行ノ次ノ定日ヨリ起算シ三十日ヲ過キテ發行セサルトキハ其ノ效力ヲ失フ

第四條ノ二 第三種郵便物ノ認可ヲ受ケタル定期刊行物ノ發行人ハ其ノ定期刊行物發行ノ際之ヲ差出スヘキ郵便局(郵便物ノ集配事務ヲ取扱フ局ニ限ル)ヲ豫メ發行地所轄遞信局ニ届出ツヘシ之ヲ變更シタルトキ亦同シ

第五條 第三種郵便物ノ認可ヲ受ケタル定期刊行物ノ發行人ハ其ノ發行毎ニ先ツ發行地所轄ノ遞信局及其ノ指定シタル郵便局ニ見本一部ヲ差出スヘシ

第六條 第三條第一號乃至第三號ノ事項ヲ變更セムトズルトキハ其ノ發行人ヨリ發行地所轄ノ遞信局ニ願出テ其ノ認可ヲ受クヘシ此ノ場合ニ於テ發行人ヲ變更セムトズルトキハ新舊發行人連署スルコト能ハサルトキハ其ノ事由ヲ願書ニ説明スヘシ

第三條第四號乃至第六號ノ事項ヲ變更シタルトキ又ハ廢刊、休刊、發行禁止ノトキハ其發行人ヨリ三日以内ニ發行地所轄ノ遞信局ニ届出ツヘシ
前項ノ場合ニ於テ發行所ヲ他ノ所轄區内ニ移轉セムトズルト

キハ認可ヲ受ケタル遞信局ヲ經由シ移轉先ヲ所轄スル遞信局ニ願出テ其認可ヲ受クヘシ

第七條 第三條第一項及第三項ノ出願人ハ左記ノ割合ニ依リ手数料ヲ納ムヘシ

- 一 新ニ第三種郵便物ノ認可ヲ受ケムトズルトキ又ハ第三條中二事項以上變更ノ認可ヲ受ケムトズルトキハ金拾圓
- 二 第三條中其ノ一事項ニ對シ變更ノ認可ヲ受ケムトズルトキハ金五圓

前項ノ手数料ハ遞信局又ハ管理事務分掌一等局ノ指示ニ從ヒ郵便切手ヲ以テ納付スヘシ

第八條 第三種郵便物ノ認可ヲ受ケタル定期刊行物及其ノ臨時増刊並其ノ發行人左記各號ノ一ニ該當スルトキハ認可ヲ取消スヘシ

- 一 第二條各號ノ條件ヲ缺キタルトキ
- 二 第四條ノ二ノ届出ヲ怠リタルトキ
- 三 第五條見本ノ差出ヲ怠リタルトキ
- 四 第六條ノ手續ヲ怠リタルトキ
- 五 届出ノ事項事實ト相違アルトキ

第九條ノ一 第四條ノ一第二項ニ依リ認可ノ效力ヲ失ヒタルモノ及前條ニ依リ認可ヲ取消サレタルモノ又ハ之ヲ繼承シタリト認メタル定期刊行物ニ對シテハ情狀ニ依リ再ヒ認可ヲ與ヘ

サルコトアルヘシ

第九條ノ二 第三種郵便物ノ認可ヲ受ケサル刊行物ニ第三種郵便物ノ認可ヲ受ケタルコトヲ表示スヘキ文字ヲ印刷シタルトキハ發行人ヲ百圓以内ノ罰金ニ處ス

附 則

第十條 本規則ハ明治四十年九月一日ヨリ之ヲ施行ス

明治三十三年九月遞信省令第七十三號第三種郵便物發行規則ハ本規則施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

第十一條 從來ノ規程ニ依リ現ニ第三種郵便物ノ認可ヲ受ケタル定期刊行物ニシテ本規則ニ抵触セスシテ發行スルモノハ尙其ノ效力ヲ有ス

郵便規則摘要

(明治三十九年九月遞信省令、第四十二號)

第二十條 定期刊行物ハ其ノ刊行物初頁上部ニ其ノ名稱、發行期日、回数、逐號番號、發行年月日何年何月何日第三種郵便物認可ノ文字、次頁以下ハ上部ニ其ノ名稱又ハ略記號、發行年月日及第三種郵便物認可ノ文字ヲ印刷スヘシ但シ冊子トナシタル刊行物ハ最初及最終ノ頁而ノミニ印刷スルコトヲ得

第二十一條 定期刊行物ハ本紙ノ重量ニ超過セス本紙ト同性質

出版關係法規

ノ記事、廣告又ハ書、書圖ヲ印刷シ之ニ本紙ノ名稱、番號、並ニ發行ノ年月日及附録ノ文字ヲ記入シ且冊子ト爲ササルモノニ限り附録トシテ之ヲ本紙ニ添付スルコトヲ得

第三種郵便物ニ關スル願屆書式

第三種郵便物認可願

- 一、題 號
- 二、記載事項ノ種類
- 三、發行人
- 四、發行所々在地並ニ所名
- 五、發行人ノ住所
- 六、發行ノ定日
- 七、差 出 局

右第三種郵便物トシテ郵送ノ儀御許可相成度第 號貳部相添及

御願候

昭和 年 月 日

右 發行人

東京逓信局長

殿

(第一號書式)

(發行所ヲ他ノ逓信局區内ニ移轉スル場合ニ限ル) (當局經由ヲ要ス)

發行所變更願

年 月 日 第三種郵便物認可

舊發行所

新發行所

右之通り 月 日ヨリ變更致候間御認可相成度及御願候

年 月 日

右發行人 氏

名 印

(新發行所所轄逓信局長名)

逓信局長 殿

(第二號書式)

(見本差出) 經由 (朱記)

發行所變更願

年 月 日 第三種郵便物認可

題 號

舊發行所

新發行所

右之通り 月 日ヨリ變更致候

年 月 日

右發行人 氏

名 印

東京逓信局御中

(第三號書式)

(見本差出) 經由 (朱書)

發行所變更願

年 月 日 第三種郵便物認可

第何號

右 月 日發行スヘキ處臨時 月 日ニ變更致候

年 月 日

右發行人 氏

名 印

東京逓信局御中

(發行日臨時變更ハ翌月及次ノ發行日ニ涉ルコトヲ得ズ)

(第四號書式)

(見本差出) 經由 (朱記)

發行人住所變更願

年 月 日 第三種郵便認可

題 號

舊住所

新住所

右之通り 月 日ヨリ變更致候

年 月 日

右發行人 氏

名 印

東京逓信局御中

(第五號書式)

(見本差出) 經由 (朱記)

休刊願

年 月 日 第三種郵便認可

第何號

右 月 日發行スヘキ處休刊致候

年 月 日

右發行人 氏

名 印

東京逓信局御中

(第六號書式)

(見本差出) 經由 (朱記)

第三種郵便物差出所變更願(見本一部添付)

出版關係法規

年 月 日 第三種郵便認可

題 號

舊差出局

新差出局

右ノ通り 月 日ヨリ變更可致候

年 月 日

右發行人 氏

名 印

東京逓信局御中

(第七號書式)

(見本差出) 經由 (朱記)

臨時增刊發行願

年 月 日 第三種郵便認可

題 號

右 月 日第 號臨時增刊トシテ發行致候

年 月 日

右發行人 氏

名 印

東京逓信局御中

(第八號書式)

(見本差出) 經由 (朱記)

發行定日變更屆
年 月 日 第三種郵便物認可
題 號

舊發行定日
新發行定日

右之通り
年 月 日 日發行分ヨリ變更致候

右發行人 氏 名 ㊟

東京逓信局御中

(第九號書式)

(見本差出) 經 由 (朱記)

體裁變更屆

(雜誌體ヨリ新聞體ニ又ハ新聞紙體ヨリ雜誌體ニ變更場合ニ限ル)

年 月 日 第三種郵便物認可

題 號

右刊行物 月 日發行第 號ヨリ見本ノ通り體裁變更致候

年 月 日

右發行人 氏 名 ㊟

東京逓信局御中

各種屆書類ニ關スル注意

- 一 屆書類ハ總テ見本差出局へ差出スコト
- 一 用紙ハ可成半紙ニツ折ヲ用ヒ綴補上必要ニ付兩端一寸程空欄ヲ置クコト

第三種郵便物注意事項

- 一、第三種郵便物ノ認可ヲ受ケタル定期刊行物ヲ其ノ發行定日前ニ郵便ニ差出ス場合ハ其ノ刊行物ニ「何月何日印刷納本」ト印刷シアルモノニシテ其ノ納本日以後ニ差出シタルモノニ限リ第三種郵便物ノ取扱ヲ爲ス
- 二、第三種郵便物認可規則第五條ニ依ル見本ハ必ス發行日前遅クモ發行當日迄ニ當局並ニ指定局ニ差出スコトヲ要ス若シ發行日ノ翌日以後ニ納本セラルルモノニ對シテハ認可規則第八條ヲ適用スル乎又ハ郵便物ノ引受ヲ停止ス
- 三、定期刊行物ハ郵便規則第二十條ニ依ル成規各印刷事項ヲ必ス印刷スヘキコト
- 四、第三種郵便物ノ認可ヲ受ケタル定期刊行物ニシテ其ノ的發行定日ニ至リ發行シ得キル時又ハ定日ニ的發行シ得ラレサルコトニ豫測シ得ヘキ時ハ必ス發行定日臨時變更屆ノ提出ヲ要ス若シ何等ノ届出モナク定日ヨリ遅レテ發行セラルル時ハ認可規則

則ニモ違背セラルルニ付第三種郵便物ノ取扱ヲ爲ササルカ又ハ認可ヲ取消サルル事アルヤモ計リ難キニ付注意セラレタシ

五、第三種郵便物ノ認可ヲ受ケタル定期刊行物及ヒ其ノ臨時増刊ニシテ題號ノ外ニ「何々記念誌」又ハ其ノ他ノ特殊名稱ヲ附スル場合ハ其ノ字格カ本題號ヨリ小ニシテ且ツ其ノ内容ハ平常ノモノト同一種類ノ記事ヲ包含スヘキヲ必要條件トス若シ其ノ名稱カ内容總括的説明ト認メ得サルモノ又ハ其ノ字格カ本題號ヨリ大ナルカ或ハ本題號ノ文字カ明瞭ヲ缺ク字體ヲ以テ表示セルモノハ總テ別種ノモノトシテ取扱フニ付若シ臨時増刊等特殊ノモノヲ發行セラルルトキハ豫メ本條件ヲ具備スル様注意セラレタシ

約束郵便取扱承認規則

(大正十二年二月二十四日逓信省令第二十一條)

- 第一條 約束郵便ノ取扱承認ニ關シテハ本令ノ定ムル所ニ依ル
- 第二條 約束郵便ノ取扱ヲ受ケムトスル者ハ左ノ事項ヲ記載シタル申込書ヲ所轄逓信局長ニ差出シ其ノ承認ヲ受クヘシ
- 一 題號又ハ名移
- 二 約束郵便ト爲スニ依リ郵便料ノ似減ヲ受クヘキモノハ其

出版關係法規

ノ事由

- 三 差出回数(定期日アルモノハ定期日ヲモ記載ヲ要ス)並毎回ノ差出回数、料金ヲ異ニスルモノ(毎ニ)ノ概算高
 - 四 差出郵便官署名無集配三等郵便局ヲ指定スルヲ得ス
 - 五 申込者ノ住所氏名
- 逓信局長ニ於テ必要ト認ムルトキハ前項ノ差出郵便官署名ヲ指定シ又ハ變更セシムルコトアルベシ
- 郵便規則第二十四條ノ一ノ適用ヲ受クル約束郵便ノ承認ヲ受ケムトスルトキハ手数料金十圓ヲ納付ス
- 第三條 本令ニ依リ約束郵便ノ承認ヲ受ケタル後前條第一項各號ノ事項ヲ變更セムトスルトキハ豫メ其ノ旨ヲ所轄逓信局長ニ届出ツヘシ但シ郵便規則第二十四條ノ一ノ適用ヲ受クル約束郵便物ノ題號又ハ申込人ヲ變更セムトスルトキハ一事項ニ付手数料金五圓ヲ納付シ所轄逓信局長ノ承認ヲ受クヘシ
- 第四條 前二條ノ手数料ハ逓信局長ノ指示ニ從ヒ郵便切手ヲ以テ納付スヘシ
- 第五條 約束郵便物ノ差出人ハ約束郵便料後納ノ擔所トシテ所轄逓信局長ノ指示ニ從ヒ通貨又ハ國債ヲ提供スヘシ但シ差出人官公署公共團體、社寺、學校又ハ營利ヲ目的トセサル法人ナルトキハ此ノ限ニ在ラス
- 前項ノ擔保ハ約束郵便差出數ノ異同ニ應シ之ヲ増減セシムル

コトアルヘシ

第六條 差出人約束郵便取扱ノ必要ナキニ至リタルトキ又ハ其ノ差出郵便官署ヲ他ノ遞信局區内ノ郵便官署ニ變更セムトスルトキハ其ノ旨ヲ所轄遞信局長ニ届出ツヘシ
前項ノ届出アリタルトキハ約束郵便ノ取扱承認ハ其ノ效力ヲ失フ

第七條 郵便規則第二十四條ノ一ノ適用ヲ受クル約束郵便物ニシテ引續キ三月以上又ハ最近一年間ニ五月以上同條ニ依ル差出ヲ休止シタルトキハ其ノ承認ヲ取消スヘシ

第八條 約束郵便物ノ差出人左記各號ノ一ニ該當スルトキハ約束郵便ノ承認ヲ取消スコトアルヘシ
一 本令ニ違反シタルトキ
二 約束郵便料ヲ規定ノ期間迄ニ納付セサルトキ

第九條 前二條ニ依リ約束郵便ノ承認ヲ取消シタルモノニ對シテハ其ノ情狀ニ依リ再ヒ約束郵便ノ承認ヲ與ヘサルコトアルヘシ

第十條 本令ニ依リ所轄遞信局長ニ提出スヘキ書類ハ總テ約束郵便物差出郵便官署ヲ經由スヘシ但シ遞信局ト差出郵便官署ト同一行政區内ニ在ル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第十一條 第六條乃至第八條ニ依リ約束郵便ノ取扱承認ノ效力ヲ失ヒタルトキハ第五條ニ依ル擔保ハ之ヲ差出人ニ還付ス但

シ料金ノ滞納アルトキハ該擔保(國債ヲ擔保トナシタルモノナルトキハ之ヲ賣却シ其ノ金額ヨリ賣却費用ヲ引去リタル殘額)ヲ未納料金ニ充テ過剩額ハ之ヲ還付シ不足額ハ之ヲ追徴ス

附則

本令ハ大正十二年三月一日ヨリ之ヲ施行ス
約束郵便取扱規則ハ之ヲ廢止ス
約束郵便取扱規則ニ依リ承認ヲ受ケタル約束郵便物ハ本令ニ依リ承認ヲ受ケタルモノト看做ス

郵便規則摘載

(明治三十三年九月遞信省令 第四十二號)

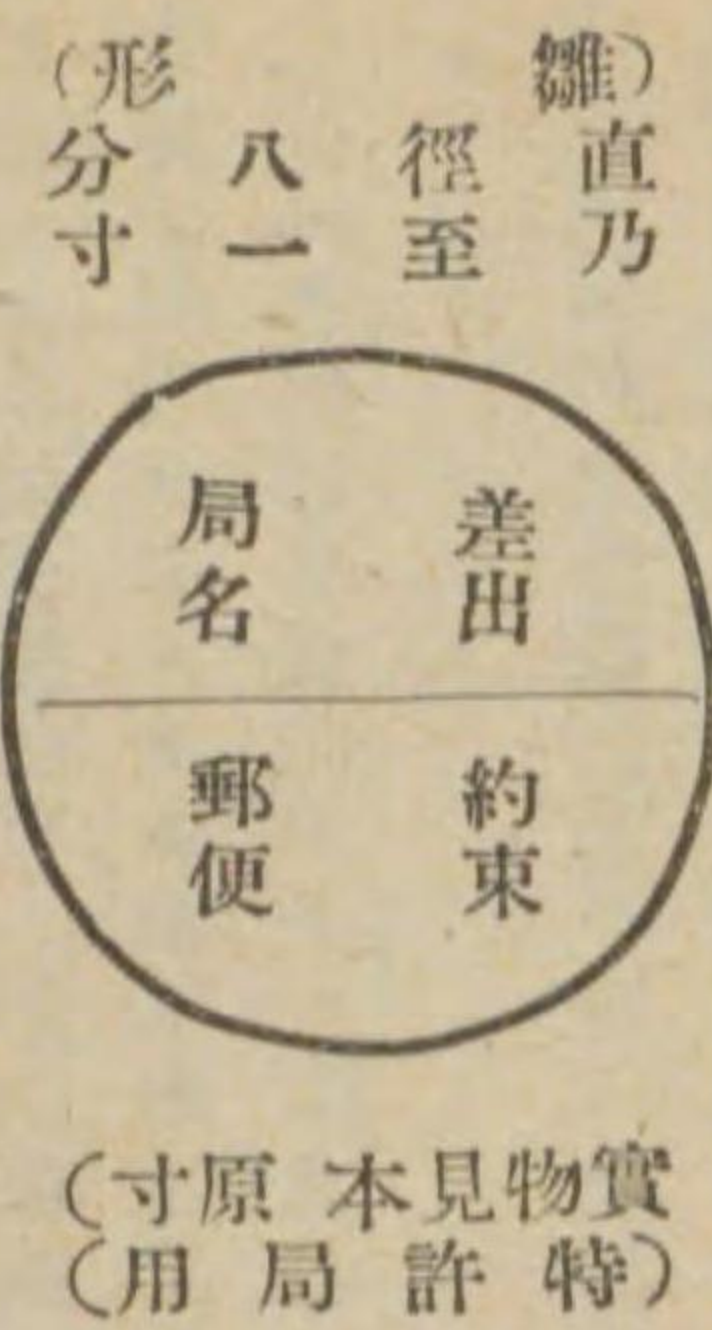
第二十四條ノ一 第三種郵便物ニ非サル印刷物ニシテ毎月一回以上繼續刊行シ且發行ノ都度其ノ當月又ハ其ノ翌日中ニ一月ノ發行ニ付百通以上差出スモノハ約束郵便トシテ特ニ承認シタル場合ニ限り其ノ料金ヲ前條ニ該當スルモノハ重量五十匁又ハ其ノ端數每ニ其ノ他ノモノハ重量三十匁又ハ其ノ端數每ニ金二錢トス第二十三條第二項ノ規定ハ前項ノ印刷物ニ之ヲ準用ス

第六十四條ノ一 定期刊行物、書籍及印刷物ハ別ニ定ムル所ニ依リ所轄遞信局長ノ承認ヲ受ケ約束郵便ト爲スコトヲ得

第六十四條ノ二 約束郵便物ハ通知ヲ要セサル留置ト爲スノ外他ノ特殊取扱ト爲スコトヲ得ス

第六十四條ノ三 約束郵便ニハ日附印ヲ押捺セス

第六十四條ノ四 約束郵便物ニハ切手ヲ貼付セス差出人ニ於テ左記雛形ノ印章ヲ押捺スヘシ



實物見本(寸原局用) 特許

前項郵便物ノ料金ハ毎月分ヲ翌月二十日迄ニ所轄遞信局長ノ指示ニ從ヒ通貨ヲ以テ之ヲ納付スヘシ

第六十四條ノ五 約束郵便物ハ特殊ノ包裝ヲ要スルモノノ外強質ナル白又ハ淡色ノ紙ヲ以テ包裝シ帶紙ヲ用フルトキハ其ノ幅二寸以上トシ宛所ハ成ルヘク左ノ例ニ依リ明瞭ニ縦書スヘシ

何(府)何々(配達郵便局區内)
何(縣)何々(郵便局名)
何(町)字何々番地
何(村)字何々番地
某

第六十四條ノ六 約束郵便物ハ郵便官署ノ指示ニ從ヒ其ノ題號又ハ名稱及箇數等ヲ記載シタル郵送票ヲ添ヘ之ヲ豫メ承認ヲ受ケタル郵便官署ニ差出スヘシ

約束郵便ニ關スル注意

- 一、約束郵便ノ申込ヲナサムトスル者ハ申込書(第一號雛形)擔保提供書(第二號雛形)及見本一部ヲ差出スヘシ
- 二、約束郵便取扱承認規則(以下取扱承認規則ト稱ス)第五條ノ擔保額ハ當該郵便物一箇月分郵送料ノ倍額以上トシ其ノ種類ハ現金又ハ國債ニ限ル且ツ國債ノ價格ハ額面ニ依ル
- 三、國債ハ擔保提供書(第二號雛形)ニ種類、額面、記號番號枚數及附屬利札等洩レナク記載スヘシ
- 四、題號又ハ名稱、差出個數、差出局、申込人又ハ其住所ヲ變更セムトスル時ハ第三號雛形ノ届書又ハ願書ヲ差出スヘシ
- 五、差出個數増加ノ場合ハ前號届書ニ不足額ニ相當スル擔保金

額ヲ記載シタル擔保提供書(第二號雛形)ヲ添付スヘシ差出
 個數減少ノ場合ニアリテハ届書餘白ニ還付ヲ受クヘキ擔保ノ
 種類ヲ附記スヘシ此記載ナキトキハ當局ニ於テ便宜査定スヘ
 シ

六、申込人ノ變更ハ願書(第三號乙雛形)ニ新舊申込人連書ス
 ヘシ舊申込人ノ連書ヲ得サルトキハ變更ノ事實ヲ證明スルニ
 足ルヘキ書類ヲ添付スヘシ

新申込人ニ於テ舊申込人ノ提供セル擔保ヲ繼承セムトスルト
 キハ届書ニ其旨ヲ記載シ之ニ領收證書又ハ受領證書ヲ添付ス
 ヘシ又新ニ擔保ヲ提供スルモノニアリテハ必要ナル擔保金額
 ヲ記載シタル擔保提供書(第二號雛形)ヲ添付スヘシ

七、擔保ノ組替ヲセムトスルトキハ還付ヲ受クヘキ擔保及ヒ之
 ニ代ルヘキ擔保ヲ詳記シタル請求書(第四號雛形)ヲ差出ス
 ヘシ

八、申込人ニ於テ手数料又ハ擔保ノ納付ノ通告ヲ受ケタルトキ
 ハ遲滞ナク指定ノ箇所ニ納入スヘシ

九、手数料ハ當局又ハ差出局へ納入スルモノトス此ノ場合ハ承
 認書交付ヲ以テ手数料領收ノ證トス

十、擔保ハ現金ハ郵便局ニ納入シ證券ハ日本銀行ニ寄託シタル
 上其受領證書ヲ當局又ハ差出局ニ差出スモノトス納付人ハ
 以上孰レノ場合ニ於テモ領收證書又ハ受領證書ヲ取置クヘ
 シ

シ

十一、手数料及擔擔ヲ納入セサル間ハ願出ニ相當スル約束郵便
 ノ取扱ヲナサス

十二、申込人ハ取扱承認規則第六條ノ郵送票用紙ヲ第五號雛形
 ニ依リ調製スヘシ但シ同票ハ複寫紙ニヨリ二通ヲ作成シ内一
 通ハ差出人ニ於テ保管シ置クヲ便宜トス

十三、約束郵便ヲ取消サムトスルモノハ第六號雛形ニヨリ其届
 書ヲ差出スヘシ

十四、擔保ノ還付ハ當局ヨリ之ヲ納付人ニ通知ス但拂渡ハ左記
 方法ニヨリ取扱フ

一、現金ハ指定郵便局ニ於テ拂渡ヲ爲ス

二、證券ハ當局ニ於テ受領證書ニ拂渡ノ事由ヲ證明シテ交付
 ス

前項ニ依リ現金ノ拂渡又ハ受領證書ノ交付ヲ受ケムトスルト
 キハ領收證書又ハ受領證書相當欄ニ受領證印ノ上之ヲ差出ス
 ヘシ

十五、證券利札受領ノ爲メ印鑑證明ヲ必要トスルトキハ願書
 第七號雛形ヲ差出スヘシ

十六、約束郵便ニ關スル印鑑ハ常ニ一定シ置クコトヲ要ス改印
 シタルトキハ保證人ヲ立テ速ニ届出ツヘシ

十七、外國へハ約束郵便トシテ差出スコトヲ得ス

約束郵便ニ關スル願届書式

約束郵便承認願

- 一、題號又ハ名稱
 - 二、約束郵便ト爲スニヨリ郵便料 條ノ適用ヲ受ク
低減ヲ受クベキモノハ其事由
 - 三、差出回数(定期日アルモノ) 一ヶ月 回 日
 - 四、毎回差出個數(概算高) 毎以内 個
 - 五、申込人住所氏名
 - 六、差出郵便官署名
- 右約束郵便トシテ郵送方承認相成度別紙擔保提供書並ニ郵便物
 見本壹部相添及御願候

昭和 年 月 日

右

東京都市遞信局長殿

高額ノ郵便切手ヲ使用セラレタシ

手数料ハ必
 ス此欄内ニ
 貼用セラレ
 タシ

(第二號雛形)

約束郵便擔保提供書

出版關係法規

一金壹百圓也

現金

又ハ

一第四分和公債證書額面壹百圓也

內 譯

百圓券ハ號五〇〇三壹枚 但昭和十年十二月(券面記載年月)

渡以降利札附屬

右東京商報ノ約束郵便擔保トシテ提供ス

年 月 日

日本橋區蠣殼町壹番地

甲 野 太 郎

殿

東京遞信局長

(第三號甲雛形)

變更 届

年 月 日 第三種郵便物認可

題 號

一、題 號 新 舊

一、記載事項 新 舊

一、發行人 新 舊

右之通り 變更認可相成度此段及御願候也

昭和 年 月 日

□長柄通俗圖書館 大坂府 三島郡
□閑藏寮圖書館 如是大村

神奈川縣

○金澤文庫 神奈川縣金澤町
△橫濱市圖書館 橫濱市
□弘明寺圖書館 同

兵庫縣

△神戸市立圖書館 神戸市
△西宮市立圖書館 西宮市
△尼崎市立圖書館 尼崎市
×洲本町立圖書館 兵庫縣洲本町
×龍野町立圖書館 同 龍野町
□姫路圖書館 姫路市
□有馬會附屬圖書館 兵庫縣三田町
□松柏圖書館 同 柏原町
□多紀郡教育會圖書館 同 篠山町
□正福寺圖書館 同 温泉町

長崎縣

○長崎圖書館 長崎市
□故沖禎介記念圖書館 長崎縣平戶町

新潟縣

○明治新潟縣立圖書館 新潟市
△沼垂圖書館 同
△大正記念長岡市立圖書館 長岡市
△高田圖書館 高田市
×三條圖書館 新潟縣三條町
×新發田町立圖書館 同 新發田町
×白根圖書館 同 白根町
×新井町圖書館 同 新井町
×新穂圖書館 同 新穂村
×圖書館 同 北浦原郡黒川村
□卷三光圖書館 同 卷町
□刈羽圖書館 同 柏崎町
□間瀬佛教圖書館 同 西浦原郡間瀬村
□村松町教育會圖書館 同 村松町
□養徳文庫 加茂町
□聖明佛教圖書館 同 燕町

□寺泊通俗圖書館 新潟縣寺泊町
□中頸城郡津有村 同 中頸城郡津有村
□戶野目通俗圖書館 同 有村

埼玉縣

○埼玉圖書館 埼玉縣浦和町
△川越圖書館 川越市
×熊谷町立圖書館 埼玉縣熊谷町
×入間川町立圖書館 同 入間川町
×安行村立圖書館 同 北足立郡安行村

群馬縣

△前橋市立圖書館 前橋市
△高崎圖書館 高崎市
×伊勢崎圖書館 群馬縣伊勢崎町
×太田町立金山圖書館 同 太田町
□秋元文庫 同 館林町

千葉縣

○御成婚記念千葉縣圖書館 千葉市
×大多喜圖書館 千葉縣大多喜村
×天賞文庫 同

×八生村圖書館 千葉縣印旛郡八生村
□成田圖書館 同 成田町
□米本圖書館 同 香取郡久賀村
□公正圖書館 同 銚子町
□養徳文庫 同 東金町
□克復圖書館 同 府馬町

茨城縣

○茨城縣立圖書館 水戸市

栃木縣

△足利學校遺蹟圖書館 足利市
×鹿沼町圖書館 栃木縣鹿沼町
×葛生圖書館 同 葛生町
□下野教育會附設圖書館 宇都宮市
□二宮文庫 同
□記念圖書館 栃木縣栃木町

奈良縣

○奈良圖書館 奈良市
×三輪町立圖書館 奈良縣三輪町

□天理外國語學校附屬圖書館 奈良縣丹波市
□天理圖書館 同
□東大寺圖書館 奈良市

三重縣

△四日市市立圖書館 四日市市
△神都圖書館 宇治山田市
×村立鶴方圖書館 三重縣志摩郡鶴方村
□上野圖書館 同 上野町
□松阪町記念圖書館 同 松阪町
□河曲同窓會附屬圖書館 同 神戸町
□天白村教育會附屬圖書館 同 志保天白村
□一志郡教育會附屬圖書館 同 久居町
□白鳳圖書館 同 上野町
□昭和圖書館 同 菟野町
□朝田私立教育會附屬圖書館 同 阿山郡朝田村

愛知縣

△名古屋圖書館 名古屋市
△豐橋市立圖書館 豐橋市
△岡崎圖書館 岡崎市

×津島町圖書館 愛知縣津島町
×半田圖書館 同 半田町
×新川文庫 同 新川町
×橫須賀圖書館 同 橫須賀町
□名古屋公衆圖書館 名古屋市
□葵簡易圖書館 同
□八重簡易圖書館 同
□瀧文庫 愛知縣古知野町

静岡縣

○静岡縣立葵文庫 静岡市
△濱松市立圖書館 濱松市
△沼津文庫 沼津市

山梨縣

○山梨縣立圖書館 甲府市
□南塘文庫 同
□甲府通俗圖書館 同

滋賀縣

×彦根圖書館 滋賀縣彦根町

×水口圖書館 滋賀縣水口町
 ×金田村圖書館 同蒲生郡金田村
 □大津市教育會附屬 大津市
 □私立大津圖書館
 □叡山文庫 滋賀縣滋賀郡坂本村
 □下郷共濟會文庫 同長濱町
 □淡海圖書館 同伊香郡七郷村
 □蒲生郡教育會 同八幡町
 □八幡文庫 同犬上郡豐郷村
 □豐郷濟美會圖書館

岐阜縣
 △大垣市圖書館 大垣市
 □岐阜縣教育會圖書館 岐阜市
 □岐阜簡易圖書館 岐阜市外加納町
 □岐阜簡易圖書館分館 岐阜市

長野縣
 ○長野圖書館 長野市
 △松本圖書館 松本市
 △上田市立圖書館 上田市
 ×飯田圖書館 長野縣飯田町

×小布施記念圖書館 長野縣上高井郡小布施村
 ×千代圖書館 同下伊那郡千代村
 ×朝日圖書館 同東筑摩郡朝日村
 ×高遠進德圖書館 同高遠町
 ×瑞穂圖書館 同下高井郡瑞穂村
 □須坂町青年會圖書館 同須坂町
 □生坂圖書館 同東筑摩郡生坂村

宮城縣
 ○宮城縣圖書館 仙台市
 ×石卷圖書館 宮城縣石卷町
 □石越記念圖書館 同登米郡石越村

福島縣
 ○福島縣立圖書館 福島市
 △會津圖書館 福島縣若松市
 ×須賀川圖書館 同須賀川町
 ×喜多方通俗圖書館 同喜多方町
 □郡山金透圖書館 郡山市
 □渡邊圖書館 福島縣田村郡大越村
 □星野圖書館 同若松市

岩手縣
 ○岩手縣立圖書館 盛岡市
 一關町立圖書館 岩手縣一關町
 □水澤圖書館 同水澤町

青森縣
 ○青森縣立圖書館 青森市
 △八戶市立圖書館 八戶市
 △弘前圖書館 弘前市
 ×七戶町立圖書館 青森縣七戶町
 □行啓青森通俗圖書館 青森市
 □新渡戸文庫 青森縣三本木町

山形縣
 ○行啓山形縣立圖書館 山形市
 △鶴岡市立圖書館 鶴岡市
 ×新庄圖書館 山形縣新庄町
 ×大禮記念谷地圖書館 同谷地町
 ×上山町立圖書館 同上山町
 & 荒砥圖書館 同荒砥町
 □光丘文庫 同酒田町

廣島縣
 △吳市立圖書館 吳市
 △尾道圖書館 尾道市
 ×圖書館竹原書院 廣島縣竹原町
 ×三良坂町立圖書館 同三良坂町
 ×松永圖書館 同松永町
 □淺野圖書館 廣島市
 □義倉圖書館 廣島市
 □和庄圖書館 廣島市
 □山口縣立圖書館 廣島市

山口縣
 ○山口圖書館 山口市
 ○萩圖書館 山口市
 △良城文庫 山口市
 ×萩町立明倫圖書館 山口縣萩町
 ×岩國圖書館 同岩國町
 ×華南圖書館 同中關町
 ×長府圖書館 同長府町
 ×上關圖書館 同熊毛郡上關村
 ×平川圖書館 同吉敷郡平川村

×明木圖書館 山口縣阿武郡明木村
 ×三丘圖書館 同熊毛郡三丘村
 ×福川圖書館 同福川町
 ×小野圖書館 同佐波郡小野村
 □兒玉文庫 同德山町
 □總本家大塚親補圖書館 同岩國町
 □岡村文庫 同豐浦郡神玉村
 □含章婦人文庫 山口市
 □縣社松崎神社附屬松崎文庫 山口縣防府町

和歌山縣
 ○和歌山縣立圖書館 和歌山市
 ×田邊町立圖書館 和歌山縣田邊町
 ×御坊圖書館 同御坊町
 ×湯淺町立圖書館 同湯淺町

德島縣
 ○光慶圖書館 德島市
 □吳郷文庫 德島縣麻植郡西尾村
 □德島縣立三好高等女學校內婦人圖書館 同辻町

□愛日文庫 德島市

香川縣
 ×明德會圖書館 香川縣多度津町
 □香川縣教育會圖書館 高松市
 □鎌田共濟會圖書館 香川縣坂出町
 □金刀比羅宮圖書館 同琴平町
 □藤村圖書館 同豐濱町
 □丸龜市圖書館 丸龜市

愛媛縣
 △明德圖書館 今治市
 ×三津濱圖書館 愛媛縣三津濱町
 ×新居濱圖書館 同新居濱町
 □愛媛縣教育會圖書館 松山市
 □伊達圖書館 同宇和島市
 □御成婚記念宇摩圖書館 愛媛縣三島町

高知縣
 ○高知縣立圖書館 高知市
 ×大典須崎町立圖書館 高知縣須崎町

□喜早圖書館 山形縣橋岡町
 □西置賜郡教育會館 同 長井町
 □御即位記念西村山郡圖書 同 寒河江町

秋田縣

○秋田圖書館 秋田市
 ○秋田圖書館大曲分館 秋田縣大曲町
 ○秋田圖書館横手文庫 同 横手町
 ○秋田圖書館能代分館 同 能代港町
 ○秋田圖書館土崎分館 同 土崎港町
 ○秋田圖書館花輪分館 同 花輪町
 ○秋田圖書館本莊分館 同 本莊町
 ×湯澤圖書館 同 湯澤町
 ×角館圖書館 同 角館町
 □立山文庫 同 毛馬内町

福井縣

△福井圖書館 福井市
 □敦賀圖書館 福井縣敦賀町
 □小濱圖書館 同 小濱町

石川縣

○石川縣立圖書館 金澤市
 △大禮記念金澤市立圖書館 同
 ×大聖寺町立圖書館 石川縣大聖寺町
 □鳳至圖書館 同 輪島町
 □鹿野自治會圖書館 同 七尾町
 □石川郡自治協會圖書 同 松任町
 □河北郡自治會圖書館 同 津幡町

富山縣

△富山市立圖書館 富山市
 △高岡圖書館 高岡市
 ×魚津圖書館 富山縣魚津町
 ×伏木圖書館 伏木町
 ×御慶事記念出町圖書 同 出町
 ×福光圖書館 同 福光町
 □授眼藏佛教圖書館 同 福雅町
 □新湊圖書館 同 新湊町
 □肩丈文庫 同 高岡市
 鳥取縣

○鳥取圖書館 鳥取市
 □東伯郡圖書館 鳥取縣倉吉町

島根縣

△松江市圖書館 松江市
 ×濱田町立圖書館 島根縣濱田町
 ×津和野圖書館 同 津和野町
 □美濃郡圖書館 同 益田町
 □安濃郡教育會圖書館 同 大田町

岡山縣

○岡山縣立圖書館 岡山市
 △岡山圖書館 同
 △二宮圖書館 津山市
 □笠岡圖書館 岡山縣笠岡町
 □眞庭圖書館 同 勝山町
 □中津圖書館 同 海瀨村
 □岡山縣高梁中學圖書 同 高梁町
 □倉敷圖書館 倉敷市
 □津山基督教圖書館 津山市

□青 山 文 庫 高知縣佐川町

福岡縣

○福岡縣立圖書館 福岡市
 △八幡市立圖書館 八幡市
 △門司市立圖書館 門司市
 △小倉市立記念圖書館 小倉市
 △直方市圖書館 福岡縣直方市
 △若松市立圖書館 同 若松市
 ×三毛門村立圖書館 同 築上郡三毛門村
 □久留米市圖書館 久留米市

大分縣

○大分圖書館 大分市
 △別府市立圖書館 別府市
 □臼杵圖書館 大分縣臼杵町
 □梅園文庫 同 杵築町
 □淡窓圖書館 同 月田町
 □大分縣南海部郡教育會附屬南海部圖書館 同 佐伯町
 □岩田女學校松操文庫 大分市
 □小幡記念中津刷書館 中津市

佐賀縣

○縣立佐賀圖書館 佐賀市
 △佐世保圖書館 佐世保市
 ×唐津圖書館 佐賀縣唐津町

熊本縣

○熊本圖書館 熊本市
 ○清浦文庫 熊本縣來民町
 □御即位記念菊池圖書館 同 隈府町
 □北里文庫 同 阿蘇郡北小國村

熊本縣教育會下益城郡支會圖書館 同 松橋町
 □鹿本圖書館 同 山鹿町
 □阿蘇圖書館 同 内牧町

宮崎縣

○宮崎圖書館 宮崎市
 ○都城圖書館 都城市
 ○延岡圖書館 宮崎縣延岡町
 ×小林圖書館 同 小林町

鹿兒島縣

○鹿兒島縣立圖書館 鹿兒島市

沖繩縣

○沖繩圖書館 那霸市

北海道

○行啓北海道廳立圖書記念北海道廳立圖書館 札幌市
 △函館圖書館 函館市
 △釧路市簡易圖書館 釧路市
 △小樽圖書館 小樽市
 △室蘭市圖書館 室蘭市
 ×網走圖書館 北海道網走町
 □下村育英財團札幌市教育會附屬札幌市
 □札幌市教育會附屬札幌市

臺北州

臺灣總督府圖書館 臺北市

士林圖書館 七星郡士林庄
 松山圖書館 同 松山庄
 淡水圖書館 淡水郡淡水街
 三芝圖書館 同 三芝庄
 公立宜蘭圖書館 宜蘭郡宜蘭街
 羅東圖書館 羅東郡羅東街
 蘇澳圖書館 蘇澳郡蘇澳街
 新店圖書館 文山郡新店庄
 海山圖書館 海山郡板橋街
 中和庄圖書館 同 中和庄
 三峽圖書館 同 三峽庄
 新莊圖書館 新莊郡新莊街

新竹州

新竹州立新竹圖書館 新竹市
 桃園街立圖書館 桃園郡桃園街
 大溪街圖書館 大溪郡大溪街
 竹南圖書館 竹南郡竹南庄
 苗栗街立圖書館 苗栗郡苗栗街

臺中州

臺中州立圖書館 臺中市
 大里庄立圖書館 大屯郡大里庄
 御大典北屯庄文庫 同 北屯庄
 西屯庄圖書館 同 西屯庄
 南屯庄立圖書館 同 南屯庄
 御大典烏日庄圖書館 同 烏日庄
 豐原文庫 豐原郡豐原街
 內埔庄文庫 同 內埔庄
 大雅庄簡易圖書館 同 大雅庄
 公立東勢圖書館 東勢郡東勢庄
 鹿港街立圖書館 彰化郡鹿港街
 員林文庫 員林郡員林街
 溪湖庄文庫 同 溪湖庄
 坡心庄文庫 同 坡心庄
 田中庄圖書館 同 田中庄
 二林庄圖書館 北斗郡二林庄
 溪竹庄圖書室 同 溪竹庄
 南投圖書館 南投郡南投街
 草屯庄立草屯圖書館 同 草屯庄
 集々庄文庫 新高郡集々庄
 埔里青年會文庫 能高郡埔里街

臺南州

臺南圖書館 臺南市
 嘉義市圖書館 嘉義市
 歸仁圖書館 新豐郡歸仁庄
 關廟圖書館 同 關廟庄
 新化街新化圖書館 臺南郡新化街
 善化圖書館 新化郡善化庄
 麻豆圖書館 曾文郡麻豆街
 下營圖書館 同 下營庄
 六甲圖書館 同 六甲庄
 官田圖書館 同 官田庄
 佳里圖書館 北門郡佳里庄
 鹽水圖書館 新營郡鹽水街
 公立柳營圖書館 同 柳營庄
 新巷庄圖書館 嘉義郡新巷庄
 斗六街立斗六圖書館 斗六郡斗六街
 虎尾圖書館 虎尾郡虎尾庄
 海口庄圖書館 同 海口庄
 土庫圖書館 虎尾郡土庫庄
 北港圖書館 北港郡北港街

東石圖書館 東石郡朴子街
 六脚庄簡易圖書館 同 六脚庄
 布袋庄立圖書館 同 布袋庄

高雄州

高雄圖書館 高雄市
 鳳山街立簡易圖書館 鳳山郡鳳山街
 旗山文庫 旗山郡旗山街
 屏東街立圖書館 屏東郡屏東街
 東港街圖書館 東港郡東港街
 財團法人臺東獎學會 臺東縣臺東街
 附屬圖書館 臺東縣臺東街
 花蓮港通俗圖書館 花蓮港廳花蓮港街

朝鮮及滿洲

朝鮮總督府圖書館 京城府
 鐵道圖書館 龍山
 京城府立圖書館 京城府
 京城府立圖書館 同
 鍾路分圖書館 同
 平壤府立圖書館 平壤府
 釜山府立圖書館 釜山府

大邱府立圖書館 大邱府
 府立仁川圖書館 仁川府
 木浦圖書館 木浦府
 清津府圖書館 清津府
 全南文庫 全羅南道光州邑
 公州圖書館 忠清南道公州邑
 南滿洲鐵道株式會社 大連市
 大連圖書館 大連市

書圖

三町仲谷四市京東
番六一三一京東替振

刊行院書文同良優

現代哲學の根本問題	新修史學概論	新撰動物學	日本文學原論	新撰實驗物理學	個性調査と職業指導の原理	現代心理學の主要問題	人間を見つめる	人間の權威	職業指導學	忠孝の研究	國民道德原論	社會思想の批判的研究	國語の心	綜合國史研究	
文學博士 勝部謙造	文學博士 長壽吉	廣島文理大教授 阿部余四男	廣島文理大教授 藤村作	文學博士 大久保準三	文學博士 田中寬一	東京帝大講師 城戸幡太郎	文學博士 勝部謙造	文學博士 山本儀重	文學博士 平野春江	文學博士 清原貞雄	文學博士 深作安文	文學博士 勝部謙造	文學博士 廣島文理大教授 栗田元次	文學博士 廣島文理大教授 栗田元次	
菊版價 三・八	菊版價 二・三	菊版價 六・八	菊版價 二・八	菊版價 三・八	菊版價 二・二	菊版價 三・〇	菊版價 二・八	菊版價 二・〇	菊版價 二・八	菊版價 二・八	菊版價 四・五	菊版價 二・〇	菊版價 二・〇	菊版價 一・八	
教育活動の本質	教育學概論	現代教育思潮大觀	地理教育の眞髓	わかることと教育觀	國語教育原論	國史教育原論	歴史教育論	社會教育原論	日本教育論	全體觀の教育	理科教育の眞髓	地理教育新論	實踐日本教育	農村教育原論	女子教育の理念
文學博士 長田新	廣島高師教授 辻幸三郎	文學博士 入澤宗壽	東京女高師教授 富士德治郎	文學博士 勝部謙造	廣島文理大教授 鈴木敏也	廣島文理大教授 栗田元次	文學博士 新見吉治	文學博士 吉田熊次	文學博士 入澤宗壽	文學博士 入澤宗壽	東京女高師教授 堀七藏	廣島高師教授 長谷川與三治	小西博士外 八木教育	文學博士 千代敬止	文學博士 吉田熊次
菊版價 三・八	菊版價 三・三	菊版價 三・三	菊版價 二・五	菊版價 二・八	菊版價 二・四	菊版價 三・八	菊版價 三・五	菊版價 三・三	菊版價 二・八	菊版價 二・五	菊版價 二・四	菊版價 二・四	菊版價 二・〇	菊版價 三・八	菊版價 三・三

三一七

出版年鑑

全國大學新聞一覽

帝國大學新聞 (週刊)	京都帝國大學新聞 (月刊)	東北帝大法文時報 (月刊)	九州大學新聞 (月刊)	北海道帝國大學新聞 (月刊)	一橋新聞 (月刊)	千葉醫大學友會會報 (月刊)	大塚學友會會報 (月刊)	神戶商大新聞 (月刊)	工業大學藏前新聞 (月刊)	大阪工大學報 (月刊)	京都府立醫科大學新聞 (月刊)	三田新聞 (月刊)	明治大學駿臺新報 (月刊)				
本館主町 本館主町	京都府上京 區吉田町	片平町 片平町	福岡市外 福岡市外	札幌市 札幌市	神戶市 神戶市	千葉市 千葉市	小石川區 小石川區	神戶市 神戶市	大塚區 大塚區	大阪府北區 大阪府北區	京都府上京 區河原町	芝罘三區 芝罘三區	神戶區 神戶區				
帝國大學新聞社	京都帝國大學友會新聞部	東北帝大法文學部強立會	九大法文會	北大文武會新聞部	東京商大一橋新聞部	千葉醫大學友會中央部	東京文理大大塚學友會	神戶商大新聞部	東京工大藏前新聞部	大阪工大學友會文藝部	京都醫科大學新聞社	三田新聞學會	明治大學新聞學會				
法政大學新聞 (月刊)	中央大學新聞 (月刊)	日本大學新聞 (月刊)	國學院大學新聞 (年五回)	同志社新聞 (月刊)	慈大愛宕新聞 (月刊)	龍谷大學新聞 (月刊)	立教大學新聞 (月刊)	專修大學新聞 (月刊)	關西大學新聞 (月刊)	立正大學新聞 (月刊)	駒澤大學新聞 (月刊)	農大新聞 (月刊)	高野山大學新聞 (月刊)	東洋大學新聞 (月刊)	拓植大學新聞 (月刊)	大正大學新聞 (月刊)	
豐島區 豐島區	神戶區 神戶區	神戶區 神戶區	神戶區 神戶區	神戶區 神戶區	芝罘區 芝罘區	芝罘區 芝罘區	芝罘區 芝罘區	神戶區 神戶區	大阪府下 千里山村	大塚區 大塚區	品川區 品川區	世田谷區 世田谷區	世田谷區 世田谷區	世田谷區 世田谷區	世田谷區 世田谷區	世田谷區 世田谷區	
法政大學新聞學會	中央大學新聞社	日本大學新聞學會	國學院大學新聞學會	同志社新聞	慈大愛宕新聞社	龍谷大學新聞社	立教大學新聞學會	專修大學	關西大學學友會新聞部	立正大學新聞部	駒澤大學學友會新聞部	駒澤大學學友會新聞部	熊本醫科大學友會	高野山大學新聞學會	東洋大學新聞學會	拓植研究會新聞學會	大正大學新聞學會

三一六

卷六全集全賢泰村木士博學文

印度哲學宗敎大系

- 第一卷 印度哲學宗敎史 第四卷 小乘佛敎思想論
- 第二卷 印度六派哲學 第五卷 大乘佛敎思想論
- 第三卷 原始佛敎思想論 第六卷 阿毘達磨論の研究

大正・昭和にかけて、吾が學界に印度哲學殊に佛敎の新研究の分野を拓いて、一世を傾聴せしめたる碩學木村泰賢博士の全集が、今、この佛敎復興待望の眞只中に「印度哲學宗敎大系」なる大旗を振翳して刊行されることは、これ一時運の要請とは言へ、誠に學界のため慶賀に堪へない。博士の學風は、飽くまで學的に正確を期せられつゝ、なほ頗る活潑な指導的原動力を包藏せられた。その開拓せられた分野は頗る廣汎多方面で、今日並に將來の學者を示唆誘導するものが極めて多い。且つ高遠深遠な佛敎敎理をして現代人の思考中に導入せしめんと企てられた努力は、眞に佛敎の現代的復活を欣求するものにとつて、無二の鞭撻となるものである。遍く學界敎界並に一般讀書界に薦む。

〔内容解説進呈〕

- 各卷 菊判五百乃至七百頁
- 每卷 金三圓八十錢
- 一時拂 金二十圓

振替東京四九一九番
電話神田二一四七番

株式會社 明治書院

東京市神田區
錦町一丁目六十番

著 生 先 明 道 野 簡

論語義疏

〔卅八版〕

▲四六判 天金
▲定價 三圓八十錢
▲送料 十八錢

本書は現代漢學界の泰斗たる簡野先生が、半生の蘊蓄を傾注して大成された論語の新釋である。即ち每章、極めて詳細懇切に講述せられ、よく論語の眞義を闡明した大著である事は夙に定評がある。苟も東洋倫理思想の淵源なる論語を語らんとする學者學生諸君の座右には缺く可らざる良書である。

- ▲大學解義 定價一・七〇
- ▲中庸解義 定價二・三〇
- ▲縮孟子通解 定價二・八〇
- ▲老子解義 定價四・二〇
- ▲唐詩選詳說 定價各三・〇〇
- ▲白詩新釋 定價三・二〇
- ▲和名詩類選評釋 定價三・五〇
- ▲十八史略新解 定價一・七〇
- ▲日本外史新解 定價一・九〇
- ▲孟子新解 定價一・五〇
- ▲論語新解 定價一・五〇
- ▲和漢朗吟集新解 定價一・八〇
- ▲和漢朗吟詩集 定價一・〇〇
- ▲新言志四錄 定價一・三〇

振替東京四九一九番
電話神田二一四七番

株式會社 明治書院

東京市神田區
錦町一丁目六十番

蘆洲池田四郎次郎著 故事熟語大辭典

出版界の異變・讀書子の感激

中洲三島先生逝かれてから漢學界の元老として二松學舎を率ゐられたのは蘆洲池田先生であつた。然るに惜むべし先生も亦數年前遂に易簣せられた。併しその不朽の大著故事熟語大辭典は儼として永遠に生命を保ち續く者をして今尙ほ目の當り先生の聲咳に接する思を爲さしめる。それも其管、堂々二千二百頁遙に支那の康熙字典や佩文韻府を凌ぐとの定評ある此の空前の大著を明治三十六年から大正二年迄滿十年間一切の客を絶ち一室に籠り、一人の助手をも使はず終始獨力で完成されたといふからである。先生述懐の時に稿成過等身。執筆經十載。心血注欲盡。何怪頭懸壁とあるが、誰か之を讀んで先生の偉大さに打たれないものが有らうか。收むる所の語數無慮五萬、一々妥當な解釋と正確な出典を擧げ又幾多有益な圖畫を挿入、尙ほ卷頭に音訓索引二百餘頁、卷尾に字畫索引二百餘頁を添へて用意周到、辭書としての用途に些の遺憾無きを期してゐる。發行以來販賣部數無慮十萬今回江湖の愛顧に酬いんため一大廉價を以て提供し、一層廣汎なる需要に應ずることにした。何と言つても故事熟語の大多數は源を漢學に發し、我々は不知不識筆に口にしてゐるのであるが、今日青年の文章を見ると九ジンの巧を一機に欠くなど、書いて平氣である様では愈々以て本書普及の必要を痛感する次第である。江湖諸彦、願はくば此機を利用して速に一本を座右に備へられんことを。必ずや諸彦の期待に副ふ或る物を得らるゝであらうことを信じて疑はない。

特價提供

特價金七圓五十錢
(定價金拾圓)
送料金卅八錢

菊判春革函入一冊
紙數二千二百頁
圖版三百七十個

東京市本區室町四丁目番〇八二 寶文館 大坂市西區波田堀通四丁目番三四 東京市本區橋本座口番〇八二

植物及動物學 入試問題と解答集	總括植物學	總括動物學	代數受験の合鍵	釣狂五十年	新俳畫講座	常用語彙 最新字典	增鏡解釋
同	同	文魁堂編輯部	松岡文太郎著	松岡文翁著	俳畫講座刊行會	同編	塚本哲三著
送價 〇・三五 四	送價 〇・五〇 四	送價 〇・五〇 四	送價 一・一〇 〇八	送價 〇・七九 八〇〇	送價 七・三五 〇〇說	送價 三・五〇 八六〇 六〇頁	送價 六・二〇 二五〇 二〇頁
省略算	代數因子分解活法	幾何學軌跡作圖 吟解法	幾何學と研究 受験新法	算術學力増進法	訂四國文考へ方	訂四國文考へ方	訂改幾何學考へ方 初歩
金澤卯一	松岡文太郎	佐久間謙	同	松岡文太郎	同	塚本哲三	藤森良顯
送價 〇・六〇 四	送價 〇・六〇 六	送價 〇・八〇 六	送價 二・〇〇 〇	送價 二・〇〇 二	送價 一・三〇 六	送價 一・三〇 六	送價 一・一〇 六

振替東京一五二九八
電話(24)三〇八八

青野文魁堂

東京市本區橋本座口
通三丁目

内田老鶴圃 新刊重版書

昭和十二年度編
解説附圖書
日録進呈

東京日本橋大傳馬町一
電話茅場町(6)五五九一
振替東京一二一四六番

大學	物理學通論	本多光太郎著	五〇〇餘頁	五、〇〇〇
程度	物理學本論	本多光太郎著	六五〇餘頁	三、五〇〇
程度	物理學詳解講義	本多光太郎著	六二〇餘頁	五、〇〇〇
物理學	物理學大要	山田光雄著	二五〇餘頁	二、〇〇〇
應用物理學	應用物理學實驗	眞島正市 外四名共著	四五〇餘頁	四、〇〇〇
ベクトルとテンソル		山田光雄著	三〇〇餘頁	三、〇〇〇
新電子論		三枝彦雄著	三五〇餘頁	四、〇〇〇
電子論		三枝彦雄著	三五〇餘頁	四、〇〇〇
電氣磁氣學		三枝彦雄著	三五〇餘頁	四、〇〇〇
質點の力學		玉城嘉十郎著	三八〇餘頁	四、〇〇〇
剛體の力學		玉城嘉十郎著	二六〇餘頁	三、〇〇〇
マツハル學の發達とその歴史的批判的考察		青木一郎著	五三〇餘頁	五、〇〇〇
飛行機の強度計算と設計例		甲斐茂吉著	六八〇餘頁	七、〇〇〇
飛行機の設計		甲斐茂吉著	六八〇餘頁	七、〇〇〇
飛行機の強度計算		甲斐茂吉著	三〇〇餘頁	四、〇〇〇
金	屬	濱住松二郎著	四六〇餘頁	四、〇〇〇
近代の金屬材料		濱住松二郎著	四六〇餘頁	四、〇〇〇
材料試驗法		山田良之助著	三六〇餘頁	三、〇〇〇
鐵鋼の腐蝕と防錆の研究		遠藤彦造著	四六〇餘頁	四、〇〇〇
耐蝕金屬及合金		遠藤彦造著	四三〇餘頁	三、〇〇〇
冶金學		濱住松二郎著	二〇〇餘頁	二、〇〇〇
金屬と人生		加瀬勉著	四六〇餘頁	四、〇〇〇
工業と金屬		加瀬勉著	四六〇餘頁	四、〇〇〇
東洋鍊金術		近重眞澄著	一三〇餘頁	一、〇〇〇
鑄鐵		濱住松二郎著	二五〇餘頁	二、〇〇〇
增訂化學語彙		日本化學會編	四六〇餘頁	四、〇〇〇
世有機化學講義(全二冊)		加納清三著	七三〇餘頁	七、〇〇〇
有機化學講義(全二冊)		山岡望著	七三〇餘頁	七、〇〇〇
わが有機化學		山岡望著	四六〇餘頁	四、〇〇〇
化學理論及計算		越山季一著	五五〇餘頁	五、〇〇〇
無機化學要說		越山季一著	三〇〇餘頁	三、〇〇〇

權威ある優良圖書を推薦す内田老鶴圃

權威ある優良圖書を推薦す 内田老鶴圃

有機化學要說	越山季一著	三五〇餘頁	三、〇〇〇
理論化學要說	越山季一著	三六〇餘頁	三、〇〇〇
纖維素塗料	西澤勇志智著	五〇〇餘頁	五、〇〇〇
油脂工業化學	中江大部著	六八〇餘頁	七、〇〇〇
無機工業分析	庄司務著	三〇〇餘頁	三、〇〇〇
珪酸鹽工業要覽	永井彰一郎著	六〇〇餘頁	六、〇〇〇
土木建築主要材料	永井彰一郎著	六五〇餘頁	六、〇〇〇
室業品の化學製造及試験法	藤原松三郎著	六八〇餘頁	七、〇〇〇
數學解析第一編	藤原松三郎著	六八〇餘頁	七、〇〇〇
微積分分學第一卷	藤原松三郎著	六八〇餘頁	七、〇〇〇
解析幾何學第一卷	窪田忠彦著	五七〇餘頁	五、〇〇〇
フリーエ級數と積分論	池田芳郎著	三四〇餘頁	三、〇〇〇
熱傳導論	竹前源藏著	四二〇餘頁	四、〇〇〇
フリーエ級數と積分論	竹前源藏著	五〇〇餘頁	五、〇〇〇
高等微積分學	岡田良知著	四二〇餘頁	四、〇〇〇
微積分分學序論	池田芳郎著	三三〇餘頁	三、〇〇〇
高等數學講義	松村宗治著	三三〇餘頁	三、〇〇〇
高等數學通論	池田芳郎著	二二〇餘頁	二、〇〇〇
絕對微分學概要	松村宗治著	一六〇餘頁	一、〇〇〇
等角寫像とその方法	池田芳郎著	一六〇餘頁	一、〇〇〇
代數學(全二冊)	藤原松三郎著	第一卷六五〇餘頁 第二卷六五〇餘頁	七、〇〇〇
高等代數學通論	山崎榮作著	六八〇餘頁	七、〇〇〇
植物分類學第一卷	早田文藏著	九三〇餘頁	九、〇〇〇
植物分類學第二卷	早田文藏著	九三〇餘頁	九、〇〇〇
被子植物總論	早田文藏著	六三〇餘頁	六、〇〇〇
バラディン植物生理學	矢部吉禎著	八〇〇餘頁	八、〇〇〇
マキシ植物と水	大賀一郎著	四七〇餘頁	四、〇〇〇
メンデルとその前後	篠遠喜人著	二六〇餘頁	二、〇〇〇
日本細胞學史	篠遠喜人著	一〇〇餘頁	一、〇〇〇
細胞學總論	田原正人著	三〇〇餘頁	三、〇〇〇
植物學通論	石川光春著	四一〇餘頁	四、〇〇〇
植物學大觀	石川光春著	四一〇餘頁	四、〇〇〇
生物學大觀	石川光春著	四一〇餘頁	四、〇〇〇
生物學問題集	石川光春著	三〇〇餘頁	三、〇〇〇
大學生物學問題集	石川光春著	三〇〇餘頁	三、〇〇〇
生物學顯微鏡實習指針	石川光春著	一四〇餘頁	一、〇〇〇
樹木和名考	白井光太郎著	六三〇餘頁	六、〇〇〇
藻類系統學	岡村金太郎著	五六〇餘頁	五、〇〇〇
日本海藻誌	岡村金太郎著	九三〇餘頁	九、〇〇〇

權威漢文普及版現る

陸軍教授 高成田忠風著 文章軌範新釋 全二册各 價一・五〇	文學博士 小柳司氣太著 老子新釋 價一・五〇	東京高師教授 内野台嶺著 孟子新釋 上下全册各 價一・二〇	文學博士 宇野哲人著 論語新釋 價一・五〇	鹽谷博士 宇野博士 諸橋博士著 孝經大學中庸新釋 價一・五〇
--	------------------------------	--	-----------------------------	--------------------------------------

文學士 近藤正治著 古文眞寶新釋 上下全二册 價各册一・八〇	文學博士 中山・鹽野 共著 莊子新釋 上下全二册各 價一・五〇	文學博士 中山・鹽野 共著 十八史略新釋 全二册各 價二・八〇	文學博士 鹽谷 溫著 唐詩三百首新釋 價一・八〇	一高教授 佐久 節著 唐詩選新釋 價一・五〇
---	--	--	--------------------------------	------------------------------

東神 株式會社 弘道館 振替東京一八〇五

三二五

文學士 井上義昌先生著作

英語類語辭典

A DICTIONARY OF ENGLISH SYNONYMS

忽五版

四六判總クローズ装订優美 定價金貳圓八拾錢
上等印刷紙 830 頁 送料二十二錢

本辭典の七大特色

- 英語々義の的確なる把握!!
- 1 収録の語句約五千普通に用ひらるゝ類語・類句を網羅せること
 - 2 語句の選擇並びに解説はあくまで邦人本位にして、且つ實用を主眼とせること
 - 3 内外文献の總動員により諸學者の説を集成綜合して引證該博なること
 - 4 解説中の重要な語句には一々原語の註を加へて original works の解説を髣髴せしめること
 - 5 解説の懇切丁寧なること内外の類書にその比を見ぬこと
 - 6 例文は多く近代及び現代作家の living English より採用せること
 - 7 綿密なる索引を附し所要の語を直ちに檢索し得ること
要するに本辭典は普通辭典・參考書の足らざるを補ひ、英語の語義を的確に把握せしむる點で一般英語學習者の參考となるのみでなく、英語教壇に立つ人々の好伴侶として時間と努力とを節約し得るであらう
- 本邦唯一の英語類語辭典!!

三二四

東京市神田區西神田 株式會社 開拓社 振替東京三九五八七番
一丁目二番地 電話神田二〇〇一・二〇〇二

服部嘉香著 新掌中判 二菊半頁 定價八拾錢 稅八

【版七忽】

正しい使ひ方 假名遣と送假名

絶對安心の出來る假名正用辭典出づ！

折込附録 誤用一覽・校正方法

國語

くし正を

日本人が日本文を書くに當つて最も困難を感じるのは、假名遣と送假名とである。然も此の方面の教育は甚だ不徹底であり、既刊参考書は悉く不完全か不親切である。著者は敢て(間違ひだらけの研究)の許りだといふ。本書は著者が過去二十年來の研究の経験と總收し、正用假名遣、合理的送假名の徹底的考へ方、學び方、使ひ方を悉く公開したもので、本欄(七頁)用すべき正無比の歴史的新送假名法を挙げ、現代文に適した假名遣一覽表を添へて解説し、附録(三〇頁)には字音假名一覽表、假名遣一覽表、時檢表、音便一覽表、送假名一覽表、四千字有餘の假名正用書、苟も文に縁ある者の必備必携の標準辭典である。

好評重版

- 服部嘉香著 改書簡卓上便覽 四六判 五八〇
- 新時代の商業文範 四六判 五一〇
- 現代作文新講 四六判 六三〇
- 二・八〇 一・一〇
- 二・八〇 一・一四

五四三〇込牛話電 部版出學大田稻早 込牛京東 三二一一京東替振

文部省秘書課 恩賞保 福田信夫著

教育新恩給法解説

▲著者は多年文部省秘書課に勤務して恩給法に精通し、その運用の裡に携はれる斯界の權威者 ▲本書は新恩給法の精神を闡明し、その適用を具體的に詳解して餘す所なく、且つ、あらゆる場合に於ける法の活用並に種々の疑點をも懇切に説明せる無二の寶典なり。

菊判洋裝 全一冊 紙數 五百餘頁 定價 金 四圓

加藤咄堂著

新社會教育講演資料

感激感銘の増場 活人生觀の炬光

▲大思想家として、大宗教學者として、大奉育者として咄堂先生の名は餘りにも有名である。 ▲本書は先生が最近その獨得の雄辯に多大の感動を與へし社會教育に關する名講話の數々を更に先生独自の文章に革めて纏めたる名文となせしもの。 ▲逸話・美談・譬喩・教訓・眞理等滿載、眞人生の活指針たる一大名篇！

菊判洋裝 全一冊 紙數 六百數十頁 定價 金 四圓五十錢

法學博士 蘆田均著

最近世界外交史

前篇 (自ヒスマルク 至世界大戰) 紙數 七百四十頁
 中篇 (自世界大戰 至戰後の歐洲) 紙數 七百二十頁
 後篇 (自米國參戰 至聯盟脫退) 全三冊 紙數 七百餘頁
 定價 各四圓八十錢

菊判背革 豪華版 送料 各廿二錢

社會式株書圖治明 町舟入區橋京市京東 所行發 番三一五八一京東替振

共立社刊★工學關係講座並に好評圖書

學界業界の權威者執筆に依る本邦機械設計の基準的定本！

高等機械設計

全八卷
二圓八〇錢
申込金二圓

機械設計に於ける最も重要な基本的部分七〇餘項目を理論と技術の兩面より平易懇切に解説したる我國機械設計の基準！

編輯・濱住松二郎博士・三島徳七博士・西村秀雄博士

實用金屬材料講座

全十卷
二圓五〇錢
申込金一圓

金屬材料の全般に亘り體系づけたるものとして技術者・學生は勿論、金屬關係の工業に携る萬人の必讀必備の好文獻

編輯・田中敬吉博士・大井上博博士

内燃機關工學講座

全十二卷完結
二圓八〇錢
申込金不要

躍進的發展の途上にある内燃機關工學全般に亘る理解を深めるために必讀の講座で斯界の權威者執筆に依る最高書。

東大教授・工博 厚木 勝基著 **纖維素化學工業** 菊判二〇〇頁 送料二圓三〇錢

早大教授・工博 小栗 捨藏著 **無機化學工業** 菊判三二〇頁 送料三圓二〇錢

東大助教授 友田 宜孝著 **化學機械學** 菊判三三〇頁 送料三圓八〇錢

東大教授・工博 永井彰一郎著 **珪酸鹽工業** 菊判四四四頁 送料四圓五〇錢

東大教授・理博 木村健二郎著 **無機定性分析** 菊判二七〇頁 送料二圓五〇錢

理化學研究所 松岡 登著 **榮養化學** 菊判二五〇頁 送料二圓五〇錢

大阪工試所長 高岡 齋著 **染料化學** 菊判二六〇頁 送料二圓五〇錢

理研所員・理博 鈴木庸生著 **寫真化學** 菊判二六〇頁 送料二圓八〇錢

全卷悉く之れ理論と實地の體系！正に躍進工業日本を高揚するの講座だ(各講座共一卷より揃ひます内容見本無代進呈す)

編輯・内田俊一博士・八田四郎次博士・龜井三郎博士

友田宜孝博士

化學工學講座

全十二卷
二圓八〇錢
申込金不要

化學工業の全般的理解を促し、學理とその應用の詳細を講述したるもので、執筆者は斯界の最高權威者を總動員す。

編輯・磯野達一郎博士・尾本義一博士・加藤鎌二技師

實用電氣工學講座

全十卷
二圓五〇錢
申込金不要

電氣工學の第一線に立つ精銳を動員し、之が技術と理論の兩面より闡明を期し内容の廣範詳細なるに於て他に比を見ず。

編輯・石川博士・高野瀨技師・上野技師・堀江技師

汽罐士講座

全六卷
各價二圓乃至二圓五〇錢
申込金不要

汽罐取締令と共に汽罐士の技術的責務は益々昂りつゝある。本講座は各試験委員の執筆に依る最高の講座！

東北大助教授 枝本 秀雄著 **光學** 菊判二六五頁 送料三圓一四錢

工學博士 千葉茂太郎著 **真空管** 菊判二三五頁 送料二圓二〇錢

工學博士 千葉茂太郎著 **無線工學實驗法** 菊判一八〇頁 送料二圓一四錢

東大教授・工博 眞島 正市編 **應用物理實驗法** 菊判四五〇頁 送料五圓二二錢

東大教授・工學 眞島 正市編 **電氣物理實驗法** 菊判六六〇頁 送料六圓五〇錢

工學博士 石川登喜治著 **鑄造法** 菊判二一三頁 送料二圓二〇錢

坂井 豊著 **禪と數學** 菊判三二四頁 送料一圓五〇錢

東京・神田・駿河臺三
振替東京四六〇七四番
電話神田一五一八・二六二四

共立社

改造社發行新刊重版書

東京市芝區新橋七丁目・振替東京八〇二番

山本實彥著 支那 定價二圓 送料十四錢	山本實彥著 滿鮮 定價一圓五十錢 送料十四錢	山本實彥著 蒙古 定價二圓 送料十四錢	山本實彥著 小閑集 定價一圓八十錢 送料十四錢	長岡半太郎著 隨筆 定價二圓七十錢 送料十四錢	高濱虛子著 句日記 定價二圓五十錢 送料十四錢
高濱虛子著 渡佛日記 定價二圓 送料十四錢	吉田絃二郎著 草に臥して 定價九十錢 送料八錢	大佛次郎著 大楠公 定價一圓八十錢 送料十二錢	村上忠順著 品田太吉補 新葉和歌集 定價二圓五十錢 送料十四錢	日置昌一著 日本系譜綜覽 定價十圓 送料廿三錢	全國經濟調查會機關聯合會編 日本經濟年誌 (昭和十一年版) 價二・五〇 卷一八
日本經濟研究所編 日本經濟四季報 定價一圓 送料十二錢	改造社版 ブウシキン全集 一册定價二圓五十錢 送料十四錢	改造社版 短歌作法講座 全三卷 送料各十四錢	佐佐木信綱著 新撰代表短歌集 一册 定價一圓八十錢 送料十四錢	吉井勇著 相聞 定價一圓 送料十四錢	尾上榮舟著 細風抄 定價一圓 送料十四錢

五五五

◎◎◎ 既刊三百種
 ◎ 國語・漢文・英語
 ◎ 目錄贈呈

中等教科書詳解 學生の虎の巻

特色
 四六版にして百六十頁餘
 裝幀優美にして解釋正確
 印刷鮮明等具備して居り
 ます

學友館書房

東京市神田區保町二丁目
 電話(四)九六五 振替東京六三九八

三三〇

修正四版

萬葉集美夫君志

東宮侍講
男爵

本居豐穎先生序
細川潤次郎先生序

文學博士
木村正辭先生撰

菊判和裝・定價各金四圓五拾錢
全八冊二帙入・送料金拾四錢

萬葉研究の至寶

- ◆本書は萬葉學の第一人者にして、その研究殆ど生涯を貫ける博士畢生の力を盡したるものにして、全八冊。
- ◆先生の萬葉學に於けるや、契沖・真淵・雅澄等徳川時代諸大家の後を承けて、これを大成し、且新に開拓せられし所多し。
- ◆本書は博引廣證、深く古今に涉り、廣く諸家に入出し、一家獨特の見地に據りて、各要を採り粹を抜き、親切詳密を盡して、萬葉集註釋の大成を期し、國文學界に多大の裨益と貢獻とをせるものなり。
- ◆萬葉學研究者は勿論國文學に志ある士或は圖書館には必備の珍書。

皇國の道のおくかもしよしへの
ならのはやしをわけてこそしれ

櫛齋正辭
七十八翁

店書館風光

區田神市京東
五ノ一町保神

番七八〇三田神區話電
番七二三京東座口替振

- 子爵澁澤榮一先生題
- 岡田良平先生題
- 小牧文學博士題
- 嘉納治五郎先生題
- 井上文學博士題
- 服部文學博士題
- 宇野文學博士題
- 林文學博士題
- 兒島文學博士題
- 安井朝康先生序

經學攷究會編

黃朱子洋裝上製・定價金九圓五十錢
菊版千三百餘頁・送料金貳拾四錢

解説論語講義 批判

東洋の聖典 論語講義の要

- ◆本書は之を大別して、本欄と上欄と附録との三部分とし、本欄は先づ、篇題を説き、然る後毎章之に句讀訓點を施し、尙次ぎに之を訓讀・字解・解義・校勘・異説・備考の六項に分ち、各之に解義の輔翼となるべきものを記述し、解説批判を試みたり。
- ◆上欄は之を略解と英譯との二つに分ち、略解は殆ど口譯とも見るべく、最も初心の人に便せんが爲のもの、英譯はジェームス・レッグ氏の譯するところに據れり。
- ◆附録は之を索引・論語人物志・論語品物圖解・引用人物傳・引用書解題の五項に分ち、之に丁寧なる解説を與へたり。
- ◆編者は東京高等師範學校教授内野台嶺先生外十三文學士にして、各篇分擔執筆し、執筆分擔表を附して責任を明かにせり。
- ◆漢學專攻の士は勿論官公私立圖書館必ず一本を具ふべき良書

店書館風光

區田神市京東
五ノ一町保神

番七八〇三田神區話電
番七二三京東座口替振

〔内容見本入型録〕
呈

東京市神田區錦町一丁目
振替口座東京七一四八番

株式 有 朋 堂

早稲田大學 前田定之助著 (三版)

菊判總布製函入三三〇餘頁
定價金參圓・送料金十四錢

商業英語の研究法

商英叢書第一篇 How To Study Commercial English
外國貿易實踐とか、英語通信文の研究とか所謂商業英語の
参考書は汗牛充棟も當ならぬ程流布されて居る。如何にして研
究すべきか「How To Study Commercial English」を扱
れたものは皆無と云ふ事が出来る。
先づ「研究法」を研究してから商業英語に入れ、之が著者
の眞摯溢れる言葉であり且つ本書を『商英叢書』の第一巻と
して上梓せる所以である。

同志社高商 岡本春三譯 (三版)

菊判總布製函入二五〇餘頁
定價金貳圓五十錢送料金十四錢

簡易英語 商業通信文

商英叢書第二篇 Basic For Business
澎湃として世界の英語學界を風靡せるペーシック運動は、
遂に商業英語の世界にまで其の透徹せる理論を實際化せんと
して居る。ザルツェド氏の原書は單にペーシックにて書かれ
た商業英語である。岡本教授は原書の採りついでに原文と
更なる普通商業文とペーシック文とを對照比較及翻譯せられ、
實務家の參考書、商業學徒の教科書に絶好のものとして御薦
めする。

小樽高商 長 苦米地英俊著 (六版)

菊判總布製函入本文三百餘頁
ドキメント一三枚寫眞百頁
定價金四圓五十錢送料金廿二錢

國際貿易易活法

商英叢書第三篇 Overseas Trade In Practice
開卷劈頭の營業日誌を見よ之を全卷の骨子として、Case
Methodの最新方法に據り、活きたるブローディーアを内容
とせる本書こそ、國際貿易の總ゆるCaseの網羅たる集大成
全面的展望と云ふ事が出来る。
單なる貿易實務の參考書か、非ず！漫然たる商業通信文の
參考書か否！之れ等の總てを包含具備せる前人未踏の新機軸
を以て編まれたるものこそ本書である。

神戸高商 中村長之助著 (三版)

菊判總布製函入三〇〇餘頁
定價金參圓・送料金十錢

英米 商業英語檢討

商英叢書第四篇 Analysis And Synthesis Of Business English
英國式の傳統を尊ぶか、米國式の簡易平明を採るか、傳統を
重んじて繁文褥禮に甘んずるか平明を尊んでポライトを犠牲
にするか、喧々囂々として歸趨に迷ふ貿易人に、英米兩式の長
下せるもの本書である。著者は「……謂ふ研究材料の選擇に留
意しました次に其材料の示す取引の要點を判然と掴む事に努
めました。更に其取引表示の爲に使用された言辭は果して當
事者の意志と狀勢とに適切なりや否やの點に心掛けました」。

早稲田大學 上坂酉三著 (好評)

菊判總布製函入三三〇頁
定價金參圓・送料金十四錢

統一國際賣買規則の研究

商英叢書第五篇 Study Of Uniform International Rules For The Sale Of Goods
太平洋貿易中心時代に現前せる躍進貿易日本の第一線に活
躍する諸君が世界共通の貿易規則たる「ワルソノオツクスフ
オード規則」インディアハウス規則」に對する完全なる理解
を保持することは、國家を、會社を、諸君自身を安んじて貿易陣に
飛躍せしむるものである。本書こそは複雑多岐なる賣買契約
の解釋上の相違、地方的慣習の混入に依り釀成せらるる幾多
の商事係争の煩擾を未然に防ぐもの、敢て貿易實務家、船舶
運輸關係者、法律家、商業學徒に薦む。

山口高商教授 山崎紀男著 (好評)

菊判總布製函入四一〇頁
定價金參圓・送料金二十錢

英字新聞經濟市況の研究

商英叢書第六篇 How to Understand the Market Section of a Newspaper
眞に「役立つ」實用の書として著者の企圖せる本書こそ、單
なる學術研究書に非ず、實に英文經濟記事に通曉し、英語達
成への渴望を充たすに止まらず實に六十八種の内外著名英字
新聞より構れる材料により、總ゆる角度より見たる經濟市況、
株式市況、商品市況、金融市況、金銀塊市況、爲替市況、運賃市
況等に懇切周なる問題を附し、各記事の譯註と共に、廣汎に
深奥且つ實際的經濟知識を附與せんとするもの、日本に於け
る斯種研究檢討に正に劃時代的一線を劃せると云ふべし。

〔内容見本入型録〕
呈

東京市神田區錦町一丁目
振替口座東京七一四八番

株式 有 朋 堂

藤森良夫 共著

精説 上下 各金壹圓六十錢
要説 上下 各金壹圓也

三三八

高校専校入試必修書

精説 要説 代數學學び方考へ方と解き方

著者三十年苦心研究の結晶である本著は、代數學晩近の進歩と受験界近年の傾向とを巧に斟酌し、豊富なる経験とやぐが如き情熱との渾然たる融和のうち成つたものである。かくて高校専校受験生の湧くが如き歓迎を受け増刷亦増刷殆んど底知れぬ賣れ行を示してゐる。
要説書が中等学校の副教科書として採用されつゝある事も亦特筆すべき事だ。

東京神田一橋

考へ方研究社

振替東京三六六一〇番

藤森良夫 共著

中等學校入試準備書

菊判四百頁
定價九十錢

くはしい 算術學び方考へ方と解き方

小學兒童の爲に

國定算術書に大きな刺戟を興え、遂にその改造を意圖せしめた名著。
平生文相は義務教育延長と相待つて小學教育内容の一大革新を企てゝゐる
その改造意見には數學教育實用化の一項があり、その中には多分に本書が提案した事項が採り入れられてゐる。教師も兒童もまづ一讀すべきものだ。

東京神田一橋

考へ方研究社

振替東京三六六一〇番

三三九